

PLATEAU Technical Report 3D都市モデル活用のための技術資料



開発許可のDX v3.0 技術検証レポート

Technical Report on Digital Transformation of Land Development Permit Procedures v3.0

series **106**

目次

1. ユースケースの概要	- 4 -
1-1. 現状と課題	4 -
1-1-1. 課題認識	4 -
1-1-2. 過年度の手法とその課題	4 -
1-1-3. 既存業務フロー	5 -
1-2. 課題解決のアプローチ	8 -
1-3. 創出価値	10 -
1-4. 想定事業機会	11 -
2. 実証実験の概要	12 -
2-1. 実証仮説	12 -
2-2. 実証フロー	13 -
2-3. 検証ポイント	14 -
2-4. 実施体制	15 -
2-5. 実証エリア	16 -
2-6. スケジュール	17 -
3. 開発スコープ	18 -
3-1. 概要	18 -
3-2. 開発内容	19 -
4. 実証システム	21 -
4-1. アーキテクチャ	21 -
4-1-1. システムアーキテクチャ	21 -
4-1-2. データアーキテクチャ	22 -
4-1-3. ハードウェアアーキテクチャ	23 -
4-2. システム機能	28 -
4-2-1. システム機能一覧	28 -
4-2-2. 利用したソフトウェア・ライブラリ	35 -
4-2-3. 開発機能の詳細要件	36 -
4-3. アルゴリズム	204 -
4-3-1. 利用したアルゴリズム	204 -
4-3-2. 開発したアルゴリズム	230 -
4-4. データインタフェース	231 -
4-4-1. ファイル入力インタフェース	231 -
4-4-2. ファイル出力インタフェース	237 -
4-4-3. 内部連携インタフェース	250 -
4-4-4. 外部連携インタフェース	349 -

4-5. 実証に用いたデータ 3	350 -
4-5-1. 活用したデーター覧3	350 -
4-5-2. 生成・変換したデータ3	376 -
4-6. ユーザーインタフェース	377 -
4-6-1. 画面一覧3	377 -
4-6-2. 画面遷移図	384 -
4-6-3. 各画面仕様詳細	387 -
4-7. 実証システムの利用手順	430 -
4-7-1. 実証システムの利用フロー 4	430 -
4-7-2. 各画面操作方法	438 -
5. システムの非機能要件 4	469 -
5-1. 社会実装に向けた非機能要件 4	469 -
5-2. 実証観点での非機能要件 4	473 -
6. 品質 4	477 -
6-1. 機能要件の品質担保	477 -
6-2. 非機能要件の品質担保	478 -
7. 実証技術の非機能要件の検証 4	479 -
7-1. 検証目的 4	479 -
7-2. KPI 4	479 -
7-3. 検証方法と検証シナリオ 4	480 -
7-4. 検証結果 4	481 -
8. 業務効率化検証 4	482 -
8-1. 検証目的 4	482 -
8-2. KPI 4	482 -
8-3. 検証方法と検証シナリオ 4	483 -
8-4. 検証結果 4	485 -
9. 公共政策面での有用性検証 4	491 -
9-1. 検証目的 4	491 -
9-2. 検証方法 4	492 -
9-3. 被験者	494 -
9-4. ヒアリング・アンケートの詳細 4	496 -
9-4-1. アジェンダ・タイムテーブル 4	496 -
9-4-2. アジェンダの詳細 4	496 -
9-4-3. 検証項目と評価方法 4	497 -
9-4-4. 実証実験の様子 4	498 -
9-5. 検証結果 5	503 -
10. 成果と課題 5	517 -
10-1. 本実証で得られた成果 5	517 -

10-1-1. 3D 都市モデルの技術面での優位性	517 -
10-1-2. 3D 都市モデルのビジネス面での優位性	518 -
10-1-3. 3D 都市モデルの公共政策面での優位性	519 -
10-2. 実証実験で得られた課題と対応策	520 -
10-3. 今後の展望	523 -
11. 用語集	524 -

1. ユースケースの概要

1-1. 現状と課題

1-1-1. 課題認識

開発許可制度は、昭和43年(西暦1968年)に市街地の無秩序な拡散を防止する目的で制定された。都市計画 区域内において一定規模以上の開発行為を行う場合、都市計画法第29条に基づく開発許可が必要となる。 開発許可は、下記に示す三段階のプロセスで構成される。 ①事前相談(開発行為の計画段階において、申請者が地方公共団体と実施する任意の事前確認) ②事前協議(開発許可申請前に、開発行為の内容について地方公共団体と実施する法定外の協議) ③開発許可申請(都市計画法第29条に基づく正式な許可申請)

制度開始以来、全国では概ね年間2万件前後の開発許可申請が行われており、開発許可に先立つ事前相談は、 その数倍の件数が発生していると考えられる。

開発許可申請における審査項目は多岐にわたり、地方公共団体担当者には広範な知識が求められる。特に申請 前の事前相談や事前協議への対応が膨大であり、人手が不足する中でベテラン職員の負担となっている。また、 地方公共団体により条例で独自の手続きが定められている場合がある。事業者においても、複数の協議先との 調整や、遠方への訪問、地方公共団体ごとの手続きの差異など、申請手続きにかかる調査、書類準備、そして 協議に多大な負担が生じている。

1-1-2. 過年度の手法とその課題

2022 年度の「開発許可の DX」及び 2023 年度の「開発許可の DX v2.0」では、様々な都市空間情報を 3D 都 市モデル (CityGML) に統合し、「開発許可申請管理システム」として開発許可手続きにおける「事前相談」に 重点を置き、前面道路幅員の自動判定機能、事業者と地方公共団体担当者のオンラインで問合せを受け付ける コミュニケーション機能、提出書類のバージョン管理機能などを開発した。これにより、事業者は開発行為に 必要・不要な手続きを地方公共団体に訪問せず、リモートでシステムから取得できるようになったほか、窓口 で行っていた開発行為の事前相談をオンラインで行うことも可能となり、窓口への訪問調整の手間や各課との 協議時間の削減を実現した。地方公共団体職員としても、突発的な窓口相談対応を計画的な対応に切替え、オ ンラインで受け付けた相談内容をまとめて回答する時間を確保できるようになり、業務の効率化と計画的な時 間配分による働き方改革を実現する可能性を見出すことができた。

一方で、開発許可手続き全体としては、事前相談後に必要となる開発行為の事前協議手続き、公共施設管理者 との 32 条協議(都市計画法第 32 条)、開発許可申請(同第 29 条)と続くことから、事前相談における確認内 容を引継ぎ、開発許可まで一貫した手続きをワンストップで実現するソリューションへの拡張が必要である。 また、地図画面での 3D 表示はデータ通信量が大きく、地方公共団体の庁内環境では表示に時間を要し、運用 に支障が生じるため、2D 表示機能などの軽量データで通信する仕組みも必要である。

1-1-3. 既存業務フロー

まずは、茅野市で行われている開発許可に関わる業務フロー概要、及びボトルネックとなる部分を以下に示す。 茅野市では開発許可は年間5件程度であるが、事前相談及び土地に関する相談は1,200件程度と多くの対応を 行っている。なお、開発許可申請手続きは長野県で行う。



図 1-1 既存業務フロー(長野県茅野市)

実施項目	実施主体	業務概要	
①事前相談	市・県庁	•	開発許可申請手続きに先立ち、事業者は開発行為に関係がある公共施設
			(道路、下水道、公園施設など)の管理者へ同意・協議の手続きを行う(都
			市計画法第 32 条)
		•	このとき、開発許可申請手続きの前までに必要な同意・協議の手続きにつ
			いて、市又は建設事務所と事業者で何の同意・協議が必要なのか、事前相
			談・書類確認を行う
②許可申請	県庁	•	事前相談・公共施設の管理者との同意・協議(都市計画法第 32 条)が得
			られていることを確認し、地方公共団体が開発許可の基準(都市計画法第
			33 条など)に適合していることを確認する
		•	確認完了後、地方公共団体から事業者へ開発行為許可証が交付される
③工事	県庁	•	開発行為許可証を受領後、事業者は開発許可済みの標識を表示し、工事着
			手が可能となる
		•	事業者は着手日から 15 日以内に着工届を提出する必要がある

表 1-1 既存業務概要(長野県茅野市)

uc24-11_技術検証レポート_開発許可の DX v3.0

④完了・検査	県庁	•	工事完了時は完了届出を行い、地方公共団体による完了検査を受ける必
			要がある
		•	検査の結果、工事が開発許可の内容に適合している場合は完了検査済証
			が交付される

次に、木更津市で行われている開発許可に関わる業務フロー概要、及びボトルネックとなる部分を以下に示す。 木更津市は特定行政庁であり、年間 50 件程度の開発許可を行っている。1 件の開発許可に 3 カ月以上を要し、 相談・協議に関わる職員の負担が高く、効率化が課題となっている。



図 1-2 既存業務フロー(千葉県木更津市)

表	1-2	既存業務概要	(千葉県木更津市)
---	-----	--------	-----------

実施項目	実施主体	業務概要	
①事前相談	市	•	事前協議前に、事業者は担当各課に計画を照会し、地方公共団体は必要な
			手続きを指示・回答する
②事前協議・	市	•	事前相談概要を取りまとめ、事前協議を申請する
公共施設管理		•	事業者は担当各課と対応について協議を行う
者との同意		•	3000 m 以上の場合は関係課長による幹事会、1ha 以上の場合は関係部長
			による審査会を実施し、事前協議の同意書を交付する
		•	市に帰属する公共施設・公益的施設がある場合、またその他指示があった
			場合は、開発許可申請手続きに先立ち、事業者は開発行為に関係がある公
			共施設(道路、下水道、公園施設など)の管理者へ同意・協議の手続きを
			行い(都市計画法第 32 条)、協議書を締結する
③許可申請	市	•	事前協議・公共施設の管理者との同意・協議(都市計画法第 32 条)が得
			られていることを確認し、地方公共団体が開発許可の基準(都市計画法第
			33 条など)に適合していることを確認する
		•	確認完了後、地方公共団体から事業者へ開発行為許可証が交付される

uc24-11_技術検証レポート_開発許可の DX v3.0

④工事	市	•	- 開発行為許可証を受領後、事業者は開発許可済みの標識を表示し、工事着	
			手が可能となる	
		•	事業者は着手日から 15 日以内に着工届を提出する必要がある	
⑤完了・検査	市	•	工事完了時は完了届出を行い、地方公共団体による完了検査を受ける必	
			要がある	
		•	検査の結果、工事が開発許可の内容に適合している場合は完了検査済証	
			が交付される	

1-2. 課題解決のアプローチ

過年度から取り組んできた事前相談機能については、地方公共団体の庁内システム環境において 3D 地図の描 画に非常に時間を要し、実運用に支障が生じている状況にある。この主たる原因はシンクライアント環境によ る端末側の処理能力不足、そして通信速度の制約であり、一部の地方公共団体において環境が十分でないため 生じている。これらの課題に対応するため、2D ビューを追加実装することで、軽量なデータでの運用を可能 とし、実装に必要な改善を行うこととした。

また、事前相談から開発許可までの一連の手続きにおいては、事前相談、事前協議、開発許可申請の各段階で 情報を再入力する必要があり、事業者・行政双方の負担となっている。これは、各手続きのシステムが独立し ており、情報連携の仕組みが整備されていないことに起因する。この課題を解決するため、事前相談の結果を 継承し、公共施設管理者との事前協議・同意(都市計画法第32条)、開発許可申請と許可(都市計画法第29 条)に対応する申請・コミュニケーション・様式作成などの機能を追加することとした。



本システムの導入で期待される開発許可に関わる各工程の改善点を以下に示す。

図 1-3 改善後の業務フロー(事前相談)



図 1-4 改善後の業務フロー(事前協議・公共施設管理者との同意、許可申請)

表 1-3 本システム導入による改善点

実施項目	実施主体	本システム導入による改善点
1	事業者	● リモートで概況診断を行うことが可能になるため、移動時間が削
土地状況の確認		減される
		● 提出に必要な書類をシステムにより自動判別するため、必要書類
		確認の時間が削減される
	地方公共団体担	● 利用目的別に土地状況の確認結果が自動で出力されるため、確認
	当者	時間が削減される
		● 提出に必要な書類がそろっているかの確認時間が削減される
2	事業者	● システム内の機能により各課へ問合せを行うことが可能になる
事前相談		ため、移動時間が削減される
		● 確認したい事項に対して、担当課へ自動で問合せ内容が送信され
		るため、問合せ先の選別が不要になる
	地方公共団体担	● システム内の機能で問合せ対応が可能なため、事業者との打ち合
	当者	わせ日時調整などの業務が不要になり、対応時間が削減される
3	事業者	● 事前相談結果を引き継ぎ、システム上で申請を行うことが可能と
事前協議、32条協		なるため、書類作成負担を軽減できる
議		● 各課との協議を、システムを介して行うため、ワンストップで手
		続きでき、移動時間を削減できる
	地方公共団体担	● 必要な書類について揃った状態で申請され、かつ事前相談結果を
	当者	引き継いでいるため、申請書類の確認負担が軽減される
		● システム内の機能で問合せ対応が可能なため、事業者との打ち合
		わせ日時調整などの業務が不要になり、対応時間が削減される
		● 申請に対して、各課の対応状況を一元で確認できるため、主管課
		の管理負担が軽減される
		● 事前協議同意書・32 条協議書の様式をシステムから出力でき、作
		成負担が軽減される
④	事業者	● 事前協議結果を引き継ぎ、システム上で申請を行うことが可能と
許可申請		なるため、書類作成負担を軽減できる
	地方公共団体担	● 開発行為許可証をシステムから出力でき、作成負担が軽減される
	当者	

1-3. 創出価値

国際標準規格である CityGML を採用している 3D 都市モデルは、多様な空間情報を統合するフォーマットとして機能する。この特性を利用し、土地利用、都市計画、景観規制、環境規制、災害リスクなどの様々なデータを 3D 都市モデルに統合してデータベース化し、開発行為の申請に対して適地診断を自動化する。

これによって、事業者は土地の開発における情報収集、その後の事前相談や公共施設管理者との協議、開発許 可申請に関する工程がワンストップかつオンラインにより効率的に進めることが可能となる。地方公共団体と しては、開発許可における事前相談及び申請の履歴がデータベース化され、近隣の履歴と照らし合わせた審査 が可能となるため、目指すべき都市の姿と整合した立地誘導施策などが推進できるほか、オンライン化・自動 化により、行政サービスの質の向上・業務効率化を実現する。

1-4. 想定事業機会

項目	内容
利用者	● 都道府県、市町村(地方公共団体)
	● 不動産事業者、デベロッパー(事業者)
サービス仮説	● 都道府県、市町村向け業務支援サービス
	▶ 情報公開だけでなく、案内・申請審査を支援する GIS サービスを提供
提供価値	 ● 開発に当たっての情報収集、事前相談、公共施設管理者との協議、開発許可申請の効
	率化(事業者)
	● 遠方の開発にあたる事業者の移動負担軽減(事業者)
	● データベース化による近隣の申請状況や相談履歴と照らし合わせた審査を可能とす
	ることで、目指すべき都市の姿と整合した立地誘導施策などの推進(地方公共団体)
	● 窓口対応時間を削減し、相談対応時間を集約した時間効率の向上(地方公共団体)
	● 多数の担当部署が関わる審査において、主管部門(都市計画課)の管理負担の軽減(地
	方公共団体)

表 1-4 想定事業機会

2. 実証実験の概要

2-1. 実証仮説

- 事前相談において入力された計画内容、適地診断の結果及び判定根拠となる GIS データについて、システム上で公共施設管理者との事前協議(都市計画法第 32 条)並びに開発許可申請(都市計画法第 29 条)の各段階に自動的に引き継ぎ、必要書類の作成を支援する機能を実装することにより、事前相談から開発許可申請に至るまでの一連の手続について、ワンストップかつオンラインでの実施を可能とし、事業者における来庁及び書類提出の負担軽減並びに行政職員における窓口対応及び確認作業の効率化を図る
- 利用者が2D表示を選択可能になることにより、職員端末やネットワーク条件に制限がある地方公共団体における開発許可申請管理システムの導入・運用が容易になる

2-2. 実証フロー

実施計画の策定	 実証フィールドとする茅野市と年間活動を確認する。 実証計画を策定する。
要件定義	 木更津市と追加機能の要求事項を確認する。茅野市と機能改善点について確認する。 システム機能・非機能の要件を定める。
判定データ収集	 概況診断に用いる最新のGISデータ、地番図等を借用、整理する。 3D都市モデル基本セット(木更津市)を整備事業者より入手する。
基本設計 システム開発	 基本設計段階、開発初期段階で、検証ポイントを定めたプロトタイプ検証を実施する。 システムを開発、テストし、データを搭載した実証環境を整備する。
実証·検証	 システム導入前の現状把握として、来庁者数を測定する。要件定義段階に広報や運用の位置づけを検討する。 システム導入後の測定、Webアンケート、利用者へのヒアリングを行う。
成果とりまとめ	 ・ 収集した情報から効果を分析する。 ・ 取り組んだ技術、成果を技術検証レポート、OSS化、オープンデータ化する。

図 2-1 実証フロー

2-3. 検証ポイント

- 審査時間の短縮
 - ▶ 事前協議~開発許可までの審査に要する期間を、過去の同規模の申請を対比して確認する
- 窓口対応件数の推移
 - 窓口来訪者数をカウントし、システム導入による変化、また来庁者においてシステムによる対応で可能であった割合(将来効率化の期待値)を確認する。件数から時間を推定し、業務削減量の期待値を確認する

上記2点の検証ポイントについては、業務効率化検証において検証結果を記載する。

- 地方公共団体の PC 環境におけるレスポンス速度
 - ▶ 地方公共団体庁内 PC 環境において、本システムを実用的に表示できるかを確認する
- 事前相談から開発許可に至る庁内事務の一貫性
 - 電子化による書類の抜け漏れ、書類の先祖返りなどの不備(正確性の不足)による手続きの遅滞を削減できたかを確認する
- システム導入による業務効率化
 - ▶ 本システムは事業者・地方公共団体ともに業務効率化に寄与するかを確認する
- システムのユーザビリティ
 - ▶ 今年度開発した本システムにおける UI/UX のわかりやすさ・使いやすさを確認する

上記4点の検証ポイントについては、公共政策面での有用性検証において検証結果を記載する。

2-4. 実施体制

役割	主体	詳細
全体管理	国交省 都市局	 プロジェクト全体ディレクション
	アクセンチュア	 プロジェクト全体マネジメント
実施事業者	アジア航測	● ユースケース実証における企画・開発・検証・運営
実施協力	千葉県木更津市	● 事前協議、公共施設管理者との同意(都市計画法第 32
		条)、許可申請(同第 29 条)の機能要件定義への協力
		● 実証検証(全機能)
	長野県茅野市	● 新規開発機能へのヒアリング
		● 2D ビュー導入による過年度との運用比較
		● 実証検証(事前相談機能)
	たくみ設計工房	● 実証検証(木更津市における申請)

表 2-1 実施体制

2-5. 実証エリア



表 2-2 実証エリア(長野県茅野市)

表 2-3 実証エリア(千葉県木更津市)

項目	内容
実証地	千葉県木更津市
面積	139.00 km²
マップ (対象エリア は赤枠内)	

2-6. スケジュール

実施事項	2024	年								2025	年	
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
1. 計画準備	1											
2. 機能要件・非機能要件の設計		1										
3. 基本設計・実証計画立案			+									
4. 機能開発(2D ビュー)			1									
5. 機能開発(事前協議、許可申請				+		•						
など)				1								
6. 環境構築・庁内説明会						+	•					
7. 実証検証(茅野市)					┥				╈			
8. 実証検証(木更津市)							ŧ					
9. 成果取りまとめ										+		-

表 2-4 スケジュール

3. 開発スコープ

3-1. 概要

2023 年度に開発されたオープンソースソフトウェア(開発許可申請管理システム)を発展させ、事前相談結 果を基に、開発行為の事前協議手続きや都市計画法第 32 条協議、同第 29 条の開発許可申請の管理ができる 機能を追加する。合わせて、地図画面表示のデータ通信量を軽量化するため 2D での表示機能を追加するなど、 UI/UX の改善を図る。

同意書、開発許可証については、地方公共団体ごとに異なる様式に対応できるよう、文書の構成要素(タイト ル、本文、日付、発行者など)を可変項目として設定し、各地方公共団体の様式に合わせて自動生成・発行で きる機能を実装する。また、開発許可手続きの審査には 10以上の部課が関与することもあり、開発許可主管 部署においても、各課の対応状況の把握、リマインドは大きな負担となっているため、審査担当課ごとの進捗 状況の管理や期限到来時の自動通知などの審査状態の管理支援機能を追加し、実用性を向上させる。



図 3-1 サービスイメージ

3-2. 開発内容

過年度から取り組んできた事前相談における機能について、地方公共団体庁内のシステム利用環境に対応する ため 2D ビューを追加し、動作の軽量化を図るとともに、UI/UX の改善を行った。

また、事前相談の結果を継承して、公共施設管理者との事前協議・同意(都市計画法第32条)、開発許可申請 と許可(都市計画法第29条)に対応する申請・コミュニケーション・様式作成などの機能追加を行った。

【事前相談における UI/UX の改善】

UI/UX の改善として、2D 表示への切替え機能を追加し、地方公共団体の庁内の利用では PC や通信環境を考 慮し、初期表示を 2D で適宜 3D へ切替え可能とした。事業者向けには引き続き初期表示を 3D とし、2D への 切替え可能としている。2D 表示では 3D とは異なる MVT 形式 (Mapbox Vector Tiles)のデータを扱うため、 同一表示範囲におけるデータサイズが 20%程度となり、クライアントの PC 及び通信にかかる負担を大幅に 軽減した。そのほか、開発に当たっての条件を確認する場面では地図を縮小して必要な情報を見やすくするよ うに基本レイアウトを改善し、並行する事務処理について対応漏れを防止するためのリマインド通知機能を追 加した。

【事前協議・第 32 条協議機能の追加】

開発行為の事前協議、そして都市計画法第 32 条 (公共施設の管理者の同意など)として、事前相談のオンラ イン相談内容を引き継ぐ形で「再申請」として申請する。その際に、事前相談に対して追加する情報や資料フ ァイルを入力・添付する。申請する事業者の負担軽減、また書類の一貫性が担保されることによって地方公共 団体職員による確認の負担も軽減した。事前協議の申し込みにおいては、受付する統括管理部門によって書類 を確認後、関係課へ回答依頼し、各課で回答を確認後に集約して事業者へ初回の回答を通知する。以降、事業 者と関係課で直接協議を行い、回答の条件を修正する。協議中、条件に変更がある場合は、都度概況診断によ り審査の条項を確認する。協議にはシステムのメッセージ交換(コミュニケーション)機能を利用するほか、 対面も想定する。メッセージ交換機能は、前年度までは事業者からの問合せへの回答に特化していたが、本業 務フローに対応するため、地方公共団体側から事業者へメッセージを発信することができるよう、改善した。 関係課は回答内容が合意に至ったのち、システム上で担当者及び管理者で統括管理部門へ確定通知の了承を入 力する。統括管理部門では全ての確定を確認したのち、事業者へ協議完了を通知する機能を追加した。なお、 通知後に法第 32 条の同意通知書(案)を作成する。同意通知書は、Excel に申請情報を転記した形でシステム が出力し、地方公共団体職員で修正の上で PDF を登録する。Excel の通知書様式は、地方公共団体ごとに設定 可能である。

【開発許可申請機能の追加】

都市計画法第29条(開発行為の許可)として、事前協議結果を引き継いで事業者から「再申請」として申請 することができる。その際に、事前協議段階に対して追加する情報や資料ファイルを入力・添付する。手続き が一連の流れとなることで、事業者、地方公共団体職員ともに負担を軽減する。なお、事前相談・事前協議と 同様に、事業者と地方公共団体職員間のコミュニケーション機能を利用できる。本申請の承認、事業者への完 了通知後、許可通知書(案)を作成する。許可通知書は、Excel に申請情報を転記した形でシステムが出力し、 地方公共団体職員で修正の上で PDF を登録する。Excel の通知書様式は、地方公共団体ごとに設定可能であ る。

【権限管理機能の拡充】

これら一連の手続きと承認管理を統括管理部門、関係課において実施するため、アカウントの権限管理機能を 拡充した。

4. 実証システム

4-1. アーキテクチャ

4-1-1. システムアーキテクチャ



図 4-1 システムアーキテクチャ

4-1-2. データアーキテクチャ



図 4-2 データアーキテクチャ

4-1-3. ハードウェアアーキテクチャ

4-1-3-1. 利用したハードウェア一覧



図 4-3 ハードウェアアーキテクチャ

表 4-1 利用したハードウェア一覧

ID	種別	品番	用途
HW001	Amazon EC2	t3.2xlarge	● 開発許可申請管理システム
			▶ 基本機能
			▶ 適地診断
			▶ 申請
			▶ 回答参照
			▶ 行政管理
HW002	Amazon Simple	-	● メール送信(申請・行政管理)
	Email Service		
HW003	Amazon RDS for	db.t3.medium	● 3D 都市モデルデータベース
	PostgreSQL		● 2D データベース
			● 申請データベース

uc24-11_技術検証レポート_開発許可の DX v3.0

HW004	Amazon S3	Standard	•	ファイルストレージ
				> 図形関連資料
				▶ 添付ファイル
HW005	PC(申請事業者)	-	•	開発許可申請管理システムの利用
HW006	PC(行政管理者)	-	•	開発許可申請管理システムの利用

4-1-3-2. 利用したハードウェア詳細

- 1) 【HW001】 Amazon EC2: t3.2xlarge
- 選定理由
 - > 99.99%の可用性が保証されている
 - ▶ インスタンスタイプや CPU、メモリをスケーラブルに変更可能
 - ▶ AWS の各サービスと柔軟に連携可能
- 仕様・スペック
 - ▶ インスタンスタイプ: t3.2xlarge
 - > CPU: インテル Xeon スケーラブル・プロセッサー
 - ▶ メモリ:32G
 - OS: CentOS
 - ▶ ストレージ量: 200GB(120GB)
- イメージ



Amazon EC2 とは?

✓ Amazon Elastic Compute Cloud (Amazon EC2) は、安全でサイズ変更可能なコンピューティング性能をクラウド内で提供するウェブサービスです。

✔ 信頼性が高く、スケーラブルなオンデマンドのインフラストラクチャにアクセスできます。99.99% の可用性の SLA コミットメントにより、 数分で容量をスケールできます。

✓ アブリケーションのセキュアなコンピューティングを提供します。セキュリティは、<u>AWS Nitro System</u> によって Amazon EC2 の基盤に組み 込まれています。

✔ AWS Graviton ベースのインスタンス、Amazon EC2 スポットインスタンス、および AWS Savings Plans などの柔軟なオプションで、パフ オーマンスとコストを最適化します。

図 4-4 Amazon EC2¹

¹ 公式 HP より抜粋:https://aws.amazon.com/jp/pm/ec2/

uc24-11_技術検証レポート_開発許可の DX v3.0

- 2) [HW002] Amazon Simple Email Service
- 選定理由
 - ▶ 99.99%の可用性が保証されている
 - ▶ インスタンスタイプや CPU、メモリをスケーラブルに変更可能
 - ▶ AWS の各サービスと柔軟に連携可能
- 仕様・スペック
 - ▶ メール送信量:1000件/月
- イメージ

					1	Amazon S3
				\bigcap		Amazon Redshift
	(緊)					Amazon EC2
	Amazon Simple Email Service Configure email sending	Support for owned,	Security and scale with	Transactional and	\rightarrow	AWS Lambda
Customer data	at scale in minutes	dedicated, or shared IP addresses	SPF, DMARC, or DKIM	marketing messaging supported by enagagement reports		Spark on Amazon EMR
]	Use Amazon Kinesis to send engagement data for analysis, processing, and storage

図 4-5 Amazon SES²

- 3) 【HW003】 Amazon RDS for PostgreSQL: db.t3.medium
- 選定理由
 - ▶ 高可用性が保証されている
 - ▶ インスタンスタイプや CPU、メモリをスケーラブルに変更可能
 - ▶ AWS の各サービスと柔軟に連携可能
- 仕様・スペック
 - ▶ インスタンスタイプ: db.t3.medium
 - ▶ ストレージ量: 30GB (30GB)

² 公式 HP より抜粋:https://aws.amazon.com/jp/ses/

● イメージ

							Focus on innovation			
			Security and compliance	Data durability and redundancy			Migrate without rearchitecting app			
	Amazon Relational Database Service Set up, operate, and scale a relational database in the cloud with just a few clicks	azon Relational tabase Service operate, and scale a nal database in the	lational Service , and scale a , base in the			Performance and scalability	Monitoring and alerting]	\rightarrow	Less time managing databases
Connect Connect your app to any of the 7				Automated patching and upgrades	Backup and recovery			Improve database		
Amazon RDS engines			Amazon RDS	managed features			Decrease capital and operational exposes			

図 4-6 Amazon RDS ³

- 4) 【HW004】 Amazon S3: Standard
- 選定理由
 - ▶ 高可用性、耐久性が保証されている
 - > ストレージサービスとして安価に利用可能
 - ▶ AWS の各サービスと柔軟に連携可能
- 仕様・スペック
 - ▶ クラス: Standard
 - ▶ 標準ストレージ: 400GB(130GB)
- イメージ



図 4-7 Amazon S3⁴

³ 公式 HP より抜粋:<u>https://aws.amazon.com/jp/rds/</u>

⁴ 公式 HP より抜粋:https://aws.amazon.com/jp/s3/

uc24-11_技術検証レポート_開発許可の DX v3.0

- 5) 【HW005】PC(申請事業者用)
- 選定理由
 - ▶ 申請事業者が利用する PC として、インターネット閲覧や事務作業などを使用目的とした一般的な スペックの PC を選定
- 仕様・スペック
 - ➤ THINK PAD L15 GEN3 (レノボ・ジャパン)

 - ♦ OS: Windows10 Pro 64bit
 - ♦ CPU : Core i5-10210U (1.6 GHz)
 - ◆ 実装メモリ:8GB
- 6) 【HW006】PC(行政管理者用)
- 選定理由
 - ▶ 申請事業者が利用する PC として、木更津市・茅野市が準備したインターネットアクセス環境
- 仕様・スペック

茅野市シンクライアント端末

下記を 30 人程度でシェアしている状況

- ➢ OS : Windows10 Pro 64bit
- > CPU: Xeon E5-2690 (2.60GH z)
- ▶ 実装メモリ:28.0GB

木更津市仮想ブラウザ

- Microsoft Edge
- ▶ ハードウェアアクセラレーション:ON

4-2. システム機能

4-2-1. システム機能一覧

システム機能一覧

表 4-2 システム機能一覧

大分類 小分類 ID 機能名 機能説明 事業者・行政一般機能 FN001 3D ビュー・2D ● 地図の 2D・3D 表現を切り替える 担当者共通 ビュー • 2D 及び 3D 地図の基本操作を行う FN002 地番検索 対象の地番位置(筆界)を検索する ۲ 検索結果筆界をクリックすると、対象の • 位置に地図表示箇所を移動する アンケートシステムのアンケート収集画 FN003 アンケート機能 |● 面を開く レイヤー覧表示 🗕 FN004 カタログに設定したGISレイヤを一覧 表示し、表示・非表示を切り替える FN056 マニュアル表示 ● 事業者用・行政担当者用操作マニュアル を表示する 事業者向け一般機能 システム利用規約を表示し、同意の意思 FN005 利用者規約表示 ● 機能 を確認する 適地診断機 FN006 申請区分選択 システム構築時の設定作業で設定した、 能 開発行為の区分を選択させる FN007 地番情報検索又は地図上から筆界を選択 申請範囲選択 • することにより、開発行為を予定してい る地番を選択させる 選択した申請区分及び申請範囲情報か FN008 概況把握・診断 |● ら、各法律・条項に関連する事前相談必要 可否・事業者への対応助言内容など、事業 者に案内すべき内容を表示する 対象行を選択することで申請地番と判定 • データのレイヤを地図上に表示する FN009 概況把握・診断の表示結果を帳票様式で 帳票出力 Excel 出力する 対象範囲周辺の地図画像(2D表現)を帳 • 票に引用する

※赤文字:既存改修・既存機能を流用した開発、赤下線:新規開発

			•	帳票作成はサーバ側で行い、ダウンロー
				ド準備出来次第、利用者へ通知する
事前相談申	FN010	申請者情報入力	•	申請者情報を入力する
請機能			•	入力項目は氏名・メールアドレスを必須
				とし、10 項目程度を設定可能とする
	FN011	ファイルアップ	•	概況診断結果に関連付けられている、法
		ロード		律・条項に該当する提出ファイルをアッ
				プロードする
	FN012	ID など発行	•	申請時の ID・パスワードを生成・発行す
				3
	FN013	申請登録	•	申請が完了した旨、申請者及び行政担当
				者へメールで通知する。その際、申請時
				ID・パスワードと回答予定日数を記載す
				3
	FN014	再申請・次段階	•	回答を踏まえて、申請条件及び添付書類
		申請		を変更して再申請を行う
			•	申請ごとに、書類は版番号で管理する
			•	事前相談の内容が完了(全て再申請不要)
				となった段階で事前協議/32 条協議申請
				への申請となる
事前協議	FN029	申請者情報入力	•	事前協議申請で新たに必要となる申請追
/32 条協議		(追加分)		加情報を入力する
申請機能			•	入力項目は 20 種程度を設定可能とする
	FN030	ファイルアップ	•	概況診断結果に関連付けられている、法
		ロード		律・条項に該当する提出ファイルをアッ
				プロードする
	FN031	申請登録	•	申請が完了した旨、申請者及び行政担当
				者へメールで通知する。その際、申請時
				ID・パスワードと回答予定日数を記載す
				3
	FN032	同意項目合意登	•	行政が回答した開発行為における各種条
		録		件内容について、合意を登録する
	FN033	再申請・次段階	•	回答を踏まえて、申請条件及び添付書類
		申請		を変更して再申請を行う
			•	申請ごとに、書類は版番号で管理する
			•	事前協議/32 条協議の内容が完了した段
				階で許可申請への申請

	許可申請	FN034	申請者情報入力	•	許可申請で新たに必要となる申請追加情
			(追加分)		報を入力する
				•	入力項目は 20 種程度を設定可能とする
				•	申請区分は変更不可とする
		FN035	ファイルアップ	•	概況診断結果に関連付けられている、法
			ロード		律・条項に該当する提出ファイルをアッ
					プロードする
		FN036	申請登録	•	申請が完了した旨、申請者及び行政担当
					者へメールで通知する。その際、申請時
					ID・パスワードと回答予定日数を記載す
					る
		FN037	再申請	•	回答を踏まえて、申請条件及び添付書類
					を変更して再申請を行う
				•	申請ごとに、書類は版番号で管理する
	回答参照	FN015	申請時 ID 認証	•	申請時の ID・パスワードを入力・認証す
					る
		FN016	回答参照	•	申請時 ID 認証で照合した場合、申請内容
					に対する行政担当者からの回答内容を確
					認する
		FN017	回答ファイルダ	•	申請時 ID 認証で照合した場合、申請内容
			ウンロード		に対する行政担当者からの回答添付ファ
					イルをダウンロードする
		FN018	回答レポート出	•	申請時 ID 認証で照合した場合、申請内容
			Ъ		に対する行政担当者からの回答内容を帳
					票様式で Excel 出力する
		FN038	各種帳票出力	•	各申請段階の申請・回答が全て完了した
					時点で、各種帳票を自動生成する
				•	生成された各種帳票データをダウンロー
					ドする
		FN019	回答への問合せ	•	行政からの回答に対して、事業者からチ
					ャット形式で問合せを行う
行政担当者	行政管理共	FN020	ログイン認証	•	システム構築時の設定作業で設定した行
向け機能	通機能				政担当者の ID・パスワードを認証する
		FN021	申請情報検索・	•	事業者申請時の入力情報、ステータスを
			参照		検索条件とし、申請情報を検索する
		FN027	問合せ情報検	•	事業者申請時の入力情報、ステータス、担
			索・参照		当課、回答者を検索条件とし、問合せ情報

				を検索する
	FN028	担当課の問合	•	ログインユーザーの部署を検索条件とし
		せ・回答情報検		て、未回答の問合せ、事前相談申請、事前
		索・参照		協議/32 条協議申請、許可申請情報を検索
				する
事前相談申	FN022	申請時ファイル	•	申請時に登録されたファイルをダウンロ
請回答機能		ダウンロード		ードする
	FN023	回答情報入力	•	申請情報に対し、回答を記載する
		(再申請に対	•	回答は、ログイン時アカウントに関連付
		応)		けられた対象の法律・条項のみ、登録可能
				なものとする
	FN024	回答完了	•	対象申請 ID の回答項目について、各アカ
				ウントでの回答が完了した場合、対象申
				請IDのステータスを変更し、行政担当者:
				管理アカウント (通知アカウント)に対し
				てメール通知する
	FN025	回答通知	•	事業者に対し、回答が完了した旨をメー
				ル通知する
	FN026	問合せへの助言	•	事業者からの事前相談の申請に対して、
				チャット形式でメッセージを送信する
			•	事前相談の回答に対して事業者から問合
				せがあった場合にチャット形式で返答す
				3
事 前 協 議	FN039	申請時ファイル	•	申請時に登録されたファイルをダウンロ
/32 条協議		<u>ダウンロード</u>		ードする
申請回答機	FN040	回答情報入力	•	申請情報に対し、同意書に印字する回答
能		(再申請に対		を記載する
		応)	•	回答は、ログイン時アカウントに関連付
				けられた対象の法律・条項のみ、登録可能
				なものとする
			•	32 条協議の必要有無について、登録でき
				3
			•	事業者が合意するまで修正できる
	FN041	回答完了	•	対象申請 ID の回答項目について、各アカ
				ウントでの回答が完了した場合、対象申
				請IDのステータスを変更し、行政担当者:
				管理アカウント (通知アカウント) に対し

				てメール通知する
	FN042	回答通知	•	事業者に対し、回答が完了した旨をメー
				ル通知する
	FN046	事前協議合意登	•	事前協議/32条協議の登録内容に対し、事
		録		業者が合意回答をした場合、対象の条項
				に対し、行政同意日を登録する
			•	事前協議同意書・32 条協議同意書、その
				他同意時に通知する様式のデータが入力
				された Excel データをダウンロードし、
				修正後、PDF 形式で、アップロードする
	FN047	事前協議合意時	•	事業者に対し、回答が完了した旨をメー
		再回答通知		ル通知する
	FN048	問合せへの助言	•	事業者からの事前協議/32 条協議の申請
				に対して、チャット形式でメッセージを
				送信する
			•	事前協議/32 条協議の回答に対して事業
				者から問合せがあった場合にチャット形
				式で返答する
許可申請回	FN049	申請時ファイル	•	申請時に登録されたファイルをダウンロ
答機能		<u>ダウンロード</u>		ードする
	FN050	回答情報入力	•	申請情報に対し、回答を記載する
		(再申請に対	•	回答は、ログイン時アカウントに関連付
		<u>応)</u>		けられた対象の法律・条項のみ、登録可能
				なものとする
	FN051	回答完了	•	対象申請 ID の回答項目について、各アカ
				ウントでの回答が完了した場合、対象申
				請IDのステータスを変更し、行政担当者:
				管理アカウント(通知アカウント)に対し
				てメール通知する
	FN052	回答通知	•	事業者に対し、回答が完了した旨をメー
				ル通知する
	FN053	問合せへの助言	•	事業者からの許可申請に対して、チャッ
				ト形式でメッセージを送信する
			•	許可申請の回答に対して事業者から問合
				せがあった場合にチャット形式で返答す
				3
	FN055	許可完了時添付	•	許可完了のタイミングで、事業者が提出

			<u>ファイル整理</u>		した資料、FN038:各種帳票出力において
					システムで自動生成した帳票(開発登録
					簿頭紙)を集約しファイル管理、ダウンロ
					ードが可能とする
その他	通知機能	FN054	リマインド通知	•	FN038、FN023、FN024、FN026、FN040、
					FN041、FN046、FN048、FN050、FN051、
					FN053 において、期限残り日数・超過状
					況を課ごとにメールで取りまとめ、指定
					時刻にメール通知する

2) 概況把握・診断の解析機能の一覧

表 4-3 概況把握・診断の解析機能一覧

※赤文字:新規開発・既存改修

分類	ID	機能名	機能説明
申請区分判定	FN101	申請区分判定	● 「申請区分選択で選択した申請区分」が、対象の法
			律・条項に関する申請要件と該当したとき、事業者
			に案内すべき内容を表示する
空間判定	FN102	図形重なり時判	● 「申請範囲選択で選択した申請範囲」+「対象の法
		定	律・条項に関する開発許可申請判定データ」の空間
			解析を行い、空間データが一部でも重なったとき、
			事業者に案内すべき内容を表示する
	FN103	図形"非"重なり	● 「申請範囲選択で選択した申請範囲」+「対象の法
		時判定	律・条項に関する開発許可申請判定データ」の空間
			解析を行い、空間データが一部も重ならなかったと
			き、事業者に案内すべき内容を表示する
	FN104	図形+バッファ	● 「申請範囲選択で選択した申請範囲」+「対象の法
		重なり時判定	律・条項に関する開発許可申請判定データ+バッフ
			ァ XX m」 の空間解析を行い、空間データが一部でも
			重なったとき、事業者に案内すべき内容を表示する
	FN105	図形+バッファ	● 「申請範囲選択で選択した申請範囲」+「対象の法
		"非"重なり時判	律・条項に関する開発許可申請判定データ+バッフ
		定	ァ XX m」 の空間解析を行い、空間データが一部も重
			ならなかったとき、事業者に案内すべき内容を表示
			する
	FN106	図形重なり時の	● 「申請範囲選択で選択した申請範囲」+「対象の法
		属性表示	律・条項に関する開発許可申請判定データ」の空間

				解析を行い、空間データが一部でも重なったとき、
				「対象の法律・条項に関する開発許可申請判定デー
				タ」の属性情報を表示する
	FN107	図形+バッファ	•	「申請範囲選択で選択した申請範囲」+「対象の法
		重なり時の属性		律・条項に関する開発許可申請判定データ+バッフ
		表示		ァ XX m」 の空間解析を行い、空間データが一部でも
				重なったとき、「対象の法律・条項に関する開発許可
				申請判定データ」の属性情報を表示する
	FN108	図形からの距離	•	「申請範囲選択で選択した申請範囲」 + 「対象の法
		測定機能		律・条項に関する開発許可申請判定データ」の空間
				解析を行い、「申請範囲選択で選択した申請範囲」か
				ら一番近い「対象の法律・条項に関する開発許可申
				請判定データ」の距離を表示する
	FN109	判定結果の図形	•	「対象の法律・条項に関する開発許可申請判定デー
		表示		タ」を、概況把握・診断の表示結果行をクリックす
				ることで表示切替えする
	FN110	前面道路判定	•	「申請範囲選択で選択した申請範囲」に隣接する道
				路を判定する。複数道路に面する場合がある
	FN111	道路幅員表示	•	道路の幅員を表示・案内する
	FN112	隣接歩道判定	•	隣接歩道の有無を表示・案内する
	FN113	判定結果複数表	•	判定結果が複数該当した際、判定結果の行を分けて
		示		表示する(用途地域がまたがる、前面道路が複数該
				当するなど)

3) データ変換機能の一覧

表 4-4 データ変換機能一覧

※赤文字:新規開発・既存改修

分類	ID	機能名	機能説明
空間判定用デー	FN201	shp to dump 変	● 「対象の法律・条項に関する開発許可申請判定デー
タ		換機能	タ」として使用するデータ(shp 形式)を PostgreSQL
			に取り込み可能な dump 形式に変換する
	FN202	CityGML to	● 「対象の法律・条項に関する開発許可申請判定デー
		dump 変換機能	タ」として使用するデータ(CityGML 形式)を
			PostgreSQL に取り込み可能な dump 形式に変換す
			3
表示用データ	FN203	CityGML to	● CityGML 形式の建築物 LOD1・LOD2 データを本シ

3DTiles 変換機	ステムで表示可能な 3DTiles 形式に変換する
能	

4-2-2. 利用したソフトウェア・ライブラリ

表 4-5 利用したソフトウェア・ライブラリ

※赤文字:新規開発・既存改修

ID	項目	内容
SL001	Apache HTTP Server	● Apache ソフトウェア財団が保有する、Web アプリで配信を行う
		ための Web サーバソフトウェア
SL002	TerriaJS	● CSIRO が提供する、UI の提供及び UI を介して CesiumJS, Leaflet
		の描画機能を制御するためのライブラリ
SL003	CesiumJS	● Ansys Government Initiatives (AGI)が提供する、3D ビューワ上に
		データを描画するためのライブラリ
SL004	Node.js	● Joyent 社が保有する、3D ビューワの実行環境
SL005	Apache POI	● Apache ソフトウェア財団が提供する、帳票出力で、Excel 出力を
		行うライブラリ
SL006	Apache Tomcat	● Apache ソフトウェア財団が提供する、GeoServer、カスタムアプ
		リを起動する J2EE の SDK
SL007	Spring Boot	● VMware, Inc が提供する、Java で利用可能な Web アプリのフレ
		ームワーク
SL008	GeoServer	● OpenGeo, GeoSolutions, Refractions Research が保有する、
		各種データを WMS 及び WFS などで配信するための GIS サーバ
SL009	PostgreSQL	● PostgreSQL Global Development Group が保有する、各種配信
		するデータを格納するリレーショナルデータベース
SL010	PostGIS	● Refractions Research が保有する、PostgreSQL で位置情報を扱
		うことを可能とする拡張機能
SL011	React.js	● Meta とコミュニティが提供する、JavaScript のフレームワーク内
		で機能する UI を構築するためのライブラリ ⁵
SL012	marker.js	● markerjs.com が提供する、画像データへの図形や文字情報の書き
		込みをブラウザ上で行うライブラリ ⁶
SL013	tiff.js	● seikichi@kmc.gr.jp が提供する、Tiff ファイルをブラウザで閲覧・
		編集可能な PNG 形式に変換するライブラリ ⁷

⁵ 公式 HP より抜粋:<u>https://ja.legacy.reactjs.org/</u>

⁶ 公式 HP より抜粋:<u>https://markerjs.com/demos/all-defaults/</u>

⁷ 公式 HP より抜粋:https://github.com/seikichi/tiff.js
SL014	PDF.js	•	Mozilla Foundation が提供する、PDF ファイルをプレビューする	
			ライブラリ ⁸	
SL015	PDFBox	•	Apache ソフトウェア財団が提供する、PDF 文章を扱うライブラ	
			リで、PDF ファイルの画像ファイル変換に利用	
SL016	FME Form	•	Safe Software 社が提供する CityGML 形式のデータをアプリケー	
			ションで利用可能な形式に変換するソフトウェア ⁹	
SL017	QGIS	•	QGIS.ORG が提供する各種 GIS データをアプリケーションで利用	
			可能な形式に変換するオープンソース GIS ソフトウェア ¹⁰	
SL018	Leaflet	•	Vladimir Agafonkin が提供する 2D ビューワ上にデータを描画す	
			るためのライブラリ	
SL019	Selenium	•	Software Freedom Conservancy が提供する仮想ブラウザでの操	
	WebDriverWebDriver		作をシミュレートするためのライブラリ	

4-2-3. 開発機能の詳細要件

開発機能の詳細要件を記す。なお、本業務において新規開発した要素(機能名)を赤字で示す。

- 1) 事業者・行政担当者共通機能一覧
- 1. 【FN001】 3D ビュー・2D ビュー
- 機能概要
 - ▶ 地図の 2D・3D 表現を切り替える。
 - > 3D 地図で以下の基本操作を行う
 - ◆ 3次元地図を表示する
 - ◆ 3次元地図をマウスホイールで拡大・縮小する
 - ◆ 3次元地図をマウス操作で移動する
 - ◆ 3次元地図をマウス操作で視点変更する
 - > 2D 地図で以下の基本操作を行う
 - ◆ 2次元地図を表示する
 - ◆ 2次元地図をマウスホイールで拡大・縮小する
 - ◆ 2次元地図をマウス操作で移動する
- フローチャート

⁸ 公式 HP より抜粋:<u>https://mozilla.github.io/pdf.js/</u>

⁹ 公式 HP より抜粋:https://fme.safe.com/platform/

¹⁰ 公式 HP より抜粋:https://www.qgis.org/ja/site/



図 4-8 3D ビュー・2D ビューのフローチャート

- データ仕様
 - ▶ 入力

◆ なし

- ▶ 出力
 - ◆ 航空写真
 - 内容

▶ 3D ビュー・2D ビュー背景に表示する航空写真

- 形式
 - ➤ XYZ タイル
- データ詳細

▶ ファイル入力インタフェース【IF013】を参照

- ◆ 地盤データ
 - 内容
 - ▶ 3D ビュー背景に重ね合わせる地盤データ

- 形式
 - ➤ Terrain 形式
- データ詳細
- ▶ データ:ファイル入力インタフェース【IF012】を参照
- ◆ 建物モデル(3D)
 - 内容
 - ▶ 3D ビュー背景に重ね合わせる建物モデル
 - 形式
 - ➤ 3DTiles 形式
 - データ詳細
 - ファイル入力インタフェース【IF008】を参照
- - 内容

▶ 2D ビュー背景に重ね合わせる建物モデル

- 形式
 - ➢ MVT 形式
- データ詳細
 - ▶ ファイル入力インタフェース【IF011】を参照
- ◆ 各種規制データ
 - 内容
 - ▶ 各種規制データレイヤ情報
 - 形式
 - ➤ WMS
 - データ詳細
 - ▶ 3D ビュー背景に重ね合わせる建物モデル
 - ▶ GeoServerを使用(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL008】を参照)
- 機能詳細
 - ▶ 3Dビュー
 - ◆ 処理内容
 - 3DViewer ソースコード上の wwwroot/init 以下に配置した初期ファイルを読み込み、初 期ファイルに設定されたカメラ位置で 3D ビューの初期表示を行う
 - 初期ファイルの catalog プロパティにセットされている項目をレイヤー覧としてロード、 表示
 - 初期ファイルの workbench 属性に設定された項目を workbench にロードしレイヤとして 3Dビュー上に初期表示
 - レイヤー覧で選択を行うことで workbech から catalog の追加・削除を行い 3D ビュー上の表示・非表示を切替え
 - ◆ 利用するライブラリ

- TerriaJS (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL002】を参照)
- CesiumJS(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL003】を参照)
- ▶ 2Dビュー
 - 3DViewer ソースコード上の wwwroot/init 以下に配置した初期ファイルを読み込み、初 期ファイルに設定されたカメラの表示範囲で 2D ビューの初期表示を行う
 - 初期ファイルの catalog プロパティにセットされている項目をレイヤー覧としてロード、
 表示
 - 初期ファイルの workbench 属性に設定された項目を workbench にロードしレイヤとして
 2D ビュー上に初期表示
 - レイヤー覧で選択を行うことで workbech から catalog の追加・削除を行い 2D ビュー上 の表示・非表示を切替え
 - ◆ 利用するライブラリ
 - TerriaJS (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL002】を参照)
 - Leaflet (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL018】を参照)
- 2. 【FN002】地番検索
- 機能概要
 - > 対象の地番位置(筆界)を検索する
 - ▶ 地番を大字(選択肢から選択形式)→地番(手動入力)で入力し、入力した地番を「含む」検索を実行する。一致した検索結果筆界一覧を表示し、一覧の行をクリックすると、対象の位置に移動する



図 4-9 地番検索のフローチャート

- データ仕様
 - ▶ 入力
 - ◆ 地番検索条件情報
 - 内容

> フロントエンドで入力した検索条件情報(町丁名・地番)

- 形式
 - ➢ APIリクエスト
- データ詳細
 - ▶ 内部連携インタフェース【IF249】を参照
 - ▶ 内部連携インタフェース【IF250】を参照
- ▶ 出力
 - ◆ 町丁目一覧情報
 - 内容
 - ▶ 検索条件として入力する町丁目一覧情報

- 形式
 - ➢ APIリクエスト
- データ詳細
 - ▶ 内部連携インタフェース【IF245】を参照
- ◆ 地番検索結果テーブル項目情報
 - 内容
 - ▶ 検索結果として表示するテーブルの項目情報
 - 形式
 - ➢ APIリクエスト
 - データ詳細
 - ▶ 内部連携インタフェース【IF244】を参照
- ◆ 地番一覧情報
 - 内容
 - ▶ 地番一覧情報
 - 形式
 - レスポンス
 - データ詳細
 - ▶ 内部連携インタフェース【IF249】を参照
 - ▶ 内部連携インタフェース【IF250】【IF266】を参照
- ◆ 地番検索結果(行政)レイヤ
 - 内容
 - ▶ 地番検索結果(行政)のレイヤ情報
 - 形式
 - ➤ WMS
 - データ詳細
 - ▶ データ:DT101
 - ▶ GeoServerを使用(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL008】を参照)
- ◆ 地番検索結果(事業者)レイヤ
 - 内容
 - ▶ 地番検索結果(事業者)のレイヤ情報
 - 形式
 - ➤ WMS
 - データ詳細
 - ▶ データ:DT101
 - ➤ GeoServerを使用(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL008】を参照

- 機能詳細
 - ▶ 地番検索
 - ◇ 処理内容
 - フロントエンドで入力された町丁名(一覧から選択)と地番(自由入力)をもとに API リ クエストを実施
 - バックエンドで AND 条件込みの SQL を生成して DB に格納された地番データを検索
 - 該当データがある場合は地番 DTO(Data Transfer Object) ※1の一覧を返却しフロント エンドで一覧表示
 - 該当データがない場合は空の DTO を返却しフロントエンドで検索結果が該当しない旨を 表示
 - フロントエンドの地図上で、地番 DTO※1の緯度経度情報を使用し対象地点にフォーカス
 ※1:大字 ID、地番 ID、地番、緯度経度などを保持したオブジェクト
 - ◆ 利用するライブラリ
 - TerriaJS (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL002】を参照)
 - CesiumJS(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL003】を参照)
 - Node.js(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL004】を参照)
 - Spring Boot (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - GeoServer (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL008】を参照)
 - PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)
 - PostGIS (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL010】を参照)
 - Leaflet (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL018】を参照)

- 3. 【FN003】アンケート機能
- 機能概要
 - 事業者がトップ画面で利用目的を選択して、アンケートシステムのアンケート収集画面を開く
 行政がログインするとともに、アンケートシステムのアンケート収集画面を開く
- フローチャート



図 4-10 アンケート機能(事業者)のフローチャート



※アンケート実施は設定で有効/無効変更可

<凡例>		
出力	入力	DB
処理	分岐	ファイル

図 4-11 アンケート機能(行政)のフローチャート

- データ仕様
 - ▶ 入力
 - ♦ customconfig.json
 - 内容
 - ▶ カスタマイズ定数定義ファイル
 - 形式
 - ▶ JSON ファイル
 - データ詳細
 - ▶ 3DViewer ソースコード上の packages/terriajs 以下に配置したファイル
 - ▶ 事業者向けアンケート収集画面の URL が下記で定義されている
 - https://forms.office.com/pages/responsepage.aspx?id=sfo3rLbr80SWX7Llu-PNwUvPkMVtA1BCrPo_6gO6t89UN0w1MFAyTERZNDc0Q0xaRDFGVTFCRzVUVi4 u
 - ▶ 行政向けアンケート収集画面の URL が下記で定義されている
 - https://forms.office.com/pages/responsepage.aspx?id=sfo3rLbr80SWX7Llu-PNwUvPkMVtA1BCrPo_6gO6t89UODFMUIExTUIYMTFSQUFOMIFBNIgyUDk5Ui4

u

- ▶ 内部連携インタフェース【IF251】【IF252】を参照
- ▶ 出力

◇ なし

- 機能詳細
 - ▶ 事業者向けアンケート収集画面を開く
 - ◆ 処理内容
 - アンケート実施タイミング①で、初期画面のアンケート有効設定を判断して、trueの場合、 事業者向けアンケート収集画面を開く
 - アンケート実施タイミング②で、概況診断結果帳票出力のアンケート有効設定を判断して、 trueの場合、事業者向けアンケート収集画面を開く
 - アンケート実施タイミング③で、申請完了のアンケート有効設定を判断して、trueの場合、
 事業者向けアンケート収集画面を開く
 - ◆ 利用するライブラリ
 - なし
 - ◆ 利用するアルゴリズム
 - なし
 - ▶ 行政向けアンケート収集画面開く
 - ◆ 処理内容
 - アンケート実施タイミング①で、行政向けアンケート収集画面を開く
 - アンケート実施タイミング②で、行政向けアンケート収集画面を開く
 - ◆ 利用するライブラリ
 - なし
 - ◆ 利用するアルゴリズム
 - なし

- 4. 【FN004】レイヤー覧表示
- 機能概要
 - ▶ カタログに事前にセット済みのレイヤを画面に一覧表示する
 - ▶ レイヤー覧チェックボックスにより、地図上のレイヤ表示・非表示を切り替える
 - ▶ ドラッグアンドドロップでレイヤの表示順を並び替える
- フローチャート



図 4-12 レイヤー覧表示のフローチャート (1/2)

◇ 「 ファイル

処理



- データ仕様
 - ▶ 入力
 - ◆ 初期ファイル
 - 内容
 - カスタマイズプロパティ内容定義ファイル
 - 形式
 - ▶ JSON ファイル
 - データ詳細
 - ▶ データ:DT001~038、DT101~117、DT119~124
 - > 3DViewer ソースコード上の wwwroot/init 以下に配置したファイル
 - ファイル名称は同ソースコード上の wwwroot/config.json の initializationUrls プロ パティで設定した名称
 - 詳細仕様は TerriaJS の公式ドキュメント(Initialization Files TerriaJS)を参照
 - ◆ 3D都市モデル(3DTiles)
 - 内容
 - ▶ 本システムで表示を行う 3D 都市モデルデータ
 - 形式
 - ➤ 3DTiles 形式

- データ詳細
 - ファイル入力インタフェース【IF008】を参照
- - 内容
 - ▶ 2D ビュー背景に重ね合わせる建物モデル
 - 形式
 - ➢ MVT 形式
 - データ詳細
 - ▶ ファイル入力インタフェース【IF011】を参照
- ▶ 出力
 - ◆ 各種規制データ
 - 内容
 - ▶ 各種規制データレイヤ情報
 - 形式
 - ➤ WMS
 - データ詳細
 - ▶ ファイル入力インタフェース【IF010】を参照
 - GeoServerを使用(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL008】を参照)
- 機能詳細
 - ▶ レイヤー覧表示
 - ◆ 処理内容
 - TerriaJS 上の変数 Viewstate を参照し、カタログに設定したレイヤリストを表示用レイヤ リストの形に転換して、転換した表示用レイヤリストを Viewstate に格納して画面に表示 する
 - カタログに設定したレイヤリストをバックアップして、Viewstate に格納する
 - 各レイヤの凡例は GeoServer から取得して、画面に表示する
 - ◆ 利用するライブラリ
 - TerriaJS (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL002】を参照)
 - CesiumJS(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL003】を参照)
 - Node.js (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL004】を参照)
 - GeoServer (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL008】を参照)
 - Leaflet (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL018】を参照)
 - ▶ レイヤ表示・非表示切替え
 - ◆ 処理内容
 - レイヤの選択状態が選択中になると、Terria の Workbench に該当レイヤを追加して、
 Workbench にあるレイヤリストの表示順をレイヤ一覧に合わせて更新する
 - レイヤの選択状態が未選択になると、Terriaの Workbench に該当レイヤを削除する

- ◇ 利用するライブラリ
 - TerriaJS (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL002】を参照)
 - CesiumJS(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL003】を参照)
 - Leaflet (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL018】を参照)
- ドラッグアンドドロップで並び替え
 - ◆ 処理内容
 - ドラッグ対象の親 ID は移動先の親 ID と異なる場合、移動不可とする
 - ドラッグ対象又は、移動先がドラッグ不可対象リストにある場合、移動不可とする
 - 移動先の対象がフォルダの場合、ドラッグ対象を移動先の前又は、移動先の全て子要素の 後に移動する
 - ドラッグ対象がフォルダの場合、フォルダ内のレイヤをまとめて移動する
 - 表示用レイヤリストを並び替えて、地図上のレイヤ表示順を更新する
 - ◆ 利用するライブラリ
 - TerriaJS(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL002】を参照)
 - CesiumJS(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL003】を参照)
 - Leaflet (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL018】を参照)

- 5. 【FN056】マニュアル表示
- 機能概要
 - ▶ 事業者用・行政担当者用操作マニュアルを表示する。
- フローチャート



図 4-14 マニュアル表示のフローチャート

- データ仕様
 - ▶ 入力

◇ なし

▶ 出力

◇ マニュアル

- 内容
 - ▶ 利用者が参照する操作マニュアル
- 形式
 - PDF
- データ詳細
 - ▶ ファイル出力インタフェース【IF109】を参照
 - ▶ 内部連携インタフェース【IF237】を参照
- 機能詳細

マニュアル表示

- ◆ 処理内容
 - ユーザーからのリクエストトークンを検証し、事業者か行政担当者かを判定する

- 事業者の場合、事業者向けマニュアルを取得して画面に表示する
- 行政担当者の場合、行政担当者向けマニュアルを取得して画面に表示する
- トークン不正の場合エラーメッセージを表示する
- ◆ 利用するライブラリ
 - Spring Boot (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
- 2) 事業者向け機能一覧
- 1. 【FN005】利用者規約表示
- 機能概要
 - ▶ システム利用規約を表示し、同意の意思を確認する
- フローチャート



図 4-15 利用者規約表示のフローチャート

- データ仕様
 - ▶ 入力
 - ◇ 画面コード
 - 内容
 - ▶ 利用者規約表示に対するラベルテーブルの画面コード
 - 形式
 - ➢ APIリクエスト
 - データ詳細
 - ▶ 内部連携インタフェース【IF243】を参照
 - ▶ 出力

- ◆ ラベル情報
 - 内容
 - 利用者規約表示用ラベル情報
 - 形式
 - ▶ レスポンス
 - データ詳細
 - ▶ 内部連携インタフェース【IF243】を参照
- 機能詳細
 - 利用者規約表示
 - ◆ 処理内容
 - 公開サイトの初期ロード時、フロントエンドで token の認証チェックを自動的に実施 (token の生成には JWT (JSON Web Token)を採用し、署名アルゴリズムは HMAC SHA-256※1 を使用)
 - token がない場合又は事業者用 token で認証に失敗した場合、事業者用 token を新たに生成し返却
 - 行政ユーザーの token を保持している場合行政初期画面を表示し、事業者用 token を保持 している場合事業者用初期画面を表示
 - 事業者用初期画面ロード時にラベル取得 API に問い合わせを行い、取得された内容を利用 者規約として画面表示

※1:SHA256 ハッシュ関数を用いて署名を計算するキー付きハッシュアルゴリズムの一種

- ◆ 利用するライブラリ
 - Spring Boot (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)
- 2. 【FN006】申請区分選択
- 機能概要
 - システム構築時の設定作業で設定した、開発行為の区分を選択させる
 - > システム構築時の設定作業により、下記内容の設定ができるようにする
 - ◆ 選択させる区分の数(最大 10 個)
 - ◆ 選択させる区分のタイトル
 - ◆ 選択させる区分の説明文
 - ◆ 選択させる区分の概況診断タイプ
 - ◆ 区分の選択肢内容
 - ◆ 区分の選択方法(複数選択・単一選択)
 - 申請種類(SE 設定により複数設定可。本実証では開発許可のみ設定。)のプルダウンを選択することで、表示・判定に使用される申請区分リストを切り替える
 - > 回答内容確認画面から遷移する場合、前回申請で選択された申請区分を選択中で初期表示する



図 4-16 申請区分選択のフローチャート

- データ仕様
 - ▶ 入力
 - ◆ 選択済み申請区分一覧情報
 - 内容
 - ▶ ユーザーが選択済みの申請区分一覧情報
 - 形式
 - ➢ ViewState に格納
 - データ詳細
 - ▶ 内部連携インタフェース【IF223】【IF258】を参照

- ▶ 出力
 - ◆ 申請区分一覧情報
 - 内容
 - ▶ 申請区分一覧情報
 - 形式
 - ➢ APIリクエスト
 - データ詳細
 - ト 内部連携インタフェース【IF223】【IF258】を参照
- 機能詳細
 - 申請区分一覧表示・選択
 - ◆ 処理内容
 - 申請区分一覧を取得する
 - 回答内容確認画面から遷移する場合、前回申請で登録済み申請区分を取得して、申請区分 一覧に設定する
 - 選択した申請種類から、表示される申請区分リストを切り替えて表示する
 - 複数選択が無効の申請区分の場合、チェックボックスから複数選択可能とし、選択項目を 一覧表示する
 - 複数選択が有効の申請区分の場合、プルダウンから単一選択可能とし、選択項目をプルダウン表示する
 - M_申請区分選択画面の必須有無がありの項目の場合、必須チェックを行う
 - 入力された選択済み申請区分情報を ViewState に格納する
 - ◆ 利用するライブラリ
 - Spring Boot (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)
- 3. 【FN007】申請範囲選択
- 機能概要
 - ▶ 地番情報検索画面を表示し、開発行為を予定している地番を選択させる
 - ▶ 選択方法は以下の3パターンとする
 - ◆ 地番文字情報の検索結果から選択
 - ◆ 地図上でクリックした地点に該当する筆界を選択
 - ◆ 地図上のドラッグした範囲に含まれる筆界を選択(Alt キー押下+マウスドラッグ)



図 4-17 申請範囲選択のフローチャート

- データ仕様
 - ▶ 入力
 - ◆ 選択済み申請地番情報
 - 内容
 - 選択済みの申請地番一覧情報
 - 形式
 - ➢ ViewState に格納
 - データ詳細
 - ▶ データ:DT101
 - ▶ 内部連携インタフェース【IF246】【IF247】を参照
 - ▶ 出力
 - ◆ 選択地点上の地番情報
 - 内容
 - 選択地点上の地番情報

- 形式
 - ➢ APIリクエスト
- データ詳細
 - ▶ データ:DT101
 - ▶ 内部連携インタフェース【IF247】を参照
- ◆ 矩形選択範囲内の地番情報
 - 内容
 - 矩形選択範囲内の情報
 - 形式
 - ➢ APIリクエスト
 - データ詳細
 - ▶ データ:DT101
 - ▶ 内部連携インタフェース【IF246】を参照
- 機能詳細
 - ▶ 申請範囲選択(文字選択)
 - ◆ 処理内容
 - 地番検索により地番 DTO ※1 の一覧を取得及び一覧表示
 - 事業者が一覧から選択した地番を申請地 DTO※2 としてフロントエンドで保持し、選択中 地番として表示
 - GeoServer からレイヤ取得する際に、選択中の地番 ID 一覧をクエリで指定することで選 択中地番を地図上でハイライト表示
 - ※1:大字 ID、地番 ID、地番、緯度経度などを保持したオブジェクト

※2:選択済みの地番 DTO※1 を保持したオブジェクト

◆ 利用するライブラリ

- TerriaJS(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL002】を参照)
- CesiumJS(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL003】を参照)
- Node.js(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL004】を参照)
- Spring Boot(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
- GeoServer (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL008】を参照)
- PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)
- PostGIS(ソフトウェア・ライブラリ【SL010】を参照)
- Leaflet (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL018】を参照)
- ▶ 申請範囲選択(地図選択)
 - ◆ 処理内容
 - フロントエンドでマウス操作を検知し、イベント座標から緯度経度情報を算出
 - クリック(単一)選択では緯度経度情報を、ドラッグ(自由系)選択では範囲(緯度経度

の配列)をフロントエンドで取得し API リクエストを実施

- バックエンドで DB に対し緯度経度情報を用いた検索を実施後、地番 DTO※1 の一覧を生成し返却
- フロントエンドでは取得した地番 DTO※1 を申請地 DTO※2 として保持し選択中地番と して表示

※1:大字 ID、地番 ID、地番、緯度経度などを保持したオブジェクト

※2:選択済みの地番 DTO ※1 を保持したオブジェクト

- ◇ 利用するライブラリ
 - TerriaJS(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL002】を参照)
 - CesiumJS(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL003】を参照)
 - Node.js(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL004】を参照)
 - Spring Boot (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - GeoServer (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL008】を参照)
 - PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)
 - PostGIS (ソフトウェア・ライブラリ【SL010】を参照)
 - Leaflet (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL018】を参照)
- 4. 【FN008】概況把握·診断
- 機能概要
 - 「申請区分選択で選択した申請区分」+「申請範囲選択で選択した申請範囲」+「対象の法律・条項 に関する開発許可申請判定データ」をもとにシステムで解析し、各法律・条項に関連する事前相談必 要可否・事業者への対応助言内容など、事業者に案内すべき内容を法律・条項ごとに分けて表示する
 - > 対象行を選択することで申請地番と判定データのレイヤを地図上に表示する
- フローチャート



図 4-18 概況把握・診断のフローチャート

- データ仕様
 - ▶ 入力
 - ◆ 選択済み申請区分、選択済み地番情報
 - 内容
 - ▶ 選択済み申請区分、選択済み地番情報
 - 形式
 - ➢ APIリクエスト
 - データ詳細
 - ▶ 内部連携インタフェース【IF239】を参照
 - ▶ 出力
 - ◆ 画面表示するラベル情報
 - 内容
 - ▶ 画面表示するラベル情報
 - 形式
 - ➢ APIリクエスト
 - データ詳細
 - ▶ 内部連携インタフェース【IF243】を参照
 - ◆ 概況診断結果一覧
 - 内容
 - ▶ 概況診断結果一覧
 - 形式

- ➢ APIリクエスト
- データ詳細
 - ▶ 内部連携インタフェース【IF239】を参照
- ◆ 道路台帳図データ
 - 内容
 - ▶ 道路台帳図データ
 - 形式

> PDF

- ・ データ詳細
 - ▶ データ:DT118
 - ▶ 内部連携インタフェース【IF236】を参照
- ◆ 各種規制データレイヤ
 - 内容
 - ▶ 概況診断結果にひも付く各種規制データレイヤ情報
 - 形式
 - ➤ WMS
 - データ詳細
 - ▶ データ:DT102~DT124
 - ➢ GeoServerを使用(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL008】を参照)
- ◆ 申請地番レイヤ
 - 内容
 - ▶ 申請地番のレイヤ情報
 - 形式
 - ➤ WMS
 - データ詳細
 - ▶ データ:DT101
 - ▶ GeoServerを使用(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL008】を参照)
- 機能詳細
 - ▶ 概況把握·診断
 - ◆ 利用するライブラリ
 - TerriaJS (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL002】を参照)
 - CesiumJS(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL003】を参照)
 - Node.js(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL004】を参照)
 - Spring Boot (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - GeoServer (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL008】を参照)
 - PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)
 - PostGIS (ソフトウェア・ライブラリ【SL010】を参照)

- Leaflet (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL018】を参照)
- ◆ 利用するアルゴリズム
 - 概況把握・診断アルゴリズム (アルゴリズム 【AL001】を参照)
- 5. 【FN009】帳票出力
- 機能概要
 - ▶ 概況把握・診断の表示結果を帳票様式で Excel 出力する
 - > 対象範囲周辺の地図画像(2D表現)を帳票に引用する
 - ▶ 帳票作成はサーバ側で行い、ダウンロード準備出来次第、利用者へ通知する
- フローチャート





図 4-19 帳票出力のフローチャート

- データ仕様
 - ▶ 入力
 - ◆ 概況診断結果一覧
 - 内容
 - ▶ 概況診断結果一覧

- 形式
 - ➢ APIリクエスト
- データ詳細
 - ▶ 内部連携インタフェース【IF242】を参照
- ◆ 概況診断結果レポートテンプレート
 - 内容
 - ▶ 概況診断結果レポートテンプレート
 - 形式
 - Excel
 - データ詳細
 - ファイル入力インタフェース【IF001】を参照
- ◆ 概況診断結果画像
 - 内容
 - ▶ 概況診断結果画像
 - 形式
 - ➢ API リクエスト
 - > JPG
 - データ詳細
 - ▶ 内部連携インタフェース【IF240】【IF241】を参照
- ▶ 出力
 - ◆ 概況診断結果レポート
 - 内容
 - ▶ 概況診断結果レポート
 - 形式
 - > Excel
 - データ詳細
 - ト 内部連携インタフェース【IF242】【IF264】【IF265】を参照
 - ▶ ファイル出力インタフェース【IF101】を参照
- 機能詳細
 - シシミュレート実行
 - ◆ 処理内容
 - 非同期で管理されたタスクにおいて仮想ブラウザを起動する
 - 仮想ブラウザ上で概況診断結果一覧のパラメータを含んだ事業者画面にアクセスする
 - レンダリングエンジンは 2D 固定とし、申請地番を自動的に表示エリアに含める
 - 地図画像印字有りの帳票出力処理を自動実行する
 - ◆ 利用するライブラリ
 - Spring Boot (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - Selenium WebDriver (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL019】を参照)

- ▶ キャプチャ取得
 - ◆ 処理内容
 - フロントエンドの地図画面上で概況診断結果 DTO※1 ごとに判定対象レイヤ及び関連レ イヤの表示を実施
 - 地図画面上でレンダリングが 80%以上完了した時点でキャプチャを取得

※1:区分判定結果情報及びレイヤ情報を保持したオブジェクト。1 つのオブジェクトが1つの概況診断結果行に対応

- ◆ 利用するライブラリ
 - TerriaJS(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL002】を参照)
 - CesiumJS(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL003】を参照)
 - Node.js (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL004】を参照)
 - Spring Boot (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - Leaflet (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL018】を参照)
- ▶ 進捗状況取得
 - ◆ 処理内容
 - シミュレート実行の進捗状況を取得する
 - 生成中は進捗状況を画面上に表示し生成後はダウンロードを可能とする
 - ◆ 利用するライブラリ
 - TerriaJS (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL002】を参照)
 - Node.js(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL004】を参照)
 - Spring Boot (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
- ▶ 概況診断結果レポート生成
 - ◆ 処理内容
 - Apache POI を使用した帳票生成処理を行う
 - 印字有りの場合、概況診断結果画像を帳票に引用する
 - ◆ 利用するライブラリ
 - Apache POI (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL005】を参照)
 - Spring Boot (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)
- 6. 【FN010】申請者情報入力
- 機能概要
 - 申請者情報を入力する
 - > 入力項目は氏名・メールアドレス・電話番号・住所とし、氏名・メールアドレスは必須入力とする
 - ▶ その他事前相談で判断するために必要な項目を 10 項目程度、SE 作業で設定できるようにする



図 4-20 申請者情報入力のフローチャート

- データ仕様
 - ▶ 入力
 - ◇ 入力済み申請者情報入力項目一覧情報
 - 内容
 - > ユーザーが入力済みの申請者情報入力項目一覧情報
 - 形式
 - ➤ ViewState に格納
 - データ詳細
 - ▶ 内部連携インタフェース【IF209】を参照

- ▶ 出力
 - ◆ 申請区分一覧情報
 - 内容
 - ▶ 申請者情報入力項目一覧情報
 - 形式
 - ➤ ViewState に格納
 - データ詳細
 - ▶ 内部連携インタフェース【IF209】を参照
- 機能詳細
 - ▶ 申請者情報入力
 - ◇ 処理内容
 - 申請者情報入力画面の初期処理時、API リクエストを実施し申請者情報入力項目の一覧を 取得し、申請者情報フォーム一覧を作成する
 - フロントエンドで申請者情報入力項目フォームを使用して、入力項目を生成する
 - 入力内容は必須チェック及び正規表現によるチェックを実施しフロントエンドで保持する
 - ◆ 利用するライブラリ
 - Spring Boot (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)
- 7. 【FN011】ファイルアップロード
- 機能概要
 - 概況診断結果に関連付けられている、法律・条項に該当する提出ファイルをアップロードする(提出 ファイルの制約は、必須登録・登録されていないときに注意喚起の上、任意登録(注意文は任意設定 可能)、任意登録の3種類が設定可能)。
 - 登録可能なファイル拡張子は、M_申請ファイルで定義するファイルとする(PDF、TIFF、JPEG、 PNG、DXF、DWG を想定)



図 4-21 ファイルアップロードのフローチャート

- データ仕様
 - ▶ 入力
 - ◆ 申請ファイル
 - 内容

▶ 概況把握・診断結果に関連付けられている、法律・条項に該当する提出ファイル

形式

▶ PDF、TIFF、JPEG、PNG、DXF、DWG 形式

- データ詳細
 - ▶ ファイル入力インタフェース【IF002】を参照
- ▶ 出力
 - ◆ 申請ファイルー覧情報
 - 内容
 - ▶ 申請ファイル一覧情報
 - 形式
 - ➢ ViewState に格納
 - データ詳細
 - ▶ 内部連携インタフェース【IF210】を参照
- 機能詳細
 - ▶ 申請ファイル一覧取得
 - ◆ 処理内容
 - 概況診断結果の区分判定 ID にひも付く M_申請ファイル一覧を取得する
 - 申請ファイルを入力して、入力チェックを行う

- M_申請ファイルの必須有無が必須の場合、必須チェックを行う
- M_申請ファイルの必須有無が任意登録注意文ありの場合、入力しないと、注意文言をダイアログで表示する(入力しないままで、登録できる)
- M_申請ファイルの拡張子(カンマ区切り)を参照して、拡張子チェックを行う
- アップロード容量上限チェック(1ファイル当たり 50MB)を行う
- 申請ファイルー覧情報を ViewState に格納する
- ◆ 利用するライブラリ
 - Spring Boot (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)
- 8. 【FN012】ID など発行
- 機能概要
 - ▶ 申請時の ID・パスワードをランダムで生成・発行する
 - 申請 ID・パスワード発行直後、対象申請 ID のステータスを「事前相談:未回答」に切り替える
 ※「回答自動入力」の機能が設定されている場合、申請 ID・パスワード発行直後、対象申請 ID のステータスを「事前相談:未完(回答準備中)」に切り替える



図 4-22 ID など発行のフローチャート

- データ仕様
 - ▶ 入力
 - ◆ 申請登録結果情報
 - 内容
 - 申請情報を登録した結果情報

- 形式
 - ➢ API レスポンス
- データ詳細
 - ▶ 内部連携インタフェース【IF216】を参照
- ▶ 出力
 - ◆ 申請者の照合情報
 - 内容
 - 申請者には、申請情報確認用照合情報
 - 形式
 - ➢ APIリクエスト
 - データ詳細
 - ▶ 内部連携インタフェース【IF214】を参照
- 機能詳細
 - ▶ ID など発行
 - ◆ 処理内容
 - 帳票画像生成処理を実施後、各申請情報 DTO※1 をバックエンドに送信し申請登録を開始
 - 各申請情報の登録後、アップロード対象となる申請ファイルがある場合、申請ファイルの アップロード処理を実行
 - 全ての登録が完了後に照合情報通知を行い、申請登録完了処理を実施。取得した回答予定
 日数を通知する
 - 申請登録完了処理では照合 ID を発行した後に SMTP サーバにメール送信リクエストを実施

※1:入力済み申請者情報、選択済み申請区分、概況診断結果、申請地の DTO 一覧及び一時フォルダ名を保持するオブ ジェクト

- ◆ 利用するライブラリ
 - Spring Boot (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
- 9. 【FN013】申請登録
- 機能概要
 - 申請が完了した旨をメールで通知する。その際、申請時 ID・パスワードと回答予定日数をメールに 記載する
 - ▶ 行政担当者に対しても、申請が行われた旨、各アカウントにメール通知する
 - ▶ 概況診断結果の Excel 帳票データを申請時 ID に関連付けする
 - ▶ 事業者に対し、行政担当者からの回答通知予定日を通知する
 - ▶ 申請情報に対し、あらかじめ設定した固定文言で自動回答登録する

※この設定を行う場合は、事業者が申請完了した段階で、ステータスが「事前相談:未完(回答準備中)」 となる ※自動回答を行う対象の法律・条項は、システム構築時の設定作業において設定する ※自動回答で登録された文言は、登録可能アカウントで内容の修正ができる



図 4-23 申請登録のフローチャート

- データ仕様
 - ▶ 入力
 - ◆ 申請登録情報
 - 内容
 - 申請時に入力した申請対象地番情報、申請区分、概況診断結果、申請者情報、申請フ ァイルを含む申請情報
 - 形式
 - ➢ APIリクエスト
 - データ詳細
 - ▶ データ:DT101
 - ▶ 内部連携インタフェース【IF213】【IF216】を参照

- ▶ 出力
 - ◆ 概況診断レポート
 - 内容
 - ▶ 概況診断結果と回答内容情報
 - 形式
 - ➤ Excel 形式
 - データ詳細
 - ▶ ファイル出力インタフェース【IF101】を参照
 - ▶ 内部連携インタフェース【IF240】【IF241】を参照
 - ◆ ID・パスワード、回答予定日数
 - 内容
 - 申請登録後のログイン情報と回答予定日数
 - 形式
 - ▶ レスポンス
 - データ詳細
 - ▶ 内部連携インタフェース【IF214】を参照
 - ▶ 内部連携インタフェース【IF216】を参照
 - ▶ ファイル出力インタフェース【IF105】を参照
- 機能詳細
 - ▶ 申請登録
 - ◆ 処理内容
 - 0_申請、0_申請版情報、0_申請者情報、0_申請区分、0_申請地番、0_回答に登録する
 - システム構築時の設定作業で設定した自動回答の条項に回答内容カラムに固定文言を登録する
 - 概況診断レポートを作成して、O_申請ファイルに登録する。登録に成功する場合、ファイ ルサーバにアップロードする
 - 申請情報入力時の申請ファイルを O_申請ファイルに登録して、ファイルサーバにアップ
 ロードする
 - ◆ 利用するライブラリ
 - Apache POI (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL005】を参照)
 - Spring Boot (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)
 - ▷ 回答予定日数算出
 - ◆ 処理内容
 - パラメータ中にある概況診断結果を基に、M_判定結果から事前相談の回答日数を取得する
 - 取得した M_判定結果リストから最大の回答日数を取得する

- 最大回答日数にバッファ日数(システム構築時の設定作業で設定する)を加算し、回答予 定日数とする
- ◆ 利用するライブラリ
 - Spring Boot (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)
- ▶ 申請完了通知
 - ◆ 処理内容
 - ID・パスワードを発行して、O_申請者情報に更新する
 - 事業者へ、ID・パスワードと回答予定日数をメール通知する
 - 行政担当課の各アカウントへ、担当の判定対象(M_部署とひも付く M_区分判定のレコード)の最大回答予定日数をメール通知する
 - 行政回答通知権限部署へ、回答予定日数をメール通知する
 - ◆ 利用するライブラリ
 - Spring Boot (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)
- ▶ 申請仮登録データの消去
 - ◇ 処理内容
 - 申請登録時に異常が発生した場合、申請仮登録データ(申請ファイルアップロード・申請 完了通知まで正常終了していない状態のデータ)の消去を行う
 - O_申請版情報、O_申請区分、O_申請者情報、O_申請ファイル、O_回答から異常が発生した申請 ID にひも付くデータを削除する
 - ◆ 利用するライブラリ
 - Spring Boot (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)

10. 【FN014】再申請·次段階申請

- 機能概要
 - ▶ 回答を踏まえて、申請条件及び添付書類を変更して再申請を行う
 - ▶ 版番号がシステムで管理される
 - 版番号は事前相談・事前協議/32条協議・許可申請で区別した内容でシステム管理される
 - 申請段階について、事前相談の内容が完了した段階で事前協議/32 条協議申請が選択できるものと する
 - ▶ 申請段階について許可申請は選択できないものとする



図 4-24 再申請のフローチャート

- データ仕様
 - ▶ 入力
 - ◆ 申請追加情報
 - 内容
- > 再申請時に入力した追加の申請者情報
- 形式
 - ➢ APIリクエスト
- データ詳細
 - ▶ 内部連携インタフェース【IF215】を参照
- ◆ 申請ファイル
 - 内容
 - ▶ 画面入力した申請ファイル
 - 形式
 - PDF、TIFF、JPEG、PNG、DXF、DWG 形式
 - データ詳細
 - ▶ ファイル入力インタフェース【IF002】を参照
 - ▶ 内部連携インタフェース【IF213】を参照
- ▶ 出力
 - ◆ 概況診断レポート
 - 内容
 - ▶ 概況診断結果と回答内容情報
 - 形式
 - ➤ Excel 形式
 - データ詳細
 - ▶ ファイル出力インタフェース【IF101】を参照
 - ◆ 回答予定日数
 - 内容
 - → 概況診断結果に対する申請段階に応じて最大回答日数とバッファ日数の合計日数
 - 形式
 - ▶ レスポンス
 - データ詳細
 - ▶ 内部連携インタフェース【IF253】【IF254】【IF255】を参照
- 機能詳細
 - ▶ 再申請情報取得
 - ◆ 処理内容
 - 事業者ログイン情報を基に、申請情報を 0_申請、0_申請版情報から取得する
 - 画面に表示するため、前回登録した申請地番情報、申請者情報、申請区分一覧、申請追加 情報をそれぞれ F_申請地番、O_申請者情報、O_申請区分、O_申請追加情報から取得する あわせてマスタ情報を M_申請者情報項目、M_申請区分選択画面、M_申請区分から取得す る
 - 事前相談→事前相談の場合、申請区分選択画面で選択した変更後の申請区分で取得した概
 況診断結果に再申請フラグが「要再申請」となっている回答とひも付く M_申請ファイル

リストを取得する

- 前回アップロードした申請ファイルを取得して、画面に表示する
- ◆ 利用するライブラリ
 - Spring Boot(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)
- ▶ 再申請情報入力
 - ◆ 処理内容
 - 画面に表示している前回選択した申請区分を確認して再入力する
 - 画面に表示している前回入力した申請追加項目情報を確認して再入力する
 - 申請ファイルを再アップロードして、入力チェックを行う
 - M_申請ファイルの必須有無から、必須チェックを行う
 - M_申請ファイルの必須有無が任意登録(注意文言)の場合、ファイルアップロードしない
 場合、注意文言をダイアログで表示する
 - M_申請ファイルの拡張子(カンマ区切り)を参照して、拡張子チェックを行う
 - アップロード容量上限チェック(1ファイル当たり 50MB)を行う
 - 事前相談で再申請した場合、「申請仮登録データの消去」~「再申請完了通知」の処理を実行する。事前協議に進む形で再申請した場合、【FN031】に移動する
 - ◆ 利用するライブラリ
 - なし
- ▶ 申請仮登録データの消去
 - ◆ 処理内容
 - 申請 ID、申請段階 ID に対する申請情報の登録ステータスが仮登録状態(申請ファイルア ップロード・申請完了通知まで正常終了していない状態)であるか判定する
 - 仮登録状態である場合、以下の処理を実施する
 - O_申請版情報の版情報が1の場合、O_申請版情報、O_申請区分、O_申請追加情報、O_申 請ファイル、O_回答から事前協議に対するデータを削除する
 - 版情報が1以上の場合、0_申請区分、0_申請追加情報、0_申請ファイルの0_申請版情報の版情報にひも付くデータを削除し、0_申請版情報の版情報を「-1」で更新する
 - O_回答は、回答履歴からデータリセットを行う
 - ◆ 利用するライブラリ
 - Spring Boot (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)
- ▶ 再申請情報登録
 - ◆ 処理内容
 - O_申請版情報を版情報+1で更新する
 - O_申請区分、O_申請追加情報は版情報+1(版情報は O_申請版情報と同じ)で追加登録する
 - 条項が DB に存在するか確認し、O_回答に登録・更新する

- システム構築時の設定作業で設定した自動回答の条項に回答内容カラムに固定文言を登録する
- 前版の申請区分と比べて、変更ありの場合、概況診断レポートを作成して、O_申請ファイルに登録する。登録に成功した場合、ファイルサーバにアップロードする
- 申請情報入力時の申請ファイル(※1)をO_申請ファイルに登録し、ファイルサーバにア ップロードする

※1:申請ファイル

前版の事前相談の申請からファイルを差替えていないファイルは、ファイルサーバにアップロ ードせず、0_申請ファイルへ登録のみを行う。差替えたファイルは、ファイル実体のアップロ ードが必要なため、0_申請ファイルへ登録して、ファイルサーバにアップロードする

- ◆ 利用するライブラリ
 - Spring Boot (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)
- ➢ 回答予定日数算出
 - ◆ 処理内容
 - パラメータ中にある概況診断結果を基に、M_判定結果から事前相談の回答日数を取得する
 - 取得した M_判定結果リストから最大の回答日数を取得する
 - 最大回答日数にバッファ日数(システム構築時の設定作業で設定する)を加算し、回答予 定日数とする
 - ◆ 利用するライブラリ
 - Spring Boot (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)
 - ◆ 利用するアルゴリズム
 - なし
- ▶ 再申請完了通知
 - ◆ 処理内容
 - 0 申請の申請ステータスと0 申請版情報、0 回答の登録ステータスを更新する
 - 事業者へ算出した回答予定日数をメール通知する
 - 行政部署ユーザーには担当の判定対象(M_部署とひも付く M_区分判定のレコード)の最 大回答予定日数でメール通知する
 - 行政回答通知権限部署へ、算出した回答予定日数をメール通知する
 - ◆ 利用するライブラリ
 - Spring Boot (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)
 - ◆ 利用するアルゴリズム
 - なし

- 11. 【FN029】申請者情報入力(追加分)
- 機能概要
 - ▶ 事前協議申請で新たに必要となる申請追加情報を入力する
 - 入力項目は 20 種程度、SE で自由に設定項目を用意し、テキスト・数値・日付・選択肢型、入力桁数制限、入力必須設定ができるようにする
 - 事前相談で入力していた項目(氏名・メールアドレス・電話番号・住所・その他 10 種 SE 設定項目) は引継ぎし、氏名・メールアドレスは入力不可状態とする
- フローチャート



図 4-25 申請追加情報入力機能のフローチャート

- データ仕様
 - ▶ 入力
 - ◆ 入力済み申請追加情報
 - 内容

> ユーザーが入力済みの申請追加情報入力項目一覧情報

- 形式
 - ➢ viewState に保存
- データ詳細
 - ▶ 内容連携インターフェース【IF215】を参照

- ▶ 出力
 - ◆ 申請追加情報
 - 内容
 - ▶ 申請追加情報入力項目一覧情報
 - 形式
 - ➢ viewState に保存
 - データ詳細
 - ▶ 内容連携インターフェース【IF215】を参照
- 機能詳細
 - ▶ 申請追加情報入力
 - ◆ 処理内容
 - 申請追加情報入力画面の初期処理時、API リクエストを実施し、申請追加情報入力項目の
 一覧と登録済の申請追加入力項目の値を取得し、申請追加情報フォーム一覧を作成する
 - フロントエンドで申請追加情報フォームを使用して、入力項目を生成して、既存の値を埋める
 - 入力内容は必須チェック及び正規表現によるチェックを実施しフロントエンドで保持する
 - ◆ 利用するライブラリ
 - Spring Boot (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)

12. 【FN030】ファイルアップロード

- 機能概要
 - 事前相談から区分を変更した場合、概況診断結果に関連付けられている、法律・条項に該当する提出 ファイルの内容を自動変更する
 - 概況診断結果に関連付けられている、法律・条項に該当する提出ファイルをアップロードする(提出 ファイルの制約は、必須登録・登録されていないときに注意喚起の上、任意登録(注意文は任意設定 可能)、任意登録の3種類が設定可能)
 - 登録可能なファイル拡張子は、M_申請ファイルで定義するファイルとする(PDF、TIFF、JPEG、 PNG、DXF、DWG を想定)
 - 事前相談申請で登録していたファイルは、そのまま関連付けて登録されている状態とする(事前相談の最終版を、事前協議第1版、それ以前のファイルを事前相談第N版で管理する) ※アップロードしたファイルは事前相談第1~N版のファイルとして版管理する。事前相談の最終版ファイルは事前協議第1版にコピーして次の申請段階に引き継いで管理する(参照コピーのみでファイルの実体はコピーしない)。それ以前のファイルはコピーはせず事前相談第N版のファイルとしてのみ管理する



● データ仕様

- ▶ 入力
 - ◆ 申請ファイル
 - 内容

▶ 概況把握・診断結果に関連付けられている、法律・条項に該当する提出ファイル

- 形式
 - ➢ PDF、TIFF、JPEG、PNG、DXF、DWG 形式
- データ詳細

▶ ファイル入力インタフェース【IF002】を参照

- ▶ 出力
 - ◆ 申請ファイル一覧
 - 内容
 - ▶ 申請ファイル一覧情報

- 形式
 - ➢ viewState に保存
- データ詳細
 - ▶ 内部連携インタフェース【IF210】【IF257】を参照
- 機能詳細
 - ▶ 申請ファイル一覧取得
 - ◆ 処理内容
 - 概況診断結果の区分判定 ID にひも付く M_申請ファイル一覧を取得する
 - 事前相談で提出済みの申請ファイル一覧を取得し画面に表示する
 - 申請ファイルを差し替えて、入力チェックを行う
 - M_申請ファイルの必須有無が必須の場合、必須チェックを行う
 - M_申請ファイルの必須有無が任意登録注意文ありの場合、入力しないと、注意文言をダイアログで表示する(入力しないままで、登録できる)
 - M_申請ファイルの拡張子(カンマ区切り)を参照して、拡張子チェックを行う
 - アップロード容量上限チェック(1ファイル当たり 50MB)を行う
 - 申請ファイルー覧情報を ViewState に格納する
 - ◆ 利用するライブラリ
 - Spring Boot (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)
- 13. 【FN031】申請登録
- 機能概要
 - 申請が完了した旨をメールで通知する。その際、申請時 ID・パスワードと回答予定日数をメールに 記載する
 - > 行政担当者に対しても、申請が行われた旨、各アカウントにメール通知する
 - 事前相談から区分を変更した場合、概況診断結果の Excel 帳票データを再作成し、事前相談時の概況診断結果とは別のファイルで申請時 ID に関連付けする
 - ▶ 事業者に対し、行政担当者からの回答通知予定日を通知する
 - ▶ 申請情報に対し、あらかじめ設定した固定文言で自動回答登録する

※この設定を行う場合は、事業者が申請完了した段階で、ステータスが「事前協議:未完(回答準備中)」 となる

※自動回答を行う対象の法律・条項は、システム構築時の設定作業において設定する ※自動回答で登録された文言は、登録可能アカウントで内容の修正ができる



- データ仕様
 - ▶ 入力
 - ◆ 申請登録情報

- 内容
 - 申請時に入力した申請区分、概況診断結果、申請追加情報、申請ファイルを含む再申 請情報
- 形式
 - ➢ APIリクエスト
- データ詳細
 - ▶ 内容連携インターフェース【IF215】を参照
- ▶ 出力
 - ◆ 概況診断レポート
 - 内容
 - 概況診断結果と回答内容情報
 - 形式
 - ➤ Excel 形式
 - データ詳細
 - ▶ ファイル出力インタフェース【IF101】を参照
 - ◆ ID・パスワード、回答予定日数
 - 内容
 - 事前相談の申請登録後のログイン情報と事前協議の条項の回答予定日数
 - 形式
 - レスポンス
 - データ詳細
 - ▶ 内部連携インタフェース【IF253】【IF254】【IF255】を参照
- 機能詳細
 - ▶ 申請仮登録データの消去
 - ◆ 処理内容
 - 申請 ID、申請段階 ID に対する申請情報の登録ステータスが仮登録状態(申請ファイルア ップロード・申請完了通知まで正常終了していない状態)であるか判定する
 - 仮登録状態である場合、以下の処理を実施する
 - 0_申請版情報の版情報が1の場合、0_申請版情報、0_申請区分、0_申請追加情報、0_申 請ファイル、0 部署回答、0 回答から事前協議に対するデータを削除する
 - 版情報が1以上の場合、0_申請区分、0_申請追加情報、0_申請ファイルの0_申請版情報の版情報にひも付くデータを削除し、0_申請版情報の版情報を「-1」で更新する
 - 0 部署回答の通知フラグをリセットして、0 回答は、回答履歴からデータリセットを行う
 - ◆ 利用するライブラリ
 - Spring Boot(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)
 - ▶ 申請情報登録
 - ◆ 処理内容

- O_申請版情報、O_申請区分、O_申請追加情報、O_申請ファイル(※1)、O_回答、O_部 署回答に登録する。(版情報が「1」)
- システム構築時の設定作業で自動回答として設定した条項の回答内容カラムに固定文言
 を登録する
- 概況診断レポートを作成し 0_申請ファイルに登録する。登録に成功した場合、ファイルサ ーバにアップロードする
- 申請情報入力時の申請ファイル(※2)をO_申請ファイルに登録し、ファイルサーバにア ップロードする
- ※1:申請時に差替えていないファイル

事前相談で登録済みの申請ファイルのうち事前協議の申請で差し替えてないファイルは、ファ イル実体は再アップロードせず、O_申請ファイルへ登録のみを行う

※2:申請時に差替えたファイル

事前相談で登録済みの申請ファイルのうち事前協議の申請で差替えたファイルは、ファイル実体のアップロードが必要なため、O_申請ファイルへ登録して、ファイルサーバにアップロードする

- ◆ 利用するライブラリ
 - Apache POI (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL005】を参照)
 - Spring Boot (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)
- ▶ 回答予定日数算出
 - ◆ 処理内容
 - パラメータ中にある概況診断結果を基に、M_判定結果から事前協議の回答日数を取得する
 - 取得した M_判定結果リストから最大の回答日数を取得する
 - 取得した回答日数の最大日数にバッファ日数(システム構築時の設定作業で設定する)を
 加算し、回答予定日数とする
 - ◆ 利用するライブラリ
 - Spring Boot (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)
 - ◆ 利用するアルゴリズム
 - なし
- ▶ 申請完了通知
 - ◆ 処理内容
 - O_申請の申請ステータスと O_申請版情報、O_回答、O_部署回答の登録ステータスを更新 する
 - 事業者へ、ID・パスワードと回答予定日数をメール通知する
 - 行政担当課の各アカウントへ、担当の判定対象(M_部署とひも付く M_区分判定のレコード)の最大回答予定日数をメール通知する

- 行政回答通知権限部署へ、回答予定日数をメール通知する
- ◆ 利用するライブラリ
 - Spring Boot (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)

14. 【FN032】同意項目合意登録

- 機能概要
 - 行政が回答した開発行為における各種条件内容について、承認/否認を登録する。否認の場合、否認 理由を登録する
 - 全ての項目に対して承認/否認を必要とし、登録した段階でステータスが「事前協議:未完(協議進行中)」となる
 - 回答のうち、「否認」の登録をした条項については、行政担当課へメール通知する。「承認」の登録をした条項については、全条項がそろうまで通知を行わない
 - ▶ 回答のうち全項目が「承認」の時は、行政管理者へメール通知する
- フローチャート



図 4-28 同意項目承認否認登録機能のフローチャート

- データ仕様
 - ▶ 入力
 - ◇ 回答一覧情報
 - 内容

画面に入力した合否内容を含む回答一覧情報

- 形式
 - ➢ APIリクエスト
- データ詳細
 - ▶ 内部連携インタフェース【IF260】を参照

▶ 出力

◆ なし

- 機能詳細
 - ▶ 同意項目合意登録
 - ◇ 処理内容
 - 画面で入力した事業者合否内容のステータスが否決の場合、コメントの必須チェックを行う
 - 0_回答に、事業者合否内容を更新する
 - 行政担当課へ、メール通知を行う
 - 回答のうち全項目が合意で回答された場合、行政管理者へメール通知する
 - ◆ 利用するライブラリ
 - Spring Boot (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)

15. 【FN033】再申請·次段階申請

- 機能概要
 - > 回答を踏まえて、申請条件及び添付書類を変更して再申請を行う
 - ▶ 版番号がシステムで管理される
 - ▶ 版番号は事前相談・事前協議/32条協議・許可申請で区別した内容でシステム管理される
 - ▶ 申請段階について、事前協議/32条協議の内容が完了した段階で許可申請が選択できるものとする
 - ▶ 申請段階について事前相談申請は選択できないものとする



図 4-29 再申請機能のフローチャート

- データ仕様
 - ▶ 入力
 - ◇ 再申請登録情報
 - 内容

- 申請時に入力した申請区分、概況診断結果、申請追加情報、申請ファイルを含む再申 請情報
- 形式
 - ➢ APIリクエスト
- データ詳細
 - ▶ 内容連携インターフェース【IF215】を参照
- ▶ 出力
 - ◆ 概況診断レポート
 - 内容
 - 概況診断結果と回答内容情報
 - 形式
 - ➤ Excel 形式
 - データ詳細
 - ▶ ファイル出力インタフェース【IF101】を参照
 - ◆ ID・パスワード、回答予定日数
 - 内容
 - ▶ 事前相談の申請登録後のログイン情報と事前協議の条項の回答予定日数
 - 形式
 - ▶ レスポンス
 - データ詳細
 - 内部連携インタフェース【IF253】【IF254】【IF255】を参照
- 機能詳細
 - ▶ 再申請情報取得
 - ◆ 処理内容
 - 事業者ログイン情報を基に、申請情報を 0_申請、0_申請版情報から取得する
 - 画面に表示するため、前回登録した申請地番情報、申請者情報、申請区分一覧、申請追加 情報をそれぞれ F_申請地番、O_申請者情報、O_申請区分、O_申請追加情報から取得する。
 あわせてマスタ情報を M_申請者情報項目、M_申請区分選択画面、M_申請区分から取得する
 - 事前協議→事前協議の場合、申請区分選択画面で選択した変更後の申請区分で取得した概
 況診断結果にひも付く M_申請ファイルリストを取得する
 - 前回アップロードした申請ファイルを取得して、画面に表示する
 - ◆ 利用するライブラリ
 - Spring Boot(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)
 - ▶ 再申請情報入力
 - ◆ 処理内容
 - 画面に表示している前回選択した申請区分を確認して再入力する

- 画面に表示している前回入力した申請追加項目情報を確認して再入力する
- 申請ファイルを再アップロードして、入力チェックを行う
- M_申請ファイルの必須有無から、必須チェックを行う
- M_申請ファイルの必須有無が任意登録(注意文言)の場合、ファイルアップロードしない
 場合、注意文言をダイアログで表示する
- M_申請ファイルの拡張子(カンマ区切り)を参照して、拡張子チェックを行う
- アップロード容量上限チェック(1ファイル当たり 50MB)を行う
- 事前協議で再申請した場合、「申請仮登録データの消去」~「再申請完了通知」の処理を実行する。許可申請に進む形で再申請した場合、【FN036】に移動する
- ◆ 利用するライブラリ
 - なし
- ▶ 申請仮登録データの消去
 - ◇ 処理内容
 - 申請 ID、申請段階 ID に対する申請情報の登録ステータスが仮登録状態(申請ファイルア ップロード・申請完了通知まで正常終了していない状態)であるか判定する
 - 仮登録状態(申請ファイルアップロード・申請完了通知まで正常終了していない状態)で ある場合、以下の処理を実施する
 - 0_申請版情報の版情報が1の場合、0_申請版情報、0_申請区分、0_申請追加情報、0_申 請ファイル、0_回答、0_部署回答から事前協議に対するデータを削除する
 - 版情報が1以上の場合、0_申請区分、0_申請追加情報、0_申請ファイルが0_申請版情報 の版情報にひも付くデータを削除し、0_申請版情報を版情報「-1」で更新する
 - 0 部署回答の通知フラグをリセットして、0 回答は、回答履歴からデータリセットを行う
 - ◆ 利用するライブラリ
 - Spring Boot (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)
- ▶ 再申請情報登録
 - ◆ 処理内容
 - O_申請版情報を版情報+1で更新する
 - 0_申請区分、0_申請追加情報は版情報+1 で追加登録する
 - 条項が DB に存在するか確認し、O_回答、O_部署回答に登録・更新する
 - システム構築時の設定作業で設定した自動回答の条項に回答内容カラムに固定文言を登録する
 - 前版の申請区分と比べて、変更ありの場合、概況診断レポートを新規作成し、O_申請ファイルに登録する。登録に成功した場合、ファイルサーバにアップロードする
 - 申請情報入力時の申請ファイル(※1)を0_申請ファイルに登録し、ファイルサーバにア ップロードする

※1:申請ファイル

前版の事前協議の申請からファイルを差替えていないファイルは、ファイルサーバにアップロ

- ードせず、0_申請ファイルへ登録のみを行う。差替えたファイルは、ファイル実体のアップロ
- ードが必要なため、0_申請ファイルへ登録して、ファイルサーバにアップロードする
- ◆ 利用するライブラリ
 - Apache POI (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL005】を参照)
 - Spring Boot (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSOL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)
- > 回答予定日数算出
 - ◆ 処理内容
 - パラメータ中にある概況診断結果を基に、M_判定結果から事前協議の回答日数を取得する
 - 取得した M_判定結果リストから最大の回答日数を取得する
 - 取得した回答日数の最大日数にバッファ日数(システム構築時の設定作業で設定する)を 加算し、回答予定日数とする
 - ◆ 利用するライブラリ
 - Spring Boot (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)
 - ◆ 利用するアルゴリズム
 - なし
- ▶ 再申請完了通知
 - ◇ 処理内容
 - O_申請の申請ステータスと O_申請版情報、O_回答、O_部署回答の登録ステータスを更新 する
 - 事業者に ID・パスワードと回答予定日数をメール通知する
 - 行政担当課の各アカウントに担当の判定対象(M_部署とひも付く M_区分判定のレコード) の最大回答予定日数をメール通知する
 - 行政回答通知権限部署へ、回答予定日数をメール通知する
 - ◆ 利用するライブラリ
 - Spring Boot (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)

16. 【FN034】申請者情報入力(追加分)

- 機能概要
 - 許可申請で新たに必要となる申請追加情報を入力する。
 - 入力項目は、事前相談・事前協議/32条協議とは別の項目を20種程度、SEで自由に設定項目を用意し、テキスト・数値・日付・選択肢型、入力桁数制限、入力必須設定ができるようにする
 - 事前相談・事前協議/32条協議で入力していた項目(氏名・メールアドレス・電話番号・住所・その他 10種 SE 設定項目・事前協議時の項目 20種程度)は引継ぎし、氏名・メールアドレスは入力不可状態とする

- 申請区分は変更不可とする
- フローチャート



図 4-30 申請追加情報入力機能のフローチャート

- データ仕様
 - ▶ 入力
 - ◆ 入力済み申請追加情報
 - 内容
 - > ユーザーが入力済みの申請追加情報入力項目一覧情報
 - 形式
 - ➢ viewState に保存
 - データ詳細
 - ▶ 内容連携インターフェース【IF215】を参照
 - ▶ 出力
 - ◆ 申請追加情報
 - 内容
 - ▶ 申請追加情報入力項目一覧情報
 - 形式
 - ➢ viewState に保存

- データ詳細
 - ▶ 内容連携インターフェース【IF215】を参照
- 機能詳細
 - ▶ 申請情報入力
 - ◇ 処理内容
 - 申請追加情報入力画面の初期処理時、API リクエストを実施し、申請追加情報入力項目の
 一覧と、登録済の申請追加入力項目の値を取得し、申請追加情報フォーム一覧を作成する
 - フロントエンドで申請追加情報フォームを使用して、入力項目を生成して既存の値を埋める
 - 入力内容は必須チェック及び正規表現によるチェックを実施しフロントエンドで保持する
 - ◇ 利用するライブラリ
 - Spring Boot (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)

17. 【FN035】ファイルアップロード

● 機能概要

する)

- 概況診断結果に関連付けられている、法律・条項に該当する提出ファイルをアップロードする(提出 ファイルの制約は、必須登録・登録されていないときに注意喚起の上、任意登録(注意文は任意設定 可能)、任意登録の3種類が設定可能)
- 登録可能なファイル拡張子は、M_申請ファイルで定義するファイルとする(PDF、TIFF、JPEG、 PNG、DXF、DWGを想定) 事前相談・事前協議/32条協議申請で登録していたファイルは、そのまま関連付けて登録されている 状態とする(事前相談の最終版を、事前協議第1版、それ以前のファイルを事前相談第N版で管理

※アップロードしたファイルは事前相談第 1~N 版のファイルとして版管理する。事前相談の最終版ファイルは事前協議第1版にコピーして次の申請段階に引き継いで管理する(参照コピーのみでファイルの実体はコピーしない)。それ以前のファイルはコピーはせず事前相談第N版のファイルとしてのみ管理する



● データ仕様

- ▶ 入力
 - ◆ 申請ファイル
 - 内容

概況把握・診断結果に関連付けられている、法律・条項に該当する提出ファイル

- 形式
 - ➢ PDF、TIFF、JPEG、PNG、DXF、DWG 形式
- データ詳細

▶ ファイル入力インタフェース【IF002】を参照

- ▶ 出力
 - ◆ 申請ファイル一覧
 - 内容
 - ▶ 申請ファイル一覧情報

- 形式
 - ➢ viewState に保存
- データ詳細
 - ▶ 内部連携インターフェース【IF210】を参照
- 機能詳細
 - ▶ 申請ファイル一覧取得
 - ◆ 処理内容
 - 概況診断結果の区分判定 ID にひも付く許可判定の M_申請ファイル一覧を取得する
 - 事前協議で提出済みの申請ファイル一覧を取得し画面に表示する
 - 申請ファイルを差し替えて、入力チェックを行う
 - M_申請ファイルの必須有無が必須の場合、必須チェックを行う
 - M_申請ファイルの必須有無が任意登録注意文ありのファイルでは、ファイルの選択を行わない場合注意文言をダイアログで表示する(入力せず登録可能)
 - M_申請ファイルの拡張子(カンマ区切り)を参照して、拡張子チェックを行う。
 - アップロード容量上限チェック(1ファイル当たり 50MB)を行う
 - 申請ファイル一覧情報を ViewState に格納する
 - ◆ 利用するライブラリ
 - Spring Boot (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)
- 18. 【FN036】申請登録
- 機能概要
 - 申請が完了した旨をメールで通知する。その際、申請時 ID・パスワードと回答予定日数をメールに 記載する
 - ▶ 行政担当者に対しても、申請が行われた旨、各アカウントにメール通知する
 - 概況診断結果の Excel 帳票データを再作成し、事前相談時の概況診断結果とは別のファイルで申請時 ID に関連付けする
 - ▶ 事業者に対し、行政担当者からの回答通知予定日を通知する
 - ▶ 申請情報に対し、あらかじめ設定した固定文言で自動回答登録する

※この設定を行う場合は、事業者が申請完了した段階で、ステータスが「許可判定:未完(回答準備中)」 となる

※自動回答を行う対象の法律・条項は、システム構築時の設定作業において設定する ※自動回答で登録された文言は、登録可能アカウントで内容の修正ができる



- データ仕様
 - ▶ 入力
 - ◆ 申請登録情報

- 内容
 - 申請時に入力した申請追加情報
 - ▶ 申請ファイル
 - 事前協議の条項と許可判定一律追加条項(システム構築時の設定作業で設定する)か ら概況診断実施した概況診断結果
- 形式
 - ➢ APIリクエスト
- データ詳細
 - ▶ 内容連携インターフェース【IF215】を参照
- ▶ 出力
 - ◆ 概況診断レポート
 - 内容
 - ▶ 概況診断結果と回答内容情報
 - 形式
 - ➤ Excel 形式
 - データ詳細
 - ▶ ファイル出力インタフェース【IF101】を参照
 - ◆ ID・パスワード、回答予定日数
 - 内容
 - ▶ 事前相談の申請登録後のログイン情報と許可判定の条項の回答予定日数
 - 形式
 - ▶ レスポンス
 - データ詳細
 - ▶ 内部連携インタフェース【IF253】【IF254】【IF255】を参照
- 機能詳細
 - 申請仮登録データの消去
 - ◆ 処理内容
 - 申請 ID、申請段階 ID に対する申請情報の登録ステータスが仮登録状態(申請ファイルア ップロード・申請完了通知まで正常終了していない状態)であるか判定する
 - 仮登録状態である場合、以下の処理を実施する
 - O_申請版情報の版情報が1の場合、O_申請版情報、O_申請追加情報、O_申請ファイル、
 O_回答から許可判定に対するデータを削除する
 - 版情報が1以上の場合、0_申請追加情報、0_申請ファイルが0_申請版情報の版情報にひ も付くデータを削除し、0申請版情報を版情報「-1」で更新する
 - 0_回答は、回答履歴からデータリセットを行う
 - ◆ 利用するライブラリ
 - Spring Boot (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)

- ▶ 申請情報登録
 - ◆ 処理内容
 - 0_申請版情報、0_申請追加情報、0_申請ファイル(※1)、0_回答に登録する
 - システム構築時の設定作業で自動回答設定した条項の回答内容カラムに固定文言を登録 する
 - 概況診断レポートを作成して、O_申請ファイルに登録する。登録に成功する場合、ファイ ルサーバにアップロードする
 - 申請情報入力時の申請ファイル(※2)をO_申請ファイルに登録して、ファイルサーバに アップロードする
 - ※1:申請時に差替えていないファイル

事前協議で登録済みの申請ファイルのうち許可判定の申請で差し替えていないファイルは、フ ァイル実体は再アップロードせず、O_申請ファイルへ登録のみを行う

※2:申請時に差替えたファイル

事前協議で登録済みの申請ファイルのうち許可判定の申請で差替えたファイルは、ファイル実体のアップロードが必要なため、O_申請ファイルへ登録して、ファイルサーバにアップロードする

- ◆ 利用するライブラリ
 - Apache POI (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL005】を参照)
 - Spring Boot (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)
- ▶ 回答予定日数算出
 - ◆ 処理内容
 - パラメータ中にある概況診断結果を基に、M_判定結果から事前協議の回答日数を取得する
 - 取得した M_判定結果リストから最大の回答日数を取得する
 - 取得した回答日数の最大日数にバッファ日数(システム構築時の設定作業で設定する)を
 加算し、回答予定日数とする
 - ◆ 利用するライブラリ
 - Spring Boot (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)
 - ◆ 利用するアルゴリズム
 - なし
- ▶ 申請完了通知
 - ◆ 処理内容
 - 0_申請の申請ステータスと 0_申請版情報、0_回答の登録ステータスを更新する
 - 事業者へ、ID・パスワードと回答予定日数をメール通知する
 - 行政担当課の各アカウントに担当の判定対象(M_部署とひも付く M_区分判定のレコード) の最大回答予定日数をメール通知する

- 行政回答通知権限部署へ、回答予定日数をメール通知する
- ◆ 利用するライブラリ
 - Spring Boot (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)

19. 【FN037】再申請

- 機能概要
 - ▶ 回答を踏まえて、申請条件及び添付書類を変更して再申請を行う
 - ▶ 版番号がシステムで管理される
 - ▶ 版番号は事前相談・事前協議/32条協議・許可申請で区別した内容でシステム管理される
 - ▶ 申請段階について事前相談申請・事前協議/32 条協議は選択できないものとする



図 4-33 再申請機能のフローチャート

- データ仕様
 - ▶ 入力
 - ◆ 再申請登録情報
 - 内容
 - 申請時に入力した申請追加情報、概況診断結果一覧
 - ※ 許可判定で一律追加となる条項(システム構築時の設定作業で設定)を含む
 - ▶ 申請ファイル
 - 形式
 - ➢ APIリクエスト
 - データ詳細
 - ▶ 内容連携インターフェース【IF215】を参照
 - ▶ 出力
 - ◆ 概況診断レポート
 - 内容
 - ▶ 概況診断結果と回答内容情報
 - 形式
 - ▶ Excel 形式
 - データ詳細
 - ▶ ファイル出力インタフェース【IF101】を参照
 - ◆ ID・パスワード、回答予定日数
 - 内容
 - ▶ 事前相談の申請登録後のログイン情報と許可判定の要再申請の条項の回答予定日数
 - 形式
 - ▶ レスポンス
 - データ詳細
 - ▶ 内部連携インタフェース【IF253】【IF254】【IF255】を参照
- 機能詳細
 - ▶ 再申請情報取得
 - ◇ 処理内容
 - 事業者ログイン情報を基に、申請情報を 0_申請、0_申請版情報から取得する
 - 画面に表示するため、前回登録した申請地番情報、申請者情報、申請区分一覧、申請追加 情報をそれぞれ F_申請地番、O_申請者情報、O_申請区分、O_申請追加情報から取得する あわせてマスタ情報を M_申請者情報項目、M_申請区分選択画面、M_申請区分から取得す る
 - ・許可申請→許可申請の場合、要再申請の回答にひも付く M_申請ファイルリストを取得する

- 前回アップロードした申請ファイルを取得して、画面に表示する
- ◆ 利用するライブラリ
 - Spring Boot (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)
- ▶ 再申請情報入力
 - ◇ 処理内容
 - 申請区分の再入力は事前協議を引き継ぐため行わない
 - 画面に表示している前回入力した申請追加項目情報を確認して再入力する
 - 申請ファイルを再アップロードして、入力チェックを行う
 - M_申請ファイルの必須有無から、必須チェックを行う
 - M_申請ファイルの必須有無が任意登録(注意文言)の場合、ファイルアップロードしない
 場合、注意文言をダイアログで表示する
 - M 申請ファイルの拡張子(カンマ区切り)を参照して、拡張子チェックを行う
 - アップロード容量上限チェック(1ファイル当たり 50MB)を行う
 - ◆ 利用するライブラリ
 - なし
- ▶ 申請仮登録データの消去
 - ◆ 処理内容
 - 申請 ID、申請段階 ID に対する申請情報の登録ステータスが仮登録状態(申請ファイルア ップロード・申請完了通知まで正常終了していない状態)であるか判定する
 - 仮登録状態である場合、以下の処理を実施する
 - O_申請版情報の版情報が1の場合、O_申請版情報、O_申請追加情報、O_申請ファイル、 O_回答から許可判定に対するデータを削除する
 - 版情報が1以上の場合、0_申請追加情報、0_申請ファイルが0_申請版情報の版情報にひ も付くデータを削除する、0申請版情報が版情報「-1」で更新する
 - 0回答は、回答履歴からデータリセットを行う
 - ◆ 利用するライブラリ
 - Spring Boot (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)
- ▶ 再申請情報登録
 - ◆ 処理内容
 - O_申請版情報を版情報+1 で更新する
 - 0_申請追加情報は版情報+1 で追加登録する
 - 0_回答の再申請フラグ、完了フラグを更新する
 - システム構築時の設定作業で設定した自動回答の条項に回答内容カラムに固定文言を登録する
 - 申請情報入力時の申請ファイル(※1)をO_申請ファイルに登録して、ファイルサーバに アップロードする

※1:申請時に差替えたファイル

前版の許可判定の申請からファイルを差し替えないファイルは、ファイルサーバにアップロードせず、0_申請ファイルへ登録のみを行う。差替えたファイルは、ファイル実体のアップロードが必要なため、0_申請ファイルへ登録して、ファイルサーバにアップロードする

- ◆ 利用するライブラリ
 - Spring Boot (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)
- ▶ 回答予定日数算出
 - ◇ 処理内容
 - 要再申請の条項を基に、M_判定結果から許可判定の回答日数を取得する
 - 取得した M_判定結果リストから最大の回答日数を取得する
 - 取得した回答日数の最大日数にバッファ日数(システム構築時の設定作業で設定する)を 加算し、回答予定日数とする
 - ◆ 利用するライブラリ
 - Spring Boot (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)
 - ◆ 利用するアルゴリズム
 - なし
- ▶ 再申請完了通知
 - ◆ 処理内容
 - 0_申請の申請ステータスと0_申請版情報、0_回答の登録ステータスを更新する
 - 事業者へ、ID・パスワードと回答予定日数をメール通知する
 - 行政担当課の各アカウントへ、担当の判定対象(M_部署とひも付く M_区分判定のレコード)の最大回答予定日数をメール通知する
 - 行政回答通知権限部署へ、回答予定日数をメール通知する
 - ◆ 利用するライブラリ
 - Spring Boot (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)
- 20. 【FN015】申請時 ID 認証
- 機能概要
 - ▶ 申請時の ID・パスワードを入力・認証する
- フローチャート



図 4-34 申請時 ID 認識のフローチャート

- データ仕様
 - ▶ 入力
 - ◆ 申請者ログインパラメータ情報
 - 内容

▶ ユーザーが入力済みの申請者ログイン情報

- 形式
 - ➢ APIリクエスト
- データ詳細
 - ▶ 内部連携インタフェース【IF201】を参照
- ▶ 出力
 - ◆ 申請情報詳細情報
 - 内容
 - 申請時登録された申請区分一覧情報、申請者情報一覧情報、申請地番一覧情報、申請 ファイル一覧情報、及び回答一覧情報、回答履歴一覧、回答ファイル更新履歴一覧情報を含む
 - 形式
 - ➢ API レスポンス
 - データ詳細
 - ▶ 内部連携インタフェース【IF201】を参照
- 機能詳細

- ▶ 申請時 ID 認証
 - ◆ 処理内容
 - 申請登録時に発行された照合 ID 及びパスワードで API リクエストを実施
 - 認証が成功した場合、申請情報詳細 DTO※1 を返却し申請情報と回答情報をフロントエンドで画面表示
 - 認証に失敗した場合、エラーステータスコードを返却しダイアログメッセージを表示
 - 申請情報詳細 DTO※1 から取得した申請ファイル DTO※2又は回答ファイル DTO※3 を 使用することで申請ファイル又は回答ファイルのダウンロードを実施

※1:申請情報及び回答 DTO※3 を保持したオブジェクト

※2:申請ファイル情報を保持したオブジェクト

※3:回答ファイル情報を保持したオブジェクト

- ◆ 利用するライブラリ
 - Spring Boot(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)
- 21. 【FN016】回答参照
- 機能概要
 - ▶ 申請時 ID 認証で照合した場合、申請内容に対する行政担当者からの回答内容を確認する
- フローチャート



<凡例> 出力 入力 処理 <分岐 DB ファイル

図 4-35 回答参照のフローチャート

- データ仕様
 - ▶ 入力
 - ◆ 申請者ログインパラメータ情報
 - 内容
 - ▶ ユーザーが入力済みの申請者ログイン情報
 - 形式
 - ➢ APIリクエスト
 - データ詳細
 - ▶ 内部連携インタフェース【IF201】を参照
 - ▶ 出力
 - ◆ 申請情報詳細情報
 - 内容
 - 申請時登録された申請区分一覧情報、申請者情報一覧情報、申請地番一覧情報、申請 ファイル一覧情報、及び回答一覧情報、回答履歴一覧、回答ファイル更新履歴一覧情報、申請追加情報一覧、帳票ファイル一覧を含む
 - 形式
 - ▶ レスポンス
 - データ詳細
 - ▶ 内部連携インタフェース【IF201】【IF256】を参照
 - ◆ 申請対象地番レイヤ
 - 内容
 - ▶ 申請対象地番のレイヤ情報
 - 形式
 - ➤ WMS
 - データ詳細
 - ▶ データ:DT101
 - ➤ GeoServerを使用(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL008】を参照)
- 機能詳細
 - ▶ 申請時 ID 認証
 - ◆ 処理内容
 - 申請登録時に発行された照合 ID 及びパスワードで API リクエストを実施
 - 認証が成功した場合、申請情報詳細 DTO※1 を返却し申請情報と回答情報をフロントエン ドで画面表示
 - 認証に失敗した場合、エラーステータスコードを返却しダイアログメッセージを表示
 - 申請情報詳細 DTO※1 から取得した申請ファイル DTO※2又は回答ファイル DTO※3 を 使用することで申請ファイル又は回答ファイルのダウンロードを実施

※1:申請情報及び回答 DTO※3 を保持したオブジェクト

```
※2:申請ファイル情報を保持したオブジェクト
※3:回答ファイル情報を保持したオブジェクト
```

- ◆ 利用するライブラリ
 - Spring Boot(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)
- 22. 【FN017】回答ファイルダウンロード
- 機能概要
 - 申請時 ID 認証で照合した場合、申請内容に対する行政担当者からの回答添付ファイルをダウンロー ドする。
- フローチャート



図 4-36 回答ファイルダウンロードのフローチャート

- データ仕様
 - ▶ 入力
 - ◆ ダウンロード対象回答ファイル情報
 - 内容
 - ▶ ユーザーが選択した回答ファイル情報
 - 形式
 - ➢ API リクエスト
 - データ詳細
 - ▶ 内部連携インタフェース【IF203】を参照
 - ▶ 出力
 - ◆ 回答ファイル

- 内容
 - ▶ ダウンロード対象回答ファイル
- 形式
 - ▶ PDF、TIFF、JPEG、PNG、CAD ファイル
- データ詳細
 - ▶ ファイル出力インタフェース【IF103】を参照
- ◆ 赤入れされた回答ファイル
 - 内容
 - 回答ファイル赤入れ機能で編集を開始した際にシステムにアップされた、ダウンロー ド対象回答ファイル
 - 形式
 - PDF、TIFF、JPEG、PNG ファイル
 - データ詳細
 - ▶ ファイル出力インタフェース【IF104】を参照
- 機能詳細
 - ▶ 回答ファイルダウンロード
 - ◆ 処理内容
 - 申請登録時に発行された照合 ID 及びパスワードで API リクエストを実施
 - 認証が成功した場合、申請情報詳細 DTO※1 を返却し申請情報と回答情報をフロントエン ドで画面表示
 - 認証に失敗した場合、エラーステータスコードを返却しダイアログメッセージを表示
 - 申請情報詳細 DTO※1 から取得した申請ファイル DTO※2又は回答ファイル DTO※3 を 使用することで申請ファイル又は回答ファイルのダウンロードを実施

※1:申請情報及び回答 DTO※3 を保持したオブジェクト

※2:申請ファイル情報を保持したオブジェクト

※3:回答ファイル情報を保持したオブジェクト

- ◆ 利用するライブラリ
 - なし
- 23. 【FN018】回答レポート出力
- 機能概要
 - 申請時 ID 認証で照合した場合、申請内容に対する行政担当者からの回答内容を帳票様式で Excel 出 力する。
- フローチャート



図 4-37 回答レポート出力のフローチャート

- データ仕様
 - ▶ 入力
 - ♦ 回答レポートテンプレート
 - 内容

▶ 申請時の概況診断レポート

- 形式
 - ➤ Excel ファイル
- データ詳細
 - ▶ ファイル入力インタフェース【IF005】を参照
- ▶ 出力
 - ◆ 行政回答レポート
 - 内容
 - ▶ 行政担当者からの回答内容を含む帳票ファイル
 - 形式
 - ▶ Excel ファイル
 - データ詳細
 - ▶ ファイル出力インタフェース【IF105】を参照
 - ▶ 内部連携インターフェース【IF208】を参照
- 機能詳細

- ▶ 行政回答レポート生成
 - ◇ 処理内容
 - 事業者へ通知済みの回答を取得する
 - 申請時の概況診断レポートのパスを取得して、ファイル実体が存在するかチェックを行う 存在しない場合、異常終了してエラーメッセージを表示する
 - ファイルが存在する場合、行政回答レポートのテンプレートとする
 - テンプレートファイルを読み込み、通知済み回答の回答内容を書き込んで、回答レポート
 を出力する
 - ◆ 利用するライブラリ
 - Apache POI (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL005】を参照)
 - Spring Boot (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)

24. 【FN038】各種帳票出力

- 機能概要
 - 各申請段階の申請・回答が全て完了した時点で、各種帳票を自動生成する。自動生成対象の帳票は各申請段階で SE 設定可能とする
 - 行政が作成した各種帳票データをダウンロードする。また、各種帳票ダウンロード操作のタイミン グで、データ受領日を自動登録するとともに、行政管理者へデータ取得が完了した旨をメール通知 する
 - <事前協議申請時>
 - ・事前協議同意書
 - ・32条協議同意書
 - ・その他地方公共団体で設定した様式(システム構築時に SE 設定できるようにする)
 - <許可申請時>
 - ・開発許可証
 - ・その他地方公共団体で設定した様式(システム構築時に SE 設定できるようにする)




図 4-39 各種帳票出力機能のフローチャート

- データ仕様
 - ▶ 入力
 - ◆ 帳票生成情報
 - 内容
 - ・ 帳票テンプレートファイルと、申請者情報、申請追加情報、申請情報(登録日)、申請 地番を含む帳票作成用情報
 - 形式
 - ➢ Excel ファイル、リクエスト
 - データ詳細
 - ▶ 内部連携インタフェース【IF206】を参照
 - ▶ ファイル入力インタフェース【IF009】を参照
 - ◆ 出力対象帳票情報
 - 内容
 - ▶ ユーザー選択した帳票情報
 - 形式
 - ➢ API リクエスト

- データ詳細
 - ▶ 内部連携インタフェース【IF259】を参照
- ▶ 出力
 - ◆ 対象帳票ファイル
 - 内容
 - ▶ 出力対象帳票ファイル
 - 形式
 - ➤ Excel 形式
 - データ詳細
 - ▶ ファイル出力インタフェース【IF110】を参照
- 機能詳細
 - ▶ 帳票ファイル生成
 - ◆ 処理内容
 - 申請ステータスが「事前相談:完了」、「事前協議:完了」、「許可判定:完了」のいずれかになる場合、帳票作成を実行する
 - M_帳票から帳票テンプレートファイルのパスを取得して、申請関連情報を取得する
 - 申請ステータスが「事前協議:完了」の場合、O_回答の 32 条協議フラグをチェックし、
 「1」(該当)が1件以上の場合 32 条協議書の出力を行う
 - 以下、帳票ごとに処理をくり返す
 - 帳票出力要の場合、帳票テンプレートファイルを読み込んで、申請関連情報をファイルに
 埋める
 - 編集した帳票ファイルを、0_帳票に登録して、ファイル実体をファイルサーバにアップロ ードする
 - ◆ 利用するライブラリ
 - Apache POI (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL005】を参照)
 - Spring Boot(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)
 - ▶ 帳票ファイル出力
 - ◆ 処理内容
 - 操作ユーザーが事業者の場合、帳票情報にある ID・パスワードで、認証チェックを行う。
 - 認証に成功する場合、帳票ファイルの存在チェックを行う
 - 操作ユーザーが事業者の場合、該当する帳票ファイルが未受領の状態である場合、帳票受 領日時を更新して、行政管理者へメール通知を行う
 - 帳票ファイルをローカルに出力する
 - ◆ 利用するライブラリ
 - Spring Boot (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)

- 25. 【FN019】回答への問合せ
- 機能概要
 - ▶ 行政からの回答に対して、事業者からチャット形式で問合せを行う
 - ▶ 問合せがあった旨を行政担当者に通知する
 - ▶ 問合せ内容に添付してファイルをアップロードする
 - 事前相談・事前協議/32条協議・許可申請それぞれの問い合わせ時の申請段階を問合せ情報の属性で 保持し、一連で管理する
 - ▶ 登録可能なファイルは PDF、TIFF、JPEG、PNG、CAD ファイルのみとする
- フローチャート



図 4-40 回答への問合せのフローチャート (1/2)



図 4-41 回答への問合せのフローチャート (2/2)

- データ仕様
 - ▶ 入力
 - ◆ チャットメッセージー覧取得条件
 - 内容

▶ 申請 ID、申請段階 ID、部署回答 ID、回答 ID と申請のログイン情報を含む情報

- 形式
 - ▶ リクエスト
- データ詳細
 - ▶ 内部連携インタフェース【IF225】を参照
- ◆ メッセージ投稿情報

- 内容
 - ▶ 問合せのメッセージ内容
- 形式
 - ▶ リクエスト
- データ詳細
 - ▶ 内部連携インタフェース【IF224】【IF227】【IF229】を参照
- ▶ 出力
 - ◆ チャットメッセージ一覧
 - 内容
 - ▶ 申請情報にひも付くメッセージタイプが行政→事業者と事業者→行政のメッセージ 内容
 - 形式
 - レスポンス
 - データ詳細
 - ▶ 内部連携インタフェース【IF225】を参照
 - ▶ ファイル出力インタフェース【IF106】を参照
 - ◆ 問合せ関連情報
 - 内容
 - ▶ 画面に選択したチャット情報にひも付く通知済み回答内容
 - ▶ 画面に選択したチャット情報にひも付く通知済み回答履歴
 - ▶ 画面に選択したチャット情報にひも付く通知済み回答ファイル
 - ▶ 申請段階にひも付く全ての申請ファイル
 - 形式
 - ▶ レスポンス
 - データ詳細
 - ト 内部連携インタフェース【IF203】【IF212】【IF226】【IF228】を参照
 - ▶ ファイル出力インタフェース【IF102】【IF106】を参照
- 機能詳細
 - ▶ チャットメッセージー覧取得
 - ◆ 処理内容
 - 事前相談の場合、回答 ID にひも付くチャットを取得する。事前協議の場合、部署回答 ID にひも付くチャットを取得する。許可判定の場合、申請 ID にひも付くチャット情報を取得する
 - 上記でチャット情報が取得できなかった場合、O_チャットに新規登録して、チャットメッセージ未表示の状態でチャット画面を開く
 - 申請 ID にひも付く事業者向け (メッセージタイプが事業者→行政、行政→事業者)メッセ
 ージリストを取得する。取得したメッセージは事前相談の場合回答 ID 単位 (条項ごと)、
 事前協議の場合部署回答 ID 単位 (部署ごと)、許可申請の場合申請 ID 単位 (全体) で括

り表示する。初期状態では画面遷移時に指定した ID にひも付くメッセージを開いた状態 とする。画面上で開いた際に、開いたメッセージの宛先が事業者(行政担当者から送信さ れたメッセージ)の場合、事業者が閲覧したと判断し、そのメッセージを既読済みに更新 する

- チャットにひも付く回答内容、回答履歴、回答ファイルと申請ファイルを画面表示するため、該当するメッセージにひも付く回答の通知テキスト、通知済みの回答履歴、回答ファイルと申請ファイル情報を取得する
- ◆ 利用するライブラリ
 - Spring Boot (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)
- ▶ チャットメッセージ投稿
 - ◆ 処理内容
 - O_メッセージに問合せメッセージを登録し、許可判定以外の場合、O_問合せ宛先に回答担 当部署で登録する
 - 問合せ添付ファイルがあれ O_問合せファイルに登録し、ファイルサーバにアップロード する
 - 最新の事業者向けメッセージリストを取得する
 - 行政の回答担当部署への前回投稿から1分を過ぎた場合、メール通知を行う
 - ◆ 利用するライブラリ
 - Spring Boot (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)

uc24-11_技術検証レポート_開発許可の DX v3.0

- 3) 行政担当者向け機能一覧
- 1. 【FN020】ログイン認証
- 機能概要

▶ システム構築時の設定作業で設定した行政担当者の ID・パスワードを認証する

● フローチャート



図 4-42 ログイン認証のフローチャート

- データ仕様
 - ▶ 入力
 - ◆ 行政ログイン情報
 - 内容

▶ 行政ユーザーが入力したログイン情報

- 形式
 - ➢ API リクエスト
- データ詳細
 - ▶ 内部連携インタフェース【IF221】を参照
- ▶ 出力
 - ◇ ユーザー認証情報 token
 - 内容

- ▶ ログイン時に付与されるユーザー情報 token
- 形式
 - ➢ APIリクエスト
- データ詳細
 - ▶ 内部連携インタフェース【IF220】を参照
- ♦ 破棄済みユーザー認証情報 token
 - 内容
 - ▶ ログアウト時に破棄されるユーザー情報 token
 - 形式
 - ➢ APIリクエスト
 - データ詳細
 - ▶ 内部連携インタフェース【IF222】を参照
- 機能詳細
 - ▶ ログイン認証
 - ◆ 処理内容
 - 入力された ID 及びパスワードで行政ログイン API にリクエストを実施、またバックエン ドで認証を実施
 - 認証成功時、バックエンドで token の生成を行い、返却された token をフロントエンドで 保持し地図画面へ遷移(token の生成には JWT (JSON Web Token)を採用し、署名アル ゴリズムは HMAC SHA-256※1 を使用)
 - 地図画面の初期ロード時、フロントエンドで token の認証チェックを自動的に実施
 - 行政用 token が認証に失敗した場合、再度ログイン画面を表示
 - token がない場合又は事業者用 token で認証に失敗した場合、事業者用 token を新たに生成し返却後、地図画面を表示

※1:SHA256 ハッシュ関数を用いて署名を計算するキー付きハッシュアルゴリズムの一種

- ♦ 利用するライブラリ
 - Spring Boot (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)

2. 【FN021】申請情報検索・参照

- 機能概要
 - 事業者申請時の入力情報、ステータスを検索条件とし、申請情報を検索する
 - 検索条件に一致した申請情報検索結果を一覧表示する
 - ▶ 表示した検索結果の地図移動ボタンにより、対象の位置に移動する
 - 申請情報の詳細情報を表示する
 - 表示方法は、「地図上に表示されている申請区域(ハイライト図形)」「申請情報検索結果一覧の詳細 ボタンを押下」の2種類とする

- 申請情報検索結果一覧の CSV 出力ボタンを押下すると、申請情報検索結果一覧を CSV ファイルで 出力する
- フローチャート



図 4-43 申請情報検索・参照のフローチャート

- データ仕様
 - ▶ 入力
 - ◆ 申請情報検索条件情報
 - 内容
 - ▶ 行政ユーザーが入力した申請情報検索条件
 - 形式
 - ➢ APIリクエスト
 - データ詳細
 - ▶ 内部連携インタフェース【IF219】を参照
 - ▶ 出力

- ◆ ラベル情報
 - 内容
 - ▶ 画面に表示するラベル情報
 - 形式
 - ➢ APIリクエスト
 - データ詳細
 - ▶ 内部連携インタフェース【IF243】を参照
- ◆ 申請情報検索結果表示項目一覧情報
 - 内容
 - ▶ 申請情報検索結果表示項目一覧情報
 - 形式
 - ➢ API レスポンス
 - データ詳細
 - ▶ 内部連携インタフェース【IF218】を参照
- ◆ 申請情報検索結果一覧情報
 - 内容
 - > 入力した申請情報検索条件に対する申請情報一覧情報
 - 形式
 - ➢ API レスポンス
 - データ詳細
 - ▶ 内部連携インタフェース【IF217】を参照
- ◆ 申請中地番情報
 - 内容
 - ▶ ステータスが申請中の地番一覧
 - 形式
 - ➢ API レスポンス
 - データ詳細
 - ▶ 内部連携インタフェース【IF248】を参照
- ◆ 申請詳細情報
 - 内容
 - ▶ 選択された申請の詳細情報
 - 形式
 - ➢ API レスポンス
 - データ詳細
 - ▶ 内部連携インタフェース【IF211】を参照
- ◆ 申請情報表示地番レイヤ
 - 内容
 - ▶ 申請情報表示地番のレイヤ情報

- 形式
 - ➤ WMS
- データ詳細

▶ GeoServer を使用(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL008】を参照)

- ◆ 申請ファイル
 - 内容
 - ▶ 申請登録時又は再申請登録時に事業者がアップロードしたファイル
 - 形式
 - PDF、TIFF、JPEG、PNG、CAD ファイル
 - データ詳細
 - ▶ ファイル出力インタフェース【IF102】を参照
- ◆ 回答ファイル
 - 内容

▶ 回答登録時に行政担当者がアップロードしたファイル

● 形式

PDF、TIFF、JPEG、PNG、CAD ファイル

● データ詳細

▶ ファイル出力インタフェース【IF103】を参照

- ◆ 赤入れされた回答ファイル
 - 内容
 - 回答ファイル赤入れ機能で編集を開始した際にシステムにアップされた、ダウンロー ド対象回答ファイル
 - 形式
 - ▶ PDF、TIFF、JPEG、PNG ファイル
 - データ詳細
 - ▶ ファイル出力インタフェース【IF104】を参照
- ◆ 申請情報検索結果 CSV ファイル
 - 内容
 - ▶ 申請情報検索結果を基に出力された CSV ファイル
 - 形式
 - ➤ CSV 形式
 - データ詳細
 - ▶ 内部連携インタフェース【IF261】を参照
 - ▶ ファイル出力インタフェース【IF111】を参照
- 機能詳細
 - ▶ 申請情報検索・参照
 - ◆ 処理内容
 - 申請情報検索画面の初期処理時、申請情報検索条件 DTO※1 の一覧を API で取得

- フロントエンドで得られた申請情報検索条件 DTO※1 を用いて検索条件を生成し画面表
 示
- 検索実行時、バックエンドで検索対象の項目に基づき SQL を生成及び実行後、申請者情報
 検索結果 DTO※2 の一覧を生成しフロントエンドに返却(各項目は AND 条件で、申請区
 分内は OR 条件で検索を実施、また空検索の場合は全件取得)
- フロントエンドで返却された申請者情報検索結果 DTO※2 の一覧を検索結果一覧として 画面表示
- 申請対象地点へのフォーカス処理時、申請者情報検索結果 DTO※2 から地番・緯度経度情報を取得し地図画面上で実施

※1:M_申請情報検索結果で定義されている項目のオブジェクト内容:申請者情報、ステータス、 担当課、申請区分、申請追加情報、条文ステータス、申請種類、申請段階 ※2:申請情報を保持するオブジェクト

- ◆ 利用するライブラリ
 - TerriaJS (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL002】を参照)
 - CesiumJS (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL003】を参照)
 - Node.js(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL004】を参照)
 - Spring Boot (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - GeoServer (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL008】を参照)
 - PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)
 - PostGIS (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL010】を参照)
 - Leaflet (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL018】を参照)
- ➢ CSV ファイル出力
 - ◆ 処理内容
 - 検索条件を基に申請情報リストを取得する。
 - 申請情報リストをソート情報でソートする
 - ソートした申請情報を CSV ファイルで出力する
 - ◆ 利用するライブラリ
 - Spring Boot (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)

3. 【FN027】問合せ情報検索・参照

- 機能概要
 - ▶ 事業者申請時の入力情報、ステータス、担当課、回答者を検索条件とし、問合せ情報を検索する
 - ▶ 検索条件に一致した問合せ情報検索結果を一覧表示する
 - ▶ 表示した検索結果の行をクリックすると、対象の位置に移動する
 - ▶ 検索結果一覧の詳細ボタンにより、問合せ情報の詳細情報を表示する
 - 事前相談・事前協議/32条協議・許可申請それぞれの問い合わせは一連で管理するとともにフィルタ 絞込みができるようにする

uc24-11_技術検証レポート_開発許可の DX v3.0

- ▶ 検索結果一覧で、ヘッダダブルクリックにより昇降並び替えができる
- ▶ 検索結果一覧の CSV 出力ボタンから、問合せ情報一覧を CSV ファイルで出力する
- フローチャート



- データ仕様
 - ▶ 入力
 - ◇ なし

- ▶ 出力
 - ◇ 検索条件一覧情報
 - 内容
 - ▶ 検索条件項目と検索条件の選択肢リスト情報
 - 形式
 - ▶ レスポンス
 - データ詳細
 - ▶ 内部連携インタフェース【IF219】を参照
 - ◆ 問合せ情報
 - 内容
 - ▶ 検索条件と一致する問合せ一覧情報
 - 形式
 - レスポンス
 - データ詳細
 - ▶ 内部連携インタフェース【IF234】を参照
 - ◆ 問い合わせ情報検索結果 CSV ファイル
 - 内容
 - ▶ 検索条件と一致する問合せ一覧情報
 - 形式
 - ▶ CSVファイル
 - データ詳細
 - ▶ 内部連携インタフェース【IF261】を参照
 - ▶ ファイル出力インタフェース【IF112】を参照
- 機能詳細
 - ▶ 検索条件一覧取得
 - ◆ 処理内容
 - M_申請者情報項目、M_申請区分選択画面、M_申請区分、M_部署、M_行政ユーザーから 情報を取得して、画面の検索条件項目と条件項目の選択肢とする
 - application.properties に定義している回答ステータスリストを検索条件項目ステータスの選択肢とする
 - ◆ 利用するライブラリ
 - Spring Boot (ソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL(ソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)
 - ▶ 問合せ情報取得
 - ◆ 処理内容
 - 入力された検索条件をもとに、チャット ID ごとに問合せ情報一覧を取得する
 - 問合せ情報に対する申請情報の申請地番を取得する
 - ◆ 利用するライブラリ

- Spring Boot (ソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
- PostgreSQL (ソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)
- ➤ CSV ファイル出力
 - ◆ 処理内容
 - 検索条件を基に問合せ情報リストを取得する
 - 問合せ情報リストをソート情報でソートする
 - ソートした問合せ情報を CSV ファイルで出力する
 - ◆ 利用するライブラリ
 - Spring Boot(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)
- 4. 【FN028】担当課の問合せ・回答情報検索・参照
- 機能概要
 - ログインユーザーの部署を検索条件として、未回答の問合せ、事前相談申請、事前協議/32条協議申請、許可申請情報を検索する
 - ▶ 検索条件に一致した情報を一覧表示する
 - ▶ 検索結果一覧の詳細ボタンから、各情報の詳細情報を表示する
 - ▶ 検索結果一覧で、ヘッダダブルクリックにより昇降並び替えができる
- フローチャート



図 4-45 担当課の問い合わせ・回答情報検索・参照のフローチャート

- データ仕様
 - ▶ 入力

- ◇ なし
- ▶ 出力
 - ◆ 検索条件一覧情報
 - 内容
 - ▶ 検索条件項目と検索条件の選択肢リスト情報
 - 形式
 - ▶ レスポンス
 - データ詳細
 - ▶ 内部連携インタフェース【IF219】を参照
 - ◆ 問合せ・回答申請情報
 - 内容
 - ▶ ログインユーザーの部署に対する未回答の問合せ情報と未回答の回答申請情報
 - 形式
 - ▶ レスポンス
 - データ詳細
 - ▶ 内部連携インタフェース【IF233】を参照
- 機能詳細
 - 担当課の問合せ・回答申請情報取得
 - ◆ 処理内容
 - ログインユーザーの部署を検索条件として、O_回答と M_区分判定_権限から完了フラグ が未完了の事前相談、事前協議、許可判定の回答申請情報を取得する
 - ログインユーザーの部署を検索条件として、未回答の問合せ情報を取得する
 - ◆ 利用するライブラリ
 - Spring Boot (ソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL (ソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)
- 5. 【FN022】申請時ファイルダウンロード
- 機能概要
 - ▶ 申請時に登録されたファイルをダウンロードする

● フローチャート



図 4-46 申請時ファイルダウンロード機能のフローチャート

- データ仕様
 - ▶ 入力
 - ◆ ダウンロード対象申請ファイル情報
 - 内容
 - ▶ ユーザーが選択した申請ファイル情報
 - 形式
 - ➢ API リクエスト
 - データ詳細
 - ▶ 内部連携インタフェース【IF212】を参照
 - ▶ 出力
 - ◆ 申請ファイル
 - 内容
 - ▶ ダウンロード対象申請ファイル
 - 形式
 - ▶ PDF、TIFF、JPEG、PNG、CAD ファイル
 - データ詳細
 - ▶ ファイル出力インタフェース【IF102】を参照
- 機能詳細
 - ▶ 申請ファイルダウンロード
 - ◇ 処理内容
 - 申請情報参照画面の初期処理時、前画面から渡された申請 IDを使用して申請情報詳細取
 得 API にリクエストを実施

- バックエンドで申請 ID をもとに DB から検索を行い、申請情報詳細 DTO※1 を生成し返却
- 申請情報詳細 DTO※1 から取得した申請ファイル DTO※2 を使用し申請ファイルのダウ ンロードを実施

※1:申請情報及び回答 DTO を保持したオブジェクト

※2:申請ファイル情報を保持したオブジェクト

- ◆ 利用するライブラリ
 - Spring Boot (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)
- 6. 【FN023】回答情報入力(再申請に対応)
- 機能概要
 - ▶ 申請情報に対し、回答を記載する
 - ◆ 回答入力の際、事業者が入力した情報(地番、申請区分)を引用できる
 - ◆ 回答入力の際、各条項で SE 作業により設定されている回答テンプレート文を引用できる
 - ▶ 回答は、ログイン時アカウントに関連付けられた対象の法律・条項のみ、登録可能なものとする
 - ▶ 回答登録完了後、対象申請 ID のステータスを「事前相談:未完(回答準備中)」に自動変更する
 - ▶ 「ログイン時アカウント」と「回答対象の法律・条項」の関連付けは、システム構築時に設定する
 - ▶ 申請情報に対し、回答に関連する画像データ(図での説明資料)をアップロードする
 - ▶ 事業者が登録したファイルを引用し、赤字・枠線・マーカーなどで添削・修正箇所を Web 上で追記 できる
 - ▶ 登録可能なファイルは PDF、TIFF、JPEG、PNG、CAD ファイルのみとする

※PDF ファイル、TIFF ファイルは編集時 PNG に変換して登録する

- 行政担当者の回答の際は、回答アカウントを内部保持し、誰がいつ回答したかを検索・管理できるようにする。その際、ログインアカウントは、グループ(所管)・ユーザー名で管理する
- ▶ 回答入力一覧で、ヘッダダブルクリックにより昇降並び替えができる
- ▶ 回答入力一覧で、入力管理する項目のみに絞込みができる
- ▶ 回答は、ログイン時アカウントに関連付けられた対象の法律・条項のみ、登録可能なものとする



図 4-47 回答情報入力のフローチャート



図 4-48 回答ファイル追加の詳細フローチャート

- データ仕様
 - ▶ 入力
 - ◆ 申請回答情報
 - 内容
 - ▶ 申請情報と回答一覧情報、回答ファイルを含む申請回答情報
 - 形式
 - ▶ リクエスト
 - データ詳細
 - ▶ ファイル入力インタフェース【IF003】、【IF004】を参照
 - ト 内部連携インタフェース【IF204】【IF211】【IF238】【IF262】を参照
 - ▶ 出力
 - ◆ 回答完了ダイアログ表示
 - 内容
 - ▶ 回答登録完了を示すダイアログの表示
 - 形式

- ▶ なし
- データ詳細
 - ▶ ラベル文言
 - ▶ 内部連携インタフェース 【IF202】【IF205】【IF235】【IF243】を参照
- 機能詳細
 - ▷ 回答情報一覧取得
 - ◆ 処理内容
 - 申請 ID にひも付く回答情報一覧を取得して、表示する
 - ◆ 利用するライブラリ
 - Spring Boot (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)
 - ▶ 回答テンプレート一覧取得
 - ◆ 処理内容
 - 法令・条項に対する回答を入力するためのテンプレートを取得して、表示する
 - ◆ 利用するライブラリ
 - Spring Boot(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)
 - ▶ PDF ファイルを PNG ファイル変換
 - ◇ 処理内容
 - 事業者が登録した PDF ファイル又は既に回答登録をしている PDF ファイルを引用した後、 指定のページを PNG ファイルに変換して添削・修正を可能にする
 - 編集された PNG ファイルを O_回答ファイルに登録して、ファイルサーバにアップロード する
 - ◆ 利用するライブラリ
 - Spring Boot (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)
 - PDF.js(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL014】を参照)
 - PDFBox (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL015】を参照)
 - ▶ TIFF ファイルを PNG ファイル変換
 - ◆ 処理内容
 - TIFF ファイルの添削・修正を可能にするために、TIFF ファイルを PNG ファイルに変換す る
 - 編集された PNG ファイルを O_回答ファイルに登録して、ファイルサーバにアップロード する
 - ◆ 利用するライブラリ
 - Spring Boot (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)
 - tiff.js (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL013】を参照)

- ▶ 画像ファイルの添削・修正
 - ◆ 処理内容
 - 画像ファイルに赤字・枠線・マーカーなどで添削・修正箇所を追記して、回答ファイル一覧 に追加する
 - 編集された画像ファイルを 0_回答ファイルに登録して、ファイルサーバにアップロードする
 - ◆ 利用するライブラリ
 - Spring Boot (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)
 - marker.js (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL012】を参照)
- 回答情報入力(回答者の登録・回答者の履歴管理・検索)
 - ◇ 処理内容
 - 回答登録 API を実行し、編集した回答内容、回答ファイルを DB へ反映する
 - 入力した回答内容は O_回答に登録し、回答登録をしたアカウントの情報は O_回答履歴に 登録して内部保持する
 - 全ての回答が完了しているか判定を実施する
 - 全ての回答が完了している場合、申請のステータスを「事前相談:未完(回答精査中)」に
 更新する。全ての回答が完了してない場合、申請ステータスを「事前相談:未完(回答準備中)」に更新する
 - 編集・添付されたファイルを 0_回答ファイルに登録して、ファイルサーバにアップロード する。回答ファイルは条項単位でアップロードする
 - ◆ 利用するライブラリ
 - Spring Boot (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)
- 7. 【FN024】回答完了
- 機能概要
 - 対象申請 ID の回答項目について、各アカウントでの回答が完了した場合、対象申請 ID のステータ スを「事前相談:未完(回答精査中)」に自動変更し、行政担当者:管理アカウント(通知アカウン ト)に対して申請情報への全回答が完了したことをメール通知する
 - 「ログイン時アカウント」について、管理アカウント(通知アカウント)はシステム構築時に設定する



図 4-49 回答完了のフローチャート

- データ仕様
 - ▶ 入力
 - ◆ 回答ファイル
 - 内容
 - 行政担当者が入力した回答入力情報
 - 形式
 - ➢ APIリクエスト
 - データ詳細

- ▶ 内部連携インタフェース【IF207】を参照
- ▶ 出力
 - ◆ なし
- 機能詳細
 - ▶ 回答完了
 - ◇ 処理内容
 - 回答登録 API 実行時、バックエンドで全ての回答が完了しているか判定を実施
 - 全ての回答が完了している場合、申請のステータスを「事前相談:未完(回答精査中)」に
 変更し、全部署回答完了通知メールを回答通知権限部署に送信
 - 回答通知 API 実行時、申請ステータスを「事前相談:未完(要再申請)」、又は「事前相談: 完了」に変更し、事業者への通知メールを送信
 - ◇ 利用するライブラリ
 - Spring Boot (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)
- 8. 【FN025】回答通知
- 機能概要
 - ▶ 事業者に対し、回答が完了した旨をメール通知する
 - > 回答通知後、対象申請 ID のステータスを「事前相談:完了」に自動変更する
 - 回答項目に「要再申請」の項目が1つでもある場合、事業者に対し再申請が必要な旨をメール通知し、対象申請IDのステータスを「事前相談:未完(要再申請)」に自動変更する
 - 「ログイン時アカウント」について、管理アカウント(通知アカウント)はシステム構築時に設定する

● フローチャート



図 4-50 回答通知のワークフロー

- データ仕様
 - ▶ 入力
 - ◆ 回答通知
 - 内容
 - ▶ 申請・回答内容確認情報フォーム
 - 形式
 - ▶ リクエスト

- データ詳細
 - ▶ 内部連携インタフェース【IF206】【IF262】【IF263】を参照
- ▶ 出力
 - ◆ 回答通知完了ダイアログ
 - 内容
 - ▶ 通知が完了した旨のダイアログを表示する。
 - 形式
 - ▶ なし
 - データ詳細
 - ▶ なし
- 機能詳細
 - ▶ 事業者へのメール通知
 - ◆ 処理内容
 - 選択した回答一覧を基に、行政担当者が入力した回答内容を通知テキストにコピーして、
 通知済みに更新する
 - 選択した回答一覧を基に、回答ファイルも事業者が閲覧できるように、通知パスを更新する
 - 事業者へ回答が完了した旨通知メールを送信する
 - 申請段階 ID に応じて回答通知完了の文言を取得して、ダイアログで表示する
 - ◆ 利用するライブラリ
 - Spring Boot(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)
 - ▶ 対象申請ステータス変更
 - ◆ 処理内容
 - 通知済みの回答のうち、要再申請の回答がある場合、「事前相談:未完(要再申請)」に更新 する
 - 全ての回答が通知済み、かつ要再申請の回答が1件もない場合、申請ステータスを「事前 相談:完了」に更新する
 - 全ての回答が通知済みではない、かつ通知済みの回答リスト中に、要再申請の回答が1件
 もない場合、申請ステータスを「事前相談:未完(回答精査中)」に更新する
 - ◆ 利用するライブラリ
 - Spring Boot(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)
- 9. 【FN026】問合せへの助言
- 機能概要
 - ▶ 事業者からの事前相談の申請に対して、チャット形式でメッセージを送信する

uc24-11_技術検証レポート_開発許可の DX v3.0

- ▶ 事前相談の回答に対して事業者から問合せがあった場合にチャット形式で返答する
- ▶ 事業者がチャットにファイルを添付している場合、ファイルをダウンロードする
- ▶ 問い合わせへの回答をほかの複数の部署に委任する
- ▶ 問合せに回答すると回答を行った旨を事業者に通知する
- ▶ 事前相談の申請段階で回答した属性を合わせて管理する
- フローチャート



図 4-51 問合せへの助言のフローチャート

- データ仕様
 - ▶ 入力
 - ◆ チャットメッセージー覧取得条件
 - 内容

- ▶ 画面に選択したチャット ID
- 形式
 - ➢ APIリクエスト
- データ詳細
 - ▶ 内部連携インタフェース【IF231】を参照
- ◆ メッセージ投稿情報
 - 内容
 - ▶ メッセージ内容と宛先部署情報
 - 形式
 - ➢ APIリクエスト
 - データ詳細
 - ▶ 内部連携インタフェース【IF230】を参照
- ▶ 出力
 - ◆ チャットメッセージー覧
 - 内容
 - ▶ 申請 ID にひも付くメッセージ一覧情報
 - 形式
 - ▶ レスポンス
 - データ詳細
 - ▶ 内部連携インタフェース【IF231】を参照
 - ▶ ファイル出力インタフェース【IF106】を参照
 - ◆ 問合せ関連情報
 - 内容
 - ▶ チャット ID・回答 ID にひも付く回答内容
 - ▶ 回答 ID にひも付く回答履歴
 - ▶ 回答 ID にひも付く回答ファイル
 - ▶ 申請 ID にひも付く全ての事前相談の申請ファイル
 - 形式
 - ▶ レスポンス
 - データ詳細
 - ト 内部連携インタフェース【IF203】【IF212】【IF228】【IF232】を参照
 - ファイル出力インタフェース【IF102】【IF103】【IF104】【IF106】を参照
- 機能詳細
 - ▶ チャットメッセージー覧取得
 - ◆ 処理内容
 - チャット ID から、チャット情報を取得する
 - チャット情報に含む申請 ID、申請段階 ID にひも付くメッセージリストを取得する
 - パラメータのチャット ID に対するメッセージ宛先部署がログインユーザーの部署と同じ

の場合、既読済みに更新する

- パラメータのチャット ID に対する情報は展開している状態で画面に表示する
- ◆ 利用するライブラリ
 - Spring Boot (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)
- ▶ 問合せ関連情報取得
 - ◆ 処理内容
 - 展開しているチャット情報のチャット ID をパラメータとして、回答一覧、回答履歴一覧、 回答ファイル一覧と、事前協議の全ての申請ファイル一覧を取得する
 - ◆ 利用するライブラリ
 - Spring Boot(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)
- ▶ メッセージ投稿
 - ◆ 処理内容
 - O_メッセージに、問合せメッセージを登録し、O_問合せ宛先に選択された宛先部署で登録 する
 - 宛先部署が事業者の場合、O_メッセージと O_問合せ宛先に、事業者からのレコードを回 答済みに更新する
 - 宛先部署が他部署の場合、0_問合せ宛先に自分の担当部署のレコードを回答済みに更新する。該当メッセージに対する全ての 0_問合せ宛先が回答済みになると、0_メッセージを回答済みに更新する
 - 最新の事業者向けチャットメッセージリストを取得する
 - 選択された各宛先部署への前回投稿から1分を過ぎた場合、宛先部署の各アカウントへメ ール通知を行う
 - ◆ 利用するライブラリ
 - Spring Boot (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)
- 10. 【FN039】申請時ファイルダウンロード
- 機能概要
 - ▶ 申請時に登録されたファイルをダウンロードする

● フローチャート



図 4-52 申請時ファイルダウンロード機能のフローチャート

- データ仕様
 - ▶ 入力
 - ◆ ダウンロード対象申請ファイル情報
 - 内容

▶ ユーザーが選択した申請ファイル情報

- 形式
 - ➢ API リクエスト
- データ詳細
 - ▶ 内部連携インタフェース【IF212】を参照
- ▶ 出力
 - ◆ 申請ファイル
 - 内容
 - ▶ ダウンロード対象申請ファイル
 - 形式
 - ▶ PDF、TIFF、JPEG、PNG、DXF、DWG ファイル
 - データ詳細
 - ▶ ファイル出力インタフェース【IF102】を参照
- 機能詳細
 - ▶ 申請ファイルダウンロード
 - ◇ 処理内容
 - 申請情報参照画面の初期処理時、前画面から渡された申請 IDを使用して申請情報詳細取
 得 API にリクエストを実施
 - バックエンドで申請 ID をもとに DB から検索を行い、申請情報詳細 DTO※1 を生成し返

却

● 申請情報詳細 DTO※1 から取得した申請ファイル DTO※2 を使用し申請ファイルのダウ ンロードを実施

※1:申請情報及び回答 DTO を保持したオブジェクト

※2:申請ファイル情報を保持したオブジェクト

- ◆ 利用するライブラリ
 - Spring Boot (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)
- 11. 【FN040】回答情報入力(再申請に対応)

機能概要

- ▶ 申請情報に対し、同意書に印字する回答を記載する
- ▶ 回答は、ログイン時アカウントに関連付けられた対象の法律・条項のみ、登録可能なものとする
- > 回答登録完了後、対象申請 ID のステータスを「事前協議:未完(回答準備中)」自動変更する
- ▶ 「ログイン時アカウント」と「回答対象の法律・条項」の関連付けは、システム構築時に設定する
- ▶ 申請情報に対し、回答に関連する画像データ(図での説明資料)をアップロードする
- 事業者が登録したファイルを引用し、赤字・枠線・マーカーなどで添削・修正箇所を Web 上で追記 できる
- ▶ 登録可能なファイルは PDF、TIFF、JPEG、PNG、CAD ファイルのみとする
- ▶ 32条協議の必要有無について、登録できる
- > 32 条協議が必要な場合、32 条協議同意書に印字する記載文を登録する
- ▶ 各条項の初回回答登録時に、回答のステータスを「承認待ち」に自動変更する

※PDF ファイル、TIFF ファイルは編集時 PNG に変換して登録する

- 行政担当者の回答の際は、回答アカウントを内部保持し、誰がいつ回答したかを検索・管理できるようにする。その際、ログインアカウントは、グループ(所管)・ユーザー名で管理する
- ▶ 回答入力一覧で、ヘッダダブルクリックにより昇降並び替えができる
- > 回答入力一覧で、入力管理する項目のみに絞込みができる
- ▶ 前回以前に回答した事前相談・事前協議の内容を参照できる



図 4-53 回答情報入力機能のフローチャート



図 4-54 回答ファイル追加の詳細フローチャート

- データ仕様
 - ▶ 入力
 - ◆ 申請回答情報
 - 内容
 - ▶ 申請情報と回答一覧情報、回答ファイルを含む申請回答情報
 - 形式
 - ▶ リクエスト
 - データ詳細
 - ▶ ファイル入力インタフェース【IF003】、【IF004】を参照
 - ト 内部連携インタフェース【IF204】【IF211】【IF238】【IF262】を参照
 - ▶ 出力
 - ◆ 回答完了ダイアログ表示
 - 内容
 - ▶ 回答登録完了を示すダイアログの表示
 - 形式

- ▶ なし
- データ詳細
 - ▶ ラベル文言
 - ト 内部連携インタフェース 【IF202】【IF205】【IF235】【IF243】を参照
- 機能詳細
 - ▶ 回答情報一覧取得
 - ◆ 処理内容
 - 申請 ID、申請段階にひも付く回答情報一覧を取得して、表示する
 - ◆ 利用するライブラリ
 - Spring Boot(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)
 - ▶ PDF ファイルを PNG ファイル変換
 - ◇ 処理内容
 - 事業者が登録した PDF ファイル又は既に回答登録をしている PDF ファイルを引用した
 後、指定のページを PNG ファイルに変換して添削・修正を可能にする
 - 編集された PNG ファイルを O_回答ファイルに登録して、ファイルサーバにアップロード する
 - ◆ 利用するライブラリ
 - Spring Boot (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)
 - PDF.js(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL014】を参照)
 - PDFBox (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL015】を参照)
 - ▶ TIFF ファイルを PNG ファイル変換
 - ◆ 処理内容
 - TIFF ファイルの添削・修正を可能にするために、TIFF ファイルを PNG ファイルに変換する
 - 編集された PNG ファイルを O_回答ファイルに登録して、ファイルサーバにアップロード する
 - ◆ 利用するライブラリ
 - Spring Boot (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)
 - tiff.js(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL013】を参照)
 - ▶ 画像ファイルの添削・修正
 - ◆ 処理内容
 - 画像ファイルに赤字・枠線・マーカーなどで添削・修正箇所を追記して、回答ファイルー
 覧に追加する
 - 編集された画像ファイルを O_回答ファイルに登録して、ファイルサーバにアップロード する

- ◆ 利用するライブラリ
 - Spring Boot (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)
 - marker.js (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL012】を参照)
- > 回答情報入力
 - ◆ 処理内容
 - 回答登録 API を実行し、編集した回答内容・32 条協議対象有無と、行政側で追加・削除した条項、回答ファイルを DB へ反映する
 - 入力した回答内容は O_回答に登録し、回答登録をしたアカウントの情報は O_回答履歴に 登録して内部保持する
 - 全ての回答が完了しているか判定を実施する
 - 全ての回答が完了している場合、申請のステータスを「事前協議:未完(回答精査中)」に
 更新する。全ての回答が完了してない場合、申請ステータスを「事前協議:未完(回答準備中)」に更新する
 - 編集・添付されたファイルを 0_回答ファイルに登録して、ファイルサーバにアップロード する。回答ファイルは部署単位でアップロードする
 - ◆ 利用するライブラ
 - Spring Boot (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)
- 12. 【FN041】回答完了
- 機能概要
 - 対象申請 ID の回答項目について、各アカウントでの回答が完了した場合、対象申請 ID のステータ スを「事前協議:未完(回答精査中)」に自動変更し、行政担当者:管理アカウント(通知アカウン ト)に対して申請情報への全回答が完了したことをメール通知する
 - 「ログイン時アカウント」について、管理アカウント(通知アカウント)はシステム構築時に設定する



図 4-55 回答完了のフローチャート

- データ仕様
 - ▶ 入力
 - ◆ 回答ファイル
 - 内容
 - 行政担当者が入力した回答入力情報
 - 形式
 - ➢ APIリクエスト
 - データ詳細
- ▶ 内部連携インタフェース【IF207】を参照
- ▶ 出力
 - ◆ なし
- 機能詳細
 - ▶ 回答完了
 - ◇ 処理内容
 - 回答登録 API 実行時、バックエンドで、全ての回答が回答しているか判定を実施する
 - 全ての回答が完了している場合、申請ステータスが「事前協議:未完(回答精査中)」に更 新して、回答通知権限部署に回答完了通知メールを送信する
 - ◆ 利用するライブラリ
 - Spring Boot (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)
- 13. 【FN042】回答通知
- 機能概要
 - ▶ 事業者に対し、回答が完了した旨をメール通知する
 - > 回答通知後、対象申請 ID のステータスを「事前協議:未完(協議進行中)」に自動変更する
 - 「ログイン時アカウント」について、管理アカウント(通知アカウント)はシステム構築時に設定する

フローチャート



図 4-56 回答通知機能のフローチャート

入力

処理

≪分岐>

DB

ファイル

- データ仕様
 - 入力 \triangleright
 - ◆ 申請情報

- 内容
 - ▶ 申請・回答内容確認情報フォーム
- 形式
 - ➢ APIリクエスト
- データ詳細
 - 内部連携インタフェース【IF206】【IF262】【IF263】を参照
- ▶ 出力
 - ◆ 回答通知完了ダイアログ
 - 内容
 - ▶ 通知が完了した旨のダイアログを表示する
 - 形式
 - ➢ APIリクエスト
 - データ詳細
 - ▶ 内部連携インタフェース【IF263】を参照
- 機能詳細
 - ▶ 事業者へのメール通知
 - ◆ 処理内容
 - 選択した回答一覧を基に、行政担当者が入力した回答内容を通知テキストにコピーして、
 通知済みに更新する
 - 選択した回答一覧を基に、回答ファイルも事業者が閲覧できるように、通知パスを更新する
 - 事業者へ回答が完了した旨通知メールを送信する
 - 申請段階 ID に応じて回答通知完了の文言を取得して、ダイアログで表示する
 - ◆ 利用するライブラリ
 - Spring Boot (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)
 - ▶ 対象申請ステータス変更
 - ◇ 処理内容
 - 通知済みの回答のうち、却下した回答がある場合、「事前協議:未完(要再申請)」に更新 する
 - 全ての回答が通知済みではない、かつ通知済みの回答リスト中に、却下された回答が1件
 もない場合、申請ステータスを「事前協議:未完(回答精査中)」に更新する
 - 全ての回答が通知済み、かつ、却下した回答が1件もない場合、申請ステータスを「事前 協議:完了」に更新する
 - ◆ 利用するライブラリ
 - Spring Boot (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)

14. 【FN046】事前協議合意登録

- 機能概要
 - 事前協議/32条協議の登録内容に対し、事業者が承認回答をした場合、対象の条項に対し、行政同意 日を登録する
 - 全ての条項の同意日登録完了後、対象申請 ID のステータスを「事前協議:未完(協議進行中)」の まま、全ての条項の回答ステータスが「同意済み」に自動変更し、行政担当者:管理アカウント(通 知アカウント)に対して申請情報への全回答が完了したことをメール通知する
 - 行政担当者:管理アカウントで、事前協議同意書・32条協議同意書、その他同意時に通知する様式のデータが入力された Excel データをダウンロードする(Excel データに印字されている内容は、担当課ごとにグルーピングされた状態とする)
 - 事前協議同意書・32条協議同意書、その他同意時に通知する様式のデータを行政担当者が Office 製品で修正・PDF データに変換し、本システムにアップロードする

• フローチャート



図 4-57 回答情報入力機能のフローチャート

- データ仕様
 - ▶ 入力
 - ◆ 申請回答情報
 - 内容

▶ 申請情報と回答一覧情報、回答ファイルを含む申請回答情報

- 形式
 - ▶ リクエスト
- データ詳細

- ▶ ファイル入力インタフェース【IF003】、【IF004】を参照
- ▶ 内部連携インターフェース【IF205】を参照
- ▶ 出力
 - ◆ 回答完了ダイアログ表示
 - 内容
 - ▶ 回答登録完了を示すダイアログの表示
 - 形式
 - ▶ なし
 - データ詳細
 - ▶ ラベル文言
- 機能詳細
 - 事前協議承認・否認時再回答登録
 - ◇ 処理内容
 - 事業者から回答した承認/否認とコメント内容から、行政確定のステータス、同意日時、コメントを入力する
 - 入力した行政確定情報を DB へ登録する
 - 行政通知部署へ回答完了した旨のメール通知を送信する
 - 画面に回答登録完了のメッセージをダイアログで表示する
 - ◆ 利用するライブラリ
 - Spring Boot (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)

15. 【FN047】事前協議合意時再回答通知

- 機能概要
 - ▶ 事業者に対し、回答が完了した旨をメール通知する
 - 回答通知後、対象申請 ID のステータスを通知済みの回答の行政確定ステータスから、「事前協議: 未完(協議進行中)」又は、「事前協議:未完(要再申請)」、「事前協議:完了」に自動変更する
 - 「ログイン時アカウント」について、管理アカウント(通知アカウント)はシステム構築時に設定する

フローチャート



図 4-58 回答通知機能のフローチャート

入力

処理

≪分岐>

DB

ファイル

- データ仕様
 - 入力 \triangleright
 - ◆ 申請情報

- 内容
 - 申請情報と回答内容情報を含む申請・回答情報
- 形式
 - ➢ APIリクエスト
- データ詳細
 - ▶ 内部連携インタフェース【IF206】を参照
- ▶ 出力
 - ◆ 回答通知完了ダイアログ
 - 内容
 - ▶ 通知が完了した旨のダイアログを表示する
 - 形式
 - ▶ なし
 - データ詳細
 - ▶ なし
- 機能詳細
 - ▶ 回答通知
 - ◆ 処理内容
 - 選択した回答一覧を基に回答を通知済みに更新する
 - 選択した回答一覧を基に回答ファイルも事業者が閲覧できるように、通知パスを更新する
 - 通知済みの回答のうち却下した回答がある場合、「事前協議:未完(要再申請)」に更新する
 - 全ての回答が通知済み、かつ却下した回答が1件もない場合、申請ステータスを「事前協 議:完了」に更新する
 - 全ての回答が通知済みではない、かつ通知済みの回答リスト中に却下した回答が1件もない場合、申請ステータスが「事前協議:未完(協議進行中)」に更新する
 - 事業者へ同意項目の承認・否認に対し再回答が完了した旨通知メールを送信する
 - 申請ステータスが「完了」になる場合、帳票作成を行う
 - 申請段階 ID に応じて回答通知完了の文言を取得して、ダイアログで表示する
 - ◆ 利用するライブラリ
 - Apache POI (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL005】を参照)
 - Spring Boot (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)

16. 【FN048】問合せへの助言

- 機能概要
 - ▶ 事業者からの事前協議/32条協議の申請に対して、チャット形式でメッセージを送信する
 - ▶ 事前協議/32条協議の回答に対して事業者から問合せがあった場合にチャット形式で返答する
 - ▶ 事業者がチャットにファイルを添付している場合、ファイルをダウンロードする

uc24-11_技術検証レポート_開発許可の DX v3.0

- 問い合わせへの回答をほかの複数の部署に委任する
- ▶ 問合せに回答すると回答を行った旨を事業者に通知する
- ▶ 事前協議/32条協議の申請段階で回答した属性を合わせて管理する
- フローチャート



図 4-59 問合せへの助言機能のフローチャート

- データ仕様
 - ▶ 入力
 - ◆ チャットメッセージー覧の取得条件
 - 内容
 - ▶ 画面に、選択したチャット ID
 - 形式
 - ➢ API リクエスト

- データ詳細
 - ▶ 内部連携インタフェース【IF231】を参照
- ◆ メッセージー覧投稿情報
 - 内容
 - ▶ メッセージ内容と宛先部署情報
 - 形式
 - ➢ APIリクエスト
 - データ詳細
 - ▶ 内部連携インタフェース【IF230】を参照
- ▶ 出力
 - ◆ チャットメッセージ一覧
 - 内容
 - ▶ 申請 ID にひも付くチャットメッセージ一覧情報
 - 形式
 - ▶ レスポンス
 - データ詳細
 - ▶ 内部連携インタフェース【IF231】を参照
 - ▶ ファイル出力インタフェース【IF106】を参照
 - ◆ 問合せ関連情報
 - 内容
 - ▶ チャット ID・部署回答 ID にひも付く回答内容
 - ▶ 部署回答 ID にひも付く回答一覧の回答 ID にひも付く回答履歴
 - ▶ 部署回答 ID にひも付く回答ファイル
 - ▶ 申請 ID にひも付く全ての事前協議の申請ファイル
 - 形式
 - ▶ レスポンス
 - データ詳細
 - ▶ 内部連携インタフェース【IF232】を参照
 - ▶ ファイル出力インタフェース【IF102】を参照
 - ▶ ファイル出力インタフェース【IF103】を参照
- 機能詳細
 - ▶ チャットメッセージー覧取得
 - ◆ 処理内容
 - チャット ID からチャット情報を取得する
 - チャット情報に含む申請 ID、申請段階 ID にひも付く全てのチャット情報一覧を取得する
 - パラメータのチャット ID に対するメッセージの宛先部署がログインユーザーの所属部署 と同じの場合、既読済みに更新する
 - パラメータのチャット ID に対する情報は展開している状態で画面に表示する

- ◆ 利用するライブラリ
 - Spring Boot (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)
- ▶ 問合せ関連情報取得
 - ◇ 処理内容
 - 展開しているチャット情報のチャット ID をパラメータとして、回答一覧、回答履歴一覧、
 回答ファイル一覧と、事前協議の全ての申請ファイル一覧を取得する
 - ◆ 利用するライブラリ
 - Spring Boot (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)
- ▶ メッセージ投稿
 - ◆ 処理内容
 - O_メッセージに問合せメッセージを登録し、O_問合せ宛先に選択された宛先部署で登録 する
 - 宛先部署が事業者の場合、O_メッセージと O_問合せ宛先に事業者からのレコードを回答 済みに更新する
 - 宛先部署が他部署の場合、O_問合せ宛先に自分の担当部署のレコードを回答済みに更新する。該当メッセージに対する全ての O_問合せ宛先が回答済みになると、O_メッセージを回答済みに更新する
 - 最新の事業者向けチャットメッセージリストを取得する
 - 選択された各宛先部署への前回投稿から1分を過ぎた場合、宛先部署の各アカウントへメ ール通知を行う
 - ◆ 利用するライブラリ
 - Spring Boot (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)
- 17. 【FN049】申請時ファイルダウンロード
- 機能概要
 - ▶ 申請時に登録されたファイルをダウンロードする

• フローチャート



図 4-60 申請時ファイルダウンロード機能のフローチャート

- データ仕様
 - ▶ 入力
 - ◆ ダウンロード対象申請ファイル情報
 - 内容
 - ▶ ユーザーが選択した申請ファイル情報
 - 形式
 - ➢ API リクエスト
 - データ詳細
 - ▶ 内部連携インタフェース【IF212】を参照
 - ▶ 出力
 - ◆ 申請ファイル
 - 内容
 - ▶ ダウンロード対象申請ファイル
 - 形式
 - ▶ PDF、TIFF、JPEG、PNG、DXF、DWG ファイル
 - データ詳細
 - ▶ ファイル出力インタフェース【IF102】を参照
- 機能詳細
 - ▶ 申請ファイルダウンロード
 - ◆ 処理内容
 - 申請情報参照画面の初期処理時、前画面から渡された申請 IDを使用して申請情報詳細取
 得 API にリクエストを実施
 - バックエンドで申請 ID をもとに DB から検索を行い、申請情報詳細 DTO※1 を生成し返

却

● 申請情報詳細 DTO※1 から取得した申請ファイル DTO※2 を使用し申請ファイルのダウ ンロードを実施

※1:申請情報及び回答 DTO を保持したオブジェクト

※2:申請ファイル情報を保持したオブジェクト

- ◆ 利用するライブラリ
 - Spring Boot (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)
- 18. 【FN050】回答情報入力(再申請に対応)

● 機能概要

- ▶ 申請情報に対し、回答を記載する
- ▶ 回答は、ログイン時アカウントに関連付けられた対象の法律・条項のみ、登録可能なものとする
- ▶ 回答登録完了後、対象申請 ID のステータスを「許可判定:未完(回答準備中)」に自動変更する
- ▶ 「ログイン時アカウント」と「回答対象の法律・条項」の関連付けは、システム構築時に設定する
- ▶ 申請情報に対し、回答に関連する画像データ(図での説明資料)をアップロードする
- ▶ 事業者が登録したファイルを引用し、赤字・枠線・マーカーなどで添削・修正箇所を Web 上で追記 できる
- ▶ 登録可能なファイルは PDF、TIFF、JPEG、PNG、CAD ファイルのみとする
- ※PDF ファイル、TIFF ファイルは編集時 PNG に変換して登録する
- 行政担当者の回答の際は、回答アカウントを内部保持し、誰がいつ回答したかを検索・管理できるようにする。その際、ログインアカウントは、グループ(所管)・ユーザー名で管理する
- ▶ 回答入力一覧で、ヘッダダブルクリックにより昇降並び替えができる
- > 回答入力一覧で、入力管理する項目のみに絞込みができる
- ▶ 前回以前に回答した事前相談・事前協議の内容を参照できる



図 4-61 回答情報入力機能のフローチャート



図 4-62 回答ファイル追加の詳細機能のフローチャート

- データ仕様
 - ▶ 入力
 - ◆ 申請回答情報
 - 内容
 - ▶ 申請情報と回答一覧情報、回答ファイルを含む申請回答情報
 - 形式
 - ▶ リクエスト
 - データ詳細
 - ▶ ファイル入力インタフェース【IF003】、【IF004】を参照
 - ト 内部連携インタフェース【IF204】【IF211】【IF238】【IF262】を参照
 - ▶ 出力
 - ◆ 回答完了ダイアログ表示
 - 内容
 - ▶ 回答登録完了を示すダイアログの表示
 - 形式

- ▶ なし
- データ詳細
 - ▶ ラベル文言
 - ト 内部連携インタフェース【IF202】【IF205】【IF235】【IF243】 を参照
- 機能詳細
 - ▶ 回答情報一覧取得
 - ◆ 処理内容
 - 申請 ID、申請段階にひも付く回答情報一覧を取得して、表示する
 - ◆ 利用するライブラリ
 - Spring Boot(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)
 - ▶ PDF ファイルを PNG ファイル変換
 - ◇ 処理内容
 - 事業者が登録した PDF ファイル又は既に回答登録をしている PDF ファイルを引用した
 後、指定のページを PNG ファイルに変換して添削・修正を可能にする
 - 編集された PNG ファイルを O_回答ファイルに登録して、ファイルサーバにアップロード する
 - ◆ 利用するライブラリ
 - Spring Boot (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)
 - PDF.js(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL014】を参照)
 - PDFBox (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL015】を参照)
 - ▶ TIFF ファイルを PNG ファイル変換
 - ◆ 処理内容
 - TIFF ファイルの添削・修正を可能にするために、TIFF ファイルを PNG ファイルに変換す る
 - 編集された PNG ファイルを O_回答ファイルに登録して、ファイルサーバにアップロード する
 - ◆ 利用するライブラリ
 - Spring Boot (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)
 - tiff.js (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL013】を参照)
 - ▶ 画像ファイルの添削・修正
 - ◆ 処理内容
 - 画像ファイルに赤字・枠線・マーカーなどで添削・修正箇所を追記して、回答ファイルー
 覧に追加する
 - 編集された画像ファイルを O_回答ファイルに登録して、ファイルサーバにアップロード する

- ◆ 利用するライブラリ
 - Spring Boot (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)
 - marker.js (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL012】を参照)
- ▶ 回答情報入力
 - ◇ 処理内容
 - 回答登録 API を実行し、編集した回答内容、再申請要否、判断結果と、回答ファイルを DB へ反映する
 - 入力した回答内容は O_回答に登録し、回答登録をしたアカウントの情報は O_回答履歴に 登録して内部保持する
 - 全ての回答が完了しているか判定を実施する
 - 全ての回答が完了している場合、申請のステータスを「許可判定:未完(回答精査中)」に
 更新する。全ての回答が完了してない場合、申請ステータスを「許可判定:未完(回答準備中)」に更新する
 - 編集・添付されたファイルを O_回答ファイルに登録して、ファイルサーバにアップロード する。回答ファイルは申請単位でアップロードする
 - ◆ 利用するライブラリ
 - Spring Boot (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)
- 19. 【FN051】回答完了
- 機能概要
 - 対象申請 ID の回答項目について、各アカウントでの回答が完了した場合、対象申請 ID のステータ スを「許可判定:未完(回答精査中)」に自動変更し、行政担当者:管理アカウント(通知アカウン ト)に対して申請情報への全回答が完了したことをメール通知する
 - 「ログイン時アカウント」について、管理アカウント(通知アカウント)はシステム構築時に設定する

• フローチャート



図 4-63 回答完了機能のフローチャート

- データ仕様
 - ▶ 入力
 - ◆ 回答入力情報
 - 内容
 - 行政担当者が入力した回答入力情報
 - 形式
 - ➢ APIリクエスト
 - データ詳細

- ▶ 内部連携インタフェース【IF207】を参照
- ▶ 出力

◆ なし

- 機能詳細
 - ▶ 回答完了
 - ◇ 処理内容
 - 回答登録 API 実行時、バックエンドで、全ての回答が回答しているか判定を実施する
 - 全ての回答が完了している場合、申請ステータスが「許可判定:未完(回答精査中)」に更新して、回答通知権限部署に回答完了通知メールを送信する
 - ◆ 利用するライブラリ
 - Spring Boot (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)
- 20. 【FN052】回答通知
- 機能概要
 - ▶ 事業者に対し、回答が完了した旨をメール通知する
 - > 回答通知後、対象申請 ID のステータスを「許可判定:完了」に自動変更する
 - 回答項目に「要再申請」の項目が1つでもある場合、事業者に対し再申請が必要な旨をメール通知し、対象申請IDのステータスを「許可判定:未完(要再申請)」に自動変更する
 - 「ログイン時アカウント」について、管理アカウント(通知アカウント)はシステム構築時に設定する



図 4-64 回答通知機能のフローチャート

- データ仕様
 - ▶ 入力
 - ◆ 申請情報

- 内容
 - ▶ 申請・回答内容確認情報フォーム
- 形式
 - ➢ APIリクエスト
- データ詳細
 - 内部連携インタフェース【IF206】【IF262】【IF263】を参照
- ▶ 出力
 - ◆ 回答通知完了ダイアログ
 - 内容
 - ▶ 通知が完了した旨のダイアログを表示する
 - 形式
 - ▶ なし
 - データ詳細
 - ▶ 内部連携インタフェース【IF263】を参照
- 機能詳細
 - ▶ 事業者へのメール通知
 - ◆ 処理内容
 - 選択した回答一覧を基に、行政担当者が入力した回答内容を通知テキストにコピーして、
 通知済みに更新する
 - 選択した回答一覧を基に、回答ファイルも事業者が閲覧できるように、通知パスを更新する
 - 事業者へ回答が完了した旨通知メールを送信する
 - 申請ステータスが「完了」になる場合、帳票作成を行う
 - 申請段階 ID に応じて回答通知完了の文言を取得して、ダイアログで表示する
 - ◆ 利用するライブラリ
 - Spring Boot (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)
 - ▶ 対象申請ステータス変更
 - ◇ 処理内容
 - 通知済みの回答のうち、要再申請の回答がある場合、「許可判定:未完(要再申請)」に更新 する
 - 全ての回答が通知済み、かつ要再申請の回答が1件もない場合、申請ステータスを「許可 判定:完了」に更新する
 - 全ての回答が通知済みではない、かつ通知済みの回答リスト中に、要再申請の回答が1件
 もない場合、申請ステータスを「許可判定:未完(回答精査中)」に更新する
 - ◆ 利用するライブラリ
 - Spring Boot (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)

- 21. 【FN053】問合せへの助言
- 機能概要
 - ▶ 事業者からの許可申請に対して、チャット形式でメッセージを送信する
 - 許可申請の回答に対して事業者から問合せがあった場合にチャット形式で返答する
 - ▶ 事業者がチャットにファイルを添付している場合、ファイルをダウンロードする
 - ▶ 問い合わせへの回答をほかの複数の部署に委任する
 - ▶ 問合せに回答すると回答を行った旨を事業者に通知する
 - ▶ 許可申請の申請段階で回答した属性を合わせて管理する
- フローチャート



図 4-65 問合せへの助言機能のフローチャート

- データ仕様
 - ▶ 入力

uc24-11_技術検証レポート_開発許可の DX v3.0

- ◆ チャットメッセージー覧の取得条件
 - 内容
 - ▶ 画面選択したチャット ID
 - 形式
 - ➢ APIリクエスト
 - データ詳細
 - ▶ 内部連携インタフェース【IF231】を参照
- ◆ メッセージー覧投稿情報
 - 内容
 - ▶ メッセージ内容と宛先部署情報
 - 形式
 - ➢ API リクエスト
 - データ詳細
 - ▶ 内部連携インタフェース【IF230】を参照
- ▶ 出力
 - ◆ チャットメッセージ一覧
 - 内容
 - ▶ 申請 ID にひも付くチャットメッセージ一覧情報
 - 形式
 - レスポンス
 - データ詳細
 - ▶ 内部連携インタフェース【IF231】を参照
 - ▶ ファイル出力インタフェース【IF106】を参照
 - ◆ 問合せ関連情報
 - 内容
 - ▶ チャット ID・部署回答 ID にひも付く回答内容
 - ▶ 部署回答 ID にひも付く回答一覧の回答 ID にひも付く回答履歴
 - ▶ 部署回答 ID にひも付く回答ファイル
 - ▶ 申請 ID にひも付く全ての事前協議の申請ファイル
 - 形式
 - ▶ レスポンス
 - データ詳細
 - > 内部連携インタフェース【IF203】【IF212】【IF228】【IF232】を参照
 - ファイル出力インタフェース【IF102】【IF103】【IF104】【IF106】を参照
- 機能詳細
 - ▶ チャットメッセージー覧取得
 - ◆ 処理内容
 - チャット ID から、チャット情報を取得する

- チャット情報に含む申請 ID、申請段階 ID にひも付く全てのチャット情報一覧を取得する
- パラメータのチャット ID に対するメッセージの宛先部署がログインユーザーの所属部署
 と同じの場合、既読済みに更新する
- パラメータのチャット ID に対する情報は展開している状態で画面に表示する
- ◆ 利用するライブラリ
 - Spring Boot (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)
- ▶ 問合せ関連情報取得
 - ◇ 処理内容
 - 展開しているチャット情報のチャット ID をパラメータとして、回答一覧、回答履歴一覧、
 回答ファイルー覧と、事前協議の全ての申請ファイルー覧を取得する
 - ◆ 利用するライブラリ
 - Spring Boot (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)
- ▶ メッセージ投稿
 - ◆ 処理内容
 - O_メッセージに問合せメッセージを登録し、O_問合せ宛先に選択された宛先部署で登録 する
 - 宛先部署が事業者の場合、O_メッセージと O_問合せ宛先に事業者からのレコードを回答 済みに更新する
 - 宛先部署が他部署の場合、O_問合せ宛先に自分の担当部署のレコードを回答済みに更新する。該当メッセージに対する全ての O_問合せ宛先が回答済みになると、O_メッセージを回答済みに更新する
 - 最新の事業者向けチャットメッセージリストを取得する
 - 選択された各宛先部署への前回投稿から1分を過ぎた場合、宛先部署の各アカウントへメ ール通知を行う
 - ◆ 利用するライブラリ
 - Spring Boot(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)

22. 【FN055】許可完了時添付ファイル整理

- 機能概要
 - 許可完了のタイミングで、事業者が提出した資料、FN038:各種帳票出力においてシステムで自動生成した帳票(開発登録簿頭紙)を、以下のパターンで集約しファイル管理する
 - ◆ 全ての申請提出資料をまとめたフォルダ
 - ◆ 全資料の最終版資料をまとめたフォルダ
 - ◇ 開発登録簿として公開するフォルダ(開発登録簿頭紙 PDF ファイル+土地利用計画図 PDF フ ァイル)

- 上記3パターンのフォルダは ZIP ファイルとしてダウンロードが可能
- フローチャート



図 4-66 許可完了時添付ファイル整理のフローチャート

- データ仕様
 - ▶ 入力
 - ◆ 申請情報
 - 内容
 - ▶ 申請・回答内容確認情報フォーム
 - 形式
 - ➢ APIリクエスト
 - データ詳細
 - ▶ 内部連携インタフェース【IF206】を参照
 - ▶ 出力
 - ◆ 最終提出書類一式
 - 内容
 - ▶ 全ての申請提出資料をまとめた ZIP ファイル
 - ▶ 全資料の最終版資料をまとめた ZIP ファイル

- 開発登録簿として公開するファイル(開発登録簿頭紙 PDF ファイル+土地利用計画
 図 PDF ファイル)をまとめた ZIP ファイル
- 形式
 - ▶ ZIP ファイル
- データ詳細
 - ▶ ファイル出力インタフェース【IF113】を参照
- 機能詳細
 - ▶ 最終提出書類一式保存
 - ◇ 処理内容
 - 申請 ID にひも付く全ての申請ファイル・回答ファイル・版情報を DB から取得する
 - 申請 ID にひも付く開発登録簿として公開するファイル(M_帳票で帳票種類=1 の帳票と
 M_申請ファイルで申請ファイル種別=1の申請ファイル)を DB から取得する
 - DB から取得したファイルパス情報を基に最終提出書類一式をコピー・保存する。保存先とファイル名のフォーマットは下記の通り
 - ▶ ルートパス:開発登録簿_申請 ID_yyyymmdd
 - ルートパス以下に「最終版」(全資料の最終版資料)「全ファイル」(全ての申請提出資料)「開発登録簿として公開するファイル」のフォルダを作成
 - ▶ 最終版:[申請ファイル ID]_[申請ファイル名]_[版番号]_[アップロード日].[拡張子]
 - 全ファイル(申請ファイル):[申請ファイル名]¥[申請ファイル ID]_[申請ファイル
 名]_[申請段階]_[版番号]_[アップロード日].[拡張子]
 - ▶ 全ファイル(回答ファイル):[行政回答]¥ [回答 ID]_[申請段階]_[版番号]_[アップロ ード日].[拡張子]
 - ▶ 開発登録簿(開発登録簿頭紙 PDF ファイル):[帳票名].pdf
 - ▶ 開発登録簿(土地利用計画図 PDF ファイル):[申請ファイル名].pdf
 - 最終提出書類一式登録情報を 0_開発登録簿に登録する。
 - ◆ 利用するライブラリ
 - Spring Boot(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)
 - ▶ 最終提出書類一式ダウンロード
 - ◆ 処理内容
 - 申請 ID にひも付く最終提出書類一式を、DB(O_開発登録簿)から取得する
 - 最終提出書類一式(最終版・全ファイル・開発登録簿)のうち選択された対象の指定フォ ルダからファイルー式を ZIP 化してダウンロードする
 - ◆ 利用するライブラリ
 - Spring Boot (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)

- 4) その他
- 1. 【FN054】リマインド通知
- 機能概要
 - FN038、FN023、FN024、FN026、FN040、FN041、FN046、FN048、FN050、FN051、FN053 に おいて、期限残り日数、超過状況を課ごとにメールで取りまとめ、指定時刻にメール通知する
 - 各項目の期限開庁日時、リマインド通知閾値、リマインドメール通知日時は設定変更できるものとする
- フローチャート



```
図 4-67 リマインド通知機能のフローチャート (1/3)
```



図 4-68 リマインド通知機能のフローチャート (2/3)



図 4-69 リマインド通知機能のフローチャート (3/3)

- データ仕様
 - ▶ 入力
 - ◆ リマインド通知実行リクエスト
 - 内容
 - トークン

- 形式
 - ➢ APIリクエスト
- データ詳細
 - ▶ 内部連携インタフェース【IF267】を参照
- ▶ 出力

◆ なし

- 機能詳細
 - ▶ リマインド通知起動
 - ◆ 処理内容
 - サーバ上で一日1回動作する設定としたバッチから回答リマインド通知 API を呼び出す
 - リクエストパラメータに含まれるトークンを検証し適切なトークンであれば後続の処理
 を実行する
 - ◆ 利用するライブラリ
 - Spring Boot (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - ▶ リマインド通知内容取得
 - ◆ 処理内容
 - 回答一覧を取得する
 - 回答のステータスと期限日時をチェックし、回答期限日時からシステム設定日時以内、又は期限日時を超過した回答を抽出する
 - 事業者合否登録ステータスチェックにおいては、事業者への通知日時からシステム日数以
 上経過しているものを抽出する
 - 帳票一覧を取得し、作成後システム設定日数以上経過して未受領の帳票を抽出する
 - 問合せ一覧を取得し、未回答かつ最終投稿日時から1日以上経過している問合せを抽出する
 - ◆ 利用するライブラリ
 - Spring Boot (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)
 - ▶ りマインド通知
 - ◆ 処理内容
 - 通知内容として取得した内容を行政担当者宛の内容は部署単位で集約する
 - 事業者宛の内容は申請単位で集約する
 - 集約した内容で行政担当者各担当部署アカウント、事業者アカウントに通知する
 - ◆ 利用するライブラリ
 - Spring Boot (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)

uc24-11_技術検証レポート_開発許可の DX v3.0

- 5) 概況把握・診断の解析機能一覧
- 1. 概況把握・診断の解析機能一覧
- 機能概要
 - 「申請区分選択で選択した申請区分」が、対象の法律・条項に関する申請要件と該当したとき、事業 者に案内すべき内容を表示する
- フローチャート



図 4-70 申請区分判定のフローチャート

- データ仕様
 - ▶ 入力
 - ◆ 選択済み申請区分、選択済み地番情報
 - 内容
 - ▶ 選択済み申請区分、選択済み地番情報
 - 形式
 - ➢ APIリクエスト
 - データ詳細
 - ▶ 内部連携インタフェース【IF239】を参照

- ▶ 出力
 - ◆ 概況診断結果一覧
 - 内容
 - ▶ 概況診断結果一覧
 - 形式
 - ➢ APIリクエスト
 - データ詳細
 - ▶ 内部連携インタフェース【IF239】を参照
- 機能詳細
 - ▶ 申請区分判定
 - ◆ 利用するライブラリ
 - Spring Boot (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)
 - ◆ 利用するアルゴリズム
 - 概況把握・診断(アルゴリズム【AL002】を参照)
- 2. 【FN102】図形重なり時判定
- 機能概要
 - 「申請範囲選択で選択した申請範囲」+「対象の法律・条項に関する開発許可申請判定データ」の空間解析を行い、空間データが一部でも重なったとき、事業者に案内すべき内容を表示する



図 4-71 図形重なり時判定のフローチャート

- データ仕様
 - ▶ 入力
 - ◆ 選択済み申請区分、選択済み地番情報
 - 内容
 - ▶ 選択済み申請区分、選択済み地番情報
 - 形式
 - ➢ APIリクエスト
 - データ詳細
 - ▶ 内部連携インタフェース【IF239】を参照
 - ▶ 出力
 - ◆ 概況診断結果一覧
 - 内容

- ▶ 概況診断結果一覧
- 形式
 - ➢ APIリクエスト
- データ詳細
 - ▶ 内部連携インタフェース【IF239】を参照
- 機能詳細
 - 図形重なり時判定
 - ◆ 利用するライブラリ
 - Spring Boot (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)
 - PostGIS (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL010】を参照)
 - ◆ 利用するアルゴリズム
 - 概況把握・診断(アルゴリズム【AL002】を参照)
 - 概況把握・診断(図形判定の処理概要)(アルゴリズム【AL003】を参照)
 - 概況把握・診断(図形重なり時判定)(アルゴリズム【AL004】を参照)
- 3. 【FN103】図形"非"重なり時判定
- 機能概要
 - 「申請範囲選択で選択した申請範囲」+「対象の法律・条項に関する開発許可申請判定データ」の空間
 間解析を行い、空間データが一部も重ならなかったとき、事業者に案内すべき内容を表示する



図 4-72 図形非重なり時判定のフローチャート

- データ仕様
 - ▶ 入力
 - ◆ 選択済み申請区分、選択済み地番情報
 - 内容
 - ▶ 選択済み申請区分、選択済み地番情報
 - 形式
 - ➢ APIリクエスト
 - データ詳細
 - ▶ 内部連携インタフェース【IF239】を参照
 - ▶ 出力
 - ◆ 概況診断結果一覧
 - 内容

- ▶ 概況診断結果一覧
- 形式
 - ➢ APIリクエスト
- データ詳細
 - ▶ 内部連携インタフェース【IF239】を参照
- 機能詳細
 - 図形"非"重なり時判定
 - ◆ 利用するライブラリ
 - Spring Boot (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)
 - PostGIS (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL010】を参照)
 - ◆ 利用するアルゴリズム
 - 概況把握・診断(アルゴリズム【AL002】を参照)
 - 概況把握・診断(図形判定の処理概要)(アルゴリズム【AL003】を参照)
 - 概況把握・診断(図形"非"重なり時判定)(アルゴリズム【AL005】を参照)
- 4. 【FN104】図形+バッファ重なり時判定
- 機能概要
 - 「申請範囲選択で選択した申請範囲」+「対象の法律・条項に関する開発許可申請判定データ+バッファ XX m」の空間解析を行い、空間データが一部でも重なったとき、事業者に案内すべき内容を表示する


図 4-73 図形+バッファ重なり時判定のフローチャート

- データ仕様
 - ▶ 入力
 - ◆ 選択済み申請区分、選択済み地番情報
 - 内容
 - > 選択済み申請区分、選択済み地番情報
 - 形式
 - ➢ APIリクエスト
 - データ詳細
 - ▶ 内部連携インタフェース【IF239】を参照
 - ▶ 出力
 - ◆ 概況診断結果一覧
 - 内容

- ▶ 概況診断結果一覧
- 形式
 - ➢ APIリクエスト
- データ詳細
 - ▶ 内部連携インタフェース【IF239】を参照
- 機能詳細
 - ▶ 図形+バッファ重なり時判定
 - ◆ 利用するライブラリ
 - Spring Boot (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)
 - PostGIS (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL010】を参照)
 - ◆ 利用するアルゴリズム
 - 概況把握・診断(アルゴリズム【AL002】を参照)
 - 概況把握・診断(図形判定の処理概要)(アルゴリズム【AL003】を参照)
 - 概況把握・診断(図形+バッファ重なり時判定)(アルゴリズム【AL006】を参照)
- 5. 【FN105】図形+バッファ"非"重なり時判定
- 機能概要
 - 「申請範囲選択で選択した申請範囲」+「対象の法律・条項に関する開発許可申請判定データ+バッファ XX m」の空間解析を行い、空間データが一部も重ならなかったとき、事業者に案内すべき内容を表示する



図 4-74 図形+バッファ非重なり時判定のフローチャート

- データ仕様
 - ▶ 入力
 - ◆ 選択済み申請区分、選択済み地番情報
 - 内容
 - ▶ 選択済み申請区分、選択済み地番情報
 - 形式
 - ➢ APIリクエスト
 - データ詳細
 - ▶ 内部連携インタフェース【IF239】を参照
 - ▶ 出力
 - ◆ 概況診断結果一覧
 - 内容

- ▶ 概況診断結果一覧
- 形式
 - ➢ APIリクエスト
- データ詳細
 - ▶ 内部連携インタフェース【IF239】を参照
- 機能詳細
 - ▶ 図形+バッファ"非"重なり時判定
 - ◆ 利用するライブラリ
 - Spring Boot (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)
 - PostGIS (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL010】を参照)
 - ◆ 利用するアルゴリズム
 - 概況把握・診断(アルゴリズム【AL002】を参照)
 - 概況把握・診断(図形判定の処理概要)(アルゴリズム【AL003】を参照)
 - 概況把握・診断(図形+バッファ"非"重なり時判定)(アルゴリズム【AL007】を参照)
- 6. 【FN106】図形重なり時の属性表示
- 機能概要
 - 「申請範囲選択で選択した申請範囲」+「対象の法律・条項に関する開発許可申請判定データ」の空間解析を行い、空間データが一部でも重なったとき、「対象の法律・条項に関する開発許可申請判定データ」の属性情報を表示する



図 4-75 図形重なり時の属性表示のフローチャート

- データ仕様
 - ▶ 入力
 - ◆ 選択済み申請区分、選択済み地番情報
 - 内容
 - ▶ 選択済み申請区分、選択済み地番情報
 - 形式
 - ➢ APIリクエスト
 - データ詳細
 - ▶ 内部連携インタフェース【IF239】を参照
 - ▶ 出力
 - ◆ 概況診断結果一覧
 - 内容
 - ➤ 概況診断結果一覧

- 形式
 - ➢ APIリクエスト
- データ詳細
 - ▶ 内部連携インタフェース【IF239】を参照
- 機能詳細
 - 図形重なり時の属性表示
 - ◆ 利用するライブラリ
 - Spring Boot (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)
 - PostGIS (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL010】を参照)
 - ◆ 利用するアルゴリズム
 - 概況把握・診断(アルゴリズム【AL002】を参照)
 - 概況把握・診断(重なり判定時における属性表示)(アルゴリズム【AL008】を参照)
- 7. 【FN107】図形+バッファ重なり時の属性表示
- 機能概要
 - 「申請範囲選択で選択した申請範囲」+「対象の法律・条項に関する開発許可申請判定データ+バッファ XX m」の空間解析を行い、空間データが一部でも重なったとき、「対象の法律・条項に関する開発許可申請判定データ」の属性情報を表示する



図 4-76 図形+バッファ重なり時の属性表示のフローチャート

- データ仕様
 - ▶ 入力
 - ◆ 選択済み申請区分、選択済み地番情報
 - 内容
 - ▶ 選択済み申請区分、選択済み地番情報
 - 形式
 - ➢ APIリクエスト
 - データ詳細
 - ▶ 内部連携インタフェース【IF239】を参照
 - ▶ 出力
 - ◆ 概況診断結果一覧
 - 内容
 - ➤ 概況診断結果一覧

- 形式
 - ➢ APIリクエスト
- データ詳細
 - ▶ 内部連携インタフェース【IF239】を参照
- 機能詳細
 - ▶ 図形+バッファ重なり時の属性表示
 - ◆ 利用するライブラリ
 - Spring Boot (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)
 - PostGIS (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL010】を参照)
 - ◆ 利用するアルゴリズム
 - 概況把握・診断(アルゴリズム【AL002】を参照)
 - 概況把握・診断(重なり判定時における属性表示)(アルゴリズム【AL008】を参照)
- 8. 【FN108】図形からの距離測定機能
- 機能概要
 - 「申請範囲選択で選択した申請範囲」+「対象の法律・条項に関する開発許可申請判定データ」の空間解析を行い、「申請範囲選択で選択した申請範囲」から一番近い「対象の法律・条項に関する開発許可申請判定データ」の距離を表示する



図 4-77 図形からの距離測定表示のフローチャート

- データ仕様
 - ▶ 入力
 - ◆ 選択済み申請区分、選択済み地番情報
 - 内容
 - ▶ 選択済み申請区分、選択済み地番情報
 - 形式
 - ➢ APIリクエスト
 - データ詳細
 - ▶ 内部連携インタフェース【IF239】を参照
 - ▶ 出力
 - ◆ 概況診断結果一覧
 - 内容
 - ➤ 概況診断結果一覧

- 形式
 - ➢ APIリクエスト
- データ詳細
 - ▶ 内部連携インタフェース【IF239】を参照
- 機能詳細
 - ▶ 申請区分判定
 - ◆ 利用するライブラリ
 - Spring Boot (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)
 - PostGIS (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL010】を参照)
 - ◆ 利用するアルゴリズム
 - 概況把握・診断 (アルゴリズム【AL002】を参照)
 - 概況把握・診断(図形からの距離測定機能)(アルゴリズム【AL009】を参照)
- 9. 【FN109】判定結果の図形表示
- 機能概要
 - 「対象の法律・条項に関する開発許可申請判定データ」を、概況把握・診断の表示結果行をクリック することで表示切替えする



図 4-78 判定結果の図形表示のフローチャート

- データ仕様
 - ▶ 入力
 - ◆ 選択済み申請区分、選択済み地番情報
 - 内容
 - ▶ 選択済み申請区分、選択済み地番情報
 - 形式
 - ➢ APIリクエスト
 - データ詳細
 - ▶ 内部連携インタフェース【IF239】を参照
 - ▶ 出力
 - ◆ 概況診断結果レイヤ
 - 内容
 - ▶ 概況診断結果のレイヤ情報

- 形式
 - > WMS
- データ詳細
 - ▶ データ:DT102~DT124
 - ➢ GeoServerを使用(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL008】を参照)
- 機能詳細
 - 判定結果の図形表示
 - ◆ 利用するライブラリ
 - TerriaJS(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL002】を参照)
 - CesiumJS(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL003】を参照)
 - Node.js (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL004】を参照)
 - GeoServer (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL008】を参照)
 - Leaflet (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL018】を参照)
 - ◆ 利用するアルゴリズム
 - 概況把握・診断(アルゴリズム【AL002】を参照)
 - 概況把握・診断(判定結果の図形表示)(アルゴリズム【AL010】を参照)
- 10. 【FN110】前面道路判定
- 機能概要

開発許可申請では、都市計画法第 33 条第 1 項第 2 号に基づき、開発許可申請地に接する区域外の既存道路において、幅員が十分確保された道路に接続する設計となっているかを判定する必要がある。そこで本システムで、申請範囲に隣接する道路の有無・道路幅員を自動案内する機能を構築した。

- ▶ 申請範囲選択で選択した申請範囲に隣接する道路の有無を判定する
- ▶ 接する道路がある場合、概況診断結果とともに案内文言を表示する。FN111、FN112 についても併せて実行し、結果を案内する
- > 複数の道路に接する場合、複数行に分けて案内文言を表示する



図 4-79 前面道路判定のフローチャート

- データ仕様
 - ▶ 入力
 - ◆ 概況診断リクエスト DTO
 - 内容

▶ 画面上で選択した申請地番一覧と申請区分項目一覧を含んだ DTO

- 形式
 - ▶ リクエスト
- データ詳細

- ▶ データ:DT039~052、DT101、DT127~130
- ▶ 内部連携インタフェース【IF239】を参照
- ▶ 出力
 - ◆ 概況診断結果 DTO
 - 内容
 - 概況診断結果の一覧表示
 - 形式
 - ▶ レスポンス
 - データ詳細
 - ▶ 内部連携インタフェース【IF239】を参照
- 機能詳細
 - ▶ 前面道路取得
 - ◇ 処理内容
 - 区分判定項目の一覧を取得し、区分判定項目ごとに概況診断を実行する
 - 区分判定項目(M_区分判定)の gis_judgement=5の場合、前面道路判定を行う
 - 申請地番一覧にバッファを付与した地物と重なる F_道路 LOD2 レイヤ地物の取得を行う
 - ◆ 利用するライブラリ
 - Spring Boot(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)
 - PostGIS (ソフトウェア・ライブラリ【SL010】を参照)
 - ◆ 利用するアルゴリズム
 - 概況把握・診断(前面道路判定・道路幅員表示・隣接歩道判定機能)(アルゴリズム【AL101】
 を参照)
 - 該当・非該当文言生成
 - ◆ 処理内容
 - 前面道路取得で地物が取得できた場合、取得地物(=接する道路)ごとに該当文言生成を 行う
 - 該当文言生成のために、幅員取得と隣接歩道判定を行う
 - 前面道路取得で地物が取得できなかった場合、非該当文言の生成を行う
 - ◆ 利用するライブラリ
 - Spring Boot(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)
 - PostGIS (ソフトウェア・ライブラリ【SL010】を参照)
 - ◆ 利用するアルゴリズム
 - 概況把握・診断(前面道路判定・道路幅員表示・隣接歩道判定機能)(アルゴリズム【AL101】
 を参照

uc24-11_技術検証レポート_開発許可の DX v3.0

- 11. 【FN111】道路幅員表示
- 機能概要
 - ▶ 申請地番に接する道路の道路部・車道部の最大・最小幅員を案内・表示する
 - ▶ 最大・最小幅員は道路との重なりで取得される区割り線レイヤの持つ幅員値から算出する
- フローチャート



図 4-80 道路幅員表示のフローチャート

- データ仕様
 - ▶ 入力
 - ◆ 概況診断リクエスト DTO
 - 内容
 - ▶ 画面上で選択した申請地番一覧と申請区分項目一覧を含んだ DTO
 - 形式
 - ▶ リクエスト
 - データ詳細
 - ▶ データ:DT039~052、DT101、DT127~130
 - ▶ 内部連携インタフェース【IF239】を参照
 - ▶ 出力
 - ◆ 概況診断結果 DTO
 - 内容

- 概況診断結果の一覧表示
- 形式
 - ▶ レスポンス
- データ詳細
 - ▶ 内部連携インタフェース【IF239】を参照
- 機能詳細
 - ▶ 区割り線取得
 - ◆ 処理内容
 - 道路 LOD2 フィーチャ及び申請地番+バッファと重なる区割り線を取得する
 - 取得した区割り線が、申請地番から最近接の道路中心線上の点から正の方向・負の方向に
 伸ばした線上で取得できるかを判定する
 - 取得できる場合、取得した区割り線を後続の処理に渡す。取得できない場合、最も近い区割り線を後続の処理に渡す
 - ◆ 利用するライブラリ
 - Spring Boot (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)
 - PostGIS (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL010】を参照)
 - ◆ 利用するアルゴリズム
 - 概況把握・診断(前面道路判定・道路幅員表示・隣接歩道判定機能)(アルゴリズム【AL101】
 を参照)
 - 最大・最小幅員取得
 - ◆ 処理内容
 - 区割り線取得で取得された区割り線の道路部幅員を比較し最大・最小値をそれぞれ求める
 - 最大・最小の道路部幅員を持つ区割り線の車道部幅員を車道部幅員の最大・最小幅員とする
 - ◆ 利用するライブラリ
 - Spring Boot (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)
 - PostGIS (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL010】を参照)
 - ◆ 利用するアルゴリズム
 - 概況把握・診断(前面道路判定・道路幅員表示・隣接歩道判定機能)(アルゴリズム【AL101】
 を参照)
 - > 区割り線取得結果/最大・最小幅員文言生成
 - ◆ 処理内容
 - 幅員値と区割り線取得結果に基づいて概況診断結果文言を組み立てる。地図画面上にレイ ヤ表示する際に表示対象の区割り線を指定できるようにクエリを組み立てる
 - ◆ 利用するライブラリ
 - Spring Boot (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)

- PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)
- PostGIS(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL010】を参照)
- ◆ 利用するアルゴリズム
 - 概況把握・診断(前面道路判定・道路幅員表示・隣接歩道判定機能)(アルゴリズム【AL101】
 を参照)
- 12. 【FN112】隣接歩道判定
- 機能概要
 - 前面道路に対して、隣接歩道の有無を判定し、結果を案内する
 - ▶ 隣接歩道と申請地番+バッファの重なる領域をレイヤ表示する
- フローチャート



図 4-81 隣接歩道判定のフローチャート

- データ仕様
 - ▶ 入力
 - ◆ 概況診断リクエスト DTO
 - 内容
 - ▶ 画面上で選択した申請地番一覧と申請区分項目一覧を含んだ DTO
 - 形式
 - ▶ リクエスト
 - データ詳細
 - ➢ DT039∼052、DT101
 - ▶ 内部連携インタフェース【IF239】を参照

- ▶ 出力
 - ◆ 概況診断結果 DTO
 - 内容
 - 概況診断結果の一覧表示
 - 形式
 - ▶ レスポンス
 - データ詳細
 - ▶ 内部連携インタフェース【IF239】を参照
- 機能詳細
 - ➢ 隣接歩道取得
 - ◆ 処理内容
 - 前面道路判定(FN110)で取得した道路 LOD2 フィーチャの道路コードと同一の、道路区 分が歩道となっている地物を F_道路 LOD2 レイヤから取得する
 - 取得できた場合隣接歩道あり、取得できなかった場合隣接歩道なしと判定する
 - ◆ 利用するライブラリ
 - Spring Boot(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)
 - PostGIS (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL010】を参照)
 - ◆ 利用するアルゴリズム
 - 概況把握・診断(前面道路判定・道路幅員表示・隣接歩道判定機能)(アルゴリズム【AL101】
 を参照)
 - ▶ 隣接歩道有無文言・レイヤクエリ設定
 - ◆ 処理内容
 - 隣接歩道取得結果に基づいて概況診断結果文言を組み立てる。地図画面上にレイヤ表示する際に表示対象の隣接歩道を指定できるようにクエリを組み立てる
 - ◆ 利用するライブラリ
 - Spring Boot(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)
 - PostGIS (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL010】を参照)
 - ◆ 利用するアルゴリズム
 - 概況把握・診断(前面道路判定・道路幅員表示・隣接歩道判定機能)(アルゴリズム【AL101】
 を参照)
- 13. 【FN113】判定結果複数表示
- 機能概要
 - > 判定結果で複数の判定レイヤフィーチャが該当した際、判定結果の行を分けて表示する
 - ▶ 概況診断結果で判定レイヤを表示する際に、選択行のフィーチャのみをハイライト表示する



図 4-82 判定結果複数行表示のフローチャート

- データ仕様
 - ▶ 入力
 - ◆ 概況診断リクエスト DTO
 - 内容
 - ▶ 画面上で選択した申請地番一覧と申請区分項目一覧を含んだ DTO
 - 形式
 - ▶ リクエスト
 - データ詳細
 - ▶ データ:DT101、DT117
 - ▶ 内部連携インタフェース【IF239】を参照

- ▶ 出力
 - ♦ 概況診断結果 DTO
 - 内容
 - 概況診断結果の一覧表示
 - 形式
 - ▶ レスポンス
 - データ詳細
 - ▶ 内部連携インタフェース【IF239】を参照
- 機能詳細
 - ➢ 複数行表示有無判定
 - ◆ 処理内容
 - 重なり判定該当時に、M_区分判定の属性表示フラグ(display_attribute_flag)が3の場合、 複数行表示を行う。1又は2の場合1行表示を行う(アルゴリズム【AL008】参照)
 - 重なり判定時に取得された判定レイヤの地物ごとに後続処理を繰り返す
 - ◆ 利用するライブラリ
 - Spring Boot (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)
 - PostGIS (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL010】を参照)
 - ◆ 利用するアルゴリズム
 - 概況把握・診断(判定結果複数表示)(アルゴリズム【AL102】を参照)
 - ▶ 概況診断結果文言生成・レイヤ表示クエリ組立
 - ◆ 処理内容
 - 重なり判定時に取得した判定レイヤのオブジェクト ID を使用して判定レイヤのレコード 情報を取得する。
 - 取得したレコード情報をもとに判定結果文言を生成する
 - オブジェクト ID を指定してレイヤ絞込表示できるようにクエリを組み立てる
 - ◆ 利用するライブラリ
 - Spring Boot (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL007】を参照)
 - PostgreSQL(利用したソフトウェア・ライブラリ【SL009】を参照)
 - PostGIS (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL010】を参照)
 - ◆ 利用するアルゴリズム
 - 概況把握・診断(判定結果複数表示)(アルゴリズム【AL102】を参照)

- 6) データ変換機能一覧
- 1. 【FN201】shp to dump 変換機能
- 機能概要
 - 「対象の法律・条項に関する開発許可申請判定データ」として使用するデータ(shp 形式)を PostgreSQLに取り込み可能な dump 形式に変換する
- フローチャート



図 4-83 shp to dump 変換機能のフローチャート

- データ仕様
 - ▶ 入力
 - ◆ 各種規制データ(shp)
 - 内容
 - 「対象の法律・条項に関する開発許可申請判定データ」として使用するデータ(shp 形式)
 - 形式
 - ➤ shp 形式
 - データ詳細
 - ファイル入力インタフェース【IF006】を参照
 - ▶ 出力
 - ◆ 各種規制データ dump ファイル出力
 - 内容
 - 「対象の法律・条項に関する開発許可申請判定データ」として使用するデータを、 PostgreSQLで取り込み可能なデータ形式に変換したもの(dump 形式)
 - 形式
 - ▶ dump 形式
 - データ詳細
 - ▶ ファイル出力インタフェース【IF107】を参照

- 機能詳細
 - ➤ shp to dump 変換機能
 - ◆ 利用するライブラリ
 - QGIS (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL017】を参照)
 - ◆ 利用するアルゴリズム
 - shp to dump 変換(アルゴリズム【AL011】を参照)
- 2. 【FN202】CityGML to dump 変換機能
- 機能概要
 - 「対象の法律・条項に関する開発許可申請判定データ」として使用するデータ(CityGML 形式)を PostgreSQL に取り込み可能な dump 形式に変換する
- フローチャート



図 4-84 CityGML to dump 変換機能のフローチャート

- データ仕様
 - ▶ 入力
 - ◆ 3D都市モデル(CityGML)
 - 内容
 - ▶ G 空間センターで公開されている 3D 都市モデル
 - 形式
 - ➤ CityGML 形式
 - データ詳細
 - ▶ データ仕様は 3D 都市モデル標準製品仕様書に記載の通り。
 - ▶ ファイル入力インタフェース【IF007】を参照
 - ▶ 出力
 - ◆ 各種規制データ dump ファイル出力
 - 内容

- 「対象の法律・条項に関する開発許可申請判定データ」として使用するデータを、 PostgreSQLで取り込み可能なデータ形式に変換したもの(dump 形式)
- 形式
 - ➤ dump 形式
- データ詳細
 - ▶ ファイル出力インタフェース【IF107】を参照
- 機能詳細
 - ➢ CityGML to dump 変換機能
 - ◇ 利用するライブラリ
 - FME Form (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL016】を参照)
 - ◆ 利用するアルゴリズム
 - CityGML to dump 変換(アルゴリズム【AL012】を参照)
- 3. 【FN203】CityGML to 3DTiles 変換機能
- 機能概要
 - ▶ CityGML 形式の建築物 LOD1・LOD2 データを本システムで表示可能な 3DTiles 形式に変換する
- フローチャート



図 4-85 CityGML to 3DTiles 変換機能のフローチャート

- データ仕様
 - ▶ 入力
 - ◆ 3D 都市モデル(CityGML)
 - 内容
 - ▶ G 空間センターで公開されている 3D 都市モデル
 - 形式
 - ➤ CityGML 形式
 - データ詳細

- ▶ データ仕様は 3D 都市モデル標準製品仕様書に記載の通り
- ▶ ファイル入力インタフェース【IF007】を参照
- ▶ 出力
 - ◆ 3D 都市モデル(3D Tiles 形式)
 - 内容
 - ▶ 本システムの 3D ビューワ上で表示を行うデータを表示可能なデータ形式に変換した データ
 - 形式
 - ➢ 3D Tiles 形式
 - データ詳細
 - ▶ ファイル出力インタフェース【IF108】を参照
- 機能詳細
 - ➢ CityGML to 3DTiles 変換機能
 - ◆ 利用するライブラリ
 - FME Form (利用したソフトウェア・ライブラリ【SL016】を参照)
 - ◆ 利用するアルゴリズム
 - CityGML to 3DTiles 変換(アルゴリズム【AL013】を参照)

4-3. アルゴリズム

4-3-1. 利用したアルゴリズム

ID	アルゴリ	名称	説明]	選定	理由
	ズムを利					
	用した機					
	能					
AL001	FN008	概況把握・診	•	申請地選択後に、フロントエンドからバック	•	2022年度開発で実
		断(1/2)		エンドに選択済み申請区分 DTO ^{**1} と申請地		装したアルゴリズ
				DTO ^{*2} を用いて API リクエストを実施		ムを使用
			•	バックエンドで概況診断を実行 (概況診断処		
				理の詳細は次ページ以降に記載)		
			•	診断完了後に概況診断結果 DTO ^{**3} を生成し		
				一覧をフロントエンドに返却し表示		
			×1:i	選択済みの申請区分 DTO を保持したオブジェクト		
			≫2:ì	選択済みの地番 DTO を保持したオブジェクト		
			※ 3:[区分判定結果情報及びレイヤ情報を保持したオブジェク		
			٢			
AL002	FN008、	概況把握・診	•	DB から区分判定項目一覧を取得し、全ての	•	2022年度開発で実
	FN101 \sim	断(2/2)		区分判定項目に対して以下の①~④を繰り		装したアルゴリズ
	FN113			返し実施		ムを使用
			1	申請区分判定有無をチェックし、有効の場合		
				項目 1~項目 10 のカラムを順次チェックし		
				各項目の申請区分判定を実施		
			2	図形判定有無をチェックし、有効の場合図形		
				判定を実施		
			3	申請区分判定結果と図形判定結果を結合し、		
				該当・非該当を判定。該当時又は非該当表示		
				有効かつ非該当時に概況診断結果 DTO に判		
				定項目を追加。		
			4	繰り返し処理終了後、生成した概況診断結果		
				DTO ^{**1} の一覧を返却		
			×1:[区分判定結果情報及びレイヤ情報を保持したオブジェク		
			トひ	と固まりのオブジェクトが1つの概況診断結果に対応		

表 4-6 利用したアルゴリズム一覧

uc24-11_技術検証レポート_開発許可の DX v3.0

AL003	FN102、	概況把握・診	•	図形判定は GIS 判定カラムの値が 0 以外の	•	2022年度開発で実
	FN103、	断(図形判定		区分判定に対して実施		装したアルゴリズ
	FN104、	の処理概要)	•	GIS 判定カラムの値に応じた図形判定処理		ムを使用
	FN105			の概要は AL004~AL007 を参照		
AL004	FN102	概況把握・診	•	GIS 判定カラムの値が「1」の場合、申請地	•	2022年度開発で実
		断 (図形重な		番一覧と判定対象レイヤの地物一覧の図形		装したアルゴリズ
		り時判定)		重なり時判定(以下、①~③の処理)を実施		ムを使用
			1	PostGIS の		
				ST_Intersects 関数 ^{※1} で SQL 条件句を生成		
				し、地番と重なる判定対象レイヤの地物を取		
				得		
			2	地番と重なる地物が 1 件以上取得された場		
				合、「該当」と判定		
			3	地番と重なる地物が 1 件も取得できない場		
				合、「非該当」と判定		
			×1::	ジオメトリ同士が空間に共有部分がある場合、TRUE を返		
			す空	間関係関数		
AL005	FN103	概況把握・診	•	GIS 判定カラムの値が「2」の場合、申請地	•	2022年度開発で実
		断(図形"非"		番一覧と判定対象レイヤの地物一覧の図形		装したアルゴリズ
		重なり時判		"非"重なり時判定(以下、①~③の処理)を		ムを使用
		定)		実施		
			1	PostGIS の ST_Intersects 関数 ^{※1} で SQL 条		
				件句を生成し、地番と重なる判定対象レイヤ		
				の地物を取得		
			2	地番と重なる地物が 1 件も取得できない場		
				合、「該当」と判定		
			3	地番と重なる地物が 1 件以上取得された場		
				合、「非該当」と判定		
AL006	FN104	概況把握・診	•	GIS 判定カラムの値が「3」の場合、申請地	•	2022年度開発で実
		断 (図形+バ		番一覧と判定対象レイヤの地物一覧の図形		装したアルゴリズ
		ッファ重な		+バッファ重なり時判定(以下、①~④の処		ムを使用
		り時判定)		理)を実施		
			1	PostGIS の ST_Buffer 関数 ^{※1} で地番バッフ		
				ァを生成(バッファ値は対象の区分判定項		
				目のバッファカラムの値を参照)		
			2	PostGISの ST_Intersects 関数 ^{※2} で生成し		
				た SQL 条件句をもとに、地番+地番バッフ		
				ァと重なる判定対象レイヤの地物を取得		

- 205 -

			3	地番+地番バッファと重なる地物が1件以		
				上取得された場合、「該当」と判定		
			4	地番+地番バッファと重なる地物が1件も		
				取得できない場合、「非該当」と判定		
			バッ	ファ設定の考え方		
			•	規定により定められている。		
			例)文	付象地から60m以内に消火栓があるか→60m		
			バッ	7 <i>r</i>		
			•	GIS データの精度が不足している場合、加算		
				する		
			例)	河川法、18m の保全区域の判定→30m バッ		
			ファ			
			※1:排	旨定のバッファを発生させたジオメトリを返す処理関数		
			Ж2:≶	ジオメトリ同士が 空間に共有部分がある場合、TRUE を		
			返す3	空間関係関数		
AL007	FN105	概況把握・診	•	GIS 判定カラムの値が「4」の場合、申請地	•	2022年度開発で実
		断(図形+バ		番一覧と判定対象レイヤの地物一覧の図形		装したアルゴリズ
		ッファ"非"		+バッファ		ムを使用
		重なり時判	•	"非重なり時判定(以下、①~④の処理)を実		
		定)		施		
			1	PostGIS の ST_Buffer 関数 ^{※1} で地番バッフ		
				ァを生成 (バッファ値は対象の区分判定項目		
				のバッファカラムの値を参照)		
			2	PostGISの ST_Intersects 関数 ^{※2} で生成した		
				SQL 条件句をもとに、地番+地番バッファと		
				重なる判定対象レイヤの地物を取得		
			3	地番+地番バッファと重なる地物が 1 件も		
				取得できない場合、「該当」と判定		
			4	地番+地番バッファと重なる地物が1件以		
				上取得された場合、「非該当」と判定		
			※1:排	旨定のバッファを発生させたジオメトリを返す処理関数		
			¥2:≶	ジオメトリ同士が 空間に共有部分がある場合、TRUE を		
			返す3	空間関係関数		

AL008	FN106、	概況把握・診	•	図形重なり時判定又は図形+バッファ重な	•	2022年度開発で実
	FN107	断(重なり判		り時判定が該当かつ区分判定属性表示フラ		装したアルゴリズ
		定時におけ		グが有効(2又は1)の場合、属性表示処理		ムを使用
		る属性表示)		を実施		
			•	判定対象レイヤの属性情報で概況診断結果		
				文言の DB 値を置換し、属性表示を含めた文		
				言を生成		
AL009	FN108	概況把握・診	1	図形判定該当時に判定対象レイヤと申請地	•	2022年度開発で実
		断(図形から		番一覧のジオメトリをそれぞれ ST_Union		装したアルゴリズ
		の距離測定		関数 ^{※1} で集約		ムを使用
		機能)	2	ST_Distance 関数 ^{※2} で集約したジオメトリ		
				同士を比較		
			3	距離を算出し最短距離 ^{※3} を更新		
			•	重なっている場合、距離測定(上記①~③		
				の処理)は行わず「申請地範囲内」とした		
				固定文字列で最短距離を更新		
			×1:≯	す象のジオメトリを結合したジオメトリを返す処理関数		
			¥2:≶	ジオメトリ同士の最小デカルト距離を返す空間関係関数		
			※3:褚	夏数地番を選択した場合は、判定図形から最も近い地番		
			までの	D距離		
AL010	FN109	概況把握・診	までの	^{D距離} 概況診断で得られた概況診断結果 DTO ^{※1} か	•	2022年度開発で実
AL010	FN109	概況把握・診 断 (判定結果	までの	^{D距離} 概況診断で得られた概況診断結果 DTO ^{※1} か ら、フロントエンドで表示条件及び layers [※]	•	2022年度開発で実 装したアルゴリズ
AL010	FN109	概況把握・診 断(判定結果 の図形表示)	まで0 ●	^{D距離} 概況診断で得られた概況診断結果 DTO ^{*1} か ら、フロントエンドで表示条件及び layers ^{**} ² 、viewparams ^{**3} を取得	•	2022年度開発で実 装したアルゴリズ ムを使用
AL010	FN109	概況把握・診 断(判定結果 の図形表示)	まで0 ●	^{D距離} 概況診断で得られた概況診断結果 DTO ^{*1} か ら、フロントエンドで表示条件及び layers ^{**} ² 、viewparams ^{**3} を取得 表示条件に該当した場合のみ layers ^{**2} 、	•	2022年度開発で実 装したアルゴリズ ムを使用
AL010	FN109	概況把握・診 断(判定結果 の図形表示)	まで ⁰ ●	^{D距離} 概況診断で得られた概況診断結果 DTO ^{*1} か ら、フロントエンドで表示条件及び layers ^{**} ² 、viewparams ^{**3} を取得 表示条件に該当した場合のみ layers ^{**2} 、 viewparams ^{**3} を指定して GeoServer へ API	•	2022年度開発で実 装したアルゴリズ ムを使用
AL010	FN109	概況把握・診 断(判定結果 の図形表示)	まで0 ●	^{D距離} 概況診断で得られた概況診断結果 DTO ^{*1} か ら、フロントエンドで表示条件及び layers ^{*2} ² 、viewparams ^{*3} を取得 表示条件に該当した場合のみ layers ^{*2} 、 viewparams ^{*3} を指定して GeoServer へ API リクエストを実施	•	2022年度開発で実 装したアルゴリズ ムを使用
AL010	FN109	概況把握・診 断 (判定結果 の図形表示)	まで() ●	^{D距離} 概況診断で得られた概況診断結果 DTO ^{*1} か ら、フロントエンドで表示条件及び layers ^{*2} ² 、viewparams ^{*3} を取得 表示条件に該当した場合のみ layers ^{*2} 、 viewparams ^{*3} を指定して GeoServer へ API リクエスト後、得られた WMS(Web Map	•	2022年度開発で実 装したアルゴリズ ムを使用
AL010	FN109	概況把握 · 診 断 (判定結果 の図形表示)	まで0 ●	^{b距離} 概況診断で得られた概況診断結果 DTO ^{*1} か ら、フロントエンドで表示条件及び layers ^{*2} ² 、viewparams ^{*3} を取得 表示条件に該当した場合のみ layers ^{*2} 、 viewparams ^{*3} を指定して GeoServer へ API リクエストを実施 リクエスト後、得られた WMS(Web Map Service)レイヤをフロントエンドの地図画	•	2022年度開発で実 装したアルゴリズ ムを使用
AL010	FN109	概況把握・診 断 (判定結果 の図形表示)	まで() ●	^{D距離} 概況診断で得られた概況診断結果 DTO ^{*1} か ら、フロントエンドで表示条件及び layers ^{**} ² 、viewparams ^{**3} を取得 表示条件に該当した場合のみ layers ^{**2} 、 viewparams ^{**3} を指定して GeoServer へ API リクエストを実施 リクエスト後、得られた WMS (Web Map Service) レイヤをフロントエンドの地図画 面で表示	•	2022年度開発で実 装したアルゴリズ ムを使用
AL010	FN109	概況把握・診 断 (判定結果 の図形表示)	までの ● ● ※1:E	^{b距離} 概況診断で得られた概況診断結果 DTO ^{*1} か ら、フロントエンドで表示条件及び layers ^{*2} ² 、viewparams ^{*3} を取得 表示条件に該当した場合のみ layers ^{*2} 、 viewparams ^{*3} を指定して GeoServer へ API リクエストを実施 リクエスト後、得られた WMS(Web Map Service)レイヤをフロントエンドの地図画 面で表示	•	2022年度開発で実 装したアルゴリズ ムを使用
AL010	FN109	概況把握 · 診 断 (判定結果 の図形表示)	までの ● ● ※1:E ト	D距離 概況診断で得られた概況診断結果 DTO ^{*1} か ら、フロントエンドで表示条件及び layers ^{*2} ² 、viewparams ^{*3} を取得 表示条件に該当した場合のみ layers ^{*2} 、 viewparams ^{*3} を指定して GeoServer へ API リクエストを実施 リクエスト後、得られた WMS (Web Map Service) レイヤをフロントエンドの地図画 面で表示 Co判定結果情報及びレイヤ情報を保持したオブジェク	•	2022年度開発で実 装したアルゴリズ ムを使用
AL010	FN109	概況把握 · 診 断 (判定結果 の図形表示)	まで0 ● ● ※1:E ト ※2:G	D距離 概況診断で得られた概況診断結果 DTO ^{*1} か ら、フロントエンドで表示条件及び layers ^{*2} ² 、viewparams ^{*3} を取得 表示条件に該当した場合のみ layers ^{*2} 、 viewparams ^{*3} を指定して GeoServer へ API リクエストを実施 リクエスト後、得られた WMS (Web Map Service) レイヤをフロントエンドの地図画 面で表示 Comparison のレイヤを一意に識別する識別子	•	2022年度開発で実 装したアルゴリズ ムを使用
AL010	FN109	概況把握・診 断 (判定結果 の図形表示)	まで0 ● ● ※1:₽ ト ※2:G ※3:G	D距離 概況診断で得られた概況診断結果 DTO ^{*1} か ら、フロントエンドで表示条件及び layers ^{**} ² 、viewparams ^{**3} を取得 表示条件に該当した場合のみ layers ^{**2} 、 viewparams ^{**3} を指定して GeoServer へ API リクエストを実施 リクエスト後、得られた WMS (Web Map Service) レイヤをフロントエンドの地図画 面で表示 C分判定結果情報及びレイヤ情報を保持したオブジェク eeoServer のレイヤを一意に識別する識別子 eeoServer のレイヤ取得時に受け渡すパラメータ	•	2022年度開発で実 装したアルゴリズ ムを使用
AL010	FN109 FN201	概況把握・診 断 (判定結果 の図形表示)	まで0 ● ● ※1:E ト ※2:G ※3:G	D距離 概況診断で得られた概況診断結果 DTO ^{*1} か ら、フロントエンドで表示条件及び layers ^{*2} ² 、viewparams ^{*3} を取得 表示条件に該当した場合のみ layers ^{*2} 、 viewparams ^{*3} を指定して GeoServer へ API リクエストを実施 リクエスト後、得られた WMS (Web Map Service) レイヤをフロントエンドの地図画 面で表示 C分判定結果情報及びレイヤ情報を保持したオブジェク eoServer のレイヤを一意に識別する識別子 eoServer のレイヤ取得時に受け渡すパラメータ 「対象の法律・条項に関する開発許可申請判	•	2022年度開発で実 装したアルゴリズ ムを使用 QGIS(【SL017】)を
AL010 AL011	FN109 FN201	概況把握・診 断(判定結果 の図形表示) Shp to dump 変換	までの ● ※1:E ト ※2:G ※3:G	D距離 概況診断で得られた概況診断結果 DTO ^{*1} から、フロントエンドで表示条件及び layers ^{*2} ² 、viewparams ^{*3} を取得 表示条件に該当した場合のみ layers ^{*2} 、 viewparams ^{*3} を指定して GeoServer へ API リクエストを実施 リクエスト後、得られた WMS (Web Map Service) レイヤをフロントエンドの地図画 面で表示 Comparison のレイヤを一意に識別する識別子 teoServer のレイヤを一意に識別する識別子 teoServer のレイヤ取得時に受け渡すパラメータ 「対象の法律・条項に関する開発許可申請判定データ」として使用するデータ (shp 形式)	•	2022 年度開発で実 装したアルゴリズ ムを使用 QGIS(【SL017】)を 使用
AL010	FN109 FN201	概況把握・診 断(判定結果 の図形表示) Shp to dump 変換	まで¢ ● ● ※1:⊵ ト ※2:G ※3:G	D距離 概況診断で得られた概況診断結果 DTO ^{*1} か ら、フロントエンドで表示条件及び layers ^{*2} ² 、viewparams ^{*3} を取得 表示条件に該当した場合のみ layers ^{*2} 、 viewparams ^{*3} を指定して GeoServer へ API リクエストを実施 リクエスト後、得られた WMS (Web Map Service) レイヤをフロントエンドの地図画 面で表示 COPH定結果情報及びレイヤ情報を保持したオブジェク eoServer のレイヤを一意に識別する識別子 eoServer のレイヤ取得時に受け渡すパラメータ 「対象の法律・条項に関する開発許可申請判 定データ」として使用するデータ(shp 形式) を PostgreSQL に取り込み可能な dump 形	•	2022年度開発で実 装したアルゴリズ ムを使用 QGIS(【SL017】)を 使用 地理空間データの
AL010 AL011	FN109 FN201	概況把握・診 断(判定結果 の図形表示) Shp to dump 変換	まで0 ● ● ※1:₽ ト ※2:G ※3:G	D距離 概況診断で得られた概況診断結果 DTO ^{*1} から、フロントエンドで表示条件及び layers ^{*2} ² 、viewparams ^{*3} を取得 表示条件に該当した場合のみ layers ^{*2} 、 viewparams ^{*3} を指定して GeoServer へ API リクエストを実施 リクエストを実施 リクエスト後、得られた WMS (Web Map Service) レイヤをフロントエンドの地図画 面で表示 Chylackatelefate Control </td <td>•</td> <td>2022年度開発で実 装したアルゴリズ ムを使用 QGIS(【SL017】)を 使用 地理空間データの 変換機能が無償で</td>	•	2022年度開発で実 装したアルゴリズ ムを使用 QGIS(【SL017】)を 使用 地理空間データの 変換機能が無償で

						め。
					•	詳細は以下参照
					•	https://www.qgis.
						org/ja/site/
AL012	FN202	CityGML to	•	「対象の法律・条項に関する開発許可申請判	•	FME Form
		dump 変換		定データ」として使用するデータ(CityGML		(【SL016】)を使
				形式)を PostgreSQL に取り込み可能な		用
				dump 形式に変換する	•	3D 都市モデルデ
						ータの変換・統合
						機能が提供されて
						おり、簡単にデー
						タ変換処理が記述
						できるため。
					•	詳細は以下参照
					•	https://fme.safe.c
						om/platform/
AL013	FN203	CityGML to	•	CityGML 形式の建築物 LOD1・LOD2 データ	•	FME Form
		3DTiles 変換		を本システムで表示可能な 3DTiles 形式に		(【SL016】)を使
				変換する		用
					•	3D 都市モデルデ
						ータの変換・統合
						機能が提供されて
						おり、簡単にデー
						タ変換処理が記述
						できるため。
					•	詳細は以下参照
					•	https://fme.safe.c
						om/platform/
AL101	FN110	概況把握・診	•	申請地番一覧にバッファを付加し、道路	•	2023年度開発で実
	FN111	断(前面道路		LOD2 データ(区分が「道路」のデータが対		装したアルゴリズ
	FN112	判定·道路幅		象)から重なる地物を取得する		ムを使用
		員表示・隣接	•	1件以上取得された場合「該当」、1件も取得		
		歩道判定機		できなかった場合「非該当」と判定する		
		能)	1	「該当」の場合、取得した道路 LOD2 の幅員		
				値を使用し、申請地番一覧にバッファ+道路		
				LOD2 幅員値/2 を付加し、重なる距離が最		
				も長い道路中心線の地物を取得。取得できな		
				い場合、申請地番フィーチャの重心位置から		

				最近接の道路中心線を取得		
			(2)	申請地番一覧にバッファを付加し、重なる区		
)	割り線フィーチャを取得		
			(3)	最近接となる道路中心線の位置を特定する		
			0	ため、申請地番一覧の重心位置を取得し、重		
				心位置から最も近い道路中心線座標を取得		
			(4)	近接となる道路中心線の位置から、正の方		
			0	向・負の方向それぞれに探索を行い、取得さ		
				れた区割り線フィーチャが存在するか判定		
			(5)	それぞれの方向に区割り線フィーチャが存		
			0	在しない場合、その方向の延長に探索を行		
				い、最近接の区割り線を取得		
			6	取得したそれぞれの区割り線にひも付いて		
				設定されている道路幅員(側溝含む)・車道		
				幅員(側溝除く)の値を取得し、地物の幅員		
				について、最大・最小となる幅員値、その幅		
				員値に関連付けられている区割り線を取得		
			\overline{O}	取得した道路 LOD2 データと道路コードが		
				共通で区分が「歩道」のデータが道路 LOD2		
				データに存在するか否かをチェックし、その		
				結果をもって隣接する歩道の有無を判定。隣		
				接する歩道が取得される場合そのオブジェ		
				クト ID を取得		
			8	①~⑧の結果をもとに表示文言とレイヤ表		
				示設定		
			9	①~⑨を取得した道路 LOD2 データの個数		
				分繰り返す		
			•	概況診断結果表示時に判定結果として区割		
				り線取得結果、隣接歩道有無、道路幅員値、		
				道路幅員値による案内文言を案内し、該当箇		
				所の区割り線図形(最大・最小幅員該当図形		
				を強調)と地番バッファと重なる隣接歩道、		
				区割り線の幅員値をハイライト表示する		
AL102	FN113	概況把握・診	•	概況診断実行の重なり属性表示処理の中で、	•	2023年度開発で実
		断 (判定結果		重なり属性タイプのチェックを実施する		装したアルゴリズ
		複数表示)	•	重なり属性タイプが3の場合、重なる地物ご		ムを使用
				とに3.の処理を実施する		
			•	(重なり属性タイプが3の場合)地物の属性		

	値を取得し概況診断結果文言を生成、地物	
	ID を取得し判定レイヤ表示で用いるクエリ	
	を組み立て。最後に概況診断結果にデータを	
	追加する	
•	重なり属性タイプが1又は2の場合、各重	
	なり地物の属性値を順に概況診断結果文言	
	に付加する(3-1-1.利用するアルゴリズム	
	【AL008】に記載の処理)	

- 1) 【AL001】概況把握·診断(1/2)
- イメージ



図 4-86 概況把握・診断モジュール構成・処理シーケンス概要

処理名	説明
概況診断実行リクエス	申請地選択後に、フロントエンドからバックエンドに選択済み申請区分 DTO※1 と
٢	申請地 DTO※2 を用いて API リクエストを実施
	※1:選択済みの申請区分 DTO を保持したオブジェクト
	※2:選択済みの地番 DTO を保持したオブジェクト
概況診断実行	バックエンドで概況診断を実行(概況診断処理の詳細は AL002 に記載)
概況診断結果表示	診断完了後に概況診断結果 DTO※3 を生成し一覧をフロントエンドに返却し表示
	※3:区分判定結果情報及びレイヤ情報を保持したオブジェクト

表 4-7 概況把握・診断(1/2) 各処理詳細説明

- 2) 【AL002】概況把握·診断(2/2)
- イメージ



図 4-87 概況把握・診断処理アルゴリズム概要

処理名	説明
各区分判定処理	DB から全ての区分判定項目を一覧取得し、順番に判定処理(申請区分判定・図形判
	定)を実行
申請区分判定	区分判定の項目1~項目10に0以外の値が1項目でも含まれるかチェックし、含ま
	れる場合申請区分判定を実施(含まれない場合処理をスキップ)
	各項目値にリクエストされた申請区分 ID が含まれるかチェックし、該当する場合そ
	の項目を「該当」と判定。最後に全ての項目の判定結果の論理積(AND)をとり申請
	区分判定結果として保持。
図形判定	GIS 判定カラムの値が 0 以外かどうかチェックし、該当する場合図形判定を実施し
	結果を保持。該当しない場合処理をスキップ。判定方法の詳細は AL003~AL007 参
	照。
判定結果結合	申請区分判定結果と図形判定結果を結合し概況診断結果を判定。
	下記のとおり申請区分・図形判定実施の有無によって両者から概況診断結果を判定
	する。
	申請区分判定:有 / 図形判定:有 → 申請区分判定結果 AND 図形判定結果
	申請区分判定:有 / 図形判定:無 → 申請区分判定結果
	申請区分判定:無 / 図形判定:有 → 図形判定結果
概況診断結果 DTO ^{*1}	判定結果が該当の場合、又は非該当表示有効かつ非該当の場合、結果一覧に項目を追
の一覧に判定項目追加	加。
	区分判定テーブルに設定された文言と概要及び(図形判定を実施する区分判定の場
	合)判定に使用したレイヤの表示用 URL を結果一覧に追加。
	※1: 区分判定結果情報及びレイヤ情報を保持したオブジェクト。1 固まりのオブジェクトが1つの概況診
	断結果に対応

表 4-8 概況把握・診断各処理詳細説明

uc24-11_技術検証レポート_開発許可の DX v3.0

- 3) 【AL003】概況把握·診断(図形判定の処理概要)
- イメージ



図 4-88 図形判定の処理概要

表 4-9 図形判定の処理概要

処理名	説明
図形重なり時判定	申請地番一覧と判定対象レイヤの地物一覧の図形が重なるかを判定
図形"非"重なり時判定	申請地番一覧と判定対象レイヤの地物一覧の図形が重ならないかを判定
図形+バッファ重なり	申請地番一覧+バッファと判定対象レイヤの地物一覧の図形が重なるかを判定
時判定	
図形+バッファ"非"重	申請地番一覧+バッファと判定対象レイヤの地物一覧の図形が重ならないかを判定
なり時判定	

- 4) 【AL004】概況把握・診断(図形重なり時判定)
- イメージ



図 4-89 図形重なり判定アルゴリズム概要



図 4-90 図形重なり判定 SQL 実行イメージ

処理名	説明
図形重なり時判定	GIS 判定カラムの値が「1」の場合、申請地番一覧と判定対象レイヤの地物一覧の図
	形重なり時判定(以下の処理)を実施
重なり地物取得	PostGIS の ST_Intersects 関数 ^{※1} で SQL 条件句を生成し、地番と重なる判定対象レ
	イヤの地物を取得
	※1:ジオメトリ同士が空間に共有部分がある場合、TRUE を返す空間関係関数
該当判定	地番と重なる地物が1件以上取得された場合、「該当」と判定
非該当判定	地番と重なる地物が1件も取得できない場合、「非該当」と判定

表 4-10 図形重なり判定の処理概要説明

- 5) 【AL005】概況把握·診断(図形"非"重なり時判定)
- イメージ



図 4-91 図形"非"重なり判定アルゴリズム概要


※1: ジオメトリ同士が 空間に共有部分がある場合、TRUEを返す空間関係関数

図 4-92 図形"非"重なり判定 SQL 実行イメージ

表 4-	11 図形	"非"重なり	判定の	処理概要説明
------	-------	--------	-----	--------

処理名	説明	
図形"非"重なり時判定	GIS 判定カラムの値が「2」の場合、申請地番一覧と判定対象レイヤの地物一覧の図	
	形"非"重なり時判定(以下の処理)を実施	
重なり地物取得	PostGIS の ST_Intersects 関数 ^{※1} で SQL 条件句を生成し、地番と重なる判定対象レ	
	イヤの地物を取得	
	※1:ジオメトリ同士が空間に共有部分がある場合、TRUE を返す空間関係関数	
該当判定	地番と重なる地物が1件も取得できない場合、「該当」と判定	
非該当判定	地番と重なる地物が1件以上取得された場合、「非該当」と判定	

- 6) 【AL006】概況把握・診断(図形+バッファ重なり時判定)
- イメージ



図 4-93 図形+バッファ重なり判定アルゴリズム概要



※1: 指定のバッファを発生させたジオメトリを返す処理関数 ※2: ジオメトリ同士が 空間に共有部分がある場合、TRUEを返す空間関係関数

図 4-94 図形+バッファ重なり判定 SQL 実行イメージ

表 4-12 図形+バッファ重なり判定の処理概要説明

処理名	説明
図形+バッファ重なり	GIS 判定カラムの値が「3」の場合、申請地番一覧と判定対象レイヤの地物一覧の図
判定	形重なり時判定(以下の処理)を実施
バッファ生成	PostGIS の ST_Buffer 関数 ^{※1} で地番バッファを生成(バッファ値は対象の区分判定
	項目のバッファカラムの値を参照)
	バッファ設定の考え方
	● 規定により定められている。
	例)対象地から 60m 以内に消火栓があるか→60m バッファ
	● GIS データの精度が不足している場合、加算する。
	例)河川法、18m の保全区域の判定→30m バッファ
	※1:指定のバッファを発生させたジオメトリを返す処理関数
重なり地物取得	PostGIS の ST_Intersects 関数 ^{※2} で SQL 条件句を生成し、地番+地番バッファと重
	なる判定対象レイヤの地物を取得
	※2 ジオメトリ同士が空間に共有部分がある場合、TRUE を返す空間関係関数
該当判定	地番+地番バッファと重なる地物が1件以上取得された場合、「該当」と判定
非該当判定	地番+地番バッファと重なる地物が1件も取得できない場合、「非該当」と判定

- 7) 【AL007】概況把握・診断(図形+バッファ"非"重なり時判定)
- イメージ



図 4-95 図形+バッファ"非"重なり判定アルゴリズム概要



※1:指定のバッファを発生させたジオメトリを返す処理関数※2:ジオメトリ同士が空間に共有部分がある場合、TRUEを返す空間関係関数

図 4-96 図形+バッファ"非"重なり判定 SQL 実行イメージ

処理名	説明
図形+バッファ重なり	GIS 判定カラムの値が「4」の場合、申請地番一覧と判定対象レイヤの地物一覧の図
判定	形"非"重なり時判定(以下の処理)を実施
バッファ生成	PostGIS の ST_Buffer 関数 ^{※1} で地番バッファを生成(バッファ値は対象の区分判定
	項目のバッファカラムの値を参照)
	※1:指定のバッファを発生させたジオメトリを返す処理関数
重なり地物取得	PostGIS の ST_Intersects 関数 ^{※2} で SQL 条件句を生成し、地番+地番バッファと重
	なる判定対象レイヤの地物を取得
	※2 ジオメトリ同士が空間に共有部分がある場合、TRUE を返す空間関係関数
該当判定	地番+地番バッファと重なる地物が1件も取得できない場合、「該当」と判定
非該当判定	地番+地番バッファと重なる地物が1件以上取得された場合、「非該当」と判定

- 8) 【AL008】概況把握・診断(重なり判定時における属性表示)
- イメージ



図 4-97 重なり時判定時における属性表示 アルゴリズム概要

表 4	-14	重なり	時判定時に	おける	属性表示	で参照す	るカ	ラム	ムー'	覧
-----	-----	-----	-------	-----	------	------	----	----	-----	---

カラム名		説明
display_attribute	重なり属性表示フ	属性表示方式
_flag	ラグ	2→属性を区切り文字で区切って表示
		1→属性を改行表示
		0→属性表示しない
table_name	テーブル名	重なり属性表示するテーブル名
field_name	フィールド名	重なり属性表示するフィールド名
		カンマ区切りで複数設定可能
applicable_descri	該当表示文言	置換前の該当表示文言
ption		「@1,@2,@3,・・・」と記載された箇所をフィールド名の 1、2、3 番

	目のフィールドの属性値で置換する。属性値の並べ方は属性表示フラ
	グの値に従う。フィールド名は重複表示しない。

- 9) 【AL009】概況把握・診断(図形からの距離測定機能)
- イメージ



図 4-98 図形からの距離測定機能 アルゴリズム概要



※1:対象のジオメトリを結合したジオメトリを返す処理関数※2:ジオメトリ同士の最小デカルト距離を返す空間関係関数※3:複数地番を選択した場合は、判定図形から最も近い地番までの距離

図 4-99 図形からの距離測定機能 SQL 実行イメージ

処理名	説明
図形集約	図形判定該当時に判定対象レイヤと申請地番一覧のジオメトリをそれぞれ
	ST_Union 関数 ^{※1} で集約
	※1:対象のジオメトリを結合したジオメトリを返す処理関数
距離計算	ST_Distance 関数 ^{※2} で集約したジオメトリ同士を比較
	※2:ジオメトリ同士の最小デカルト距離を返す空間関係関数
最短距離計算	距離を算出し最短距離 ^{※3} を更新
	※3:複数地番を選択した場合は、判定図形から最も近い地番までの距離
最短距離更新	重なっている場合、距離測定(上記の処理)は行わず「申請地範囲内」とした固定
	文字列で最短距離を更新

表 4-15	図形からの	距離測定機能の	の処理概要説明
--------	-------	---------	---------

10) 【AL010】 概況把握・診断(判定結果の図形表示)

• イメージ



図 4-100 図形重なり時の図形表示 モジュール構成・処理シーケンス概要

処理名	説明
パラメータ取得	概況診断で得られた概況診断結果 DTO ^{*1} から、フロントエンドで表示条件及び
	layers ^{**2} 、viewparams ^{**3} を取得
	※1:区分判定結果情報及びレイヤ情報を保持したオブジェクト
	※2:GeoServer のレイヤを一意に識別する識別子
	※3:GeoServer のレイヤ取得時に受け渡すパラメータ
GeoServer リクエスト	表示条件に該当した場合のみ layers ^{※2} 、viewparams ^{※3} を指定して GeoServer へ API
実施	リクエストを実施
WMS レイヤ表示	リクエスト後、得られた WMS(Web Map Service)レイヤをフロントエンドの地図
	画面で表示

表 4-16 図形重なり時の図形表示の処理概要説明

- 11) 【AL101】概況把握·診断(前面道路判定·道路幅員表示·隣接歩道判定機能)
- イメージ



図 4-101 前面道路判定・道路幅員表示・隣接歩道判定機能処理フロー(1/2)



図 4-102 前面道路判定・道路幅員表示・隣接歩道判定機能処理フロー(2/2)

処理名	
前面道路判定	申請地番一覧にバッファを付加し、道路 LOD2 データ(区分が「道路」のデータが対
	象)から重なる地物を取得する。
前面道路判定結果	1 件以上取得された場合「該当」、1 件も取得できなかった場合「非該当」と判定す
	る。
取得した道路 LOD2 の	「該当」の場合、取得した道路 LOD2 の幅員値を使用し、申請地番一覧にバッファ+
中心線取得	道路 LOD2 幅員値/2 を付加し、重なる距離が最も長い道路中心線の地物を取得。取
	得できない場合、申請地番フィーチャの重心位置から最近接の道路中心線を取得。
区割り線取得	申請地番一覧にバッファを付加し、重なる区割り線フィーチャを取得。
申請地の重心位置・判	最近接となる道路中心線の位置を特定するため、申請地番一覧の重心位置を取得し、
定対象道路中心線の取	重心位置から最も近い道路中心線座標を取得。
得	

表 4-17 前面道路判定・道路幅員表示・隣接歩道判定の処理概要説明

最近接道路中心位置か	近接となる道路中心線の位置から、正の方向・負の方向それぞれに探索を行い、取得	
ら正・負の方向に区割	された区割り線フィーチャが存在するか判定。	
り線取得判定		
取得できていない方向	それぞれの方向に区割り線フィーチャが存在しない場合、その方向の延長に探索を	
に最短距離で区割り線	行い、最近接の区割り線を取得。	
取得		
最大幅員・最小幅員取	取得したそれぞれの区割り線にひも付いて設定されている道路幅員(側溝含む)・車	
得	道幅員(側溝除く)の値を取得し、地物の幅員について、最大・最小となる幅員値、	
	その幅員値に関連付けられている区割り線を取得。	
隣接歩道判定	取得した道路 LOD2 データと道路コードが共通で区分が「歩道」のデータが道路	
	LOD2 データに存在するか否かをチェックし、その結果をもって隣接する歩道の有無	
	を判定。隣接する歩道が取得される場合そのオブジェクト ID を取得。	
文言・レイヤ表示設定	以上の結果をもとに表示文言とレイヤ表示設定する。	
繰り返し処理	以上の処理を取得した道路 LOD2 データの個数分繰り返す。	
概況診断結果(道路判	概況診断結果表示時に判定結果として区割り線取得結果、隣接歩道有無、道路幅員	
定)結果表示	値、道路幅員値による案内文言を案内し、該当箇所の区割り線図形(最大・最小幅員	
	該当図形を強調)と地番バッファと重なる隣接歩道、区割り線の幅員値をハイライト	
	表示する。	

- 12) 【AL102】概況把握·診断(判定結果複数表示)
- イメージ



図 4-103 重なり属性判定結果行表示処理フロー

処理名	説明
重なり属性タイプチェ	概況診断実行の重なり属性表示処理の中で、重なり属性タイプのチェックを実施す
ック	る。
重なり属性判定結果取	重なり属性タイプが3の場合、重なる地物ごとに3.の処理を実施する。
得処理	
表示文言・レイヤ組立	重なり属性タイプが 3 の場合)地物の属性値を取得し概況診断結果文言を生成、地
	物 ID を取得し判定レイヤ表示で用いるクエリを組み立て。最後に概況診断結果にデ

表 4-18 重なり属性判定結果行表示 の処理概要説明

	ータを追加する。
重なり属性判定結果表	重なり属性タイプが1又は2の場合、各重なり地物の属性値を順に概況診断結果文
示	言に付加する(3-1-1.利用するアルゴリズム 【AL008】に記載の処理)。

4-3-2. 開発したアルゴリズム

なし

4-4. データインタフェース

4-4-1.ファイル入力インタフェース

- 1) 【IF001】概況診断結果レポートテンプレート Excel ファイル入力
- 本インタフェースを利用した機能
 - ➤ 【FN009】, 【FN013】
- インタフェース詳細
 - ・ 帳票出力時又は申請登録時に帳票作成処理でシステムが参照する、帳票レポートのテンプレートフ ァイル。
 - ▶ 申請登録時にシステムに保存した帳票には回答 ID、回答内容の欄が追加され、【IF005】として使用 する。

表 4-19	概況診断結果レ	・ポー	トテンプレ	~ ー ト	Excel フ	ァイル入力
--------	---------	-----	-------	-------	---------	-------

項目	説明		
出力日	概況診断結果を出力した日付		
概況図	概況診断結果を行った地図		
選択した申請区分	既況診断を行う際に選択した申請区分		
選択した申請範囲	概況診断を行う際に選択した申請範囲		
判定結果概要	選択した申請区分・申請範囲をもとに判定した結果(概要のみ表示、具体的内容は次		
	ページ)		
判定対象項目	判定を行う項目名		
判定結果内容	事前相談有無・相談先・相談を行う内容などを記した判定結果・案内内容		
判定根拠地図画像	判定結果に関連する空間情報データの重なり・"非"重なりを根拠づける地図画像		
回答 ID	判定対象項目に対する回答 ID(概況診断結果画面からの出力時では非表示)		
回答内容	判定対象項目に対する回答内容(概況診断結果画面からの出力時では非表示)		

- 2) 【IF002】申請ファイル PDF、TIFF、JPEG、PNG、DXF、DWG ファイル入力
- 本インタフェースを利用した機能
 - 【FN011】,【FN014】,【FN030】,【FN035】
 ※1ファイル当たり容量上限:50MB
- インタフェース詳細
 - 申請登録時又は再申請登録時に事業者がアップロードするファイル。PDF、TIFF、JPEG、PNG、DXF、 DWGの拡張子ファイルを受付、拡張子チェックを行う。

項目	説明			
拡張子	PDF、TIFF、JPEG、PNG、DXF、DWG の拡張子ファイルを受付(種類は申請ファイ			
	ル種類ごとに SE 設定可)、拡張子チェックを行う。			
ファイル容量	1ファイル当たり容量上限:50MB			
ファイル件数	申請ファイル種類ごとに複数ファイルアップロード可能			
版情報	再申請ごとに提出されたファイルを第1版、第2版、第3版・・・と版管理する。			
	次段階申請時に前の申請段階の最終版ファイルを次段階の第1版ファイルとして管理			
	する。			

● 表 4-20 申請ファイル データフォーマット

- 3) 【IF003】回答ファイル PDF、TIFF、JPEG、PNG、DXF、DWG ファイル入力
- 本インタフェースを利用した機能
 - 【FN023】,【FN040】,【FN046】,【FN050】

 ※1ファイル当たり容量上限:50MB
- インタフェース詳細
 - 回答登録時に行政担当者がアップロードするファイル。PDF、TIFF、JPEG、PNG、DXF、DWGの 拡張子ファイルを受付、拡張子チェックを行う。

項目	説明	
拡張子	PDF、TIFF、JPEG、PNG、DXF、DWG の拡張子ファイルを受付(種類は SE 設定可)	
	拡張子チェックを行う。	
ファイル容量	1ファイル当たり容量上限:50MB	
ファイル件数	回答ごとに複数ファイルアップロード可能	

表 4-21 回答ファイル データフォーマット

- 4) 【IF004】回答ファイル(行政担当者による図面への赤字での転記) PDF、TIFF、JPEG、PNG、CAD フ ァイル入力
- 本インタフェースを利用した機能

FN023, [FN040], [FN046], [FN050]

※1 ファイル当たり容量上限:50MB

- インタフェース詳細
 - 回答ファイル赤入れ機能で編集を開始した際にシステムにアップするファイル。PDF、TIFF、JPEG、 PNGの拡張子ファイルを受付、PNG形式に出力して画面表示する。

表 4-22 回答ファイル(行政担当者による図面への赤字での転記)データフォーマット

項目	説明	
拡張子	PDF、TIFF、JPEG、PNG、ファイル入力	
	PNG 形式に出力して画面表示する。編集後のファイルは PNG ファイルとして保存す	
	る。	
ファイル件数	回答ごとに複数ファイルアップロード可能	

- 5) 【IF005】行政回答レポートテンプレート Excel ファイル入力
- 本インタフェースを利用した機能
 - ≻ 【FN018】
- インタフェース詳細
 - 回答レポート出力に帳票作成処理でシステムが参照する、帳票レポートのテンプレートファイル。 申請登録時に登録された帳票を使用する。

表 4-23 行政回答!	レポートテンプレート	Excel ファイル入力
--------------	------------	--------------

項目	説明
出力日	行政回答レポートを出力した日付
概況図	概況診断結果を行った地図
選択した申請区分	概況診断を行う際に選択した申請区分
選択した申請範囲	概況診断を行う際に選択した申請範囲
判定結果概要	選択した申請区分・申請範囲をもとに判定した結果(概要のみ表示、具体的内容は次
	ページ)
判定対象項目	判定を行う項目名
判定結果内容	事前相談有無・相談先・相談を行う内容などを記した判定結果・案内内容
判定根拠地図画像	判定結果に関連する空間情報データの重なり・"非"重なりを根拠づける地図画像
回答 ID	判定対象項目に対する回答 ID
回答内容	判定対象項目に対する通知済み回答内容

6) 【IF006】各種規制データ shp ファイル入力

- 本インタフェースを利用した機能
 - ≻ 【FN201】
- インタフェース詳細
 - ▶ 「対象の法律・条項に関する開発許可申請判定データ」として使用するデータ(shp 形式)。
 - ▶ データフォーマットは下表の通り。

表 4-24 各種規制データフォーマット

項目	説明
Shape	対象の法律・条項に関する開発許可申請判定データの図形情報。
属性	対象の法律・条項に関する開発許可申請判定データの属性情報。
	属性は必要に応じて自由に設定可能。

- 7) 【IF007】3D 都市モデル CityGML ファイル入力
- 本インタフェースを利用した機能
 - ▶ 【FN202】, 【FN203】
- インタフェース詳細
 - 本システムで「対象の法律・条項に関する開発許可申請判定データ」として使用、及び 3D ビュー上で表示を行うデータ(CityGML 形式)。

表 4-25 3D 都市モデル CityGML ファイル入力 データフォーマット

項目	説明
データ形式	CityGML
データ項目	要件に応じて自由に設定可能なため項目の指定はなし

- 8) 【IF008】3D 都市モデル 3DTiles ファイル入力
- 本インタフェースを利用した機能
 - ➤ 【FN001】【FN004】
- インタフェース詳細
 - 本システムで、3D ビュー上の表示を行うデータ(3DTiles 形式)。CityGML 形式から変換したファ イル(【IF108】)。

表 4-26 3D 都市モデル 3DTiles ファイル入力 データフォーマット

項目	説明
データ形式	3DTiles
データ項目	要件に応じて自由に設定可能なため項目の指定はなし

- 9) 【IF009】帳票テンプレート Excel ファイル入力
- 本インタフェースを利用した機能
 - ≻ 【FN038】
- インタフェース詳細
 - 各申請段階の申請・回答が全て完了した時点で自動生成される各種帳票のテンプレートファイル。 表 4-27 行政回答レポートテンプレート Excel ファイル入力

項目	説明
申請者情報	申請を実施した人物の名前、メールアドレス(、電話番号、住所、コメント)
申請追加情報	各申請段階で申請を実施するときに追加で記入した情報
申請情報(登録日)	各申請段階の申請・回答が完了した日付
申請地番	申請を実施した地番
申請区分	申請の区分
申請版情報	申請の版情報

10) 【IF010】 各種規制データ WMS 入力

- 本インタフェースを利用した機能
 - ➤ 【FN001】【FN004】
- インタフェース詳細
 - > 「対象の法律・条項に関する開発許可申請判定データ」として使用するデータ。
 - ➤ WMS (png) 形式。

表 4-28 各種規制データ WMS 入力 データフォーマット

項目	説明
データ形式	WMS(PNG 形式で地図画像を配信するプロトコル)
データ項目	要件に応じて自由に設定可能なため項目の指定はなし

11) 【IF011】2D 建物モデル MVT ファイル入力

- 本インタフェースを利用した機能
 - ➤ 【FN001】【FN004】
- インタフェース詳細
 - ▶ 本システムの 2D ビュー上で表示を行うデータ (MVT 形式)。

表 4-29 2D 建物モデル MVT ファイル入力 データフォーマット

項目	説明
データ形式	MVT (Mapbox Vector Tile)
データ項目	要件に応じて自由に設定可能なため項目の指定はなし

- 12) 【IF012】 地盤データ Terrain 入力
- 本インタフェースを利用した機能
 - ➤ 【FN001】
- インタフェース詳細
 - ▶ 3D ビュー背景に重ね合わせる地盤データ(Terrain 形式)。

表 4-30 地盤データ Terrain 入力 データフォーマット

項目	説明
データ形式	Terrain 形式(Cesium ion で配信)
データ項目	座標情報、高度情報

- 13) 【IF013】 航空写真 PNG JPG 入力
- 本インタフェースを利用した機能
 - ≻ 【FN001】
- インタフェース詳細

▶ 3D ビュー・2D ビュー背景に表示する XYZ タイル形式の航空写真 (PNG、JPG)。

表 4-31 航空写真 PNG JPG 入力 データフォーマット

項目	説明
データ形式	XYZ タイル形式(PNG、JPG)
データ項目	なし

- 14) 【IF014】問合せ添付ファイル入力 PDF、TIFF、JPEG、PNG、CAD ファイル入力
- 本インタフェースを利用した機能
 - ≻ 【FN019】
- インタフェース詳細
 - > 問い合わせに添付して事業者がファイルをアップロードする。

表 4-32 問合せ添付ファイル入力 データフォーマット

項目	説明
拡張子	PDF、TIFF、JPEG、PNG、CAD の拡張子ファイルを受付(種類は SE 設定可)、拡張
	子チェックを行う。
ファイル容量	1ファイル当たり容量上限:50MB
ファイル件数	問合せごとに複数ファイルアップロード可能

4-4-2.ファイル出力インタフェース

- 1) 【IF101】概況診断結果レポート Excel (.xlsx) ファイル出力
- 本インタフェースを利用した機能
 - FN009, [FN013], [FN014], [FN031], [FN033], [FN036], [FN037]
- インタフェース詳細
 - ▶ 帳票出力時に出力される帳票レポート。
 - ▶ SE 設定でキャプチャ取得の有無を設定する。

表 4-33 出力項目

項目	説明
出力日	概況診断結果を出力した日付
概況図	概況診断結果を行った地図(2D)
選択した申請区	概況診断を行う際に選択した申請区分
分	
選択した申請範	概況診断を行う際に選択した申請範囲
囲	全筆かからない筆には「の一部」と追記
判定結果概要	選択した申請区分・申請範囲をもとに判定した結果(概要のみ表示、具体的内容は次ペー
	ジ)
判定対象項目	判定を行う項目名
判定結果内容	事前相談有無・相談先・相談を行う内容などを記した判定結果・案内内容
判定根拠地図画	判定結果に関連する空間情報データの重なり・"非"重なりを根拠づける地図画像(2D)
像	
回答 ID	判定対象項目に対する回答 ID(概況診断結果画面からの出力時では非表示)
回答内容	判定対象項目に対する回答内容(概況診断結果画面からの出力時では非表示)

※申請登録時に出力される概況診断レポートは回答レポートのフォーマットに従う

出力日	▶ 世力日	20	022/11/07	開発予定地 🧹	選択した
概況図	概況図			亭野市中沖7-8,7-13,7-14,7-16	申請範囲
選択し7	こ間発申請区分	建築物:自己:業務		-	
甲請区分	力 耳光 广定面積	2000mi~		-	
	開発予定工区数	11区		-	
	開発予定地の利用目的	店舖			
	特殊な開発行為の有無	下水道接続		1	
	特定施設の有無	上水道の利用、屋外広告物]	
	開発予定地の地目	農地以外			
				_	
判定结果	⊥			-	
東田	~		-	-	
例女		刊正結未恍ち			4
	土砂災害防止法(浸)	K想定区域)について	■ 〒 新聞植設不安 3F 防災線(工砂災害防止法)		-
	都市計画区域・用速す	包徴について	電子的情報不安 4F約中計圖錄(約中計圖畫) 事業的情報字葉 4F約中計圖錄(約中計圖畫)	+)	_
	工地と開始理学来地は	2.264	★=前相該必要 4F級市計面譯 (英野市告題づ)	≖/ <り条例)	
	尿矾に因う 9 子続き 医処広告物に関する5	E (# 1)	★車前相談必要 4F総市計画課(英野市景観づ	くり条例)	-
	周辺道路の幅員につい	、~~~- ヽて(予定地をクリックすると	★ 申前相談必要 4F建設課 (道路)		-
	消火栓の設置等につい	いて	★ 宇前相談不要 茅野消防署 消防課 (消防法)	1	
	下水道等への接続にな	ついて	★		-
	上水道の利用(接続)	等について	★审前相談必要 5F水道課(上水道)		
	都市機能誘導区域(」	2地適正化計画)に関する手続	★申前相談必要 4F都市計画課(都市計画法)		
	建築確認申請について	c	★ 专前相談必要 4F 都市計画課(建築基準法)		
	大規模小売店舗立地浴	まに関する手続きについて	★ 申前相談必要 5F商工課 (大規模小売店舗立)	地法)	
	騒音規制等に関する	F続き	★ 审前相談必要 2F環境課(茅野市公害防止条	例・騒音規制法・振動規制法)	

図 4-104 キャプチャあり概況診断結果レポートフォーマット (1/2)



図 4-105 キャプチャあり概況診断結果レポートフォーマット (2/2)

H +D	▶ 出力日	2	024/08/06	開発予定地 🛁	-+ 10+55
山川日			画像なし	茅野市玉川2613-1の一部,2613-4,2613-	選択した
				5,2614-1,2614-2	4706¥864
概況図	概況図				
選択した	開発申請区分	建築物:自己:業務		-	
申請区分	開発予定面積	~999mi		-	
	開発予定工区数	1IX		-	
	開発予定地の利用目的	該当なし(自己の居住用など)		-	
	特殊な開発行為の有無	下水道接続		-	
	特定施設の有無	上水道の利用		-	
	開発予定地の地目(登記』	意地		4	
				-	
				-	
判定結果				-	
一把西			15	4	
佩女		利疋給未悦:			-1
	土砂災害防止法(急制	(料警戒区域)について	★事前相談必要 3F防災課(主要災害防止法)		
	土砂災害防止法(急修	〔斜特別警戒区域〕について	★事前相談必要 3F防災課(土砂災害防止法)		
	水防法(浸水想定区均	成)について	★事前相談不要 3F防災課 (水防法)		
	水防法(浸水想定区均	成)について	★事前相談不要 3F防災課 (水防法)		
	都市計画区域・用途均	地域について	開発予定地の用途地域		
	水防法(浸水想定区均	成)について	★事前相談不要 3F防災課 (水防法)		
	水防法(浸水想定区均	成)について	★事前相談不要 3F防災課(水防法)		
	水防法(浸水想定区均	成)について	★事前相談不要 3F防災課 (水防法)		
	水防法(浸水想定区均	成) について	★事前相談不要 3F防災課 (水防法)		
	土砂災害防止法(地す	「べり警戒区域)について	★事前相談必要 3F防災課(土砂災害防止法)		
	土砂災害防止法(土石	示 警戒区域)について	★事前相談必要 3F防災課(土砂災害防止法)		
	土砂災害防止法(土石	- 流特別警戒区域)について	★事前相談必要 3F防災課(土砂災害防止法)		
	景観に関する手続き		★事前相談必要 4F都市計画課(茅野市景観づ	くり条例)	

図 4-106 キャプチャなし概況診断結果レポートフォーマット (1/2)



- 2) 【IF102】申請ファイル PDF、TIFF、JPEG、PNG、CAD ファイル出力
- 本インタフェースを利用した機能

FN019, [FN021], [FN022], [FN026], [FN039], [FN048], [FN049], [FN053]

- インタフェース詳細
 - ▶ 申請登録時又は再申請登録時に事業者がアップロードしたファイルをダウンロードする。

```
表 4-34 申請ファイル データフォーマット
```

項目	説明
拡張子	PDF、TIFF、JPEG、PNG、DXF、DWG の拡張子ファイルを受付(種類は申請ファイ
	ル種類ごとに SE 設定可)、拡張子チェックを行う。
ファイル容量	1ファイル当たり容量上限:50MB
ファイル件数	申請ファイル種類ごとに複数ファイルダウンロード可能
版情報	再申請ごとに提出されたファイルを第1版、第2版、第3版・・・と版管理する。
	次段階申請時に前の申請段階の最終版ファイルを次段階の第1版ファイルとして管理
	する。

- 3) 【IF103】回答ファイル PDF、TIFF、JPEG、PNG、CAD ファイル出力
- 本インタフェースを利用した機能
 - > [FN017], [FN021], [FN026], [FN053]
- インタフェース詳細
 - > 回答登録時に行政担当者がアップロードしたファイルをダウンロードする。

表 4-35 回答ファイル データフォーマット

項目	説明
拡張子	PDF、TIFF、JPEG、PNG、DXF、DWG の拡張子ファイルを受付 (種類は SE 設定可)、
	拡張子チェックを行う。
ファイル容量	1ファイル当たり容量上限:50MB
ファイル件数	回答ごとに複数ファイルダウンロード可能

- 4) 【IF104】回答ファイル(行政担当者による図面への赤字での転記) PDF、TIFF、JPEG、PNG ファイル 出力
- 本インタフェースを利用した機能
 - > [FN017], [FN021], [FN026], [FN053]
- インタフェース詳細
 - 回答ファイル赤入れ機能で編集を開始した際にシステムにアップされたファイルをダウンロードする。

表 4-36 回答ファイル(行政担当者による図面への赤字での転記)データフォーマット

項目	説明
拡張子	PNG ファイル出力
	PDF、TIFF、JPEG、PNG ファイル入力を受付け、編集時に PNG 形式に変換し保存す
	る。保存した PNG ファイルを出力する。
ファイル件数	回答ごとに複数ファイルダウンロード可能

- 5) 【IF105】行政回答レポート Excel (.xlsx) ファイル出力
- 本インタフェースを利用した機能
 - ≻ 【FN018】
- インタフェース詳細
 - 申請登録時と回答レポート出力時に出力される帳票レポート。申請登録時は回答 ID、回答内容を出 力する欄を生成(回答内容欄は空欄)したうえでシステムに保存される。保存した帳票は回答レポー ト出力時に読み込み(【IF005】)、最新の通知済み回答内容を追記して出力する。
 - ▶ SE 設定でキャプチャ取得の有無を設定する。

表 4-37 出力項目

項目名	説明
出力日	行政回答レポートを出力した日付
概況図	概況診断結果を行った地図
選択した申請区分	概況診断を行う際に選択した申請区分
選択した申請範囲	概況診断を行う際に選択した申請範囲
	全筆かからない筆には「の一部」と追記
判定結果概要	選択した申請区分・申請範囲をもとに判定した結果(概要のみ表示、具体的内容は次
	ページ)
判定対象項目	判定を行う項目名
判定結果内容	事前相談有無・相談先・相談を行う内容などを記した判定結果・案内内容
判定根拠地図画像	判定結果に関連する空間情報データの重なり・"非"重なりを根拠づける地図画像
回答 ID	判定対象項目に対する回答 ID(概況診断結果画面からの出力時では非表示)
回答内容	判定対象項目に対する回答内容(概況診断結果画面からの出力時では非表示)

出力日	▶ 出力日	2	023/12/06	開発予定地 🦯	選択した
概況図 選択した	概況図			京都市中沖7-8,7-13,7-14,7-16	申請範囲
申請区分	開発申請区分	連築物:自己:業務			
	開発予定面積	~999m			
	開発予定工区数	110			
	開発予定地の利用目的	該当なし(自己の居住用など)			
	特殊な閨発行為の有無	該当なし			
	特定施設の有無	該当なし			
	開発予定地の地目(登記ま	《農地		-	
				-	
判定結果				-	
概要		如中住田町	E	-	
PALA -	工动资金防止法 (各)	刊に相木(柄3 西対数式区域) について	女 ★辛前相該必要 3F防災課(十級災害防止法)		-
	土砂災害防止法 (急)	ANTERCE (A) について	★ 宇前相談必要 3F防災課(土砂災害防止法)		-
	水防法(浸水相定区均	或)について	★ 宇前相談不要 3F防災課 (水防法)		-
	水防法(浸水想定区均	或)について	★ 宇前相談不要 3F防災課 (水防法)		-
	都市計画区域・用途均	地域について	開発予定地の用途地域		
	水防法(浸水想定区均	或) について	★ 宇前相談不要 3F防災課 (水防法)		
	水防法(浸水想定区域	或)について	★ 宇前相談不要 3F防災課 (水防法)		
	水防法(浸水想定区域	或)について	★宇前相談不要 3F防災課 (水防法)		
	水防法(浸水想定区均	或) について	★ 宇前相談不要 3F防災課 (水防法)		
	土砂災害防止法(地す	すべり警戒区域)について	★宇前相談必要 3F防災課(土砂災害防止法)		
	土砂災害防止法(土石	「流警戒区域)について	★宇前相談必要 3F防災課(土砂災害防止法)		
	土砂災害防止法(土石	5流特別警戒区域)について	★ 申前相談必要 3F防災課 (土砂災害防止法)		
	土地区画整理事業地は	こついて	★ 申前相談不要 4F都市計画課(土地区画整理)	±)	

図 4-108 キャプチャあり行政回答レポートフォーマット (1/2)



図 4-109 キャプチャあり行政回答レポートフォーマット (2/2)

出力日	── 出力日	2	024/08/01	開発予定地 🦯	選択した
			画像なし	茅野市玉川12323,12324,12326-2の一 # 12220,12221,12222	申請範囲
				пр.12000,12001,12002	
概況図	概況図				
選択した					
申請区分	問発申請区分	建築物:自己:業務			
	開発予定面積	~999mi			
	開発予定工区数	11区			
	開発予定地の利用目的	該当なし(自己の居住用など)			
	特殊な開発行為の有無	該当なし			
	特定施設の有無	該当なし			
	開発予定地の地目(登記ま	. 農地			
判定結果					
明田市					
1445		判定結果概要	<u>–</u>		
	土砂災害防止法(急傾	頁斜警戒区域)について	★事前相談必要 3F防災課(土砂災害防止法)		
	土砂災害防止法(急傾	員斜特別警戒区域)について	★事前相談必要 3F防災課(土砂災害防止法)		
	水防法(浸水想定区域	成) について	★事前相談不要 3F防災課(水防法)		
	水防法(浸水想定区域	成)について	★事前相談不要 3F防災課(水防法)		
	都市計画区域・用途均	地域について	開発予定地の用途地域		
	水防法(浸水想定区域	成)について	★事前相談不要 3F防災課(水防法)		
	水防法(浸水想定区域)について		★事前相談不要 3F防災課 (水防法)		
	水防法(浸水想定区域)について		★事前相談不要 3F防災課(水防法)		
	水防法(浸水想定区域)について		★事前相談不要 3F防災課 (水防法)		
	土砂災害防止法(地す	「べり警戒区域)について	★事前相談必要 3F防災課(土砂災害防止法)		
	土砂災害防止法(土石	5流警戒区域)について	★事前相談必要 3F防災課(土砂災害防止法)		
	土砂災害防止法(土石	「流特別警戒区域)について	★事前相談必要 3F防災課(土砂災害防止法)		
	景観に関する手続き		★事前相談必要 4F都市計画課(茅野市景観づ)	くり条例)	

図 4-110 キャプチャなし行政回答レポートフォーマット (1/2)



図 4-111 キャプチャなし行政回答レポートフォーマット (2/2)

- 6) 【IF106】問合せ添付ファイル出力 PDF、TIFF、JPEG、PNG、CAD ファイル出力
- 本インタフェースを利用した機能
 - FN019, [FN026], [FN048], [FN053]
- インタフェース詳細
 - > 問い合わせに添付して事業者がアップロードしたファイルをダウンロードする。

表 4-38 問	合せ添付フ	'ァイル入力	データフォーマッ	/
----------	-------	--------	----------	---

項目	説明
拡張子	PDF、TIFF、JPEG、PNG、CAD の拡張子ファイルを受付(種類は SE 設定可)、拡張
	子チェックを行う。
ファイル容量	1ファイル当たり容量上限:50MB
ファイル件数	問合せごとに複数ファイルダウンロード可能

- 7) 【IF107】各種規制データ dump ファイル出力
- 本インタフェースを利用した機能
 - ▶ 【FN201】, 【FN202】
- インタフェース詳細
 - 「対象の法律・条項に関する開発許可申請判定データ」として使用するデータを、PostgreSQLで取り込み可能なデータ形式に変換したもの(dump形式)。

```
表 4-39 各種規制データ dump ファイル出力 データフォーマット
```

項目	説明
データ形式	dump 形式
データ項目	要件に応じて自由に設定可能なため項目の指定はなし

- 8) 【IF108】3D 都市モデル 3DTiles ファイル出力
- 本インタフェースを利用した機能
 - ▶ 【FN202】, 【FN203】
- インタフェース詳細
 - 本システムで 3D ビュー上で表示を行うデータを表示可能なデータ形式に変換したもの (3DTiles 形式)。

表 4-40 3D 都市モデル 3DTiles ファイル出力 データフォーマット

項目	説明
データ形式	3DTiles 形式
データ項目	要件に応じて自由に設定可能なため項目の指定はなし

- 9) 【IF109】マニュアル PDF ファイル出力
- 本インタフェースを利用した機能
 - ▶ 【FN056】
- インタフェース詳細
 - ヘルプボタン押下でログインユーザーの種別に応じて表示する操作マニュアル(事業者向け、行政 担当者向け)。(PDF 形式)

項目	説明
データ形式	PDF 形式
データ項目	以下2種類のファイルをマニュアルとして設定可能。
	マニュアルのファイルパスはアプリケーションで設定。
	・事業者向けマニュアルファイル
	・行政担当者向けマニュアルファイル

表 4-41 マニュアル PDF ファイル出力 データフォーマット

- 10) 【IF110】出力された帳票 Excel ファイル出力
- 本インタフェースを利用した機能

- ≻ 【FN038】
- インタフェース詳細
 - > 各申請段階の申請・回答が全て完了した時点で自動生成される各種帳票。

表 4-42 出力項目

項目	説明
申請者情報	申請を実施した人物の名前、メールアドレス(、電話番号、住所、コメント)
申請追加情報	各申請段階で申請を実施するときに追加で記入した情報
申請情報(登録日)	各申請段階の申請・回答が完了した日付
申請地番	申請を実施した地番
申請区分	申請の区分
申請版情報	申請の版情報

11) 【IF111】申請情報検索結果 CSV ファイル出力

- 本インタフェースを利用した機能
 - ➤ [FN021]
- インタフェース詳細
 - 事業者申請時の入力情報、ステータスを検索条件として検索した申請情報の一覧を CSV 形式で出力 する

表 4-43 出力項目

項目	説明
ステータス	申請の現在の段階と回答の状態
申請 ID	申請の ID
担当課	判定対象に回答を行う課の一覧
申請者	申請を実施した人物の名前
アドレス	申請を実施した人物のメールアドレス
利用目的	開発予定地の利用目的
開発予定面積	開発予定地の面積

- 12) 【IF112】問い合わせ情報検索結果 CSV ファイル出力
- 本インタフェースを利用した機能

- ≻ 【FN027】
- インタフェース詳細
 - 事業者申請時の入力情報、ステータス、担当課、回答者を条件として検索した問い合わせ情報の一覧 を CSV 形式で出力する

項目	
ステータス	問い合わせに対する回答の状態
申請 ID	問い合わせを行った判定対象の申請の ID
対象	問い合わせを行った判定対象
回答担当課	問い合わせに対する回答を行う担当の課
初回投稿日時	事業者が初めにその対象について問い合わせた日時
最新投稿日時	最後に事業者が問い合わせた日時
最新回答者	最後に問い合わせに対して回答したユーザー名
最新回答日時	最後に問い合わせに対して回答した日時

表 4-44 出力項目

- 13) 【IF113】 最終提出書類一式ファイル ZIP ファイル出力
- 本インタフェースを利用した機能
 - ➤ 【FN055】
- インタフェース詳細
 - 許可完了のタイミングで、事業者が提出した資料、FN038:各種帳票出力においてシステムで自動生成した帳票(開発登録簿頭紙)を、以下のパターンで ZIP 出力する
 - ◆ 全ての申請提出資料をまとめたファイル
 - ◆ 全資料の最終版資料をまとめたファイル
 - ◇ 開発登録簿として公開するファイル(開発登録簿頭紙 PDF+土地利用計画図 PDF ファイル)
 表 4-45 最終提出書類一式ファイル ZIP ファイル出力 データフォーマット

項目	説明
全ての申請提出資料	全ての申請ファイルの最終版を[申請ファイル ID]_[申請ファイル名]_[版番号]_[アッ
をまとめたファイル	プロード日].[拡張子]のフォーマットで ZIP ファイル内に格納して出力する。
全資料の最終版資料	ZIP ファイルの直下に全ての申請ファイルの[申請ファイル名]フォルダを作成し、そ
をまとめたファイル	の配下に対象の申請ファイルの全ての版のファイルを[申請ファイル ID]_[申請ファイ
	ル名]_[申請段階]_[版番号]_[アップロード日].[拡張子]のフォーマットで格納する。
	ZIP ファイルの直下に「行政回答」フォルダを作成し、その直下に全ての回答ファイ
	ルを[回答 ID]_[申請段階]_[アップロード日].[拡張子]のフォーマットで格納する。
開発登録簿として公	出力された帳票から開発登録簿頭紙 PDF ファイル、申請ファイルから土地利用計画図
開するファイル	PDF ファイルの最終版を取得して ZIP ファイル出力する。

4-4-3. 内部連携インタフェース

- 1) 【IF201】申請·回答内容確認情報取得 API
- 本インタフェースを利用した機能
 - ➤ 【FN015】, 【FN016】
- プロトコル
 - ➤ HTTPS
- メソッド
 - > POST
- パス
 - > /answer/confirm/answer
- リクエストボディ/ヘッダー
- レスポンス

表 4-46 レスポンス

ステータスコード	説明
200	処理に成功
400	パラメータ不正
401	認証エラー
403	申請情報取得不能

- レスポンスボディ
 - ApplyAnswerForm

表 4-47 レスポンスボディ (ApplyAnswerForm)

フィールド	説明	值
answers	回答一覧	例)
		[{
		"answerld": 1,
		"answerDataType": "1",
		"answerStatus": "1",
		"answerContent": "回答内容",
		"answerContentEditable": true,
		"answerPermissionFlag": false,
		}]

フィールド	説明	值
answerFileHistory	回答ファイル更新	例)
	履歴一覧	[{
		"departmentId": "0001",
		"departmentName": "〇〇課",
		"judgementResult": "相談必要",
		"fileName": "xxx.pdf",
		"notifiedFlag": true,
		"updateDatetime": "2023/04/01 10:00",
		"updateType": "1",
		"updateUserId": "0001",
		"updateUserName": "サンプルー郎"
		}]
answerHistory	回答履歴一覧	例)
		[{
		"answerHistoryId": 1,
		"answerld": 1,
		"answerDataType": "1",
		"answerStatus": "1",
		"answerContent": "回答内容",
		}]
applicantInformations	申請者情報一覧	例)
		[{
		"id": "1001",
		"itemType": "1",
		"order": 1,
		"name": "氏名",
		"value": "サンプルー郎",
		"contactValue": "サンプル二郎",
		}]
applicationCategories	申請区分選択一覧	例)
		[{
		"screenId": "1001",
		"title": "開発行為",
		"require": true,
フィールド	説明	值
-------------------------	----------	---------------------------------------
		"applicationCategory": [
		{
		"content": "観光開発",
		"id": "2001",
		"order": 1,
		"screenId": "1001"
		}
],
		}]
applicationFiles	申請ファイル一覧	例)
		[{
		"applicationFileId": "1001",
		"judgementItemId": "2001",
		"applicationFileName": "給排水平面図",
		"extension": "pdf",
		"requireFlag": "1",
		"uploadFileFormList": [
		{
		"applicationFileId": "1001",
		"uploadDatetime": "2023/04/20 16:00",
		"uploadFileName": "xxx.pdf",
		}
],
		}]
applicationFileVersions	申請ファイル版情	例)
	報一覧	[{
		"applicationFileId": "1001",
		"judgementItemId": "2001",
		"applicationFileName": "給排水平面図",
		"applicationFileVersions": [
		{
		"applicationFileHistorys": [
		{
		"applicationFileId": "1001",

- 252 -

フィールド	説明	值	
		"uploadDatetime": "2023/04/20 16:00",	
		"uploadFileName": "xxx.pdf",	
		"versionInformation": 1,	
		}	
],	
		}	
],	
		}]	
lotNumbers	申請地番一覧	例)	
		[{	
		"applicationId": 1,	
		"lat": 35.01,	
		"lon": 135.01,	
		"lot_numbers": "〇〇〇市△△△ 1-1,1-10 ",	
		"maxlat": 35.01,	
		"maxlon": 135.01,	
		"minlat": 35.01,	
		"minlon": 135.01,	
		"status": "第1版申請中"	
		}]	
applyAnswerDetails	申請情報詳細一覧	例)	
		[{	
		"applicationId": 1,	
		"applicationStepId": 1,	
		"applicationStepName": "事前相談",	
		"versionInformation":1,	
		}]	
applicationId	申請 ID	例)1	
applicationType	申請種類	例)	
		{	
		"applicationSteps": [
		{	

フィールド	説明	值	
		"applicationStepId": 1,	
		"applicationStepName": "事前相談"	
		}	
],	
		"applicationTypeld": 1,	
		"applicationTypeName": "開発許可"	
		}	
notificable	回答通知権限	true/false	
		例)false	
status	ステータス	画面表示に使用する、第{version}版{ステータス名}形式の文	
		字列	
		例)第1版事前相談:未回答	
statusCode	ステータスコード	0:申請中 1:回答中(未回答課あり)2:回答完了 3:通知済み(再	
		申請不要)4:通知済み(要再申請)	
		例) 0	
controlDepartmentAdmin	統括部署の管理者	者 true/false	
		例) false	
firstAccepting	初回申請受付	true/false	
		例) false	

- 2) 【IF202】回答ファイル論理削除 API
- 本インタフェースを利用した機能
 - ▶ 【FN023】, 【FN040】, 【FN050】
- プロトコル
 - ➢ HTTPS
- メソッド
 - POST
- パス
 - /answer/file/delete
- リクエストボディ/ヘッダー

表 4-48 リクエストボディ/ヘッダー

パラメータ名	説明	值	必須
answerFileForm	回答ファイルフォーム	例)	0
		{	
		"answerld": 1,	
		"answerFileId": 1,	

		"answerFileName": "●●.pdf",	
		"answerFilePath": "/xxx/xxx/",	
		}	
token	トークン(JWT)	例)eyJhbGciOiJIUzI1NiIs	0

表 4-49 レスポンス

ステータスコード	説明
200	処理に成功
400	パラメータ不正
401	認証エラー
404	ファイルが存在しない場合

- レスポンスボディ
 - ResponseEntityForm

表 4-50 レスポンスボディ (ResponseEntityForm)

フィールド	説明	値
message	メッセージ	status message.
status	ステータス	例)200

- 3) 【IF203】回答ファイルダウンロード API
- 本インタフェースを利用した機能
 - > 【FN017】, 【FN019】, 【FN026】, 【FN053】
- プロトコル
 - ➤ HTTPS
- メソッド
 - ➢ POST
- パス
 - /answer/file/download
- リクエストボディ/ヘッダー

表 4-51 リクエストボディ/ヘッダー

パラメータ名	説明	值	必須
answerFileForm	回答ファイルフォーム	例)	0
		{	
		"answerld": 1,	
		"answerFileId": 1,	

		"answerFileName": "●●.pdf",	
		"answerFilePath": "/xxx/xxx/",	
		}	
token	トークン (JWT)	例)eyJhbGciOiJIUzI1Nils	0

表 4-52 レスポンス

ステータスコード	説明
200	処理に成功
400	パラメータ不正
401	認証エラー
403	ロール不適合
404	ファイルが存在しない場合

● レスポンスボディ

表 4-53 レスポンスボディ

フィールド	説明	值
Resource	回答ファイル	binary

- 4) 【IF204】回答ファイルアップロード(行政) API
- 本インタフェースを利用した機能
 - ▶ 【FN023】, 【FN040】, 【FN050】
- プロトコル
 - ➤ HTTPS
- メソッド
 - > POST
- パス
 - /answer/file/upload
- リクエストフォーム/ヘッダー

表 4-54 リクエストフォーム/ヘッダー

パラメータ名	説明	值	必須
answerFileId	回答ファイル ID	例)1	-
answerld	回答 ID	例)1	0
answerFileName	回答ファイル名	例) ●●.pdf	0
uploadFile	アップロードファイル	MultipartFile	0
applicationId	申請 ID	例)1	0

applicationStepId	申請段階 ID	例)1	0
applicationId	申請 ID	例)1	0
token	トークン(JWT)	例)eyJhbGciOiJIUzI1NiIs	0

表 4-55 レスポンス

ステータスコード	説明
201	処理に成功
400	パラメータ不正
401	認証エラー

- レスポンスボディ
 - ResponseEntityForm

表 4-56 レスポンスボディ (ResponseEntityForm)

フィールド	説明	值
message	メッセージ	status message.
status	ステータス	例)201

- 5) 【IF205】回答登録(行政)API
- 本インタフェースを利用した機能
 - ➢ 【FN023】, 【FN040】, 【FN046】, 【FN050】
- プロトコル
 - ➢ HTTPS
- メソッド
 - ➢ POST
- パス
 - > /answer/input
- リクエストボディ/ヘッダー

パラメータ名	説明	值	必須
applyAnswerDetailForm	回答情報フォーム	例)	0
		{	
		"applicationId":1,	
		"applicationStepId":1,	
		"answers": [
		{	
		"answerld": 1,	

		"answerContent": "回答内容",	
		"answerDataType": "0",	
		}	
]	
		}	
token	トークン(JWT)	例)eyJhbGciOiJIUzI1NiIs	0

表 4-58 レスポンス

ステータスコード	説明
201	処理に成功
400	パラメータ不正
401	認証エラー

- レスポンスボディ
 - ResponseEntityForm

表 4-59 レスポンスボディ (ResponseEntityForm)

フィールド	説明	值
message	メッセージ	status message.
status	ステータス	例)201

- 6) 【IF206】回答通知(行政)API
- 本インタフェースを利用した機能
 - FN025, [FN038], [FN042], [FN047], [FN052], [FN055]
- プロトコル
 - ➢ HTTPS
- メソッド
 - ➢ POST
- パス
 - /answer/notification
- リクエストボディ/ヘッダー

表 4-60 リクエストボディ/ヘッダー

パラメータ名	説明	值	必須
answerNotifyRequest	回答通知フォーム	例)	0
Form		{	

		"applicationId":1,	
		"applicationStepId":1,	
		"notifyType":1,	
		"acceptCommentText":" 事前協議受付コメント"	
		"answers": [
		{	
		"answerld": 1,	
		"answerContent": "回答内容",	
		"answerDataType": "1",	
		"answerPermissionFlag":"1"	
		}	
],	
		}	
token	トークン(JWT)	例)eyJhbGciOiJIUzI1Nils	0

表 4-61 レスポンス

ステータスコード	説明
200	処理に成功
400	パラメータ不正
401	認証エラー
403	権限不正
409	申請ステータスが回答通知不可の状態

● レスポンスボディ

- 7) 【IF207】回答ファイル(引用)アップロード(行政)API
- 本インタフェースを利用した機能
 - > [FN024], [FN041], [FN051]
- プロトコル
 - ➤ HTTPS
- メソッド
 - POST
- パス

[▶] なし

- / answer/ quote / upload
- リクエストフォーム/ヘッダー

表 4-62 リクエストフォーム/ヘッダー

パラメータ名	説明	値	必須
answerld	回答 ID	例)1	0
answerFileName	回答ファイル名	例)●●.pdf	0
notifiedFilePath	通知済みファイルパス	例)/xxx/xxx/	項目は設定あるが値の使用なし
filePath	回答ファイルパス	例)/xxx/xxx/	項目は設定あるが値の使用なし
answerFileId	回答ファイル ID	例)1	0
applicationId	申請 ID	例)1	0
deleteUnnotifiedFlag	削除未通知フラグ	例)true	0
token	トークン(JWT)	例)eyJhbGciOiJIUzI1Nils	0

● レスポンス

表 4-63 レスポンス

ステータスコード	説明
201	処理に成功
400	パラメータ不正
401	認証エラー

- レスポンスボディ
 - ResponseEntityForm

表 4-64 レスポンスボディ (ResponseEntityForm)

フィールド	説明	值
message	メッセージ	status message.
status	ステータス	例)201

8) 【IF208】回答レポート(事業者) API

- 本インタフェースを利用した機能
 - ≻ 【FN018】
- プロトコル
 - ➤ HTTPS
- メソッド
 - ≻ GET
- パス
 - > /answer/report/{applicationId} /{applicationStepId}
- パスパラメータ

表 4-65 パスパラメータ

パラメータ名	説明	值	必須
applicationId	申請 ID	例)1	0
applicationStepId	申請段階 ID	例)1	0

● リクエストヘッダ**ー**

表 4-66 リクエストヘッダー

パラメータ名	説明	値	必須
token	トークン(JWT)	例)eyJhbGciOiJIUzl1Nils	0

● レスポンス

表 4-67 レスポンス

ステータスコード	説明
200	処理に成功
400	パラメータ不正
401	認証エラー
503	帳票作成に失敗した場合

● レスポンスボディ

▶ なし

- 9) 【IF209】申請者情報入力項目一覧取得 API
- 本インタフェースを利用した機能

≻ 【FN010】

- プロトコル
 - ➤ HTTPS
- メソッド
 - ≻ GET
- パス
 - /application/applicantItems
- リクエストヘッダー

表 4-68 リクエストヘッダー

パラメータ名	説明	值	必須
token	トークン(JWT)	例)eyJhbGciOiJIUzl1Nils	0

表 4-69 レスポンス

ステータスコード	説明
200	処理に成功
401	認証エラー

- レスポンスボディ
 - > ApplicantInformationItemForm

= 1 70	レフポンフザディ	(ApplicantInformationItomForm)
衣 4-70	レスホンス小ナイ	(ApplicantinformationitemForm)

フィールド	説明	値
displayFlag	表示フラグ	true/false
		例)true
ld	申請者情報項目 ID	例)1002
applicationSteps	申請段階	項目は設定あるが値の使用なし
name	表示名	メールアドレス
order	表示順	例)2
regularExpressions	正規表現	例)
		^[a-zA-Z0-9+-]+@([a-zA-Z0-9][a-
		zA-Z0-9-]*[a-zA-Z0-9]*¥.)+[a-zA-
		Z]{2,}\$
requireFlag	必須フラグ	true/false
		例)true
searchConditionFlag	検索条件表示フラグ	true/false
		例)true
addInformationItemFlag	追加情報フラグ	例)0
contactAddressFlag	連絡先フラグ	true/false
		例)true
applicantSameFlag	申請者同一フラグ	項目は設定あるが値の使用なし
mailAddress	メールアドレス	true/false
		例)true
value	登録情報	項目は設定あるが値の使用なし
contactValue	連絡先登録情報	項目は設定あるが値の使用なし
itemType	項目型	0:1行のみの入力欄で表示,
		1:複数行の入力欄で表示,
		2:日付(カレンダー),
		3:数値,4:ドロップダウン単一選択,
		5:ドロップダウン複数選択

		例)0
itemOptions	申請情報項目選択肢	itemType が 4 又は 5 の場合のみ使用
		例)
		{
		"content": "区分1",
		"displayOrder": 1,
		"id": "1010",
		"itemId": "1010"
		}

- 10) 【IF210】申請ファイル一覧取得 API
- 本インタフェースを利用した機能
 - ➢ 【FN011】, 【FN030】, 【FN035】
- プロトコル
 - ➤ HTTPS
- メソッド
 - > POST
- パス
 - > /application/applicationFiles
- リクエストボディ/ヘッダー

パラメータ名	説明	値	必須
general Condition Diagnosis Result Form List	概況診断結果	例) (0
	フォーム一覧]	
		{	
		"judgeResultItemId": 1,	
		"judgementld": "0001",	
		"summary": "〇〇条例:対応あり",	
		"title": "〇〇条例",	
		"result": true	
		}	
]	
token	トークン	例)eyJhbGciOiJIUzl1Nils (0

表 4-72 レスポンス

ステータスコード	説明
200	処理に成功
400	パラメータ不正
401	認証エラー

- レスポンスボディ
 - > ApplicationFileForm

表 4-73 レスポンスボディ	(Applicatio	nFileForm)
= 2 00		/+

フィールド	説明	值
applicationFileId	申請ファイル ID	例)1001
applicationFileName	申請ファイル名	例)給排水平面図
extension	拡張子	例)pdf
judgementItemId	判定項目 ID	例)2001
requireFlag	必須有無	true/false
		例)true
uploadFileFormList	アップロードファイル一覧	項目は設定あるが値の使用なし
applicationFileHistorys	申請ファイル履歴	項目は設定あるが値の使用なし
applicationFileAllHistorys	引用可能の全ての申請段階の申請ファ	項目は設定あるが値の使用なし
	イル	
versionInformation	版情報	項目は設定あるが値の使用なし

- 11) 【IF211】申請情報詳細取得(行政)API
- 本インタフェースを利用した機能
 - FN021, [FN023], [FN040], [FN050]
- プロトコル
 - ➤ HTTPS
- メソッド
 - ≻ GET
- パス
 - / application/detail/{applicationId}
- パスパラメータ

表 4-74 パスパラメータ

パラメータ名	説明	値	必須
applicationId	申請 ID	1	0

● リクエストヘッダー

表 4-75 リクエストヘッダー

パラメータ名	説明	値	必須
token	トークン(JWT)	例) eyJhbGciOiJIUzI1NiIs	0

● レスポンス

表 4-76 レスポンス

ステータスコード	説明
200	処理に成功
400	パラメータ不正
401	認証エラー

● レスポンスボディ

> ApplyAnswerForm

表 4-77 レスポンスボディ (ApplyAnswerForm)

フィールド	説明	值
answers	回答一覧	例)
		[{
		"answerld": 1,
		"answerDataType": "1",
		"answerStatus": "1",
		"answerContent": "回答内容",
		"answerContentEditable": true,
		"answerPermissionFlag": false,
		}]
answerFileHistory	回答ファイル更新	例)
	履歴一覧	[{
		"departmentId": "0001",
		"departmentName": "〇〇課",
		"judgementResult": "相談必要",
		"fileName": "xxx.pdf",
		"notifiedFlag": true,
		"updateDatetime": "2023/04/01 10:00",
		"updateType": "1",
		"updateUserId": "0001",
		"updateUserName": "サンプルー郎"

フィールド	説明	值
		}]
answerHistory	回答履歴一覧	例)
		[{
		"answerHistoryId": 1,
		"answerld": 1,
		"answerDataType": "1",
		"answerStatus": "1",
		"answerContent": "回答内容",
		}]
applicantInformations	申請者情報一覧	例)
		[{
		"id": "1001",
		"itemType": "1",
		"order": 1,
		"name": "氏名",
		"value": "サンプル一郎",
		"contactValue": "サンプル二郎",
		}]
applicationCategories	申請区分選択一覧	例)
		[{
		"screenId": "1001",
		"title": "開発行為",
		"require": true,
		"applicationCategory": [
		{
		"content": "観光開発",
		"id": "2001",
		"order": 1,
		"screenId": "1001"
		}
],
		}]
applicationFiles	申請ファイル一覧	例)

フィールド	説明	值
		[{
		"applicationFileId": "1001",
		"judgementItemId": "2001",
		"applicationFileName": "給排水平面図",
		"extension": "pdf",
		"requireFlag": 1,
		"uploadFileFormList": [
		{
		"applicationFileId": "1001",
		"uploadDatetime": "2023/04/20 16:00",
		"uploadFileName": "xxx.pdf",
		}
],
		}]
applicationFileVersions	申請ファイル版情	例)
	報一覧	[{
		"applicationFileId": "1001",
		"judgementItemId": "2001",
		"applicationFileName": "給排水平面図",
		"applicationFileVersions": [
		{
		"applicationFileHistorys": [
		{
		"applicationFileId": "1001",
		"uploadDatetime": "2023/04/20 16:00",
		"uploadFileName": "xxx.pdf",
		"versionInformation": 1,
		}
],
		}
],
		}]

フィールド	説明	值
lotNumbers	申請地番一覧	例)
		[{
		"applicationId": 1,
		"lat": 35.01,
		"lon": 135.01,
		"lot_numbers": "〇〇〇市△△△ 1-1,1-10 ",
		"maxlat": 35.01,
		"maxlon": 135.01,
		"minlat": 35.01,
		"minlon": 135.01,
		"status": "第1版申請中"
		}]
applyAnswerDetails	申請情報詳細一覧	例)
		[{
		"applicationId": 1,
		"applicationStepId": 1,
		"applicationStepName": "事前相談",
		"versionInformation":1,
		}]
applicationId	申請 ID	1
applicationType	申請種類	例)
		{
		"applicationSteps": [
		{
		"applicationStepId": 1,
		"applicationStepName": "事前相談"
		}
		1.
		"applicationTypeld": 1,
		"applicationTypeName": "開発許可"
		}
notificable	回答通知権限	true/false
		例)false

フィールド	説明	値
status	ステータス	画面表示に使用する、第{version}版{ステータス名}形式の文
		字列
		例)第1版事前相談:未回答
statusCode	ステータスコード	0:申請中 1:回答中(未回答課あり)2:回答完了 3:通知済み(再
		申請不要)4:通知済み(要再申請)
		例)0
controlDepartmentAdmin	統括部署の管理者	true/false
		例)false
firstAccepting	初回申請受付	true/false
		例)false

- 12) 【IF212】申請ファイルダウンロード API
- 本インタフェースを利用した機能
 - FN019, [FN022], [FN026], [FN039], [FN049], [FN053]
- プロトコル
 - ➤ HTTPS
- メソッド
 - > POST
- パス
 - > /application/file/download
- リクエストボディ/ヘッダー

表 4-78 リクエストボディ/ヘッダー

パラメータ名	説明	值	必須
uploadApplicationFileForm	申請ファイルフ	例)	0
	ォーム	{	
		"applicationId": 1,	
		"applicationStepId": 1,	
		"applicationStepName": "事前相談",	
		"applicationFileId": "1001",	
		"loginId": "00111223344",	
		"password": "password",	
		}	
token	トークン(JWT)	例)eyJhbGciOiJIUzI1Nils	0

表 4-79 レスポンス

ステータスコード	説明
200	処理に成功
400	パラメータ不正
401	認証エラー
404	ファイルが存在しない場合

● レスポンスボディ

表 4-80 レスポンスボディ

フィールド	説明	值
Resource	申請ファイル	binary

- 13) 【IF213】申請ファイルアップロード API
- 本インタフェースを利用した機能
 - ➢ 【FN013】, 【FN014】
- プロトコル
 - ➤ HTTPS
- メソッド
 - > POST
- パス
 - / application/ file/ upload
- リクエストフォーム/ヘッダー

表 4-81 リクエストフォーム/ヘッダー

パラメータ名	説明	值	必須
applicationFileId	申請ファイル ID	例)1001	0
applicationId	申請 ID	例)1	0
applicationStepId	申請段階 ID	例)1	0
applicationStepName	申請段階名	例)事前相談	-
uploadFile	アップロードファイ	MultipartFile	0
	ル		
uploadFileName	アップロードファイ	例)xxx.pdf	0
	ル名		
versionInformation	版情報	例)1	
directionDepartment	指示元部署	例)環境課,都市政策課	
directionDepartmentId	指示元部署 ID	例)0001,0002	

reviseContent	修正内容	例)xxxxxx	
loginId	ログイン ID	項目は設定あるが値の使用な	-
		L	
password	パスワード	項目は設定あるが値の使用な	-
		L	
extension	拡張子	項目は設定あるが値の使用な	-
		L	
uploadDatetime	アップロード日時	項目は設定あるが値の使用な	-
		L	
filePath	ファイルパス	項目は設定あるが値の使用な	-
		L	
fileId	ファイルID	項目は設定あるが値の使用な	-
		L	
token	トークン(JWT)	例)eyJhbGciOiJIUzl1Nils	0

表 4-82 レスポンス

ステータスコード	説明
201	処理に成功
400	パラメータ不正
401	認証エラー
403	ロール不適合

- レスポンスボディ
 - ResponseEntityForm

表 4-83 レスポンスボディ (ResponseEntityForm)

フィールド	説明	值
message	メッセージ	status message.
status	ステータス	例)201

14) 【IF214】照合情報通知 API

- 本インタフェースを利用した機能
 - ➢ 【FN012】, 【FN013】
- プロトコル
 - ➢ HTTPS
- メソッド
 - > POST

- パス
 - > /application/notify/collation
- リクエストボディ/ヘッダー

表 4-84 リクエストボディ/ヘッダー

パラメータ名	説明	值	必須
applicationRegisterResultForm	申請登録結果	例)	0
		{	
		"answerExpectDays": 1,	
		"applicationId": 1,	
		"applicationStepId": 1	
		}	
token	トークン(JWT)	例)eyJhbGciOiJIUzI1NiIs	0

● レスポンス

表 4-85 レスポンス

ステータスコード	説明
200	処理に成功
400	パラメータ不正
401	認証エラー
409	ステータス不正
503	処理エラー

- レスポンスボディ
 - AnswerConfirmLoginForm

表 4-86 レスポンスボディ (AnswerConfirmLoginForm)

フィールド	説明	値
loginId	ログイン ID	例)00111223344
password	パスワード	例)password
outputLogFlag	回答確認ログ出力要否フラグ	項目は設定あるが値の使用なし

15) 【IF215】 再申請情報取得 API

● 本インタフェースを利用した機能

FN014, [FN029], [FN031], [FN033], [FN034], [FN036], [FN037]

- プロトコル
 - ➢ HTTPS
- メソッド
 - > POST

- パス
 - > /application/reappInformation
- リクエストボディ/ヘッダー

表 4-87 リクエストボディ/ヘッダー

パラメータ名	説明	値	必
			須
reapplicationRequestForm	再申請取得パラメ	例)	0
	ータフォーム	{	
		"loginId": "00111223344",	
		"password": " password "	
		}	
token	トークン(JWT)	例)eyJhbGciOiJIUzI1Nils	0

● レスポンス

表 4-88 レスポンス

ステータスコード	説明
200	処理に成功
400	パラメータ不正
401	認証エラー
403	申請情報取得不能

● レスポンスボディ

ReApplicationForm

表	4-89	レスポンスボディ	(ReApplicationForm)
---	------	----------	---------------------

フィールド	説明	值
applicationId	申請 ID	例)1
applicationTypeId	申請種類 ID	例) 1
applicationType	申請種類	例)
		{
		"applicationSteps": [
		{
		"applicationStepId": 1,
		"applicationStepName": "事前相談"
		}
],
		"applicationTypeId": 1,
		"applicationTypeName": "開発許可"

		}
applicationStepId	申請段階 ID	例)1
preApplicationStepId	前申請段階 ID	例)0
versionInformation	版情報	例〕1
acceptVersionInformation	受付版情報	例)1
loginId	ログイン ID	項目は設定あるが値の使用なし
password	パスワード	項目は設定あるが値の使用なし
outputReportFlag	概況診断レポー	項目は設定あるが値の使用なし
	ト出力要否	
folderName	一時フォルダ名	項目は設定あるが値の使用なし
lotNumbers	申請地番一覧	例)
		[{
		"applicationId": 1,
		"lat": 35.01,
		"lon": 135.01,
		"lot_numbers": "〇〇〇市△△△ 1-1,1-10 ",
		"maxlat": 35.01,
		"maxlon": 135.01,
		"minlat": 35.01,
		"minlon": 135.01,
		"status": "第1版申請中"
		}]
applicationCategories	申請区分選択一	例)
	覧	[{
		"screenId": "1001",
		"title": "開発行為",
		"require": true,
		"applicationCategory": [
		{
		"content": "観光開発",
		"id": "2001",
		"order": 1,
		"screenId": "1001"
		}
],
		}]

applicantInformations	申請者情報一覧	例)
		[{
		"id": "1001",
		"itemType": "1",
		"order": 1,
		"name": "氏名",
		"value": "サンプル一郎",
		"contactValue": "サンプル二郎",
		}]
applicantAddInformations	申請者追加情報	例)
	一覧	[{
		"id": "2004",
		"itemType": "3",
		"order": 3,
		"name": "面積(㎡)",
]
applicationFileForm	申請ファイルー	例)
		[{
		"applicationFileId": "1001".
		"iudgementItemId": "2001".
		"applicationFileName": "給排水平面図".
		"extension": "pdf".
		"requireFlag": 1.
		"uploadFileFormList": [
		{
		"applicationFileId": "1001"
		"uploadDatetime": "2023/04/20 16:00".
		"uploadFileName": "xxx.pdf".
		····
		}
].
]]
generalConditionDiagnosisR	区分判定(概況診	例)
esultForm	 断結果) 一覧	
		{
		L C C C C C C C C C C C C C C C C C C C

"judgeResultItemId": 1,
"judgementId": "0001",
"summary": "○○条例:対応あり",
"title": "〇〇条例",
"result": true
}
]

- 16) 【IF216】申請登録 API
- 本インタフェースを利用した機能
 - ➤ 【FN012】, 【FN013】
- プロトコル
 - HTTPS
- メソッド
 - > POST
- パス
 - /application/register
- リクエストボディ/ヘッダー

表 4-90 リクエストボディ/ヘッダー

パラメータ名	説明	值	必須
applicationRegisterForm	申請登録リクエ	例)	0
	ストフォーム	{	
		"applicationStepId": 1,	
		"applicationTypeId": 1,	
		"folderName": "XXXXXXX",	
		"lotNumbers": [
		{	
		"chibanId": 20012004,	
		}	
],	
		"applicationCategories": [
		{	
		"screenId": "0001",	
		"title": "開発行為",	
		"applicationCategory": [
		{	

		"id": 2001,	
		"checked": true,	
		}	
],	
		}	
],	
		}	
token	トークン (JWT)	例)eyJhbGciOiJIUzI1Nils	0

表 4-91 レスポンス

ステータスコード	説明
201	作成に成功
400	パラメータ不正
401	認証エラー
409	登録に失敗した場合
503	処理エラー

● レスポンスボディ

> ApplicationRegisterResultForm

表 4-92 レスポンスボディ (ApplicationRegisterResultForm)

フィールド	説明	値
applicationId	申請 ID	例)1
applicationStepId	申請段階 ID	例)1
answerExpectDays	回答予定日数	例)1

- 17) 【IF217】申請情報検索(行政)API
- 本インタフェースを利用した機能
 - ≻ 【FN021】
- プロトコル
 - HTTPS
- メソッド
 - ➢ POST

- パス
 - > /application/search
- リクエストボディ/ヘッダー

パラメータ名	説明	值	必須
applicationSearchConditionForm	申請情報検索条	例)	0
	件フォーム	{	
		"department": [
		{	
		"checked": true,	
		"departmentId": "1001",	
		"departmentName": "環境課",	
		"mailAddress": "xxx@xxx.xxx"	
		}	
],	
		"status": [
		{	
		"checked": true,	
		"text": "申請中",	
		"value": 1	
		}	
]	
		}	
token	トークン (JWT)	例)eyJhbGciOiJIUzI1Nils	0

表 4-93 リクエストボディ/ヘッダー

● レスポンス

表 4-94 レスポンス

ステータスコード	説明
200	処理に成功
400	パラメータ不正
401	認証エラー

● レスポンスボディ

ApplicationSearchResultForm

フィール	説明	值
ド		
applicationId	申請 ID	例) 1
statusCode	ステータスコード	例)204
attributes	属性情報	例)
		{
		"item_1": [
		"サンプル太郎"
],
		"item_2": [
		"samle@example.com"
]
		}
lotNumbers	地番一覧	例)
		[{
		"applicationId": 1,
		"lat": 35.01,
		"lon": 135.01,
		"lot_numbers": "〇〇〇市△△△ 1-1,1-10 ",
		"maxlat": 35.01,
		"maxlon": 135.01,
		"minlat": 35.01,
		"minlon": 135.01,
		"status": "第1版申請中"
		3]

18) 【IF218】申請情報検索結果表示項目一覧取得(行政) API

- 本インタフェースを利用した機能
 - ≻ 【FN021】
- プロトコル
 - ➢ HTTPS
- メソッド
 - ≻ GET

- パス
 - > /application/search/columns
- リクエストヘッダー

表 4-96 リクエストヘッダー

パラメータ名	説明	値	必須
token	トークン (JWT)	例)eyJhbGciOiJIUzl1Nils	0

表 4-97 レスポンス

ステータスコード	説明
200	処理に成功
401	認証エラー

- レスポンスボディ
 - ApplicationInformationSearchResultHeaderForm

表 4-98 レスポンスボディ (ApplicationInformationSearchResultHeaderForm)

フィールド	説明	值
displayColumnName	表示カラム名	例)申請者名
displayOrder	表示順	例)1
referenceType	参照タイプ	例)1
resonseKey	レスポンスキー	例)applicantName
tableWidth	テーブル幅	例)22.5

19) 【IF219】申請情報検索条件一覧取得(行政) API

- 本インタフェースを利用した機能
 - ➢ 【FN021】, 【FN027】, 【FN028】
- プロトコル
 - ➢ HTTPS
- メソッド
 - ≻ GET
- パス
 - > /application/search/conditions
- リクエストヘッダー

表 4-99 リクエストヘッダー

パラメータ名	説明	値	必須
token	トークン(JWT)	例)eyJhbGciOiJIUzI1NiIs	0

表 4-100 レスポンス

ステータスコード	説明
200	処理に成功
401	認証エラー
503	処理エラー

● レスポンスボディ

> ApplicationSearchConditionForm

表 4-101 レスポンスボディ (ApplicationSearchConditionForm)

フィールド	説明	值
answerName	回答者一覧	例)
		[
		{
		"departmentId": "0001",
		"departmentName": "2F 環境課",
		"loginld": "kankyoka_test",
		"userId": "0001",
		"userName": "環境課テスト"
		}
]
answerStatus	回答ステータス一覧	例)
		[
		{
		"text": "申請中",
		"value": 1
		}
]
applicantInformationItemForm	申請者情報一覧	例)
		[{
		"id": "1001",
		"itemType": "1",
		"order": 1,
		"name": "氏名",
		}]

applicantAddInformationItemForm	申請者追加情報一覧	例)
		[{
		"id": "2004",
		"itemType": "3",
		"order": 3,
		"name": "面積(㎡)",
		}]
applicationCategories	申請区分選択一覧	例)
		[{
		"screenId": "1001",
		"title": "開発行為",
		"applicationCategory": [
		{
		"content": "観光開発",
		"id": "2001",
		"order": 1,
		"screenId": "1001"
		}
],
		}]
department	部署一覧	例)
		Γ
		{
		"adminMailAddress": "xxx@xxx.xxx",
		"departmentId": "1001",
		"departmentName": "環境課",
		"mailAddress": "xxx@xxx.xxx"
		}
]
status	ステータス一覧	例)
		I
		{
		"text": "申請中",
		"value": 1
		}
]

applicationSteps	申請段階一覧	例)
		[
		{
		"applicationStepId": 1.
		"annlicationStenName": "事前相談"
		} 1
applicationTypes	申請種類一覧	例)
		[
		{
		"applicationSteps": [
		{
		"applicationStepId": 1,
		"applicationStepName": "事前相談"
		}
],
		"applicationTypeld": 1,
		"applicationTypeName": "開発許可"
		}
]
itemAnswerStatus	条文ステータス一覧	例)
]
		{
		"text": "承認済み",
		"value": 1
		}
]

- 20) 【IF220】認証用 API
- 本インタフェースを利用した機能
 - ≻ 【FN020】
- プロトコル
 - ➤ HTTPS
- メソッド
 - ≻ GET
- パス
 - > /auth/checkAuth

● リクエストパラメータ/ヘッダー

表 4-102 リクエストパラメータ/ヘッダー

パラメータ名	説明	值	必須
jigyousya	事業者フラグ	true/false	
		例)false	
token	トークン(JWT)	例)eyJhbGciOiJIUzI1Nils	

表 4-103 レスポンス

ステータスコード	説明
200	事業者フラグなしでアクセスし、認証が OK の場合
201	事業者フラグありで認証情報が生成された場合
401	事業者フラグなしでアクセスし、認証が NG の場合
503	処理エラー

- レスポンスボディ
 - ▶ なし
- 21) 【IF221】行政ログイン API
- 本インタフェースを利用した機能
 - ≻ 【FN020】
- プロトコル
 - ➤ HTTPS
- メソッド
 - POST
- パス
 - /auth/government/login
- リクエストボディ

表 4-104 リクエストボディ

パラメータ名	説明	值	必須
govermentLoginForm	行政ログインフォーム	例)	0
		{	
		"loginId": "00111223344",	
		"password": "password"	
		}	

表 4-105 レスポンス

ステータスコード	説明
201	認証 OK
400	パラメータ不正
401	認証エラー
503	処理エラー

- レスポンスボディ
 - ▶ なし
- 22) 【IF222】 ログアウト API
- 本インタフェースを利用した機能
 - ≻ 【FN020】
- プロトコル
 - ➢ HTTPS
- メソッド
 - ≻ GET
- パス
 - > /auth/logout
- リクエストパラメータ
 - ▶ なし
- レスポンス

表 4-106 レスポンス

ステータスコード	説明
200	ログアウト完了の場合

- レスポンスボディ
 - ▶ なし
- 23) 【IF223】申請区分選択項目一覧取得 API
- 本インタフェースを利用した機能
 - ≻ [FN006]
- プロトコル
 - ➤ HTTPS
- メソッド
 - ≻ GET

- パス
 - /category/views
- リクエストヘッダー

表 4-107 リクエストヘッダー

パラメータ名	説明	値	必須
token	トークン(JWT)	例)eyJhbGciOiJIUzl1Nils	0

表 4-108 レスポンス

ステータスコード	説明
200	処理に成功
401	認証エラー

● レスポンスボディ

> ApplicationCategorySelectionViewForm

表 4-109 レスポンスボディ((ApplicationCategorySelectionViewForm)
-------------------	--

フィールド	説明	值
applicationCategory	申請区分一覧	例)
		[
		{
		"content": "観光開発",
		"id": "2001",
		"order": 1,
		"screenId": "1001"
		}
]
enable	表示有無	true/false
		例)true
explanation	画面説明	例) 下記より開発予定行為の選択を
		お願いします(複数可)。
judgementType	概況診断タイプ	1=開発許可, 0=その他
		例)1
multiple	複数選択有無	true/false
		例)true
require	必須有無	true/false
		例)true
screenId	画面 ID	例)1001

title画面タイトル開発行為

- 24) 【IF224】事業者チャットメッセージ投稿 API
- 本インタフェースを利用した機能
 - ≻ 【FN019】
- プロトコル
 - HTTPS
- メソッド
 - ➢ POST
- パス
 - /chat/business/message/post
- リクエストボディ/ヘッダー

表 4-110 リクエストボディ/ヘッダー

パラメータ名	説明	值	必須
messagePostRequestForm	メッセージ投稿リクエス	例)	0
	トフォーム	{	
		"chatld": 1,	
		"loginId": "00111223344",	
		"password": "password",	
		"message": {	
		"messageText": "sampletext",	
		"messageType": 1	
		},	
		"toDepartments": [
		{	
		"departmentId": "1001",	
		}	
]	
		}	
token	トークン (JWT)	例)eyJhbGciOiJIUzI1NiIs	0
表 4-111 レスポンス

ステータスコード	説明	
200	処理に成功	
400	パラメータ不正	
401	認証エラー	
403	ロール不適合	
503	チャットメッセージ投稿時にエラー発生	

● レスポンスボディ

➢ ChatForm

表 4-112 レスポンスボディ(ChatForm)

フィールド	説明	値
chatId	チャット ID	例) 1
answerld	回答 ID	例) 1
departmentAnswerld	部署回答 ID	例)0
applicationId	申請 ID	例) 1
applicationStep	申請段階	例) 1
department	部署	例)
		{
		"adminMailAddress": "xxx@xxx.xxx",
		"departmentId": "1001",
		"departmentName": "環境課",
		"mailAddress": "xxx@xxx.xxx"
		}
title	タイトル	例) xxx に関して
messages	メッセージー覧	例)
		[
		{
		"messageld": 1,
		"messageText": "sampletext",
		"messageType": 1,
		}
]

25) 【IF225】事業者向けチャットメッセージー覧取得 API

- 本インタフェースを利用した機能
 - ≻ 【FN019】
- プロトコル
 - ➤ HTTPS
- メソッド
 - POST
- パス
 - /chat/business/messages
- リクエストボディ/ヘッダー

表 4-113	リクエスト	ボディ/ヘッダー

パラメータ名	説明	值	必須
chatRequestForm	チャットリクエスト	例)	0
	フォーム	{	
		"answerld": 1,	
		"applicationId": 1,	
		"applicationStepId": 1,	
		"chatld": 1,	
		"departmentAnswerId": 0,	
		"loginId": "00111223344",	
		"password": "password",	
		"unreadFlag": true,	
		}	
token	トークン(JWT)	例)eyJhbGciOiJIUzI1NiIs	0

● レスポンス

表 4-114 レスポンス

ステータスコード	説明
200	処理に成功
400	パラメータ不正
401	認証エラー
403	ロール不適合

- レスポンスボディ
 - ChatForm

表 4-115 レスポンスボディ (ChatForm)

フィールド	説明	值
chatId	チャットID	例) 1
answerld	回答 ID	例) 1
departmentAnswerld	部署回答 ID	例) 0
applicationId	申請 ID	例) 1
applicationStep	申請段階	例) 1
department	部署	例)
		{
		"adminMailAddress": "xxx@xxx.xxx",
		"departmentId": "1001",
		"departmentName": "環境課",
		"mailAddress": "xxx@xxx.xxx"
		}
title	タイトル	例) xxxx に関して
messages	メッセージー覧	例)
]
		{
		"messageld": 1,
		"messageText": "sampletext",
		"messageType": 1,
		}
]

26) 【IF226】事業者向け問合せ関連情報検索 API

- 本インタフェースを利用した機能
 - ≻ 【FN019】
- プロトコル
 - > HTTPS
- メソッド
 - ≻ GET
- パス
 - /chat/business/related

● リクエストボディ/ヘッダー

耒	1-116	リクエス	トボディ	/ヘッダー
衣	4-110	リクエス	ド小ノイ	/~ ~ ~ –

パラメータ名	説明	值	必須
ChatRequestForm	チャットリクエスト	例)	0
	フォーム	{	
		"answerld": 1,	
		"applicationId": 1,	
		"applicationStepId": 1,	
		"chatld": 1,	
		"departmentAnswerld": 0,	
		"loginId": "00111223344",	
		"password": "password",	
		"unreadFlag": true,	
		}	
token	トークン(JWT)	例)eyJhbGciOiJIUzI1NiIs	0

● レスポンス

表 4-117 レスポンス

ステータスコード	説明
200	処理に成功
400	パラメータ不正
401	認証エラー
403	ロール不適合

● レスポンスボディ

ChatRelatedInfoForm

表 4-118 レスポンスボディ (ChatRelatedInfoForm)

フィールド	説明	值
chatId	チャット ID	例) 1
applicationId	申請 ID	例)1
lotNumbers	申請地番一覧	例)
		[{
		"applicationId": 1,
		"lat": 35.01,
		"lon": 135.01,
		"lot_numbers": "〇〇〇市△△△ 1-1,1-10 ",

		"maxlat": 35.01,
		"maxlon": 135.01,
		"minlat": 35.01,
		"minlon": 135.01,
		"status": "第1版申請中"
		}]
answer	回答一覧	例)
		[{
		"answerld": 1,
		"answerDataType": "1",
		"answerStatus": "1",
		"answerContent": "回答内容",
		"answerContentEditable": true,
		"answerPermissionFlag": false,
		}]
answerHistorys	回答履歴一覧	例)
		[{
		"answerHistoryId": 1,
		"answerld": 1,
		"answerDataType": "1",
		"answerStatus": "1",
		"answerContent": "回答内容",
		}]
answerFiles	回答ファイル一覧	例)
		[
		{
		"answerFileId": 1,
		"answerFileName": "●●.pdf",
		"answerFilePath": "/xxx/xxx/",
		}
]

applicationFiles	申請ファイル一覧	例)
		[{
		"applicationFileId": "1001",
		"judgementItemId": "2001",
		"applicationFileName": "給排水平面図",
		"extension": "pdf",
		"requireFlag": 1,
		"uploadFileFormList": [
		{
		"applicationFileId": "1001",
		"uploadDatetime":"2023/04/20 16:00",
		"uploadFileName": "xxx.pdf",
		}
],
		}]

- 27) 【IF227】チャット新規作成 API
- 本インタフェースを利用した機能
 - ≻ 【FN019】
- プロトコル
 - ➤ HTTPS
- メソッド
 - > PUT
- パス
 - > /chat/create
- リクエストボディ/ヘッダー

表	4-119	リクエス	トボディ	/ヘッダー
---	-------	------	------	-------

パラメータ名	説明	值	必須
chatRequestForm	チャットリクエス	例)	0
	トフォーム	{	
		"answerld": 1,	
		"applicationId": 1,	
		"applicationStepId": 1,	
		"chatld": 1,	
		"departmentAnswerld": 0,	
		"loginId": "00111223344",	

		"password": "password",	
		"unreadFlag": true,	
		}	
token	トークン(JWT)	例)eyJhbGciOiJIUzI1NiIs	0

表 4-120 レスポンス

ステータスコード	説明
200	処理に成功
400	パラメータ不正
401	認証エラー
403	ロール不適合
503	チャット新規作成時にエラー発生

- レスポンスボディ
 - ChatForm

表 4-121 レスポンスボディ(ChatForm)

フィールド	説明	值
chatld	チャット ID	-

- 28) 【IF228】問合せファイルダウンロード API
- 本インタフェースを利用した機能
 - ➤ 【FN019】, 【FN026】, 【FN053】
- プロトコル
 - ➤ HTTPS
- メソッド
 - ➢ POST
- パス
 - /chat/file/download
- リクエストボディ/ヘッダー

表 4-122 リクエストボディ/ヘッダー

パラメータ名	説明	值	必須
inquiryFileForm	問合せファイルフ	例)	0
	ォーム	{	
		"messageld": 1,	
		"inquiryFileId": 1,	

		}	
token	トークン(JWT)	例) eyJhbGciOiJIUzI1NiIs	0

表 4-123 レスポンス

ステータスコード	明
200	処理に成功
400	パラメータ不正
401	認証エラー
403	ロール不適合
404	ファイルが存在しない場合
503	問合せファイルダウンロード時にエラー発生

● レスポンスボディ

> Resource

表 4-124 レスポンスボディ (Resource)

フィールド	説明	值
Resource	問い合わせ添付ファイル	binary

29) 【IF229】問合せファイルアップロード API

- 本インタフェースを利用した機能
 - FN019, [FN026], [FN053]
- プロトコル
 - ➢ HTTPS
- メソッド
 - > POST
- パス
 - /chat/file/upload
- リクエストフォーム/ヘッダー

表 4-125 リクエストフォーム/ヘッダー

パラメータ名	説明	值	必須
uploadFile	アップロードファイル	例)MultipartFile	0
fileName	ファイル名	例)●●.pdf	0
inquiryFileId	問合せファイル ID	例) 1	-
filePath	ファイルパス	例) xxx/xxx/xxx.pdf	-
messageld	メッセージ ID	例)1	0

registerDatetime	登録日時	例) 2024/10/05 10:00	-
token	トークン(JWT)	例) eyJhbGciOiJIUzI1NiIs	0

● レスポンス

表 4-126 レスポンス

ステータスコード	説明
201	処理に成功
400	パラメータ不正
401	認証エラー

- レスポンスボディ
 - ResponseEntityForm

表 4-127 レスポンスボディ (ResponseEntityForm)

フィールド	説明	值
message	メッセージ	status message.
status	ステータス	例)201

30) 【IF230】行政チャットメッセージ投稿 API

- 本インタフェースを利用した機能
 - ➤ 【FN026】, 【FN048】, 【FN053】
- プロトコル
 - ➢ HTTPS
- メソッド
 - ➢ POST
- パス
 - /chat/government/message/post
- リクエストボディ/ヘッダー

表	4-128	リクエス	トボディ	/ヘッダー
---	-------	------	------	-------

パラメータ名	説明	值	必須
messagePostRequestForm	メッセージ投稿リクエ	例)	0
	ストフォーム	{	
		"chatld": 1,	
		"message": {	
		"messageText": "sampletext",	
		"messageType": 2	
		},	

token	トークン(JWT)	例)eyJhbGciOiJIUzI1Nils	0

表 4-129 レスポンス

ステータスコード	説明
200	処理に成功
400	パラメータ不正
401	認証エラー
403	ロール不適合
503	行政チャットメッセージ投稿時にエラー発生

● レスポンスボディ

> ChatForm

表 4-130 レスポンスボディ(ChatForm)

フィールド	説明	值
chatld	チャット ID	例) 1
answerld	回答 ID	例)1
departmentAnswerld	部署回答 ID	例)0
applicationId	申請 ID	例) 1
applicationStep	申請段階	例)1
department	部署	例)
		{
		"adminMailAddress": "xxx@xxx.xxx",
		"departmentId": "1001",
		"departmentName": "環境課",
		"mailAddress": "xxx@xxx.xxx"
		}
title	タイトル	-
messages	メッセージー覧	例)
		[
		{
		"messageld": 1,
		"messageText": "sampletext",
		"messageType": 1,

	}
]

- 31) 【IF231】行政チャットメッセージー覧取得 API
- 本インタフェースを利用した機能
 - ➤ 【FN026】, 【FN048】, 【FN053】
- プロトコル
- HTTPS
- メソッド
- POST
- パス
 - /chat/government/messages
- リクエストボディ/ヘッダー

表 4-131 リクエストボディ/ヘッダー

パラメータ名	説明	值	必須
chatRequestForm	チャットリクエスト	例)	0
	フォーム	{	
		"answerld": 1,	
		"applicationId": 1,	
		"applicationStepId": 1,	
		"chatld": 1,	
		"departmentAnswerld": 0,	
		"unreadFlag": true,	
		}	
token	トークン(JWT)	例)eyJhbGciOiJIUzI1NiIs	0

表 4-132 レスポンス

ステータスコード	説明
200	処理に成功
400	パラメータ不正
401	認証エラー
403	ロール不適合

- レスポンスボディ
 - ChatForm

表 4-133 レスポンスボディ (ChatForm)

フィールド	説明	值
chatld	チャット ID	例)1
answerld	回答 ID	例)1
departmentAnswerld	部署回答 ID	例)0
applicationId	申請 ID	例)1
applicationStep	申請段階	例)1
department	部署	例)
		{
		"adminMailAddress": "xxx@xxx.xxx",
		"departmentId": "1001",
		"departmentName": "環境課",
		"mailAddress": "xxx@xxx.xxx"
		}
title	タイトル	-
messages	メッセージー覧	例)
		[
		{
		"messageld": 1,
		"messageText": "sampletext",
		"messageType": 1,
		}
]

32) 【IF232】行政向け問合せ関連情報検索 API

- 本インタフェースを利用した機能
 - ➢ 【FN026】, 【FN048】, 【FN053】
- プロトコル
 - > HTTPS
- メソッド
 - ➢ POST
- パス
 - > /chat/government/related

● リクエストボディ/ヘッダー

表 4-134 リクエストボディ/ヘッダー				
パラメータ名	説明	值	必須	
ChatRequestForm	チャットリクエスト	例)	0	
	フォーム	{		
		"answerld": 1,		
		"applicationId": 1,		
		"applicationStepId": 1,		
		"chatld": 1,		
		"departmentAnswerld": 0,		
		"unreadFlag": true,		
		}		
token	トークン(JWT)	例)eyJhbGciOiJIUzI1NiIs	0	

表 4-134 リクエストボディ/ヘッダー

表 4-135 レスポンス

ステータスコード	説明
200	処理に成功
400	パラメータ不正
401	認証エラー
403	ロール不適合

- レスポンスボディ
- ChatRelatedInfoForm

表 4-136 レスポンスボディ (ChatRelatedInfoForm)

フィールド	説明	値
chatld	チャット ID	例)1
applicationId	申請 ID	例)1
lotNumbers	申請地番一覧	例)
		[{
		"applicationId": 1,
		"lat": 35.01,
		"lon": 135.01,
		"lot_numbers": "〇〇〇市△△△ 1-1,1-10 ",
		"maxlat": 35.01,
		"maxlon": 135.01,

		"minlat": 35.01,
		"minlon": 135.01,
		"status": "第1版申請中"
		}]
answer	回答一覧	例)
		[{
		"answerld": 1,
		"answerDataType": "1",
		"answerStatus": "1",
		"answerContent": "xxxxxx",
		"answerContentEditable": true,
		"answerPermissionFlag": false,
		}]
answerHistorys	回答履歴一覧	例)
		[{
		"answerHistoryId": 1,
		"answerld": 1,
		"answerDataType": "1",
		"answerStatus": "1",
		"answerContent": "回答内容",
		}]
answerFiles	回答ファイルー	例)
	覧]
		{
		"answerFileId": 1,
		"answerFileName": "●●.pdf",
		"answerFilePath": "/xxx/xxx/",
		}
]
applicationFiles	申請ファイルー	例)
	覧	[{
		"applicationFileId": "1001",
		"judgementItemId": "2001",
		"applicationFileName": "給排水平面図",

"extension": "pdf",
"requireFlag": 1,
"uploadFileFormList": [
{
"applicationFileId": "1001",
"uploadDatetime":"2023/04/20 16:00",
"uploadFileName": "xxx.pdf",
}
],
}]

33) 【IF233】 担当課問合せ・回答一覧取得 API

- 本インタフェースを利用した機能
 - ≻ 【FN028】
- プロトコル
 - ➤ HTTPS
- メソッド
 - ≻ GET
- パス
 - /chat/inquiries
- リクエストヘッダー

表 4-137 リクエストヘッダー

パラメータ名	説明	値	必須
token	トークン(JWT)	例) eyJhbGciOiJIUzI1NiIs	0

表 4-138 レスポンス

ステータスコード	説明
200	処理に成功
400	パラメータ不正
401	認証エラー
403	ロール不適合

- レスポンスボディ
 - ResponsibleInquiryForm

表 4-139	レスポンスボディ	(ResponsibleInquiryForm)
10 - 100		

フィールド	説明	値	
inquiries	問合せ一覧	例)	
		[
		{	
			"chatld": 1,
			"message": {
			"messageld": 1,
			"messageText": "sampletext",
			},
		}	
]	
consultationApplys	申請一覧(事前相談、未回答あり)	例)	
		[
		{	
			"applicationId": 1,
			"deadlineDate": "YYYY/MM/DD",
			"status": "第1版 xxxx:未回答",
			"warning": true
		}	
]	
discussionApplys	申請一覧(事前協議、未回答あり)	例)	
		[
		{	
			"applicationId": 1,
			"deadlineDate": "YYYY/MM/DD",
			"status": "第1版 xxxx:未回答",
			"warning": true
		}	
]	
permissionApplys	申請一覧(許可判定、未回答あり)	例)	
][
		{	
			"applicationId": 1,

	"deadlineDate": "YYYY/MM/DD",
	"status": "第1版 xxxx:未回答",
	"warning": true
	}
]

- 34) 【IF234】問合せ情報検索 API
- 本インタフェースを利用した機能
 - ≻ 【FN027】
- プロトコル
 - HTTPS
- メソッド
 - POST
- パス
 - /chat/search
- リクエストボディ/ヘッダー

表 4-140 リクエストボディ/ヘッダー

パラメータ名	説明	值	必須
applicationSearchConditionForm	申請情報検索条	例)	0
	件フォーム	{	
		"department": [
		{	
		"checked": true,	
		"departmentId": "1001",	
		"departmentName": "環境課",	
		"mailAddress": "xxx@xxx.xxx"	
		}	
],	
		"status": [
		{	
		"checked": true,	
		"text": "申請中",	
		"value": 1	
		}	
]	
		}	

表 4-141 レスポンス

ステータスコード	説明
200	処理に成功
400	パラメータ不正
401	認証エラー
403	ロール不適合

● レスポンスボディ

ChatSearchResultForm

表 4-142 レスポンスボディ (ChatSrearchResultForm)

フィールド	説明	值
applicationId	申請 ID	例)1
chatld	チャット ID	例)1
status	ステータス	例)0
categoryJudgementTitle	回答対象	例)消防〇〇に関して
departmentName	回答担当課	例)消防課
answerUserName	最新回答者	例)消防課管理者
answerDatetime	最新回答日時	例)2023/04/20 16:00
sendDatetime	最新投稿日時	例)2023/04/20 16:00
establishmentFirstPostDatetime	事業者初回投	例)2023/04/20 16:00
	稿日時	
message	最新メッセー	項目は設定あるが値の使用なし
	ジ	
departments	部署一覧	項目は設定あるが値の使用なし
lotNumbers	地番一覧	例)
		[{
		"applicationId": 1,
		"lat": 35.01,
		"lon": 135.01,
		"lot_numbers": "〇〇〇市△△△ 1-1",
		"maxlat": 35.01,
		"maxlon": 135.01,
		"minlat": 35.01,
		"minlon": 135.01,

	"status": "第1版申請中"
	}]

- 35) 【IF235】ファイル変換 API
- 本インタフェースを利用した機能
 - > [FN023], [FN040], [FN050]
- プロトコル
- HTTPS
- メソッド
- ≻ GET
- パス
 - /file/convert/**
- リクエストパラメータ/ヘッダー

表 4-143 リクエストパラメータ/ヘッダー

パラメータ名	説明	值	必須
**	ファイルパス	例)1/1/1/1/20241025181442481/sample.pdf	0
page	ページ番号	例)1	-
version	申請ファイル版	例)1	-
token	トークン(JWT)	例)eyJhbGciOiJIUzI1NiIs	0

表 4-144 レスポンス

ステータスコード	説明
200	処理に成功
401	認証エラー
404	ファイルが存在しない場合
500	ファイルの取得に失敗した場合

● レスポンスボディ

表 4-145 レスポンスボディ

フィールド	説明	値
Resource	画像ファイル	binary

- 36) 【IF236】ファイル取得 API
- 本インタフェースを利用した機能
 - ≻ 【FN008】
- プロトコル
 - ➢ HTTPS
- メソッド
 - ≻ GET
- パス
 - /file/view/**
- リクエストパラメータ/ヘッダー

表 4-146 リクエストパラメータ/ヘッダー

パラメータ名	説明	值	必須
**	ファイルパス	例)1/1/1/1/20241025181442481/sample.pdf	0
token	トークン(JWT)	例)eyJhbGciOiJIUzI1NiIs	0

表 4-147 レスポンス

ステータスコード	説明
200	処理に成功
401	認証エラー
404	ファイルが存在しない場合
500	ファイルの取得に失敗した場合

● レスポンスボディ

表 4-148 レスポンスボディ

フィールド	説明	值
Resource	ファイル	binary

- 37) 【IF237】マニュアルファイル取得 API
- 本インタフェースを利用した機能
 - ≻ 【FN056】
- プロトコル
 - HTTPS
- メソッド
 - ≻ GET

- パス
 - /file/view/manual/**
- リクエストパラメータ/ヘッダー

表 4-149 リクエストパラメータ/ヘッダー

パラメータ名	説明	值	必須
**	ファイルパス	事業者用:business	0
		行政用:government	
		例)government	
token	トークン(JWT)	例)eyJhbGciOiJIUzI1NiIs	0

表 4-150 レスポンス

ステータスコード	説明
200	処理に成功
401	認証エラー
404	ファイルが存在しない場合
500	ファイルの取得に失敗した場合

レスポンスボディ

表 4-151 レスポンスボディ

フィールド	説明	值
Resource	ファイル	binary

38) 【IF238】回答ファイル取得 API

- 本インタフェースを利用した機能
 - ▶ 【FN023】, 【FN040】, 【FN050】

•

- プロトコル
 - ➢ HTTPS
- メソッド
 - ≻ GET
- パス
 - /file/viewapp/**
- リクエストパラメータ

パラメータ名説明値必須**ファイルパス例) answer/1/1/1/20241025181442481/sample.pdf〇tokenトークン(JWT)例) eyJhbGciOiJIUzl1Nils...〇

表 4-152 リクエストパラメータ/ヘッダー

表 4-153 レスポンス

ステータスコード	説明
200	処理に成功
401	認証エラー
404	ファイルが存在しない場合
500	ファイルの取得に失敗した場合

● レスポンスボディ

● 表 4-154 レスポンスボディ

フィールド	説明	値
Resource	ファイル	binary

- 39) 【IF239】概況診断実行 API
- 本インタフェースを利用した機能
 - \succ [FN008], [FN101] \sim [FN113]
- プロトコル
 - ➤ HTTPS
- メソッド
 - POST
- パス
 - /judgement/execute
- リクエストボディ/ヘッダー

表 4-155 リクエストボディ/ヘッダー

パラメータ名	説明	值	必須
generalCondition	概況診断結	例)	0
DiagnosisRequestForm	果リクエス	{	
	トフォーム	"applicationStepId": 1,	
		"applicationTypeId": 0,	
		"lotNumbers": [
		{	
		"chibanld": 1,	
		"chiban": "1",	
		"lon": 135.01,	
		"lat": 35.01,	

		}	
],	
		"applicationCategories":[{	
		"screenId": "1001",	
		"title": "開発行為",	
		"require": true,	
		"applicationCategory": [
		{	
		"content": "観光開発",	
		"id": "2001",	
		"order": 1,	
		"screenId": "1001",	
		"checked": true	
		}	
],	
		}],	
		}	
token	トークン	例)eyJhbGciOiJIUzI1NiIs	0
	(JWT)		

表 4-156 レスポンス

ステータスコード	説明
200	処理に成功
400	パラメータ不正
401	認証エラー
503	判定処理に失敗した場合

● レスポンスボディ

GeneralConditionDiagnosisResultForm

表 4-157 レスポンスボディ (GeneralConditionDiagnosisResultForm)

フィールド	説明	值
judgeResultItemId	判定結果項目 ID	例)1
judgementld	区分判定 ID	例)0001
judgementResultIndex	複数行の区分判定	例)0

	結果のインデック	
	ス	
applicationTypeId	申請種類 ID	例)0
applicationStepId	申請段階 ID	例)1
departmentId	部署 ID	例) -1
title	タイトル	例)〇〇条例に関して
result	結果	true/false
		例)true
summary	概要	例)事前相談が必要¥n〇〇
		課
description	文言	例)事前相談が必要になり
		ます。
judgementLayerDisplayFlag	判定レイヤ表示有	true/false
	無	例)false
simultameousLayerDisplayFlag	同時表示レイヤ表	true/false
	示有無	例)true
generalCondition	概況診断結果 ID	例)1
DiagnosisResultId		
answerRequireFlag	回答必須フラグ	true/false
		例)true
layers	レイヤー覧	例)
		[{
		"layerld": "1",
		"layerType": true,
		"layerName": "全域",
		"layerCode": "layer:全域
		н ,
		"layerQuery": "",
		"queryRequireFlag":
		false
		}]
distance	判定レイヤとの距	例)100m
	离 推	
answerDays	回答日数	例)2
buildingDisplayFlag	建物表示フラグ	true/false
		例)true
dataType	データ種類	例)0

extentFlag	拡張フラグ	true/false	
		例)false	
minlon	最小座標(経度)	例) 135.51	
minlat	最小座標(緯度)	例)35.51	
maxlon	最大座標(経度)	例) 135.53	
maxlat	最大座標(緯度)	例)35.53	

40) 【IF240】 概況診断画像アップロード API

- 本インタフェースを利用した機能
 - ➢ 【FN009】, 【FN013】
- プロトコル
 - ➢ HTTPS
- メソッド
 - POST
- パス
 - > /judgement/image/upload
- リクエストフォーム/ヘッダー

表 4-158 リクエストフォーム/ヘッダー

パラメータ名	説明	值	必須
image	画像	MultipartFile	0
currentSituationMapFlg	概況図フラグ	true/false	0
		例)false	
folderName	一時フォルダ名	例)dafgnkxshe_20241206	0
judgeResultItemId	判定結果項目 ID	例)1	0
judgementld	区分判定 ID	例)0001	0
token	トークン	例) eyJhbGciOiJIUzI1NiIs	0
	(TWL)		

表 4-159 レスポンス

ステータスコード	説明
201	処理に成功
400	パラメータ不正
401	認証エラー
403	ロール不適合

- レスポンスボディ
 - ResponseEntityForm

表 4-160 レスポンスボディ (ResponseEntityForm)

フィールド	説明	值
message	メッセージ	status message.
status	ステータス	例)201

41) 【IF241】概況診断画像アップロード一時フォルダ生成・取得 API

- 本インタフェースを利用した機能
 - ➤ 【FN009】, 【FN013】
- プロトコル
 - ➢ HTTPS
- メソッド
 - ≻ GET
- パス
 - > /judgement/image/upload/preparation
- リクエストヘッダー

表 4-161 リクエストヘッダー

パラメータ名	説明	値	必須
token	トークン(JWT)	例) eyJhbGciOiJIUzI1NiIs	0

表 4-162 レスポンス

ステータスコード	説明
201	処理に成功
401	認証エラー
403	ロール不適合

- レスポンスボディ
 - UploadForGeneralConditionDiagnosisForm

表 4-163 レスポンスボディ (UploadForGeneralConditionDiagnosisForm)

フィールド	説明	値
currentSituationMapFlag	概況図フラグ	true/false
folderName	一時フォルダ名	例)dafgnkxshe_20241206
image	アップロードファイル	値は入らない
judgeResultItemId	判定結果項目 ID	例)1
judgementId	区分判定 ID	例) 3001

- 42) 【IF242】 概況診断結果レポート出力 API
- 本インタフェースを利用した機能
 - ≻ 【FN009】
- プロトコル
 - HTTPS
- メソッド
 - ➢ POST
- パス
 - /judgement/report
- リクエストボディ/ヘッダー

表	4-164	リクエストボディ/ヘッダー	
1X	4 I 0 4		

パラメータ名	説明	值	必須
generalConditionDianosisReportForm	概況診断結果レ	例)	0
	ポート出力リク	{	
	エストフォーム	"applicationStepId": 1,	
		"applicationTypeId": 0,	
		"folderName": "",	
		"generalConditionDiagnosisResults": [
		{	
		"judgeResultItemId": 1,	
		"judgementId": "3001",	
		}	
],	
		}	
token	トークン(JWT)	例)eyJhbGciOiJIUzI1NiIs	0

表 4-165 レスポンス

ステータスコード	説明
200	処理に成功
400	パラメータ不正
401	認証エラー
503	帳票作成に失敗した場合

● レスポンスボディ

表 4-166 レスポンスボディ

フィールド	説明	值
Resource	概況診断結果レポート(Excel ファイル)	binary

43) 【IF243】指定した画面のラベル一覧取得 API

- 本インタフェースを利用した機能
 - FN005, [FN008], [FN011], [FN016], [FN021], [FN023], [FN050]
- プロトコル

➤ HTTPS

- メソッド
 - ≻ GET
- パス
 - /label/{viewCode}
- リクエストパスパラメータ/ヘッダー

表 4-167 リクエストパスパラメータ/ヘッダー

パラメータ名	説明	値	必須
viewCode	画面 ID	例)1000	0
token	トークン(JWT)	例)eyJhbGciOiJIUzI1NiIs	0

● レスポンス

表 4-168 レスポンス

ステータスコード	説明
200	処理に成功
400	パラメータ不正
403	ロール不適合

● レスポンスボディ

➤ LabelForm

表 4-169 レスポンスボディ (LabelForm)

フィールド	説明	值
labels	ラベル	例)
		{
		"systemName": "開発許可",
		}

- 44) 【IF244】地番検索テーブル項目一覧取得 API
- 本インタフェースを利用した機能
 - ≻ 【FN002】
- プロトコル
 - ➤ HTTPS
- メソッド
 - ≻ GET
- パス
 - /lotnumber/columns
- リクエストヘッダー

表 4-170 リクエストヘッダー

パラメータ名	説明	値	必須
token	トークン(JWT)	例)eyJhbGciOiJIUzI1Nils	0

表 4-171 レスポンス

ステータスコード	説明
200	処理に成功
400	パラメータ不正
401	認証エラー

- レスポンスボディ
 - LotNumberSearchResultForm

表 4-172 レスポンスボディ (LotNumberSearchResultForm)

フィールド	説明	值	
displayColumnName	表示カラム名	例)大字	
displayOrder	表示順	例)1	
lotNumberSearchDefinitionId	地番検索定義 ID	例)1	
responseKey	JSON キー	例)district_name	
tablekey	テーブル種別	0:F_大字テーブル	
		1:F_地番テーブル	
		例)0	
tableWidth	テーブル幅(%)	例)25.0	

- 45) 【IF245】町丁目名一覧取得 API
- 本インタフェースを利用した機能
 - ≻ 【FN002】
- プロトコル
 - ➢ HTTPS
- メソッド
 - ≻ GET
- パス
 - /lotnumber/districts
- リクエストヘッダー

表 4-173 リクエストヘッダー

パラメータ名	説明	值	必須
token	トークン(JWT)	例)eyJhbGciOiJIUzI1Nils	0

● レスポンス

表 4-174 レスポンス

ステータスコード	説明
200	処理に成功
401	認証エラー

- レスポンスボディ
 - DistrictNameForm

表 4-175 レスポンスボディ (DistrictNameForm)

フィールド	説明	值
id	町丁目 ID	例)1
kana	町丁目名(かな)	例)かすさかまたり
name	町丁名	例)かずさ鎌足一丁目

46) 【IF246】図形による地番取得(事業者) API

- 本インタフェースを利用した機能
 - ➤ [FN007]
- プロトコル
 - > HTTPS
- メソッド
 - POST
- パス
 - > /lotnumber/getFromFigure/establishment

● リクエストボディ/ヘッダー

表 4-176 リクエ	、トボディ/ヘッダー
-------------	------------

パラメータ名	説明	値	必須
getLotNuberByFigureForm	範囲選択地番取得フ	例)	0
	ォーム	{	
		coodinates:[
		[135.1,35.1],	
		[135.2,35.2],	
		[135.3,35.3],	
		[135.1,35.1]	
]	
		}	
token	トークン(JWT)	例)eyJhbGciOiJIUzI1Nils	0

● レスポンス

表 4-177 レスポンス

ステータスコード	説明
200	処理に成功
400	パラメータ不正
401	認証エラー
406	上限件数以上の地番が取得された場合

● レスポンスボディ

LotNumberForm

表 4-178 レスポンスボディ(LotNumberForm)

フィールド	説明	値	
applicationId	申請 ID	-	
attributes	属性情報	例)	
		{	
		"district_name": "〇〇一丁目",	
		"txtcode": "1-1"	
		}	
chiban	地番	例)1-1	
chibanId	地番 ID	例)1	
cityName	地方公共団体名	例)〇〇市	
districtId	大字 ID	例)1	
districtKana	大字名かな	例)かな	

フィールド	説明	值	
districtName	大字名	例)〇〇一丁目	
lat	中心座標(緯度)	例)35.01	
lon	中心座標(経度)	例)135.01	
maxlat	最大座標(緯度)	例)35.01	
maxlon	最大座標(経度)	例)135.01	
minlat	最小座標(緯度)	例)35.01	
minlon	最小座標(経度)	例)135.01	
status	ステータス	0:申請中 1:回答中(未回答課あ	
		り)2:回答完了 3:通知済み(再申	
		請不要)4:通知済み(要再申請)	
		例)0	
statusText	ステータス	画面表示に使用する、第{version}	
		版{ステータス名}形式の文字列	
		例)第1版事前相談:未	
fullFlag	全筆フラグ	true/false	

47) 【IF247】 地番取得(事業者) API

- 本インタフェースを利用した機能
 - ≻ 【FN007】
- プロトコル
 - ➤ HTTPS
- メソッド
 - > POST
- パス
 - /lotnumber/getFromLonlat/establishment
- リクエストボディ/ヘッダー

表 4-179 リクエストボディ/ヘッダー

パラメータ名	説明	値	必須
getLotNumberForm	地番取得フォーム	例)	0
		{	
		latiude:35.1,	
		longitude:135.1	
		}	
token	トークン(JWT)	例)eyJhbGciOiJIUzl1Nils	0

表 4-180 レスポンス

ステータスコード	説明
200	処理に成功
400	パラメータ不正
401	認証エラー

● レスポンスボディ

LotNumberForm

表 4-181	レスポンスボディ	(LotNumberForm)
10 - 101		

フィールド	説明	値	
applicationId	申請 ID	-	
attributes	属性情報	例)	
		{	
		"district_name": "〇〇一丁目",	
		"txtcode": "1-1"	
		}	
chiban	地番	例)1-1	
chibanld	地番 ID	例)1	
cityName	地方公共団体名	例)〇〇市	
districtId	大字 ID	例)1	
districtKana	大字名かな	例)かな	
districtName	大字名	例)〇〇一丁目	
lat	中心座標(緯度)	例)35.01	
lon	中心座標(経度)	例)135.01	
maxlat	最大座標(緯度)	例)35.01	
maxlon	最大座標(経度)	例)135.01	
minlat	最小座標(緯度)	例)35.01	
minlon	最小座標(経度)	例)135.01	
status	ステータス	0:申請中 1:回答中(未回答課あ	
		り) 2:回答完了 3:通知済み(再申	
		請不要)4:通知済み(要再申請)	
		例)0	
statusText	ステータス	画面表示に使用する、第{version}	
		版{ステータス名}形式の文字列	
		例)第1版事前相談:未	
fullFlag	全筆フラグ	true/false	

- 48) 【IF248】申請中の地番取得(行政) API
- 本インタフェースを利用した機能
 - ≻ 【FN021】
- プロトコル
 - ➤ HTTPS
- メソッド
 - ➢ POST
- パス
 - /lotnumber/getFromLonlat/goverment
- リクエストボディ/ヘッダー

表 4-182 リクエストボディ/ヘッダー

パラメータ名	説明	値	必須
getLotNumberForm	地番取得フォーム	例)	0
		{	
		latiude:35.1,	
		longitude:135.1	
		}	
token	トークン(JWT)	例)eyJhbGciOiJIUzl1Nils	0

● レスポンス

表 4-183 レスポンス

ステータスコード	説明
200	処理に成功
400	パラメータ不正
401	認証エラー

● レスポンスボディ

LotNumberForm

表 4-184 レスポンスボディ(LotNumberForm)
-------------------	----------------

フィールド	説明	値
applicationId	申請 ID	-
attributes	属性情報	例)
		{
		"district_name": "〇〇一丁目",
		"txtcode": "1-1"
		}

フィールド	説明	値
chiban	地番	例)1-1
chibanld	地番 ID	例)1
cityName	地方公共団体名	例)〇〇市
districtId	大字 ID	例)1
districtKana	大字名かな	例)かな
districtName	大字名	例)〇〇一丁目
lat	中心座標(緯度)	例)35.01
lon	中心座標(経度)	例)135.01
maxlat	最大座標(緯度)	例)35.01
maxlon	最大座標(経度)	例)135.01
minlat	最小座標(緯度)	例)35.01
minlon	最小座標(経度)	例)135.01
status	ステータス	0:申請中 1:回答中(未回答課あ
		り)2:回答完了 3:通知済み(再申
		請不要)4:通知済み(要再申請)
		例)0
statusText	ステータス	画面表示に使用する、第{version}
		版{ステータス名}形式の文字列
		例)第1版事前相談:未
fullFlag	全筆フラグ	true/false

- 49) 【IF249】 地番検索(事業者) API
- 本インタフェースを利用した機能
 - ≻ 【FN002】
- プロトコル
 - ➤ HTTPS
- メソッド
 - POST
- パス
 - /lotnumber/search/estabrishment
- リクエストボディ/ヘッダー

表 4-185 リクエストボディ/ヘッダー

パラメータ名	説明	値	必須
lotNumberSearchCon	地番検索条件フォーム	例)	0
ditionForm		{	
		"districtId": "1",	

		"chiban": "1-1"	
		}	
token	トークン (JWT)	例)	0
		eyJhbGciOiJIUzl1Nils	

表 4-186 レスポンス

ステータスコード	説明
200	処理に成功
400	パラメータ不正
401	認証エラー

● レスポンスボディ

LotNumberForm

表 4-187 レスポンスボディ(LotNumberForm)

フィールド	説明	値
applicationId	申請 ID	-
attributes	属性情報	例)
		{
		"district_name": "〇〇一丁目",
		"txtcode": "1-1"
		}
chiban	地番	例)1-1
chibanId	地番 ID	例)1
cityName	地方公共団体名	例)○○市
districtId	大字 ID	例)1
districtKana	大字名かな	例)かな
districtName	大字名	例)〇〇一丁目
lat	中心座標(緯度)	例)35.01
lon	中心座標(経度)	例)135.01
maxlat	最大座標(緯度)	例)35.01
maxlon	最大座標(経度)	例)135.01
minlat	最小座標(緯度)	例)35.01
minlon	最小座標(経度)	例)135.01
status	ステータス	0:申請中 1:回答中(未回答課あ
		り) 2:回答完了 3:通知済み(再申
		請不要)4:通知済み(要再申請)
フィールド	説明	值
------------	-------	----------------------
		例)0
statusText	ステータス	画面表示に使用する、第{version}
		版{ステータス名}形式の文字列
		例)第1版事前相談:未
fullFlag	全筆フラグ	true/false

50) 【IF250】 地番検索(行政) API

● 本インタフェースを利用した機能

≻ 【FN002】

- プロトコル
 - ➤ HTTPS
- メソッド
 - POST
- パス
 - /lotnumber/search/goverment
- リクエストボディ/ヘッダー

表 4-188 リクエストボディ/ヘッダー

パラメータ名	説明	値	必須
IotNumberSearchConditionForm	地番検索条件フォーム	例)	0
		{	
		"districtId": "1",	
		"chiban": "1-1"	
		}	
token	トークン(JWT)	例)eyJhbGciOiJIUzI1NiIs	0

● レスポンス

表 4-189 レスポンス

ステータスコード	説明
200	処理に成功
400	パラメータ不正
401	認証エラー

- レスポンスボディ
 - LotNumberForm

表 4-190 レスポンスボディ(LotNumberForm)

フィールド	説明	値
applicationId	申請 ID	-
attributes	属性情報	例)
		{
		"district_name": "〇〇一丁目",
		"txtcode": "1-1"
		}
chiban	地番	例)1-1
chibanId	地番ID	例)1
cityName	地方公共団体名	例)〇〇市
districtId	大字 ID	例)1
districtKana	大字名かな	例)かな
districtName	大字名	例)〇〇一丁目
lat	中心座標(緯度)	例)35.01
lon	中心座標(経度)	例)135.01
maxlat	最大座標(緯度)	例)35.01
maxlon	最大座標(経度)	例)135.01
minlat	最小座標(緯度)	例)35.01
minlon	最小座標(経度)	例)135.01
status	ステータス	0:申請中 1:回答中(未回答課あ
		り) 2:回答完了 3:通知済み(再申
		請不要)4:通知済み(要再申請)
		例)0
statusText	ステータス	画面表示に使用する、第{version}
		版{ステータス名}形式の文字列
		例)第1版事前相談:未
fullFlag	全筆フラグ	true/false

- 51) 【IF251】 アンケート回答 API
- 本インタフェースを利用した機能
 - ≻ 【FN003】
- プロトコル
 - ➤ HTTPS
- メソッド
 - ➢ POST
- パス
 - /questionnaire/reply
- リクエストボディ/ヘッダー

パラメータ名	説明	值	必須
questionnaireForm	アンケート回答フォ	例)	0
	-4	{	
		"value": "0",	
		"text": "開発許可",	
		"checked": true	
		}	
token	トークン(JWT)	例)eyJhbGciOiJIUzl1Nils	0

表 4-191 リクエストボディ/ヘッダー

● レスポンス

表 4-192 レスポンス

ステータスコード	説明
200	処理に成功
400	パラメータ不正

● レスポンスボディ

ResponseEntityForm

表 4-193 レスポンスボディ (ResponseEntityForm)

フィールド	説明	值
message	メッセージ	status message.
status	ステータス	例)200

- 52) 【IF252】 アンケート利用目的一覧取得 API
- 本インタフェースを利用した機能
 - ≻ 【FN003】
- プロトコル
 - ➤ HTTPS
- メソッド
 - ≻ GET
- パス
 - /questionnaire/search
- リクエストヘッダー

表 4-194 リクエストヘッダー

パラメータ名	説明	値	必須
token	トークン(JWT)	例)eyJhbGciOiJIUzI1NiIs	0

● レスポンス

表 4-195 レスポンス

ステータスコード	説明
200	処理に成功
503	処理エラー

- レスポンスボディ
 - QuestionaryPurposeForm

表 4-196 レスポンスボディ (QuestionaryPurposeForm)

フィールド	説明	值
checked	選択状態	例)false
text	利用目的ラベル	例)開発許可
value	利用目的値	例)0

53) 【IF253】 再申請登録 API

- 本インタフェースを利用した機能
 - FN014, [FN031], [FN033], [FN036], [FN037]
- プロトコル
 - ➤ HTTPS
- メソッド
 - ➢ POST
- パス
 - > /application/reapplication

● リクエストボディ/ヘッダー

表 4-197 リクエストボディ/ヘッダー

パラメータ名	説明	值	必須
reApplicationForm	再申請フ	例)	0
	ォーム	{	
		"applicationId": 1,	
		"applicationStepId": 2,	
		"preApplicationStepId": 1,	
		"applicationTypeId": 1,	
		"folderName": "",	
		"loginId": "00111223344",	
		"password": "password"	
		"lotNumbers": [
		{	
		"lot_numbers": ""〇〇〇市 $ riangle riang$	
		}	
],	
		"applicationCategories": [
		{	
		"screenId": "0001",	
		"title": "開発行為",	
		"applicationCategory": [
		{	
		"id": "2001",	
		"checked": true,	
		}	
],	
		}	
],	
		}	
token	トークン	例)eyJhbGciOiJIUzI1NiIs	0
	(JWT)		

● レスポンス

表 4-198 レスポンス

ステータスコード	説明
200	処理に成功
400	パラメータ不正
401	認証エラー
409	登録に失敗した場合
503	処理エラー

● レスポンスボディ

表 4-199 レスポンスボディ (ApplicationRegisterResultForm)

フィールド	説明	値
applicationId	申請 ID	例)1
applicationStepId	申請段階 ID	例)2
answerExpectDays	回答予定日数	例)2

54) 【IF254】再申請登録完了通知 API

- 本インタフェースを利用した機能
 - FN014, [FN031], [FN033], [FN036], [FN037]
- プロトコル
 - ➤ HTTPS
- メソッド
 - > POST
- パス
 - /application/reapplication/complete/notify
- リクエストボディ/ヘッダー

表 4-200 リクエストボディ/ヘッダー

パラメータ名	説明	值	必須
ApplicationRegisterResultForm	申請登録結果	例)	0
		{	
		"answerExpectDays": 2,	
		"applicationId": 1,	
		"applicationStepId": 2	
		}	
token	トークン(JWT)	例)eyJhbGciOiJIUzl1Nils	0

● レスポンス

表 4-201 レスポンス

ステータスコード	説明
200	処理に成功
400	パラメータ不正
401	認証エラー
409	ステータス不正
503	処理エラー

● レスポンスボディ

表 4-202 レスポンスボディ (ResponseEntityForm)

フィールド	説明	値
message	メッセージ	status message.
status	ステータス	例)200

55) 【IF255】 仮登録再申請情報リセット API

- 本インタフェースを利用した機能
 - FN013, [FN014], [FN031], [FN033], [FN036], [FN037]
- プロトコル
 - ➢ HTTPS
- メソッド
 - POST
- パス
 - > /application/reapplication/reset/{applicationId}
- リクエストパスパラメータ/ヘッダー

表 4-203 リクエストパスパラメータ/ヘッダー

パラメータ名	説明	值	必須
application_id	申請 ID	例)1	0
token	トークン(JWT)	例)eyJhbGciOiJIUzI1Nils	0

表 4-204 レスポンス

ステータスコード	説明
200	処理に成功
400	パラメータ不正
401	認証エラー
403	ロール不適合

409	ステータス不正
503	処理エラー

● レスポンスボディ

表 4-205 レスポンスボディ (ResponseEntityForm)

フィールド	説明	值
message	メッセージ	status message.
status	ステータス	例)200

56) 【IF256】協議一覧取得 API

- 本インタフェースを利用した機能
 - ▶ 【FN009】, 【FN016】
- プロトコル
 - ➤ HTTPS
- メソッド
 - ≻ GET
- パス
 - /answer/ledger/{applicationStepId}
- リクエストパスパラメータ/ヘッダー

表 4-206 リクエストパスパラメータ/ヘッダー

パラメータ名	説明	値	必須
applicationStepId	申請段階 ID	例)2	0
token	トークン(JWT)	例)eyJhbGciOiJIUzI1NiIs	0

● レスポンス

表 4-207 レスポンス

ステータスコード	説明
200	処理に成功
401	認証エラー
503	処理エラー

● レスポンスボディ

表 4-208 レスポンスボディ (LedgerMasterForm)

フィールド	説明	値
ledgerld	ID	例)1
applicationStepId	申請段階 ID	例)2
ledgerName	帳票名	例)協議書

displayName	画面表示ラベル	例)32協議
templatePath	テンプレートパス	例)/xxx/xxx
outputType	出力種類	0:常に出力
		1:画面に選択されたレコードがあ
		れば出力
		例)1
notificationFlag	受領時通知要否	true/false
		例)false
checked	チェック有無	-

- 57) 【IF257】再申請用申請ファイル一覧取得(事業者)API
- 本インタフェースを利用した機能
 - ➢ 【FN011】, 【FN030】, 【FN035】
- プロトコル
 - ➤ HTTPS
- メソッド
 - > POST
- パス
 - > /application/reapply/applicationFiles
- リクエストボディ/ヘッダー

表	4-209	リクエス	トボディ	/ヘッダー

パラメータ名	説明	值	必須
reApplicationRequestForm	再申請取得パラメー	例)	0
	タフォーム	{	
		"applicationId": 1,	
		"applicationStepId": 2,	
		"preApplicationStepId": 1,	
		"loginId": "00111223344",	
		"password": "password",	
		}	
token	トークン(JWT)	例)eyJhbGciOiJIUzI1Nils	0

● レスポンス

表 4-210 レスポンス

ステータスコード	説明
200	処理に成功
400	パラメータ不正
401	認証エラー

● レスポンスボディ

表 4-211 レスポンスボディ (ApplicationFileForm)

フィールド	説明	值
applicationFileId	申請ファイル ID	例)1001
applicationFileName	申請ファイル名	例)給排水平面図
extension	拡張子	例)pdf
judgementItemId	判定項目 ID	例)2001
requireFlag	必須有無	true/false
		例)true
uploadFileFormList	アップロードファイル一覧	-
applicationFileHistorys	申請ファイル履歴	例)
		[
		{
		"applicationFileId": 1001,
		"applicationId": 1,
		"applicationStepId": 1,
		"applicationStepName": "事前相談",
		"fileld": 1,
		"filePath": "xxx/xxxx/",
		}
]
applicationFileAllHistorys	引用可能の全ての申請段階の申請フ	例)
	アイル	[
		{
		"applicationFileId": 1001,
		"applicationId": 1,
		"applicationStepId": 1,
		"applicationStepName": "事前相談",
		"fileId": 1,

		"filePath": "xxx/xxxx/",
		}
]
versionInformation	版情報	例)1

58) 【IF258】申請種類一覧取得 API

- 本インタフェースを利用した機能
 - ≻ 【FN006】
- プロトコル
 - ➢ HTTPS
- メソッド
 - ≻ GET
- パス
 - /application/applicationType
- リクエストヘッダー

表 4-212 リクエストヘッダー

パラメータ名	説明	值	必須
token	トークン(JWT)	例)eyJhbGciOiJIUzI1Nils	0

● レスポンス

表 4-213 レスポンス

ステータスコード	説明
200	処理に成功
400	パラメータ不正
401	認証エラー

● レスポンスボディ

表 4-214 レスポンスボディ (ApplicationTypeForm)

フィールド	説明	值
applicationTypeId	申請種類 ID	例) 1
applicationTypeName	申請種類名	例)開発許可
applicationSteps	申請段階	例)
]
		{
		"applicationStepId": 1,
		"applicationStepName": "事前相談"

		}
]
checked	選択状態	-

- 59) 【IF259】通知ファイルダウンロード API
- 本インタフェースを利用した機能
 - ≻ 【FN038】
- プロトコル
 - ➢ HTTPS
- メソッド
 - ➢ POST
- パス
 - > /answer/ledger/file/download
- リクエストボディ/ヘッダー

表 4-215 リクエストボディ/ヘッダー

パラメータ名	説明	值	必須
ledgerForm	帳票ファイルフォーム	{	0
		"ledgerld": 1001,	
		"ledgerName": "同意書",	
		"applicationId": 1,	
		"applicationStepId": 2,	
		"fileId": 1,	
		"filePath": "xxx/xxxx/",	
		"notifyFilePath": "xxx/xxxx/",	
		"extension": "pdf",	
		}	
token	トークン (JWT)	例)eyJhbGciOiJIUzI1NiIs	0

表 4-216 レスポンス

ステータスコード	説明
200	処理に成功
400	パラメータ不正
401	認証エラー
403	ロール不適合
404	ファイルが存在しない場合

● レスポンスボディ

表 4-217 レスポンスボディ(Resource)

フィールド	説明	值
Resource	通知ファイル	binary

^{60) 【}IF260】同意項目合意登録 API

- 本インタフェースを利用した機能
 - ≻ 【FN032】
- プロトコル
 - ➤ HTTPS
- メソッド
 - > POST
- パス
 - /answer/consent/input
- リクエストボディ/ヘッダー

表 4-218 リクエストボディ/ヘッダー

パラメータ名	説明	值	必須
answerFormList	回答情報フォームー	例)	0
	覧	[{	
		"answerld": 1,	
		"answerDataType": "1",	
		"answerStatus": "1",	
		"answerContent": "回答内容",	
		"businessPassStatus": 1,	
		}]	
token	トークン(JWT)	例)eyJhbGciOiJIUzI1NiIs	0

表 4-219 レスポンス

ステータスコード	説明
200	処理に成功
400	パラメータ不正
401	認証エラー

- レスポンスボディ
 - ApplyAnswerForm

フィールド	説明	值
answers	回答一覧	例)
		[{
		"answerld": 1,
		"answerDataType": "1",
		"answerStatus": "1",
		"answerContent": "回答内容",
		"answerContentEditable": true,
		"answerPermissionFlag": false,
		}]
answerFileHistory	回答ファイル更新	例)
	履歴一覧	[{
		"departmentId": "0001",
		"departmentName": "〇〇課",
		"judgementResult": "相談必要",
		"fileName": "xxx.pdf",
		"notifiedFlag": true,
		"updateDatetime": "2023/04/01 10:00",
		"updateType": "1",
		"updateUserId": "0001",
		"updateUserName": "サンプルー郎"
		}]
answerHistory	回答履歴一覧	例)
		[{
		"answerHistoryId": 1,
		"answerld": 1,
		"answerDataType": "1",
		"answerStatus": "1",
		"answerContent": "回答内容",
		}]

表 4-220 レスポンスボディ (ApplyAnswerForm)

フィールド	説明	值
applicantInformations	申請者情報一覧	例)
		[{
		"id": "1001",
		"itemType": "1",
		"order": 1,
		"name": "氏名",
		"value": "サンプルー郎",
		"contactValue": "サンプル二郎",
		}]
applicationCategories	申請区分選択一覧	例)
		[{
		"screenId": "1001",
		"title": "開発行為",
		"require": true,
		"applicationCategory": [
		{
		"content": "観光開発",
		"id": "2001",
		"order": 1,
		"screenId": "1001"
		}
],
		}]
applicationFiles	申請ファイル一覧	例)
		[{
		"applicationFileId": "1001",
		"iudgementItemId": "2001".
		"extension": "pdf",
		"requireFlag": 1.
		"uploadFileFormList": [
		"applicationFileId": "1001",
		"uploadDatetime": "2023/04/20 16:00",
		"uploadFileName": "xxx.pdf",

フィールド	説明	值
		}
],
		}]
applicationFileVersions	申請ファイル版情	例)
	報一覧	[{
		"applicationFileId": "1001",
		"judgementItemId": "2001",
		"applicationFileName": "給排水平面図",
		"applicationFileVersions": [
		{
		"applicationFileHistorys": [
		{
		"applicationFileId": "1001",
		"uploadDatetime": "2023/04/20 16:00",
		"uploadFileName": "xxx.pdf",
		"versionInformation": 1,
		}
],
		}
],
		}]
lotNumbers	申請地番一覧	例)
		[{
		"applicationId": 1,
		"lat": 35.01,
		"lon": 135.01,
		"lot_numbers": "〇〇〇市△△△ 1-1,1-10 ",
		"maxlat": 35.01,
		"maxlon": 135.01,
		"minlat": 35.01,
		"minlon": 135.01,
		"status": "第1版申請中"

フィールド	説明	值
		}]
applyAnswerDetails	申請情報詳細一覧	例)
		[{
		"applicationId": 1,
		"applicationStepId": 1,
		"applicationStepName": "事前相談",
		"versionInformation":1,
		3]
applicationId	申請 ID	1
applicationType	申請種類	例)
		{
		"applicationSteps": [
		{
		"applicationStepId": 1,
		"applicationStepName": "事前相談"
		}
],
		"applicationTypeld": 1,
		"applicationTypeName": "開発許可"
		}
notificable	回答通知権限	true/false
		例)false
status	ステータス	画面表示に使用する、第{version}版{ステータス名}形式の文
		字列
		例) 第1版事前相談:未回答
statusCode	ステータスコード	0:申請中 1:回答中(未回答課あり)2:回答完了 3:通知済み(再
		申請不要)4:通知済み(要再申請)
		例)0
controlDepartmentAdmin	統括部署の管理者	true/false
		例)false
firstAccepting	初回申請受付	true/false
		例)false

- 61) 【IF261】検索結果 CSV 出力 API
- 本インタフェースを利用した機能
 - ➤ 【FN021】, 【FN027】
- プロトコル
 - ➤ HTTPS
- メソッド
 - POST
- パス
 - /application/searchresult/output
- リクエストボディ/ヘッダー

表 4-221 リクエストボディ/ヘッダー

パラメータ名	説明	值	必須
outputDataForm	CSV データ出力フォ	例)	0
	-4	{	
		"dataType": "application",	
		"conditions": {	
		"status": [],	
		"department": [],	
		},	
		"applicationSearchResults": [
		{	
		"applicationId": 1,	
		"statusCode": "305",	
		}	
],	
		}	
token	トークン(JWT)	例)eyJhbGciOiJIUzI1Nils	0

表 4-222 レスポンス

ステータスコード	説明
200	処理に成功
400	パラメータ不正
401	認証エラー

409	ステータス不正
503	処理エラー

● レスポンスボディ

表 4-223 レスポンスボディ (Resource)

フィールド	説明	値
Resource	検索結果 CSV ファイル	binary

62) 【IF262】回答・通知可能な申請段階一覧取得 API

- 本インタフェースを利用した機能
 - > [FN023], [FN025], [FN040], [FN042], [FN050], [FN052]
- プロトコル
 - ➤ HTTPS
- メソッド
 - ≻ GET
- パス
 - /application/applicationStep/{applicationId}/{isNotify}
- リクエストパスパラメータ/ヘッダー

```
表 4-224 リクエストパスパラメータ/ヘッダー
```

パラメータ名	説明	值	必須
applicationId	申請 ID	例)1	0
isNotify	回答通知用フラグ	例)true	0
token	トークン(JWT)	例)eyJhbGciOiJIUzI1NiIs	0

表 4-225 レスポンス

ステータスコード	説明
200	処理に成功
400	パラメータ不正
401	認証エラー
403	ロール不適合
503	処理エラー

● レスポンスボディ

表 4-226 レスポンスボディ (ApplicationStepForm)

フィールド	説明	值
applicationStepId	申請段階 ID	1
applicationStepName	申請段階名	事前相談
checked	選択状態	-

63) 【IF263】画面の指定した申請段階のラベルー覧取得 API

- 本インタフェースを利用した機能
 - FN013], [FN014], [FN025], [FN031], [FN033], [FN036], [FN037], [FN042], [FN052]
- プロトコル
 - ➤ HTTPS
- メソッド
 - ≻ GET
- パス
 - > /label/{viewCode}/{applicationStepId}
- リクエストパスパラメータ/ヘッダー

```
表 4-227 リクエストパスパラメータ/ヘッダー
```

パラメータ名	説明	值	必須
viewCode	画面 ID	例)1003	0
applicationStepId	申請段階 ID	例)2	0
token	トークン(JWT)	例)eyJhbGciOiJIUzl1Nils	0

表 4-228 レスポンス

ステータスコード	説明
200	処理に成功
400	パラメータ不正
401	認証エラー
403	ロール不適合
404	ファイルが存在しない場合

● レスポンスボディ

+	1 220	レフポンフザディ	(LoholForm)	
衣	4-229	レス小ノス小ナイ	(Laperrorm)	

フィールド	説明	值
labels	ラベル	例)
		{
		" acceptedContent": "各担当課のメ
		ールアドレスに申請内容を通知しまし
		た。",
		}

64) 【IF264】概況診断結果レポート進捗状況取得 API

- 本インタフェースを利用した機能
 - ≻ 【FN009】
- プロトコル
 - ➤ HTTPS
- メソッド
 - ≻ GET
- パス
 - /judgement/progress
- リクエストパラメータ

表 4-230 リクエストパラメータ

パラメータ名	説明	值	必須
generalCondition	概況診断結果レポート出力リクエス	例)	0
DiagnosisReport	トフォーム	{	
RequestFormList		"applicationStepId": 1,	
		"applicationTypeId": 0,	
		"folderName":	
		"dafgnkxshe_20241206",	
		"generalConditionDiagnosisResults":	
		I	
		{	
		"judgeResultItemId": 1,	
		"judgementld": "3001",	
		}	

],	
token	トークン (JWT)	例)eyJhbGciOiJIUzI1Nils	0

● レスポンス

表 4-231 レスポンス

ステータスコード	説明
200	処理に成功
400	パラメータ不正
401	認証エラー
503	進捗状況取得に失敗した場合

● レスポンスボディ

表 4-232 レスポンスボディ (GeneralConditionDiagnosisReportProgressForm)

フィールド	説明	值
folderName	一時フォルダ名	例)dafgnkxshe_20241206
capturedCount	生成数	例)10
fileSize	ファイルサイズ	例)15MB
completeDateTime	完了日時	例)2024-05-23 15:00:5

65) 【IF265】概況診断結果レポート生成 API

- 本インタフェースを利用した機能
 - ≻ 【FN009】
- プロトコル
 - ➢ HTTPS
- メソッド
 - POST
- パス
 - /judgement/generate

● リクエストボディ/ヘッダー

表 4-233 リクエストボディ/ヘッダー

パラメータ名	説明	值	必須
generalCondition	概況診断結果レポート出力リクエ	例)	0
DiagnosisReport	ストフォーム	{	
RequestForm		"applicationStepId": 1,	
		"applicationTypeId": 0,	
		"folderName": "dafgnkxshe_20241206",	
		"generalConditionDiagnosisResults": [
		{	
		"judgeResultItemId": 1,	
		"judgementld": "3001",	
		}	
],	
		}	
token	トークン(JWT)	例)eyJhbGciOiJIUzI1NiIs	0

● レスポンス

表 4-234 レスポンス

ステータスコード	説明
201	処理に成功
400	パラメータ不正
401	認証エラー
503	帳票生成に失敗した場合

● レスポンスボディ

表 4-235 レスポンスボディ(ResponseEntityForm)

フィールド	説明	值
message	メッセージ	status message.
status	ステータス	例)201

- 66) 【IF266】申請中の地番取得(行政) API
- 本インタフェースを利用した機能
 - ≻ 【FN002】
- プロトコル
 - ➤ HTTPS
- メソッド
 - ➢ POST
- パス
 - /lotnumber/getFromLonlat/goverment
- リクエストボディ/ヘッダー

表 4-236 リクエストボディ/ヘッダー

パラメータ名	説明	値	必須
getLotNumberForm	地番取得フォーム	例)	0
		{	
		latiude:35.1,	
		longitude:135.1	
		}	
token	トークン(JWT)	例)eyJhbGciOiJIUzI1Nils	0

● レスポンス

表 4-237 レスポンス

ステータスコード	説明
200	処理に成功
400	パラメータ不正
401	認証エラー

● レスポンスボディ

LotNumberForm

表 4-238 レスポンスボディ(LotNumber

フィールド	説明	值
applicationId	申請 ID	例)1
attributes	属性情報	例)
		{
		"district_name": "〇〇一丁目",
		"txtcode": "1-1"
		}
chiban	地番	例)1-1

フィールド	説明	値
chibanld	地番 ID	例)1
cityName	地方公共団体名	例)〇〇市
districtId	大字 ID	例)1
districtKana	大字名かな	例)かな
districtName	大字名	例)〇〇一丁目
lat	中心座標(緯度)	例)35.01
lon	中心座標(経度)	例)135.01
maxlat	最大座標(緯度)	例)35.01
maxlon	最大座標(経度)	例)135.01
minlat	最小座標(緯度)	例)35.01
minlon	最小座標(経度)	例)135.01
status	ステータス	例)第1版事前相談:未回答
		0:申請中 1:回答中(未回答課あ
		り) 2:回答完了 3:通知済み(再申
		請不要)4:通知済み(要再申請)
		例)0
statusText	ステータス	画面表示に使用する、第{version}
		版{ステータス名}形式の文字列
fullFlag	全筆フラグ	true / false

- 67) 【IF267】リマインド通知 API
- 本インタフェースを利用した機能
 - ≻ 【FN054】
- プロトコル
 - ➤ HTTPS
- メソッド
 - POST
- パス
 - /reminder/push
- リクエストヘッダー

表 4-239 リクエストヘッダー

パラメータ名	説明	値	必須
Authorization	API キー	例)xHgfsd1234	0

● レスポンス

表 4-240 レスポンス

ステータスコード	説明
200	処理に成功
403	認証不正
500	処理に失敗

4-4-4. 外部連携インタフェース

外部連携は含まれていない。

4-5. 実証に用いたデータ

4-5-1. 活用したデータ一覧

1) 利用した 3D 都市モデル

- 年度:2023年度
- 都市名:茅野市
- ファイル名: 20214_chino-shi_2023_citygml_1_op
- メッシュ番号:全域(インデックスマップで黄色囲いの箇所)



図 4-112 インデックスマップ (茅野市)

- 年度:2024年度
- 都市名:木更津市
- ファイル名:12207_kisarazu-shi_city_2024_citygml_1
- メッシュ番号:全域(インデックスマップで黄色囲いの箇所)



図 4-113 インデックスマップ (木更津市)

表 4-241 利用した 3D 都市モデル

地物	地物型	属性区分	ID	属性名	内容	データを
						利用した
						機能
						(ID)
建築物	bldg:Buil	主題属性	DT001	gml:name	名称	FN004、
LOD1 ·	ding					FN008、
LOD2						FN009
			DT002	core:creationDate	作成日	FN004、
						FN008、
						FN009
			DT003	gen:stringAttribute	汎用属性(文字	FN004、
					列)	FN008、
						FN009
			DT004	bldg:usage	用途	FN004、
						FN008、
						FN009
			DT005	bldg:yearOfConstruction	建築年	FN004、
						FN008、
						FN009
			DT006	bldg:measuredHeight	計測高さ	FN004、
						FN008、
						FN009
			DT007	bldg:storeysAboveGround	地上階数	FN004、
						FN008、
						FN009
			DT008	bldg:storeysBelowGround	地下階数	FN004、
						FN008、
						FN009
		空間属性	DT009	bldg:lod0FootPrint	lod0 接地面	FN004、
						FN008、
						FN009
			DT010	bldg:lod1Solid	lod1 立体	FN004、
						FN008、
						FN009
			DT011	bldg:lod2Solid	lod2 立体	FN004、
						FN008、

					FN009
	関連役割	DT012	uro:buildingIDAttribute	建物識別情報	FN004、
					FN008、
					FN009
	主題属性	DT013	uro:buildingIDAttribute/uro:buildi	建物 ID	FN004、
			ngID		FN008、
					FN009
		DT014	uro:buildingIDAttribute/uro:prefec	都道府県	FN004、
			ture		FN008、
					FN009
		DT015	uro:buildingIDAttribute/uro:city	市区町村	FN004、
					FN008、
					FN009
	関連役割	DT016	uro:buildingDetailAttribute	建物利用現況	FN004、
					FN008、
					FN009
	主題属性	DT017	uro:buildingDetailAttribute/uro:tot	延床面積	FN004、
			alFloorArea		FN008、
					FN009
		DT018	uro:buildingDetailAttribute/uro:bu	構造種別	FN004、
			ildingStructureType		FN008、
					FN009
		DT019	uro:buildingDetailAttribute/uro:bu	構造種別(独自)	FN004、
			ildingStructureOrgType		FN008、
					FN009
		DT020	uro:buildingDetailAttribute/uro:or	建物利用現況	FN004、
			gUsage2	(小分類)	FN008、
					FN009
		DT021	uro:buildingDetailAttribute/uro:su	調査年	FN004、
			rveyYear		FN008、
					FN009
	関連役割	DT022	uro:buildingDisasterRiskAttribute	洪水浸水リスク	FN004、
					FN008、
					FN009
	主題属性	DT023	uro:buildingDisasterRiskAttribute/	指定河川名称	FN004、
			uro:description		FN008、
					FN009

	DT024	uro:buildingDisasterRiskAttribute/	浸水ランク	FN004、
		uro:rank		FN008、
				FN009
	DT025	uro:buildingDisasterRiskAttribute/	浸水深	FN004、
		uro:depth		FN008、
				FN009
	DT026	uro:buildingDisasterRiskAttribute/	指定機関区分	FN004、
		uro:adminType		FN008、
				FN009
	DT027	uro:buildingDisasterRiskAttribute/	浸水規模	FN004、
		uro:scale		FN008、
				FN009
	DT028	uro:buildingDisasterRiskAttribute/	継続時間	FN004、
		uro:duration		FN008、
				FN009
関連役割	DT029	uro:buildingDisasterRiskAttribute	土砂災害リスク	FN004、
				FN008、
				FN009
主題属性	DT030	uro:buildingDisasterRiskAttribute/	現象区分	FN004、
		uro:description		FN008、
				FN009
	DT031	uro:buildingDisasterRiskAttribute/	区域区分	FN004、
		uro:areaType		FN008、
				FN009
関連役割	DT032	uro:buildingDataQualityAttribute	データ品質	FN004、
				FN008、
				FN009
主題属性	DT033	uro:buildingDataQualityAttribute/	地図情報レベル	FN004、
		uro:srcScale		FN008、
				FN009
	DT034	uro:buildingDataQualityAttribute/	幾何属性作成方	FN004、
		uro:geometrySrcDesc	法	FN008、
				FN009
	DT035	uro:buildingDataQualityAttribute/	主題属性作成方	FN004、
		uro:thematicSrcDesc	法	FN008、
				FN009
	DT036	uro:buildingDataQualityAttribute/	テクスチャ作成	FN004、

				uro:appearanceSrcDesc	方法	FN008、
						FN009
			DT037	uro:buildingDataQualityAttribute/	詳細 LOD	FN004、
				uro:lodType		FN008、
						FN009
			DT038	uro:buildingDataQualityAttribute/	LOD1 の立ち上	FN004、
				uro:lod1HeightType	げに使用する建	FN008、
					築物の高さ	FN009
道路	tran:Roa	主題属性	DT039	core:creationDate	作成日	FN110、
LOD0 ·	d					FN111、
LOD1 ·						FN112、
LOD2			DT040	tran:function	機能	FN110、
						FN111、
						FN112、
			DT041	tran:class	分類	FN110、
						FN111、
						FN112、
			DT042	tran:usage	用途	FN110、
						FN111、
						FN112、
		空間属性	DT043	tran:lod0Network	lod0 ネットワー	FN110、
					ク	FN111、
						FN112、
			DT044	tran:lod1MultiSurface	lod1 面	FN110、
						FN111、
						FN112、
			DT045	tran:lod2MultiSurface	lod2 面	FN110、
						FN111、
						FN112、
		関連役割	DT046	uro:roadStructureAttribute	道路構造	FN110、
						FN111、
						FN112、
		主題属性	DT047	uro:roadStructureAttribute/uro:se	区間種別	FN110、
				ctionType		FN111、
						FN112、
			DT048	uro:roadStructureAttribute/uro:wi	幅員	FN110、
				dth		FN111、

					FN112、
	関連役割	DT049	uro:TransportationDataQualityAttr	データ品質	FN110、
			ibute		FN111、
					FN112、
	主題属性	DT050	uro:TransportationDataQualityAttr	地図情報レベル	FN110、
			ibute/uro:srcScale		FN111、
					FN112、
		DT051	uro:TransportationDataQualityAttr	幾何属性作成方	FN110、
			ibute/uro:geometrySrcDesc	法	FN111、
					FN112、
		DT052	uro:TransportationDataQualityAttr	主題属性作成方	FN110、
			ibute/ uro:thematicSrcDesc	法	FN111、
					FN112、

2) 利用したその他のデータ

1. データー覧

ID	エリア	活用データ	内容	データ	更新情報	出所	データを
	(都市)			形式			利用した
							機能(ID)
DT101	茅野市	地番図データ	地番を示す面データ。地	Shapefile	R6.6	茅野市	FN002、
			番検索機能·申請範囲選				FN004、
			択機能で活用する。				FN007、
							FN008、
							FN009、
							FN013、
							$FN102\sim$
							FN113
DT102	茅野市	建築基準法第	建築基準法 22 条指定区	Shapefile		茅野市	FN004、
		22 条区域デー	域を示す面データ。				FN008、
		タ	都市計画課での事前相				FN009、
			談案内おいて、申請地に				FN102、
			対し、屋根の不燃化措置				FN108
			の必要有無の判定を行				
			う。				
DT103	茅野市	都市施設デー	都市施設を示す面デー	Shapefile		茅野市	FN004、

表 4-242 利用したその他データ(一覧)

						-	
		<i>у</i>	タ。				FN008、
			都市計画課での事前相				FN009、
			談案内において、申請地				FN102、
			に対し、都市施設が含ま				FN108
			れるか判定し、地区計画				
			名称の案内を行う。				
DT104	茅野市	都市計画法第	過去の開発許可区域を	Shapefile	R6	茅野市	FN004、
		29 条開発許可	示す面データ。				FN008、
		区域データ	都市計画課での事前相				FN009、
			談案内において、申請地				FN102、
			に対し、過去に 29 条許				FN108
			可が行われた区域か判				
			定を行う。				
DT105	茅野市	都市計画道路	都市計画道路計画区域	Shapefile		茅野市	FN004、
		計画区域デー	を示す面データ。				FN008、
		タ	都市計画課での事前相				FN009、
			談案内において、申請地				FN102、
			に対し、都市計画道路計				FN108
			画区域か判定を行う。				
DT106	茅野市	土地区画整理	土地区画整理事業区域	Shapefile		茅野市	FN004、
		事業区域デー	を示す面データ。				FN008、
		タ	都市計画課での事前相				FN009、
			談案内において、申請地				FN102、
			に対し、土地区画整理事				FN107、
			業区域か判定を行い、土				FN108
			地区画整理事業名称の				
			案内を行う。				
DT107	茅野市	都市機能誘導	都市機能誘導区域を示	Shapefile		茅野市	FN004、
		区域データ	す面データ。				FN008、
			都市計画課での事前相				FN009、
			談案内において、申請地				FN103、
			に対し、都市機能誘導区				FN108
			域か判定を行う。				
DT108	茅野市	居住誘導区域	居住誘導区域を示す面	Shapefile		茅野市	FN004、
		データ	データ。				FN008、
			都市計画課での事前相				FN009、
			談案内において、申請地				FN103、

			に対し、居住誘導区域か				FN108
			判定を行う。				
DT109	茅野市	グリーンヒル	グリーンヒルズヴィレ	Shapefile		茅野市	FN004、
		ズヴィレッジ	ッジ建築協定区域を示				FN008、
		建築協定区域	す面データ。				FN009、
		データ	都市計画課での事前相				FN102、
			談案内において、申請地				FN108
			に対し、グリーンヒルズ				
			ヴィレッジ建築協定区				
			域か判定を行い、建築基				
			準申し合わせ事項の意				
			見書が必要な旨、案内を				
			行っている。				
DT110	茅野市	エコタウン信	エコタウン信州茅野建	Shapefile		茅野市	FN004、
		州茅野建築協	築協定区域を示す面デ				FN008、
		定区域データ	ータ。				FN009、
			都市計画課での事前相				FN102、
			談案内において、申請地				FN108
			に対し、エコタウン信州				
			茅野建築協定区域か判				
			定を行う。				
DT111	茅野市	景観づくり条	景観づくり条例区域を	Shapefile		茅野市	FN004、
		例区域データ	示す面データ。				FN008、
			都市計画課での事前相				FN009、
			談案内において、申請地				FN102、
			に対し、景観づくり条例				FN106、
			区域か判定を行い、景観				FN108
			地地区情報の案内を行				
			っている。				
DT112	茅野市	屋外広告物区	屋外広告物の規制区域	Shapefile	R6	茅野市	FN004、
		域データ	を示す面データ。				FN008、
			都市計画課での事前相				FN009、
			談案内において、申請地				FN102、
			に対し、屋外広告物の規				FN108
			制区域に含まれるか判				
			定を行う。				
DT113	茅野市	若葉台建築協	若葉台建築協定区域を	Shapefile		茅野市	FN004、

		定区域データ	示す面データ。				FN008、
			 商工課での事前相談案				FN009、
			内において、申請地に対				FN102、
			 し、若葉台建築協定区域				FN108
			か判定を行い、建築基準				
			申し合わせ事項の意見				
			書が必要な旨の案内を				
			行う。				
DT114	茅野市	標高 1,500m 以	標高 1,500m 以上の区	Shapefile		茅野市	FN004、
		上区域データ	域を示す面データ。				FN008、
			環境課での事前相談案				FN009、
			内において、申請地に対				FN102、
			し、標高 1,600m 以上の				FN108
			高標高値での開発申請				
			時に意見書が必要にな				
			る可能性がある旨の案				
			内を行う (データの精度				
			による判定漏れを考慮				
			し、標高 1,500m から判				
			定を行っている。)。				
DT115	茅野市	自然公園法区	自然公園法に関する規	ShapeFile		茅野市	FN004、
		域データ	制区域を示す面データ。				FN008、
			長野県での事前相談案				FN009、
			内において、申請地に対				FN102、
			し、自然公園法に関する				FN108
			規制区域に含まれるか				
			判定を行う。				
DT116	茅野市	埋蔵文化財包	埋蔵文化財への保護措	Shapefile	R6.6	茅野市	FN004、
		蔵地区域デー	置が必要な区域を示す				FN008、
		タ	面データ。				FN009、
			文化財課での事前相談				FN102、
			案内において、申請地に				FN108
			対し、埋蔵文化財への保				
			護措置が必要な旨の案				
			内を行う。				
DT117	茅野市	道路台帳図郭	道路台帳図を管理する	Shapefile		茅野市	FN004、
		データ	図郭データ。				FN008、
			-				
-------	-----	--------	---------------	-----------	------	-----	--------
			道路台帳図のファイル				FN009、
			名番号を属性に保持し、				FN102、
			申請地の道路台帳平面				FN108、
			図をリンク付けし、公開				FN113
			する。				
DT118	茅野市	道路台帳図デ	道路台帳平面図画像デ	PDF	R6.6	茅野市	FN008、
		ータ	ータ。				FN009
			建設課での事前相談案				
			内において、申請地に対				
			し、道路台帳図平面図の				
			画像データを公開する。				
DT119	茅野市	消火栓箇所デ	消火栓位置を示す点デ	Shapefile	R6.6	茅野市	FN004、
		ータ	ータ。				FN008、
			消防課での事前相談案				FN009、
			内において、申請地から				FN104、
			60m 以内に消火栓が配				FN108、
			置されているか判定を				FN109
			行う。				
DT120	茅野市	防火水槽箇所	防火水槽位置を示す点	Shapefile		茅野市	FN004、
		データ	データ。				FN008、
			消防課での事前相談案				FN009、
			内において、申請地から				FN104、
			120m 以内に防火水槽				FN108、
			が配置されているか判				FN109
			定を行う。				
DT121	茅野市	河川法データ	一級河川、準用河川を示	Shapefile		茅野市	FN004、
			す線データ。				FN008、
			建設課での事前相談案				FN009、
			内において、一級河川、				FN104、
			準用河川の管理地界か				FN108、
			ら 18mの保全区域内で				FN109
			開発を行う場合、手続き				
			が必要な旨の案内を行				
			う(データの精度による				
			判定漏れを考慮し、線デ				
			ータから 30m の範囲か				
			ら判定を行っている)。				

DT122	茅野市	下水道データ	下水道管渠位置を示す	Shapefile		茅野市	FN004、
			線データ。				FN008、
			水道課での事前相談案				FN009、
			内において、申請地と下				FN102、
			水道管渠の接続工事の				FN108、
			際に同意書が必要な旨				FN109
			の案内を行う。				
DT123	茅野市	森林区域デー	伐採の届出が必要な区	Shapefile	R6.6	茅野市	FN004、
		タ	域を示す面データ。				FN008、
			農林課での事前相談案				FN009、
			内において、申請地に対				FN102、
			し、伐採の届出(森林法				FN108、
			第10条の8第1項)が				FN109
			必要な旨の案内を行う。				
DT124	茅野市	農業振興地域	農業振興地域整備計画	Shapefile	R6.6	茅野市	FN004、
		整備計画区域	区域を示す点データ。				FN008、
		データ	農業委員会事務局での				FN009、
			事前相談案内において、				FN102、
			申請地に対し、農業振興				FN108、
			地域整備計画区域に含				FN109
			まれるか判定を行う。				
DT125	茅野市	航空写真デー	2020 年度撮影航空写真	JPEG		茅野市	FN001
		タ	画像データ。				
			地盤データ上に重ね合				
			わせ、背景データとして				
			表示する。				
DT126	茅野市	地盤データ	国土地理院が公開する	Shapefile		国土地理	FN001
			地盤データ。			院	
			基盤地図情報の DEM か				
			ら、Terrain に変換し、				
			3D 地図の基盤データと				
			して表示する。				
DT127	茅野市	区割り線デー	道路形状・道路タイプが	Shapefile	R6.6	茅野市	FN008、
		タ	変更となる部分でのデ				FN009、
			ータ。最小幅員箇所・最				FN110、
			大幅員箇所を案内する				FN111
			ための表示レイヤとし				
1	1	1	1				

-							
			て使用する。				
			<区割り線の配置する				
			内容>				
			・幅員の変更箇所				
			・舗装資材の変更箇所				
			(簡易アスファルト、コ				
			ンクリート、砂利 な				
			ど)				
			・側溝の変更箇所(L 字				
			型、U字型、フタあり・				
			なし など)				
			・防護柵の変更箇所(ガ				
			ードレール・フェンス				
			など)				
DT128	茅野市	道路中心線デ	道路中心・道路番号を示	Shapefile	R6.6	茅野市	FN008、
		ータ	すラインデータ。				FN110、
			道路幅員を取得するた				FN111
			めの中間ファイルとし				
			て使用する。				
DT129	茅野市	道路部幅員デ	側溝を含む道路部分の	Shapefile	R6.6	茅野市	FN008、
		ータ	幅員データ。				FN009、
			申請地に隣接する最大				FN110、
			値幅員・最小値幅員の案				FN111
			内データとして使用す				
			る。				
DT130	茅野市	車道幅員(側溝	側溝を除く車道部分の	Shapefile	R6.6	茅野市	FN008、
		除く)データ	幅員データ。				FN009、
			申請地に隣接する最大				FN110、
			値幅員・最小値幅員の案				FN111
			内データとして使用す				
			る。				
DT201	木更津	地番図データ	地番を示す面データ。地	Shapefile	新規	木更津市	FN002、
	市		番検索機能·申請範囲選				FN004、
			択機能で活用する。				FN007、
							FN008、
							FN009、
							FN013、

							FN102~
							FN113
DT202	木更津	市街化区域	都市計画区域のうち、優	Shapefile	新規	木更津市	FN004、
	市		先的に市街化を進める				FN008、
			範囲を示す面データ。				FN009、
			都市計画の整合につい				FN102、
			て事前相談要否の判定				FN108、
			に用いる。				FN109
DT203	木更津	市街化調整区	都市計画区域のうち、市	Shapefile	新規	木更津市	FN004、
	市	域	街化を抑制する範囲を				FN008、
			示す面データ。				FN009、
			都市計画の整合につい				FN102、
			て事前相談要否の判定				FN108、
			に用いる。				FN109
DT204	木更津	土地区画整理	県が実施する土地区画	Shapefile	新規	木更津市	FN004、
	市	事業(金田西地	整理事業区域を示す面				FN008、
		区)	データ。				FN009、
			申請地に対し、土地区画				FN102、
			整理事業区域に含まれ				FN108、
			るか判定を行う。				FN109
DT205	木更津	消防水利	消火栓・防火水槽などの	Shapefile	新規	木更津市	FN004、
	市		位置を示す点データ。				FN008、
			消防本部警防課での事				FN009、
			前相談案内において、申				FN104、
			請地から 100m 又は				FN108、
			120m 以内に消防水利				FN109
			施設が配置されている				
			か判定を行う。				
DT206	木更津	地図区分	消防水利の基準を判断	Shapefile	新規	木更津市	FN004、
	市		する区分(市街地、準市				FN008、
			街地、商業・工業、その				FN009、
			他)。区分により消防水				FN102、
			利との距離を判断する。				FN108、
							FN109
DT207	木更津	埋蔵文化財包	埋蔵文化財への保護措	Shapefile	新規	千葉県	FN004、
	市	蔵地	置が必要な区域を示す				FN008、
			面データ。				FN009、

			文化財課での事前相談				FN102、
			案内において、申請地に				FN108
			対し、埋蔵文化財への保				
			護措置が必要な旨の案				
			内を行う。				
DT208	木更津	航空写真	2024 年度撮影航空写真	JPEG	新規	木更津市	FN001
	市		画像データ。				
			地盤データ上に重ね合				
			わせ、背景データとして				
			表示する。				
DT209	木更津	地盤データ	国土地理院が公開する	Shapefile	新規	国土地理	FN001
	市		地盤データ。			院	
			基盤地図情報の DEM か				
			ら、Terrain に変換し、				
			3D 地図の基盤データと				
			して表示する。				

2. データサンプル(イメージ)

ID	活用データ	サンプル・イメージ								
DT101 DT201	地番図データ						In the second se			
		wkt_geom	地番ID	地番	₽ĵŢID	result_co lumn1	result_co lumn2	result_co lumn3	result_co lumn4	result_c olumn5
		MultiPolygon (((-25066.54300999862971366 - 1041.61935999779916084, -25071.69808999560691941 - 1041.62328999891087733, -25072.88310999823079328 - 1041.27027999754136545, -25074.97613999729219358 - 1040.565624999883525561, -25075.9821399978525591 - 1040.24423999703435584, -25075.50814000015452621 - 1039.12424999746258436, -25066.54300999862971366 - 1041.61935999778916084)))	34001	6223-2	60	6223-2				
		Multi-biggon ((-2019-0.087/600023822417 2717.8547900010757985, -20787.71168999870860716 2715.58069001849688, -20790.15664999782145605 2693.98965000089719979, -20786.66059999959907145 2684.74256000289419167, -20785.95656999926723074 2676.22752000125137783, -20786.47254000051543699 2666.02449000278056701, -20787.97252999818010721 2657.13445000249218239, -20810.20275999772638897 2663.09080000247422504, -20825.35790999777236721 2666.86601000309201481, -20807.73689999914131477 2722.01298000258975662, -20794.08576000023822417	34002	1634-1	80	1634-7				
		111.02475001075007/ MultiPolygon ((<27483.46887999972750549	34003	1770-7	40	1770-7				
DT102	建築基準法第 22 条区域 データ					in the second se				

表 4-243 利用したその他データ(サンプル)

DT103	都市施設データ	
DT104	都市計画法第 29 条開発 許可区域データ	
DT105	都市計画道路計画区域 データ	

DT106 DT204	土地区画整理事業区域 データ	
DT107	都市機能誘導区域データ	
DT108	居住誘導区域データ	
DT109	グリーンヒルズヴィレ ッジ建築協定区域デー タ	

DT110	エコタウン信州茅野建 築協定区域データ	
DT111	景観づくり条例区域デ ータ	
DT112	屋外広告物区域データ	

DT113	若葉台建築協定区域デ ータ	
DT114	標高 1,500m 以上区域デ ータ	
DT115	自然公園法区域データ	
DT116 DT207	埋蔵文化財包蔵地区域 データ	

DT117	道路台帳図郭データ	
DT118	道路台帳図データ	
DT119	消火栓箇所データ	
DT120	防火水槽箇所データ	

DT121	河川法データ	
DT122	下水道データ	
DT123	森林区域データ	
DT124	農業振興地域整備計画 区域データ	

DT125 DT208	航空写真データ	
DT126	地盤データ	
DT209		
DT127	区割り線データ	

DT128	道路中心線データ	
		wkt_geom object_id code 路線番号 路線名称 道路種別 check MultiLineString((- 26340.31450000032782555 - 2490.11160000041127205, - 26243.02730000019073486 - 2488.4169999943375587)) 56 9102000 43668 3 6 6 8 号線 市道その他 MultiLineObjerge((- 2488.41699999943375587)) 56 9102000 43668 3 6 6 8 号線 市道その他
		MURILINEString ((- 27408.8350999979287386 - 2518.9846000000834465, - 27419.91000000014901161 - 2522.47069999948143959))
		MultiLineString ((- 27286.817200000397861 - 2626.666620000079274178, - 27285.0197000006258488 - 2611.52569999918341637))
DT129	道路部幅員データ	

DT130	車道幅員(側溝除く)デ ータ	
DT202	市街化区域	
DT203	市街化調整区域	

DT205	消防水利	
DT206	地図区分	

4-5-2. 生成・変換したデータ

生成・変換したデータなし

4-6. ユーザーインタフェース

4-6-1. 画面一覧

1) 事業者・行政担当者共通画面

表 4-244 事業者・行政担当者共通画面一覧

※赤文字:新規追加、既存改修の画面

ID	連携(ID)	画面名	画面	前說明	関連する
					機能 (ID)
SC001	SC102,	地番検索画面	•	地番検索結果を表示する。	FN002
	SC103,				
	SC202				
SC002	SC102,	レイヤー覧表示画	•	各種 3D データ・開発許可判定データを一覧表	FN004
	SC202	面		示する。	
			•	画面のチェックボックスから、地図上にレイヤ	
				表示の追加・削除を行う。	
			•	ドラッグアンドドロップで地図上に表示して	
				いるレイヤの表示順の並び替えを行う。	
SC003	SC102、	3D ビュー・2D ビュ	•	開発許可申請機能の 3 次元地図 <mark>又は 2 次元地</mark>	FN001
	SC202	—		図を表示する。	
			•	表示中の地図(3次元・2次元)を切り替える。	
SC004	SC205、	申請ファイル選択	•	全ての版情報の申請ファイルを一覧表示する。	FN022,
	SC213		•	申請ファイルをダウンロードする。	FN039,
					FN049

2) 事業者向け画面

ID	連携(ID)	画面名	画面説明	関連する
				機能
				(ID)
SC101	SC003	利用者規約・アンケ	 ● 開発許可申請機能の利用規約を表示し、同意の 	FN003,
		ート画面	意思を確認する。	FN005
			● 開発許可申請機能の利用目的を選択して、アン	
			ケート収集の画面を別タブで開く。	
SC102	SC001,	事業者トップ画面	● 初期表示時に、「検索」タブ、「地図検索(地番)」	FN002,
	SC002,		ラジオボタンの選択状態により【SC001】と	FN004,
	SC103,		【SC113】を表示する。	FN015
	SC113		● 【SC001】に、検索条件を入力して、検索を行	
			うと、【SC103】を表示する。	
			● 「地図選択」ラジオボタンを選択すると、	
			【SC103】へ切り替わる。	
			● 「レイヤ」タブを選択すると、【SC002】を表	
			示する。	
SC103	SC001,	申請対象地番選択	● 申請対象地番の選択方法は以下の3パターン	FN002,
	SC102,	画面	とする。	FN007
	SC104		▶ 地図検索 (地番):【SC001】 の検索結果一	
			覧から選択する。	
			▶ 地図選択:【SC001】を、入力不可にする。	
			地番上で、クリックした地点に該当する	
			筆界を選択する。	
			● 地図選択:【SC001】を、入力不可にする。 地番	
			上のドラッグした範囲に含まれる筆界を選択	
			する。	
SC104	SC103,	申請区分選択画面	● 「開発許可」と「その他」どちらかを選択する。	FN006
	SC105		初期表示時、「開発許可」がデフォルト選択さ	
			れる。	
			● 選択結果から、画面に表示する開発許可申請の	
			申請区分リストが切り替わる。	
			● システム構築時の設定に従い申請区分の必須	
			チェックを行う。	

表 4-245 事業者向け画面一覧

SC105	SC102,	概況診断結果表示	•	選択した地番と申請区分をもとに、開発許可申	FN008,
	SC106,	画面		請に適しているか、判定結果を一覧表示する。	$FN101\sim$
	SC107,		•	判定結果をクリックすると判定に用いた GIS	FN113
	SC108			データを 3D 都市モデルに重畳表示し、画面右	
				下に判定結果の詳細・補足説明文を表示する。	
				参考資料がある場合、リンクを表示する。	
			•	参照資料のリンクをクリックすると、【SC106】	
				を別タブに開く。	
SC106	SC105	概況診断関連資料	•	道路台帳図(画像又は PDF)を表示する。	-
		画面			
SC107	SC102,	帳票出力画面	•	概況診断結果を帳票出力する。	FN003,
	SC118		•	帳票出力完了した3秒後に、アンケート収集画	FN009
				面を別タブで開く。	
SC108	SC105,	申請者情報入力画	•	開発許可申請の申請者情報を入力する。	FN010,
	SC109	面			FN029,
					FN034
SC109	SC108,	申請対象ファイル	•	開発許可申請の申請区分に関連付けたファイ	FN011,
	SC110	アップロード画面		ルをアップロードする。	FN030,
					FN035
SC110	SC109,	申請内容確認画面	•	開発許可申請の入力情報・ファイル情報に相違	FN011,
	SC112			ないか確認する。	FN030,
					FN035
SC111	-	概況診断レポート	•	概況診断レポート(回答内容を含む)作成の進	FN009
		生成画面		捗を表示する。	
SC112	SC101	申請完了画面	•	開発許可申請が完了したことを通知する。	FN003,
			•	申請完了した3秒後に、アンケート収集画面を	FN012,
				別タブで開く。	FN013,
					FN031,
					FN036
SC113	SC114	申請ID・パスワード	•	申請時の ID・パスワードを認証する。	FN015
		認証画面			
SC114	SC102,	回答内容確認画面	•	行政担当者からの回答内容を確認する。	FN016,
	SC115,		•	「事前相談」、「事前協議」、「許可判定」をタブ	FN017,
	SC116			で切替え表示し、各申請区分に対する回答内容	FN018,
				を表示する。	FN032,
			•	行政担当者からの回答内容 <mark>と発行可能な帳票</mark>	FN038
				を帳票出力する。	

			•	回答内容から、再申請必要かを確認する。	
			•	回答に対して問合せを行う場合、【SC116】で	
				問合せを行う。	
			•	回答内容横に問合せ状態を表示する。30 秒お	
				きに読み込んで表示を更新する。	
			•	事前協議の場合、事業者から回答内容を入力し	
				て、行政への通知を行う。	
SC115	SC114	再申請画面	•	再申請を行う申請区分を「事前相談」、「事前協	FN014,
				議」、「許可判定」から選択し、申請区分に応じ	FN033,
				た追加情報の入力と申請ファイル登録を行い、	FN037
				再申請を行う。	
SC116	SC114,	問合せ画面	•	行政からの回答に対して、事業者からチャット	FN019
	SC117,			形式で問合せを行う。	
	SC004		•	問合せを投稿後、行政担当者へメール通知を行	
				う。	
			•	問合せ内容は 30 秒おきに読み込んで表示を更	
				新する。	
			•	事前相談でのやり取り・事前協議でのやり取	
				り・許可判定でのやり取りを区切り表示する。	
SC117	SC116	問合せファイル選	•	問合せ内容に関する添付ファイルをアップロ	FN019
		択画面		ードする。	
SC118	-	アンケート収集画	•	事業者向けのアンケート画面を表示する。	FN003
		面(事業者)	•	アンケート画面は別タブで別サイトを開く	
			•	遷移先のアンケート画面 URL はシステム設定	
				から変更可能	

3) 行政向け画面

ID	連携(ID)	画面名	画面説明	関連する機能
				(ID)
SC201	SC003,	ログイン認証画	● 行政担当者の ID・パスワードを認証する。	FN020,
	SC217	面	● 認証成功した3秒後に、アンケート収集画面	FN003
			を開く。	
SC202	SC001,	行政トップ画面	画面表示は以下の3パターンとする。	FN002,
	SC002,		● 「地図検索」タブ	FN004,
	SC201,		▶ 【SC001】地番検索画面を表示し、結果	FN028
	SC203,		一覧に地番に対する申請のステータス	
	SC204,		を表示する。	
	SC205,		▶ ログインユーザーの所属部署宛の問合	
	SC213		せ・回答情報を一覧表示する。	
			▶ 問合せ・回答一覧は 30 秒おきに読み込	
			んで表示を更新する。	
			▶ 問合せ・回答一覧の詳細ボタンから、	
			【SC205】、【SC213】へ遷移する	
			➢ 回答情報は申請段階ごとに集約して表	
			示する。	
			● 「申請情報検索」タブ	
			▶ 【SC203】申請・問合せ情報検索画面を	
			表示する。	
			● 「レイヤ」タブ	
			● 【SC002】レイヤー覧表示画面を表示する。	
SC203	SC204	申請・問合せ情	 ● 区分:申請情報を選択する場合、申請時の入 	FN021,
		報検索画面	力情報と申請の担当課、回答者を検索条件と	FN027
			して、申請情報を検索する。	
			● 区分:問合せ情報を選択する場合、申請時の	
			入力情報と問合せ内容の担当課、回答者を検	
			索条件として、問合せ情報を検索する。	
SC204	SC203,	検索結果一覧表	 ● 申請・問合せ情報検索の検索結果を一覧表示 	FN021,
	SC205,	示画面	する。	FN027
	SC213		● 表示項目で昇順・降順でソートできる。	
			● 表示している一覧を CSV ファイルで出力す	
			3	

表 4-246 行政向け画面一覧

SC205	SC202,	申請情報詳細画	•	開発許可申請情報の詳細情報を表示する。	FN021,
	SC004,	面	•	「事前相談」、「事前協議」、「許可判定」をタ	FN027
	SC213,			ブで切替え表示し、各申請区分に対する回答	
	SC215,			内容を表示する。	
	SC216		•	申請ファイルと概況診断レポートを参照す	
				3.	
			•	回答内容の履歴を参照する。	
			•	回答ファイルの更新履歴を参照する。	
SC207	SC205,	回答登録画面	•	SC215 申請段階画面で選択した申請段階	FN023 <mark>,</mark>
	SC208,			(「事前相談」、「事前協議」、「許可判定」)に	FN040,
	SC209,			応じた回答入力フォームを表示する。	FN046,
	SC210,		•	申請情報に対し、回答を記載する。	FN050
	SC211,		•	回答ファイルを追加・編集・削除する。	
	SC215				
SC208	SC207	回答テンプレー	•	テンプレートを選択して、回答内容の末尾に	FN023
		ト選択画面		追記する。	
SC209	SC207,	回答ファイル選	•	PC から添付したい回答ファイルを選択す	FN023 <mark>,</mark>
	SC210	択画面		る。	FN040,
			•	申請情報の申請ファイル又は登録済みの回	FN050
				答ファイルから引用して回答ファイルとす	
				る。	
SC210	SC207,	回答ファイル赤	•	画像ファイルに赤字・枠線・マーカーなどで	FN023 <mark>,</mark>
	SC209	入れ画面		添削・修正を行う。	FN040,
					FN050
SC211	SC217	回答登録完了画	•	申請情報への回答が完了したことを表示す	FN024 <mark>,</mark>
		面		る。	FN041,
					FN051
SC212	-	回答完了通知画	•	事業者に対し、回答が完了したことを通知す	FN025 <mark>,</mark>
		面		る。	FN042,
					FN047,
					FN052
SC213	SC202,	問合せ画面	•	事業者・行政担当課からの問合せに返答す	FN026 <mark>,</mark>
	SC205,			る。	FN048,
	SC004,		•	別担当課(複数可)へ問合せ内容に関する問	FN053
	SC214			合せを投稿する。	
			•	事業者からの問合せファイル、申請情報の全	
				ての版情報の申請ファイル、問合せにひも付	

				く回答ファイルを参照する。	
			•	問合せにひも付く申請情報の詳細を参照す	
				る。	
			•	事前相談でのやり取り・事前協議でのやり取	
				り・許可判定でのやり取りを区切り表示す	
				る。	
SC214	SC213	宛先選択画面	•	問合せに対する回答者を指定する。	FN026,
					FN048,
					FN053
SC215	SC205,	申請段階選択画	•	回答を行う申請段階(「事前相談」「事前協議」	FN023,
	SC207	面		「許可判定」)を選択する。	FN040,
					FN050
SC216	SC205,	回答通知確認画	•	回答通知を行う前に回答通知する内容を確	FN025,
	SC212	面		認する。	FN042,
			•	申請種別を選択し、通知対象の回答を選択す	FN052
				る。	
SC217	-	アンケート収集	•	行政向けのアンケート画面を表示する。	FN003
		画面(行政)	•	アンケート画面は別タブで別サイトを開く	
			•	遷移先のアンケート画面 URL はシステム設	
				定で変更可能	

4-6-2. 画面遷移図

1) 事業者向け画面



図 4-114 事業者向け画面遷移図(1/2)



図 4-115 事業者向け画面遷移図(2/2)

2) 行政向け画面



図 4-116 行政向け画面遷移図

4-6-3. 各画面仕様詳細

- 1) 事業者・行政担当者共通画面
- 1. 【SC001】地番検索画面
- ● 画面の目的・概要
 - 事業者と行政担当者が単体機能として利用するほか、申請範囲選択時にも用いる。申請範囲選択時には、【SC103】に選択した地番を蓄積し、リスト表示する
 - 町丁名指定には、リストから選択する方法と、かな検索する方法がある。町丁名フォームをクリック すると、リストが表示され、選択肢を押下することで選択できる。「かな検索」ボタンを押下すると、 かな検索画面が表示され、かな文字を入力することで任意の選択肢を選択できる
 - ▶ 地番フォームに文字列を入力すると、「検索」ボタン押下時に前方一致検索結果を表示する
 - 「検索」ボタンを押下すると、町丁名が入力されたもの、かつ地番が入力された文字列に対し前方一 致するものをリストアップする。両入力部が空白の状態で検索はできない。検索結果が 5,000 件を 超えた場合、5,000 件だけリストアップする
 - 検索結果に該当する区域は 3D ビュー・2D ビュー上に赤枠で表示される。検索結果をクリックする と、該当区域がズームされ印がつく
- 画面イメージ



図 4-117 地番検索画面のイメージ

) : 地図検索(3	也番)	🚫 :地図選拔	R
地番検索	R 町丁名	ちの		クリア
検索結果件	地番 数:7件	1443		検索
		大字		地番
0	ちの		1443-1	
	ちの		1443-2	
	ちの		1443-3	
	ちの		1443-4	
	ちの		1443-5	
	ちの		1443-6	
	ちの		1443-7	

図 4-118 地番検索結果画面のイメージ

- 2. 【SC002】レイヤー覧表示画面
- ● 画面の目的・概要
 - > 【SC003】3D ビュー・2D ビュー画面上に表示する地図情報の表示・非表示を操作する
 - ▶ を押下すると、対応したレイヤが地図上に重ねて表示される
 - ▶ 📕 を押下すると、対応したレイヤが非表示になる
 - > フォルダを押下すると、フォルダ内に含まれるレイヤが展開表示される
 - レイヤ又はフォルダをドラッグアンドドロップすることで、レイヤの表示順を入れ替えることがで きる。ランドマーク及び 3D 都市モデルレイヤの並び替えと、レイヤ又はフォルダの親フォルダをま たいだ移動はできない
 - ▶ 「初期表示に戻す」ボタンを押下すると、レイヤの表示状態と並び順を初期状態に戻す」
- 画面イメージ



図 4-119 レイヤー覧表示画面のイメージ

- 3. 【SC003】 3D ビュー・2D ビュー
- ● 画面の目的・概要
 - システムで設定した範囲で 3D 地図と、3D 都市モデル、又は 2D 地図と 2D 建物レイヤが表示される
 - ▶ 「3D・2D」トグルボタンを押下すると表示中の地図(3D・2D)を切り替える
 - ▶ 3D 地図と 2D 地図のどちらを初期表示とするかはシステム設定で変更可能とする
 - ▶ 「Help」ボタンを押下すると新しいタブで操作マニュアルが表示される
 - ▶ 地図右上のボタン(図中赤枠)により縮尺・方向を操作できる
- 画面イメージ



図 4-120 3D ビュー・2D ビュー画面 (3D 表示) のイメージ



図 4-121 3D ビュー・2D ビュー画面(2D 表示)のイメージ

- 2) 事業者向け画面
- 1. 【SC101】利用者規約・アンケート画面
- 画面の目的・概要
 - ▶ 事業者が最初にシステムにアクセスした際に、注意事項などを記載した利用規約画面を表示する
 - ▶ 「トップに戻る」ボタンを押下すると、遷移前画面に戻るかタブが閉じられる
 - 「上記の手続を確認し申請手続を開始する」ボタンを押下すると、利用者アンケート画面を新規タ ブで開く。また、【SC102】事業者トップ画面に遷移する
- 画面イメージ

茅野市開発許可申請シスラ	۶	トップに戻る							
本システムの利用目的を選択してください。 「アンケートへ」ボタンを押していただくと、新しいウィンドウでアンケート画面が開きます。本システム利用後にア ンケートへの回答のご協力をお願いいたします。同ボタンを押下することで、申請手続きおよび回答確認が行えます。									
○ :土地相談 ○ :開発許可申請 ○ :その他									
利用者規約									
 ・市区町村によっては、条例や指導要領等を設けている場合があり、道路・敷地状況等の事前協議を求めていますので、確認申請等を提出する前に必ず建築予定地の市町村と管轄する消防機関に事前協議を行ってください。 ・建築物の確認申請等には、消防法の審査に必要な図面の提出が必要となります。特に、窓等の開口部を示す建具表(寸法、厚さを含む)、消防用設備等の図面の添付が必要となりますので、添付 									
回答確認									
ID/パスワードを入力してください	<i>,</i> ,								
ID									
パスワード		۲							
		回答内容を確認する							

図 4-122 利用者規約・アンケート画面イメージ

- 2. 【SC102】事業者トップ画面
- 画面の目的・概要
 - ▶ 事業者がシステムを操作する際のトップレベル画面を示す
 - 【SC001】地番検索画面、【SC002】レイヤー覧表示画面の表示を、画面左上タブから切り替えられる
- 画面イメージ

PLATEAU	0
 申請したい地番を検索し、検索地果の行をクリックしてください。 	P 17-927198821248
HR Let	
 :地田林市(地面) :地田林市(地面) 	
地醫検索 町丁名 一覧から町丁名を選択 クリア	
地景 地景を入力(例:1-1-1) 検索	
77 E	A CLARKER AND A
	the second s
・申請内容に対する回答確認・肖申請はD・パスワードを入力してください。	
D	
Pass (6)	
回答内容を確認する	ALL REAL CONTRACTOR OF A CONTRACTOR OF
	Goode Annual USER 2011 - 52 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 -

図 4-123 3D ビュー・事業者トップ画面

- 3. 【SC103】申請対象地番選択画面
- ● 画面の目的・概要
 - ▶ 選択した地番を蓄積し、リスト表示する
 - > 【SC102】左上から「検索」タブを選択することで表示される
 - 地図検索モードの場合、画面に表示された【SC001】による地番検索実行後に表示される。検索結果からチェックボックスで選択した区域を格納する。また、選択・格納した区域は黄色で表示される
 - 地図選択モードの場合、地図からクリック又は Alt+ドラッグアンドドロップによって選択された区域を格納する。また、選択・格納した区域は黄色で表示される
 - ▶ 格納された区域は、各行の最右列の (1) を押下することで選択を解除できる
 - 「全て削除」ボタンを押下すると全ての区域の選択を解除できる
 - ▶ 「戻る」ボタンを押下すると【SC102】へ遷移する
 - ▶ 「事前相談」ボタンを押下すると【SC104】へ遷移する

● 画面イメージ

Q P	LATEAU								💿 Help
・申請した	とい地番を検索し、	検索結果の行をクリ	ックしてください。		④ 4データセットが地図上で有効	I H	Contraction of the	the second	
	桃市				and A		10	(Francisco)	
) :地図検索(地番)	:地図選び	5				10	+
地番検索	帮 町丁名	宮川		クリア	1				
油壶は里行	地番	10101		検索		1.03			3D 2D
0.000		大字		地番	The second secon	the second second			Participation of the second
2	宮川		10101-1			10		The second se	Rase Providence
2	宮川		10101-2		1	THE IS I MAN		- Station II	Land Land
	宮川		10101-3		Call 1	p -		CALLER H	The state
	宮川		10101-4					1 (march 1)	1
	AII		10101-5		1 huff				R THE P
(D) === (b)					The second	* ** t		Artes	
中語地	米印况起金		10.00	£ CANA	Faco and	A DESCRIPTION OF THE OWNER OWNER OF THE OWNER			
	大子	10101.1	地鑽		and a prese	al and the second	1	64	
A /11		10101-1						LEP-	
	\$ #	10101-2		Ęō	Lade				
					Goods Applietor/DEIECOLAT BEE-				the second s

図 4-124 地図検索モードによる申請地番選択画面のイメージ



図 4-125 地図選択モード画面のイメージ



図 4-126 地図選択モードで申請地番を選択した画面イメージ

- 4. 【SC104】申請区分選択画面
- 画面の目的・概要
 - 申請区分選択画面では、申請種類プルダウンで申請種類を選択すると、申請種類に応じた申請区分 を表示する
 - 申請種類と申請種類に応じてどの申請区分(事前相談、事前協議、許可判定)まで実施するかはシス テム設定により変更可能
 - ▶ 申請区分の項目数(最大20まで)、項目名、必須有無、選択肢はシステム設定により変更可
 - 全ての入力必須申請区分を入力すると、[概況診断実施]ボタンが有効になる。[概況診断実施]ボタン を押下すると、【SC105】へ遷移する
 - ▶ 「戻る」ボタンを押下すると【SC103】へ遷移する
- 画面イメージ



図 4-127 申請区分選択画面のイメージ

- 5. 【SC105】概況診断結果表示画面
- ● 画面の目的・概要
 - 概況診断実行後の結果表示画面を示す。判定結果概要がリスト表示され、判定結果をクリックする と判定に用いた GIS データを 3D 都市モデルに重畳表示し、画面右下に判定結果の詳細・補足説明 文を表示する。参考資料がある場合、リンクを表示する。リンクをクリックすると別タブに【SC106】 を表示する
 - ▶ 非表示も同様にクリックすると、ハイライトが非表示となる
 - ▶ [出力]ボタンを押下すると【SC107】をダイアログで表示する
 - ▶ [申請]ボタンを押下すると【SC108】へ遷移する
 - ▶ [閉じる]ボタンを押下すると【SC102】へ遷移する

● 画面イメージ



図 4-128 概況診断結果表示画面のイメージ

- 6. 【SC106】概況診断関連資料画面
- 画面の目的・概要
 - 【SC105】で道路台帳図郭レイヤが参照されている場合、補足説明文からリンクをクリックすることで、別タブで道路台帳図(画像又は PDF)を表示する
- 画面イメージ



図 4-129 概況診断関連資料画面のイメージ
- 7. 【SC107】帳票出力画面
- 画面の目的・概要
 - ▶ 印字無しの場合、即時サーバ上で生成した概況診断結果レポートを Excel 形式のレポートとして出 力する
 - ▶ 印字有りの場合、サーバへ帳票生成開始のリクエストを実施し、図 4-66 帳票出力ガイダンスメッセ ージ及び【SC111】を表示する
- 画面イメージ



図 4-130 帳票出力ガイダンスメッセージ

- 8. 【SC108】申請者情報入力画面
- 画面の目的・概要
 - > 概況診断実行後、事前相談を申請する際に申請者情報を入力する
 - > 入力する申請者情報項目はシステム設定で変更可能とする
 - ▶ 申請者情報項目は申請種種類に応じて切替え表示する
 - 氏名・メールアドレスは必須項目とする。以降のメール通知はここで入力したアドレスに送信される。正しい形式で入力後、「次へ」ボタンを押下すると【SC109】へ遷移する
 - ▶ [戻る]ボタンを押下すると【SC105】へ遷移する
- 画面イメージ

申請者の情報を入力してください。 入力が完了したら「次へ」を選択してください。						
申請フォーム						
1. 申請者情報						
下記に入力してください						
氏名	氏名を入力してください					
メールアドレス	メールアドレスを入力してください					
(電話番号)	電話番号を入力してください					
(住所)	住所を入力してください					
灰^	戻る					

図 4-131 申請者情報入力画面のイメージ

- 9. 【SC109】申請対象ファイルアップロード画面
- ● 画面の目的・概要
 - ▶ 申請に関連する図面などをアップロードする
 - ▶ 申請対象ファイルは概況診断結果と申請種類に応じて切替え表示する
 - 初回に申請を行う際は申請段階「事前相談」にひも付く申請ファイルを表示する。再申請を行う際は 前画面で選択した申請段階と初回申請時に選択した申請種類にひも付く、再申請要の申請ファイル を画面に表示して、関連する図面などをアップロードする
 - ▶ 「登録」「追加」ボタンを押下すると、申請ファイルを選択・登録できる
 - ▶ 「削除」ボタンを押下すると、登録された申請ファイルを削除できる
 - ▶ 「拡張子」列で指定されたファイル拡張子のファイルの登録のみ受け付ける
 - 「次へ」ボタンを押下すると、【SC110】へ遷移する。「戻る」ボタンを押下すると、【SC108】へ遷
 移する
- 画面イメージ

申請フォーム					
2. 申請ファイル	,				
下記ファイルの登録をお ※【拡張子】のいずれカ ※拡張子は大文字小文字	願いします(1ファイルあたり上限50M のファイル形式のファイルをアップロ を区別します。	Mまで、合計100Mまで)。 ードしてください。			
対象	拡張子 ファイル名	â la cara de			
(設計説明書)	pdf,tiff,t if,jpg,p ng,dxf, dwg	追加削除			
(位置図)	pdf,tiff,t if,jpg,p ng,dxf, dwg	追加削除			
(区域図)	pdf,tiff,t if,jpg,p ng,dxf, dwg	登録 削除			
(現況図)	pdf,tiff,t if,jpg,p ng,dxf, dwg	登録 削除			
(土地利用計画図)	pdf,tiff,t if,jpg,p ng,dxf, dwg pdf,tiff,t	登録 削除			
灰		戻る			

図 4-132 申請対象ファイルアップロード画面のイメージ

- 10. 【SC110】申請内容確認画面
- ● 画面の目的・概要
 - 選択した申請種類に応じた申請者情報、必要図面のアップロード後、確認画面を表示する。確認画面では、申請種類、申請者情報、申請区分情報及びアップロードするファイルが表示される
 - ▶ 「申請」ボタンを押下すると、【SC111】を表示し申請を実行する
 - ▶ 「戻る」ボタンを押下すると、【SC109】に遷移する
- 画面イメージ



図 4-133 申請内容確認画面のイメージ

- 11. 【SC111】概況診断レポート生成画面
- 画面の目的・概要
 - ▶ 申請に当たって、概況診断結果帳票は必ず作成し、システム内で申請情報に添付して管理する
 - ▶ 概況診断結果帳票の作成進捗を表示する
 - サーバで生成中又は完了した概況診断レポートを一覧表示する。ダウンロードを実施完了した後に、 該当の概況診断レポートが一覧から削除される
- 画面イメージ

PLATEAU				概況診断レポート一覧 👩 Help
 	新結果の詳細・関連地図が1 フリック フリック ンクリック	画面に表示		仮況診断結果_xxxxxx.xisx 振況診断結果_xxxxxx.xisx 振況診断結果_xxxxxx.xisx は Axxxxxxxxxxxxx
概況診断結果				板況診断結果_xxxxx.skx ♀ 面 13.6MB - 2024 05-23 15:00 58
利用	判定結果	#EM		19.6MB - 2024-05-23 15:00:58
町辺道路の福員について(詳細のリンクをクリック すると道路台幅回が表示されます)	★事前相談必要 4F建設課(道路)	申請地範 国内		
辺道語の幅員について	★事前相談必要 4F都市計画課 (道路)		States and	握する道路の報員は以下の通りになります。 ・最大福長(赤線)
記辺道路の幅員について	★事前相談必要 4F都市計画課 (道路)			道訪部福景:3.4m、車道福員:2.4m ■最小福長(青線) 道訪部福長:3.1m、車道福員:2.1m
有火栓の設置等について	★事前相談不要 茅野消防署 消防課(消防法)	中請地範 国内		※両方向の区割り線取得結果による案内です。 ※隣接歩道はありません。 4.0m未満の道路特定については、都市計画課題
観覧文化財に関する手続き	★事前相談不要 尖石縄文考古 館内 文化財課 (文化財保護 法)	98m		TILL MARY CODE CICEUS
###################################		103	Anne E	The F

図 4-134 概況診断レポート生成画面のイメージ ※概況診断レポート生成画面は赤枠で囲む部分

- 12. 【SC112】申請完了画面
- 画面の目的・概要
 - ▶ 申請処理が完了後、事業者が行政担当者からの回答を確認するための ID とパスワードを表示する
 - > 行政担当者からの回答通知予定日数を表示する
 - > 文言や回答通知予定日数は申請種類に応じた内容を表示する
 - ▶ 上記内容はメールでも通知する
 - ▶ × を押下すると【SC102】へ遷移する
- 画面イメージ



図 4-135 申請完了画面のイメージ

- 13. 【SC113】申請 ID・パスワード認証画面
- 画面の目的・概要
 - ▶ 事業者が回答通知を受信後、回答を参照するための認証を行う
 - ▶ 申請時に、発行した ID とパスワードを入力して、認証を行う
 - ▶ から、入力したパスワードの表示・非表示の切替えができる
 - ▶ 「回答内容を確認する」ボタンを押下すると、【SC114】へ遷移する
- 画面イメージ

茅野市開発許可申請システ	۶	トップに戻る					
本システムの利用目的を選択してください。利用目的を選択することで申請手続きおよび回答確認が行えます。 「アンケートへ」ボタンを押していただくと、新しいウィンドウでアンケート画面が開きます。本システム利用後にア ンケートへの回答のご協力をお願いいたします。							
🔵 :土地相談 🔵 :開発許	可申請 🖲 :その他						
	利用者規約						
・市区町村によっては、条例や 議を求めていますので、確認申 に事前協議を行ってください。	・市区町村によっては、条例や指導要領等を設けている場合があり、道路・敷地状況等の事前協議を求めていますので、確認申請等を提出する前に必ず建築予定地の市町村と管轄する消防機関に事前協議を行ってください。						
・建築物の確認申請等には、消 開口部を示す建具表(寸法、厚a	(防法の審査に必要な図面の提出が必要となります。 きを含む)、消防用設備等の図面の添付が必要となり。	特に、窓等の ますので、添付 →					
	上記の手続きを確認し	,申請手続きを開始する					
	回答確認						
ID/パスワードを入力してください							
ID							
パスワード		\$					
		答内容を確認する					

図 4-136 申請 ID・パスワード認証画面のイメージ (1/2)



図 4-137 申請 ID・パスワード認証画面のイメージ(2/2) ※申請 ID・パスワード認証画面は赤枠で囲む部分

14. 【SC114】回答内容確認画面

- 画面の目的・概要
 - ▶ 事業者が行政担当者からの回答を参照する
 - 「事前相談」、「事前協議」、「許可判定」タブで、それぞれの申請種類にひも付く申請・回答を切り替 えて表示する
 - 「回答ファイルー覧」ボタンを押下すると、全ての回答ファイルを一覧表示する。回答内容一覧の行 をクリックすると、該当の回答にひも付けて回答ファイルを一覧に表示する
 - 回答ファイル一覧の「ダウンロード」ボタンを押下すると、行政担当者が登録した回答ファイルをダウンロードする
 - 「申請ファイル一覧」ボタンを押下すると、申請種類に応じた申請時にアップロードした申請ファ イルを一覧表示する
 - ▶ 申請ファイル一覧の「ダウンロード」ボタンを押下すると、申請ファイルをダウンロードする
 - 「通知ファイルー覧」ボタンを押下すると、発行可能な帳票様式を一覧に表示する。「ダウンロード」 ボタンを押下すると、該当の帳票を出力する
 - ▶ 画面右下に縮小表示された 3D ビュー・2D ビューの拡大表示、縮小表示を切り替えできる
 - > 事前協議の場合、行政確定登録未実施の回答に対して合否内容の登録を行い、行政への通知を行う
 - 地図上に申請の対象地番を表示する
 - ▶ 「再申請」ボタンを押下すると【SC115】へ遷移する
 - 問合せボタン 時合せボタン た押下すると 【SC116】 へ遷移する。問い合わせは「事前相談」の場合条項単位、「事前協議」の場合行政担当課単位、「許可判定」の場合全体で問い合わせ可能
 - ▶ 「戻る」ボタンを押下すると【SC102】へ遷移する

● 画面イメージ

「事前相談」「事前協議」「 ファイルがございますので、 「問い合わせ」よりファイル	許可判定」のいずれかを選択して、回答内容を 行をクリックし添付ファイル一覧をご確認くた の追加送信とチャット画面を開くことができま	E確認してください。回答一覧 ださい。 Eす。	値の添付にチェッ	/ クのある回答は、添付	戻る			耳	申請
回答内容確認									
事前相談									
 ■申請種類 ■回答担当課 ■ステータス 	開発許可申請 防災課、農林課、都市計画課 第1版申請中	対象	回答課	判定結果	回答内容	添付 有無	再申請 要否	事前協議 要否	間合せ
 ●申請者情報 ・氏石 ・メールアドレス ・雪話乗号 	XXXXXXX XXXXX@XXX.com	XXXXXについて	XXX課	XXXX:事前相 談必要	XXXXについてXXXX を行う必要がありま す。		不要	必要	
 ・住所 ■開発予定面積 ■開発予定地の利用目的 	1000㎡~ 〕販売または賃貸を目的とした開発	XXXXXについて	XXX課	XXXX:事前相 談必要	XXXXについてXXXX を行う必要がありま す。	~	不要	必要	
		XXXXX について	XXX課	XXXX:事前相 談必要	XXXXについてXXXX を行う必要がありま す。	~	必要	必要	
		XXXXXについて	XXX課	XXXX:事前相 談必要	XXXXについてXXXX を行う必要がありま す。	~	必要	必要	
		XXXXX について	XXX課	XXXX:事前相 談必要	XXXXについてXXXX を行う必要がありま す。		不要	不要	
■XXX							(THE		In the local division of the
回答ファイル一覧		申請ファイル一覧					L L		
申請ファイル一覧		申請ファイル		NA 10	新子 ファイル名		le de		

図 4-138 回答内容確認画面のイメージ(事前相談)

	第1 マノポネット 四次 新売30	K-1+1=	のまで回答は 送付			🕑 Help	1 行数ログアウト	
「単則相説」「単則協議」「計り利定」のいすれがを選択して、回答内容を加 ファイルがございますので、行をクリックし添付ファイル一覧をご確認くださ 「問い合わせ」よりファイルの追加送信とチャット画面を開くことができます	認してください。回告一見の》 い。 。	回転ナエック		戻る			再申請	
回答內容確認								
事前相談 事前協議 許可判定							回答登録	
■申請種別 開発許可申請	関連条項	32協議対	象/行政回答	事業者	合否内容	行政確	定登録日時	
■四者担当林 的火林、魚竹林、卸口目画林 ■ステータス 第1版申請中	○ 都市政策課							1
■中時省情報 ・氏名 xxxxxxx ・メールアドレス <u>xxxxx@xxx.com</u> ・雪話乗号	XXXXの条項につ いて		XXXXの開発はXXXと すること	合意 V	承知しました。			l
・住所 ■開発予定面積 1000㎡~ ■開発予定地の利用目的 販売または賃貸を目的とした開発	XXXXの条項につ いて	32協議	XXXXの開発はXXXと すること	否決 V	XXXについて、XXX としてほしい			ľ
XXX XXX XXX XXX XXX	XXXXの条項につ いて	32協議	XXXXの開発はXXXと すること	否決 V	XXXについて、XXX とさせていただきた い			
	🔎 企画課					合意	2024/5/20	
XXX XXX XXX XXX	XXXXの条項につ いて		XXXXの開発はXXXと すること	合意	承知しました	合意	2024/5/20	
XXX XXX XXX XXX XXX	XXXXの条項につ いて		XXXXの開発はXXXと すること	否決	XXXについて、XXX とさせていただき たい	承諾	2024/5/20	
■ XXX								
回答ファイル一覧	通知ファイル一覧				N-			-
申請ファイル一覧			帳票様式		î La			
通知ファイル一覧	(7020-F) #1	ロレホート				-		
	タウンロード ま	by GUINELIN 思言			_			

図 4-139 回答内容確認画面のイメージ(事前協議)

事前相談」「事前協議」「 ァイルがございますので、 問い合わせ」よりファイル	許可判定」のいずれかを選択して、回答内 行をクリックし添付ファイル一覧をご確認 の追加送信とチャット画面を開くことがで	容を確認してください。回答一覧の添 ください。 きます。	付にチェックのある回答は、添付	戻る	Ĩ	甲申請
答内容確認						
	事前協議 許可判定					
■申請種別 ■回答担当課	開発許可申請 防災課、農林課、都市計画課 第1時由時中	対象	判定結果	回答内容	添付有無	再申請 要否
■ステーダス ■申請者情報	第1版中稿中	XXXXXについて	問題なし	XXX課事前協議内容で合意		不要
・氏名 ・メールアドレス	xxxxxxx xxxxx@xxx.com	XXXXXについて	問題なし	XXX課事前協議内容で合意	1	不要
・電話番号 - 住所		XXXXXCOUT	問題あり	XXX課との調整に不備あり	1	必要
■開発予定面積	1000m ² ~	XXXXXについて	問題あり	XXX課との調整に不備あり	1	必要
■開発予定地の利用日 ■XXX	的 販売または頁頁を日的とした開発	XXXXXについて	問題なし	XXX課事前協議内容で合意		不要
XXX		XXXXXについて	問題なし	XXX課事前協議内容で合意		不要
XXX		XXXXXについて	問題なし	XXX課事前協議内容で合意	1	不要
XXX		XXXXXについて	問題あり	XXX課との調整に不備あり	1	必要
XXX		XXXXXEOUT	問題あり	XXX課との調整に不備あり	J	必要
XXX		XXXXXEDUT	問題なし	XXX課事前協議内容で合意		不更
XXX		XXXXXICONT	開頭たし	YYY 連車前協議内 の で 合き		不重
XXX XXX XXX		XXXXX について	問題なし	XXX課事前協議内容で合意	1	不要
回答ファイル一覧		申請ファイル一覧		1	K TECL	
申請ファイル一覧		5 BB5224A	HR KR7	771A8		1
通知ファイル一覧		9020-ド 概況診断	Há栗レポート xlsx	概況診断結果_90_2024_04_15.xlsx		

図 4-140 回答内容確認画面のイメージ(許可判定)

15. 【SC115】再申請画面

- 画面の目的・概要
 - 事前相談、事前協議、許可判定のうち初回申請時に選択した申請種類に設定されたものをラジオボ タンで表示する
 - ラジオボタンを選択し「再申請」ボタンを押下することで、選択内容に応じた申請入力情報を表示する
 - ▶ すでに申請済みの申請区分を選択した場合、【SC109】へ遷移し、再添付する申請ファイルをアップ ロードする
 - まだ申請を行っていない申請区分を選択した場合、申請に必要な追加入力画面が表示され、項目を 入力する
 - ▶ 追加入力項目はシステム設定で変更可能とする
 - 追加入力情報項目には文字列、日付(カレンダー)、数値、ドロップダウン単一選択、ドロップダウン複数選択を選択可能とする
 - ▶ 「次へ」ボタンを押下すると【SC109】へ遷移する
 - ▶ 「戻る」ボタンを押下すると【SC114】へ遷移する
- 画面イメージ



図 4-141 再申請画面段階種別選択のイメージ

申請区分を選択後、 入力が完了したら「	申請の追加情報を 次へ」を選択して	と入力してくださ こください。	: ل،								
申請フォーム											
	(ださい)										
「記に入力して	(申請理由を	入力してく	ださい								
提出日付	年/月/日				2024	年(令科	桕6年) ,	5月		\uparrow	\downarrow
オプション1	区分1			V	⊟ 28	月 29	火 30	水 1	木 2	金 3	± 4
オプション2	区分2 ×	区分3 ×		V	5 12	6 13	7 14	8 15	9 16	10 17	11 18
面積(ml)	500			\$	19 26	20 27	21 28	22 29	23 30	24 31	25 1
*^		戻る			2 削降	3 £	4	5	6	7 今	8 ∂
				/							

図 4-142 再申請画面追加情報入力のイメージ

16. 【SC116】問合せ画面

- 画面の目的・概要
 - > 行政からの回答に対して、事業者からチャット形式で問合せを行う
 - 「事前相談」、「事前協議」、「許可判定」で分けてそれぞれ表示する。事前相談の場合、条項ごとに、 集約して表示する。事前協議又は許可判定の場合、担当課ごとに、集約して表示する
 - ▶ 問合せがあった旨、行政担当者にメール通知を行う
 - ▶ 問合せ内容に添付してファイルをアップロードする
 - ▶ 問合せしている回答に対する回答登録内容を表示する
 - ▶ 通知済みの回答履歴と回答ファイル、申請ファイルを一覧表示する
 - ▶ 一覧の「プレビュー」ボタンを押下すると、ファイルをブラウザの別のタブに表示する
 - ▶ 一覧の「ダウンロード」ボタンを押下すると、【SC004】へ遷移する

- ▶ 「戻る」ボタンを押下すると【SC114】へ遷移する
- ▶ 添付ファイルボタン 🔗 を押下すると【SC117】へ遷移する
- 画面イメージ

N PLATEAU					Help
問い合わせ内容を入力してください。	(6) 2データセットが地図上で有効	-	Ser Co		
問い合わせチャット		Contraction of the		A Charles	
展る					+ 6
事前相談		SP 2 /	2 Col	25	-
XXXXEOUT			1 A an	5 30	?
FROM: 寧威者 TO: 4F都市計畫課				2	-
2023/10/24/ 16:00			-	The sea se	all an and
回答内容の〇〇について詳細をご教示いただけますでしょう か?				CAN F	
	回答登錄內容	回答履歷一覧			
	対象:★事前相談必要 4F都市計画課 (茅野市景観づくり条例)	回答日時	田苫名	回答内容	回答通知
	判定結果:景観に関する手統き	2023/10/18/ 10:20	4F都市計画課 諏訪建築01 ×	looxはxooxの場合xooxです。	Ø
	回答履歷一覧				
	回答ファイル一覧				
	申請ファイル一覧				
メッセージを入力してください					

図 4-143 問合せ画面のイメージ (1/3)

S PLATEAU					() Help
聞い合わせ内容を入力してください。 問い合わせチャット	◎ 2データセットが地理上で有効				· · · · · ·
μõ			and the		+
		11	The state	- State	0
FROM.事実育 TO:4F都市計算課 2022/10:24/1600 回答内容の〇〇について詳細をご教示いれただけますでしょう か?			3	A A	
	回答登録内容	回答ファイルー覧			
	対象:★事前相談必要 4F都市計画課(茅野市景観づくり条例)	回答ファイル	対象	旅宿子	ファイル名
	判定結果:最観に関する手続き	ダウンロード プレビュー	★事前相談必要 4F都市計画課(茅野市最額づくり条例)	pdf	PDFファイル 1.pdf
	回答理歴一発 回答ファイル一覧	<u> Øウンロード</u> ブレビュー	★事前相談必要 4F部市計画課(茅野市景観づくり条例)	ipg	画像ファイル 1.jpg
	申請ファイル一覧				
xッセージを入力してください 🖉 🔗					

図 4-144 問合せ画面のイメージ (2/3)

PLATEAU					() Help
問い合わせ内容を入力してください。	② 2データセットが地図上で有効	-	april	A.S.	1.2.0
問い合わせチャット			Last Pres		
展る					+ -
			Sec.		
			SK. 2	Stafe	
許可判定				Z	A
FROM: 事業者 TO: 4F都市計画課			A 10	1	Annang man
2023/10/24/ 16:00				1	769 6 CON 196
回答内容の〇〇について詳細をご教示いただけますでしょう か?	回答登録内容	申請ファイルー	lê.		
	対象:★車前相談必要 4F都市計画課 (茅野市景観づくり条例)	申請ファイル	対象	振用子	ファイル名
	判定結果:景観に関する手続き	ダウンロード プレビュー	段时说明書	pdf,jpg.pn g	PDFファイル 2.pdf
	回答規程一覧 回答ファイル一覧	Ø930-F プレビュー	1050	jpeg.png	画像ファイル 5.png
	申請ファイル一覧	ダウンロード	概況診断結果レポート	xlsx	概況診断結果_14_2023_10_17.xlsx
メッセージを入力してください	-				

図 4-145 問合せ画面のイメージ (3/3)

- 17. 【SC117】問合せファイル選択画面
- ● 画面の目的・概要
 - ▶ 「ファイルを選択」ボタンから、添付ファイルを選択する
 - ▶ 選択された添付ファイルを一覧表示する
 - ▶ 「削除」ボタンから、添付ファイルリストから削除する
 - 閉じるボタン × から、添付ファイル一覧をアップロードする
- 画面イメージ

-	ファイル追加 メ								
	添付ファ ファイ	イルを選択してください。 ルを選択							
	No.	ファイル名							
	1	PDFファイル1.pdf	削除						
	2	PDFファイル2.pdf	削除						
	3	PDFファイル3.pdf	削除						

図 4-146 問合せファイル選択画面のイメージ

- 18. 【SC118】アンケート収集画面(事業者)
- 画面の目的・概要
 - ▶ 事業者向けのアンケート画面を表示する
 - ▶ アンケート画面は別タブで別サイトを開く
 - ▶ 遷移先のアンケート画面 URL はシステム設定から変更可能
- 画面イメージ

■ 開発許可・不動産調査等の相談・申請管理シス テム:利用アンケート(事業者)
* 必須
1. 茅野市役所へ訪問するために要した移動時間(片道)を記入してください(分) *
値は数値にする必要があります
2. 事務所所在地を選択してください* 答えの選択 ~
3. 従来の不動産調査等(開発許可等を含む)の市役所への手続き・問い合わせと比較して、新システムはより便利なツールと感じられましたでしょうか*
○ 大いに感じられた(とても満足)
○ 少し感じられた(やや満足)
) ೭ ಶಂಕಾರಿಗಳು
🔿 あまり感じられない(やや不満)
○ 全く感じられない(とても不満)

図 4-147 アンケート収集画面(事業者)のイメージ

- 3) 行政向け画面
- 1. 【SC201】ログイン認証画面
- 画面の目的・概要
 - > 行政担当者が、各課に権限設定されたアカウントでログインするための画面を示す
 - 「ログイン」ボタンを押下した後、認証に成功した場合、【SC202】へ遷移し、同時に開発許可・不 動産調査などの相談・申請システム:【SC217】をブラウザの別タブに表示する
- 画面イメージ

茅野市行政ログ	12
ユーサーIDを入力 パスワードを入力	٥
◆3 ログイン	

事業者の方はこちらから

※同一ブラウザから行政と事業者の同時操作は行えないためご注意ください

図 4-148 ログイン認証画面のイメージ

- 2. 【SC202】行政トップ画面
- ● 画面の目的・概要
 - 行政担当者がシステムを操作する際のトップ画面を示す。【SC003】3D ビュー・2D ビューのほか、 各種機能へアクセスするタブ・ボタンを配置する
 - 使用する機能をタブで選択することで、【SC001】地番検索、【SC203】申請情報検索、【SC002】レイヤー覧表示画面の表示を切り替える。「地図検索」「レイヤ」タブを選択中、ログインした担当課の 未対応回答リスト問合せ一覧が画面下部に表示される
 - 「問合せ」、「事前相談」、「事前協議」、「許可判定」タブで表示する
 - 「問合せ」タブの一覧に、未回答済み問合せリストを表示する。「詳細」ボタンを押下すると、【SC213】 へ遷移する
 - 「事前相談」、「事前協議」、「許可判定」タブの一覧に、担当している未対応案件リストを表示する。 「詳細」ボタンを押下すると【SC205】へ遷移する
 - ▶ 期限の期限日数前になっている案件は赤字で表示する。期間日数はシステム設定で変更可能とする

- ▶ 「行政ログアウト」ボタンを押下するとログアウトし、【SC201】へ遷移する
- 画面イメージ



図 4-149 行政トップ画面のイメージ (1/3)



図 4-150 行政トップ画面のイメージ (2/3)

Q									() Help	1 行政ログアウト
 申請したい地番を検索し、 	検索結果の行をクリックしてく	ださい。	④ 2データセットが地図上で有り			1			1	
地國統黨	中国动物体素							1 -		
也重検索 町丁名	一覧から町丁名を選択	クリア						-	Hand B	
215 215	地番を入力(例:1-1-1)	検索	and the start				1 200	15	S.Con	
中語	大字	地間	and the second second				26		Tour?	30
			T. W. C. F.	11-		1 part of		Contraction of the		
			The second				A Car	124		
			TA POTA		2	A REAL			In Parton	
				TOT	and a	1	2 mm	THE	TT	
						10 A 2 4				<u>ann</u>
問い合わせ、申請に対する	回答要請が下記の事業で求めら	れております。		200	3		and I			
	2 事前協議	許可判定	1	1.5		A State	100	STATE OF		and the second second
27-42	#210	10.05			and the second				RH	
第1版申請中	77	6/8 374	-			E a deside	ALE S	11	Co to the	A T
2版申請中	76	6/10	-		100			1	(Th	a state
1版申請中	75	6/11 2710	THE SA	11		4		The state	a~	A COM
81版申請中	74	6/12					di la	2	12.5	
£156由靖山	73	6/12						Sala Pa		
AND THE T			Geoste Analyticsの利用について 地形5	7-2					1 U.A.	10

図 4-151 行政トップ画面のイメージ (3/3)

- 3. 【SC203】申請・問合せ情報検索画面
- 画面の目的・概要
 - 行政担当者が申請情報について、ステータス、担当課、申請区分と申請追加情報などの条件で該当情報を絞り込む
 - ▶ 「検索」ボタンを押下すると検索を実行し、【SC204】へ遷移する
- 画面イメージ

地図検索	申請	情報検索	بر		
申請情報検索					
■区分					
問い合わせ情報	\sim	開発許可	∨ 事前相調	炎 V	
■申請者情報 氏名		メールアドレス			
テス山テスト					
(電話番号)		(住所)			
■ステータス		■担当課			
未読	\sim			\sim	
■回答者					
			\sim		
■申請区分 条件 1					
開発予定面積		✓ 2,000r	ri~	\sim	
条件 2		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			
特殊な開発行為の有無		× ^{加日} ×	ポズ1 ビリ ×	\sim	
条件 3					
		\mathbf{v}		\sim	2021年(今初6年)5日
■申請追加情報 由請理由		提出日付			
^{平崩241} XXXのために 由詰する		年/月/日			28 29 30 1 2 3 4
+ プシュン 1		+			5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18
区分1	V	スノンヨノZ 区分2×	区分3×		19 20 21 22 23 24 25
両待(ば)	v				26 27 28 29 30 31 1 2 3 4 5 6 7 8
国1月(III) 3000					削除 今日
		(קטא	検索	

図 4-152 申請・問合せ情報検索画面のイメージ

- 4. 【SC204】検索結果一覧表示画面
- 画面の目的・概要
 - > SC203 で検索した申請情報の結果を表示する。各種申請情報をテーブルにして表示する
 - ▶ 「CSV 出力」ボタンを押下すると、表示している一覧を CSV ファイルで出力する
 - ▶ 「▲」「▼」ボタンで検索結果をソートする。現在のソート順を白抜き「△」「▽」で表示する
 - ▶ 「検索条件を表示する」ボタンを押下すると、【SC203】を表示する
 - ▶ 検索結果の一覧表示画面で、行をクリックすると対象地をフォーカス表示する
 - ▶ 「詳細」ボタンを押下すると、「申請情報」を検索している場合【SC205】、「問い合わせ情報」を検索している場合【SC213】へ遷移する
- 画面イメージ



図 4-153 検索結果一覧表示画面のイメージ

- 5. 【SC205】申請情報詳細画面
- 画面の目的・概要
 - > 行政担当者が申請情報の詳細を確認する
 - 「事前相談」、「事前協議」、「許可判定」タブで、それぞれの申請種類にひも付くひも付く申請情報・ 回答を切り替えて表示する
 - 「回答ファイルー覧」ボタンを押下すると、回答ファイルー覧を表示する。「ダウンロード」ボタン を押下すると、添付された回答ファイルをダウンロードする
 - 「申請ファイルー覧」ボタンを押下すると、申請時にアップロードした申請ファイルを一覧表示する。「ダウンロード」ボタンを押下すると、添付された申請ファイルをダウンロードする
 - 「発行様式」ボタンを押下すると、発行可能な帳票リストを一覧表示する。「ダウンロード」ボタン を押下すると、該当の帳票をダウンロードする
 - ▶ 「回答履歴一覧」ボタンを押下すると、回答履歴を一覧表示する
 - ▶ 画面右下に縮小表示された 3D ビュー・2D ビューの拡大表示、縮小表示を切り替えできる
 - ▶ 「回答登録」ボタンを押下すると、【SC215】に遷移する。通知権限を有するユーザーが「回答通知」 ボタンを押下すると、【SC216】に遷移する
 - ▶ ダウンロードする申請ファイルに複数の版情報がある場合、【SC004】を表示する
- 画面イメージ

PLATEAU						6	🕑 Help 🚺	「耐ログアウト」
 「事前相談」「事前協議」 「回答登録」より回答を入力 	「許可判定」から選択した申請区分の詳細情報 し「回答通知」より送信してください。	を閲覧できます。		Ę	戻る 📄 🗌 🗐 🗐	管登録		口答通知
申請情報詳細								
事前相談								
 ■申請種類 ■回答担当課 ■ステータス 	開発許可申請 防災課、農林課、都市計画課 第1版申請中	対象	回答課	判定結果	回答内容	添付 有無	再申請 要否	事前協議 要否
 ■申請者情報 ・氏名 ・メールアドレス ・電話番号 ◆デ 	xxxxxxx xxxxx@xxx.com	XXXXXについて	XXX課	XXXX:事前相談必要	XXXXについてXXXX を行う必要がありま す。		不要	必要
・住所 ■開発予定面積 ■開発予定地の利用目的 ■XXX	1000㎡~ 販売または賃貸を目的とした開発	XXXXXICONT	XXX課	XXXX:事前相談必要	XXXXについてXXXX を行う必要がありま す。	\checkmark	不要	必要
		XXXXXICONT	XXX課	XXXX:事前相談必要	XXXXについてXXXX を行う必要がありま す。	~	必要	必要
		XXXXX について	XXX課	XXXX:事前相談必要	XXXXについてXXXX を行う必要がありま す。	~	必要	必要
		XXXXXICONT	XXX課	XXXX:事前相談必要	XXXXについてXXXX を行う必要がありま す。		不要	不要
■ ^ ^ ^ 回答ファイル一覧	•	申請ファイル一覧				57		
申請ファイル一覧	>	4047747k	ЯB	K \$7	ファイル名	4		
発行様式		9020-F	概況診断結果レポート	xisx 概況診断補	課_90_2024_04_15.xlsx		and the second	
回答履歷一覧								

図 4-154 申請情報詳細画面のイメージ (1/4)

 「事前相談」「事前協議 「回答登録」より回答を 	」「許可判定」から選 、力し「回答通知」より	択した申請区分の詳細 送信してください。	情報を閲覧できます。]	1	戻る	回答登録	回答通知
申請情報詳細				-				
 事前相談 申請種類 回答担当課 ステータス 申請者指報 ・K-ルアドレス •電話番号 ・ビールアドレス •電話番号 ・ビールアドレス •電話番号 ・ビールアドレス •電話番号 *メンス *XXX *XXX	本前格式 開発許可申請 前災線、農林課 第1版申請中 XXXXX XXXX間XXX.com 1000㎡~ 的 販売または賃貸	許可判定 都市計画課 を目的とした開発						

図 4-155 申請情報詳細画面のイメージ(2/4)

PLATEAU						3 Help	
 「事前相談」「事前協議」「許可判定」から選択した申請区分の詳細情報 「回答登録」より回答を入力し「回答通知」より送信してください。 	を閲覧できます。		۶.	実る	回答登録		回答通知
申請情報詳細							
事前相談 事前協議 許可判定							
■申請種類 開発許可申請 ■回答担当課 防災課、農林課、都市計画課	関連条項	32協議対	象/行政回答	事業者	合否内容	行政確	定登録日時
■ステータス 第1版申請中 ■申請者情報	都市政策課						
・氏名 xxxxxxx ・メールアドレス <u>xxxxx@xxx.com</u> ・電話番号	XXXXの条項につ いて		XXXXの開発はXXXと すること	合意	承知しました	合意	2024/5/20
・住所 ■開発予定面積 1000㎡~ ■開発予定地の利用目的 販売または賃貸を目的とした開発	XXXXの条項につ いて	32協議	XXXXの開発はXXXと すること	否決	XXXについて、XXX としてほしい	承諾 取下	2024/5/20
UXXX UXXX UXXX UXXX	XXXXの条項につ いて	32協議	XXXXの開発はXXXと すること	否決	XXXについて、XXX とさせていただき たい	却下	2024/5/20
	企画課					合意	2024/5/20
	XXXXの条項につ いて		XXXXの開発はXXXと すること	合意	承知しました	合意	2024/5/20
UXXX UXXX UXXX UXXX	XXXXの条項につ いて		XXXXの開発はXXXと すること	否決	XXXについて、XXX とさせていただき たい	承諾	2024/5/20
■XXX							
回答ファイル一覧	申請ファイル一覧				<u>N</u>		
申請ファイル一覧 →	申請ファイル	HR	1618-7	771	**	/	
発行様式	ダウンロード 観況診断機	ヨレポート	xtsx 概況診断	R.90.2024	04_15.xtsx	and the second	
回答履歷一覧							

図 4-156 申請情報詳細画面のイメージ (3/4)

「事前相談」「事前協議」 「回答登録」より回答を入力	「許可判定」から選択した申請区分の詳細情: し「回答通知」より送信してください。	戦を閲覧できます。		戻る 回答登録		答通知
請情報詳細						
	事前協議 許可判定					
■申請種類 ■回答担当課 ■ステータス	開発許可申請 防災課、農林課、都市計画課 節1版申請中	対象	判定結果	回答内容	添付有無	再申請要否
■申請者情報	MATUK (1991)	XXXXXについて	問題なし	XXX課事前協議内容で合意		不要
・氏石 ・メールアドレス	xxxxxxx xxxxx@xxx.com	XXXXXについて	問題なし	XXX課事前協議内容で合意	1	不要
 電話番号 ・住所 	1	XXXXXについて	問題あり	XXX課との調整に不備あり	1	必要
開発予定面積	1000m [*] ~	XXXXX について	問題あり	XXX課との調整に不備あり	1	必要
開発予定地の利用日的 XXX	販売または貢賞を日的とした開発	XXXXXについて	問題なし	XXX課事前協議内容で合意		不要
XXX		XXXXXについて	問題なし	XXX課事前協議内容で合意		不要
XXX		XXXXXについて	問題なし	XXX課事前協議内容で合意	1	不要
XXX XXX		XXXXX について	問題あり	XXX課との調整に不備あり	1	必要
XXX		XXXXXについて	問題あり	XXX課との調整に不備あり	1	必要
XXX		XXXXXについて	問題なし	XXX課事前協議内容で合意		不要
XXX XXX		XXXXXについて	問題なし	XXX課事前協議内容で合意		不要
XXX		XXXXX について	問題なし	XXX課事前協議内容で合意	1	不要
XXX						
回答ファイル 一覧		申請ファイル一覧		N		
■請ファイル一覧	>	102774A Silk	887	77488		
24 (C-12 -+		タウンロード 概況診断結果レポート	xisx @R	2015行音樂_90_2024_04_15.xtsx	E BERNEL	16

図 4-157 申請情報詳細画面のイメージ(4/4)

6. 【SC207】回答登録画面

- 画面の目的・概要
 - > 行政担当者が各区分判定に対して回答内容を記入、回答ファイルを添付して回答登録を行う
 - 【SC215】で選択した「事前相談」、「事前協議」、「許可判定」に応じた申請区分と申請者情報、回答 登録フォームをそれぞれ表示する
 - 事前相談の場合、回答内容は条項ごとに【SC208】又は本画面のテキストボックスに回答を記入する。回答内容欄の「回答入力」ボタンを押下すると【SC208】を表示する。再申請要否欄から要再申請又は再度申請不要の設定を行う。事前協議要否欄から要事前協議又は事前協議不要の設定を行う。
 - 事前協議の場合、担当課ごとに分けて回答一覧を表示する。条項ごとに1つ又は複数の回答欄が用意され、申請登録時に登録された初期回答が表示されるので、内容の修正を行う。回答内容には「回答追加」ボタンを押下すると、自分の担当課のもとに、「関連条項」が「その他」で回答が新規追加される。回答一覧の「削除」ボタンを押下すると、該当の回答が削除できる。事業者からの合否内容によって、行政担当者が確定登録情報(ステータス、日付、コメント)の設定を行う
 - 確定登録では、事業者が合意、かつ回答内容が問題なければ行政も合意(該当分を同意文として印字 する)、事業者が否決、かつ回答内容が問題なければ行政が取下(該当行を同意文として印字しない)、 事業者が否決、かつ回答内容にも問題があれば行政が却下(該当行を同意してもらわないと事業者 が開発許可申請できないものという内容で事業者に再通知)を行う
 - 許可判定の場合、条項ごとに、回答の入力と判定結果欄に「問題なし」、「問題あり」の設定と再申請 要否欄に「必要」、「不要」の設定を行う
 - 事前相談、又は許可判定の場合、任意の区分判定の行をクリックすると、指定した区分判定にひも付く添付ファイルを添付ファイル一覧に表示する
 - ▶ 添付ファイル一覧内の「追加」ボタンを押下すると、【SC209】を表示する

- ▶ 添付ファイル一覧内の画像ファイルに対して「表示/編集」ボタンを押下すると、【SC210】を表示する
- 添付ファイル一覧内の任意のファイルの「削除」ボタンを押下すると、未登録ファイルの場合は非表示になり、既登録ファイルの場合はファイル名に取り消し線を表示する
- ▶ 「回答登録」ボタンを押下すると、回答登録処理が実行され、【SC211】が表示される
- ▶ 画面右下に縮小表示された 3D ビュー・2D ビューの拡大表示、縮小表示を切り替えできる
- 画面イメージ

PLATEAU						ල Help ਜੋਇਹ ਪੈਂਟ ਨਾਂ ਦੇ ਜਿੱਛੇ ਕਿ ਪੈਂਟ ਸਿੰਘ ਸਿੰਘ ਸਿੰਘ ਸਿੰਘ ਸਿੰਘ ਸਿੰਘ ਸਿੰਘ ਸਿੰਘ
・「回答登録」より回答を入力し「回答通知」より送信してください。				回答キャン	セル	回答登録
回答入力						
回答を入力してください。						
入力中の申請区分: 事前相談	対象	回答課	判定結果	回答内容	添付 有無	再申請 事前協議 要否 要否
 ■申請種類 開発許可申請 ■回答担当課 防災課、農林課、都市計画課 ステータス 第1版申請中 	XXXXXについて	XXX課	XXXX:事前相談必要			<u> </u>
■申請者情報 ・氏名 xxxxxxxx ・メールアドレス xxxx@xxx.com	XXXXXについて	XXX課	XXXX:事前相談必要		1	同中請不要 >
 電話番号 住所 開発予定面積 1000㎡~ 開発予定地の利田目的 販売または賃貸を目的とした開発 	XXXXXについて	XXX課	XXXX:事前相談必要	回答入力 XXXXについてXXXXを行 う必要があります。	~	■ 要再申請 マ 要事前追該 マ
	XXXXXCONT	XXX課	XXXX:事前相談必要	回答入力 XXXXについてXXXXを行 う必要があります。	~	要用申請
XXX XXX XXX	XXXXXについて	XXX課	XXXX:事前相談必要			<u> </u>
	添付ファイルー	岿				
	追加選択の	中の対象:景	観に関する手続き			
	拡張子	ファイル名				
	png 現況図_1_1.pn png 土地利用計画	9 2_1_1.png	表示/編集 表示/編集	削除		

図 4-158 回答登録画面のイメージ(事前相談)

						() Help	▲ 補助のグアット
 「回答登録」より回答を 	:入力し「回答通知」より送信してください。]		「答キャンセル	•	客登録
回答入力							
回答を入力してくだ	さい。	ΓĽ	- THE	and the second s			
入力中の申請区分:	事前相談						
 申請種類 申請種類当課 ステータス 申請者情報 メールアドレス 電調番号 住所 開発予定面積 開発予定地の利用目 XXX 	開発許可申請 防災課、農林課、都市計画課 消退申請申 xxxxxx xxxxx@xxx.com 1000㎡~ 約 販売または質賞を目的とした開発						

図 4-159 回答登録画面のイメージ(3D ビュー・2D ビュー拡大表示)

) Help	1 (元数ログ)	P01
 「回答登録」より回答を 	入力し「回答通知」より送信してください。				_ _ _ _ _	ミキャ	ンセル 📄	回答	登録	
回答入力										
回答を入力してくだる	さい。		回答追加							
入力中の申請区分:	事前協議		関連条項	32協議共	象/行政回答	事業者	(合否内容	行政確定	登録	
■申請種類	開発許可申請	<u>^</u>								コメント
■回答担当課 ■ステータス	防災課、農杯課、都巾計回課 第1版申請中	1	都市政策課							
■申請者情報 ・氏名	XXXXXXXX	1	XXXXの条項について		XXXXの開発はXXXと すること	合意	承知しました	合意 V	2024/8/30	XXXX.
 ・メールアドレス ・電話番号 ・位形 	<u>xxxxx@xxx.com</u>		削除 XXXXの条項について	32協議	XXXXについてXXXXを行 う必要があります。)				
 ・ 注所 ■開発予定面積 ■開発予定地の利用目的 ■ XXX 	1000㎡~ 〕販売または賃貸を目的とした開発		XXXXの条項について	32協議	XXXXの開発はXXXと すること	否決	XXXについて、 XXXとさせてい ただきたい	取下 V	2024/5/30	XXXX
			削除 その他		XXXXについてXXXXを行 う必要があります。]				
			企画課					合意		
■XXX ■XXX			XXXXの条項について		XXXXの開発はXXXと すること	合意	承知しました	合意	2024/5 /30	X00000X
XXX XXX XXX XXX XXX XXX XXX XXX										

図 4-160 回答登録画面のイメージ(事前協議)

「回答登録」より回答を	入力し「回答通知」より送信してください。			回答キャンセル	L 🗌	回答登
回答入力						
]答を入力してくださ	ڊ ل _{اه}	対象	判定結果	回答内容	添付	再申請
、力中の申請区分:	中可判定				有無	要否
		XXXXXについて	問題なし V	XXXX課事前協議内容で合意。		不要V
甲請僅換 開発市0甲語 回答担当課 防災課、農林 ステータス 第1版申請中 申請者情報 第1版申請中 「氏名 XXXX0XX メールアドレス XXXX0XXXX 電話番号 * 「開発予定地の利用目的 販売または貨 第2元は	開発許可申請 防災課 農林課 都市計画課	XXXXXについて	問題なし V	XXXX課事前協議内容で合意。	<	不要 V
	第1版申請中	XXXXXについて	問題あり V	XXXX課との調整に不備あり	√	必要V
	~~~~~	XXXXXについて	問題あり	XXX課との調整に不備あり	~	必要
	xxxxx@xxx.com	XXXXXについて	問題なし	XXX課事前協議内容で合意		不要
		XXXXXについて	問題なし	XXX課事前協議内容で合意		不要
	1000 m ² ~	XXXXXについて	問題なし	XXX課事前協議内容で合意	~	不要
	販売または賃貸を目的とした開発	XXXXXについて	問題あり	XXX課との調整に不備あり	1	必要
XX		XXXXXについて	問題あり	XXX課との調整に不備あり	1	必要
X		XXXXXについて	問題なし	XXX課事前協議内容で合意		不要
(X		XXXXXについて	問題なし	XXX課事前協議内容で合意		不要
×.		XXXXXについて	問題なし	XXX課事前協議内容で合意	1	不要
XX		添付ファイル一覧				
		追加 選択中の対象:	景観に関する手続き			
		拡張子 ファイル名			<b>F</b> - 1 <b>F</b>	1
		png 現況回_1_1.png	表示/編集	利除	L.	
		ppg + 批利用計画図 1 1 ppg	表示/編集	110	A	

図 4-161 回答登録画面のイメージ(許可判定)

- 7. 【SC208】回答テンプレート選択画面
- 画面の目的・概要
  - 行政担当者が申請に対する回答内容を入力する。自由入力のほか、申請情報やテンプレート一覧から選択することで、カーソル位置に文言を差し込み可能
  - 申請情報では「申請地番」「申請区分」「申請者氏名」「申請者情報」から選択することで、選択した 申請情報を差し込み可能
  - テンプレートでは、判定項目に設定されたテンプレート文言を一覧表示し、選択することで選択したテンプレートを差し込み可能
  - ×ボタンを押下すると、回答テンプレート選択画面が閉じ、対象の申請の回答内容欄に本画面で入 力した文言を表示する
- 画面イメージ

回答入力		×
対象: <b>景観に関する手続き</b> 回答を入力してください。 テンプレートを選択で回答に埋め込むこともできます	•	
テキスト入力で回答を入力できます。 テンプレートを選択すると、カーソルが当たってい	申請情報	î.
る位置にテンプレートを差し込むことができます。	申請地番	選択
	申請区分	選択
	申請者氏名	選択 🗸
	テンプレート	A
	xxxxxは●●です。	選択
	xxxxxはxxxxxです。詳細はxxxxよ りご確認ください。	<u>選</u> 択 

図 4-162 回答テンプレート選択画面のイメージ

- 8. 【SC209】回答ファイル選択画面
- 画面の目的・概要
  - ▶ 行政担当者が回答ファイルとして追加するファイルを選択する
  - 「ファイルを選択」ボタンを押下すると、使用 PC 内のファイルを選択でき、画像ファイルを選択した場合は【SC210】を表示し、画像ファイル以外の場合は添付ファイル一覧に追加する
  - 申請ファイル一覧の「引用」ボタンを押下すると、選択した申請ファイルに版情報が存在する場合は 【SC004】を表示し、引用する申請ファイルの版の「引用」ボタンを押下して選択する
  - ▶ 回答ファイル一覧の「引用」ボタンを押下すると、該当の回答ファイルを選択する
  - 選択したファイルが画像ファイルの場合は【SC210】を表示し、PDF ファイルの場合は PDF ビュー ワを表示、画像又は PDF 以外のファイルの場合は添付ファイル一覧に追加する
  - PDF ビューワを表示した場合、「表示ページを編集」ボタンを押下すると表示中のページを画像ファ イルに変換し、【SC210】を表示する

● 画面イメージ

ファイル追	1 1 1			×		
・PC <b>のファイルを追加</b> PCのファイルを参照して追加します。 ファイルを選択						
申請ファイ	ゲークルがつうい用 (ルを引用してファイル	を追加し	ます。			
	対象	拡張子	ファイル名			
	設計説明書	pdf	設計説明書【第3版】.pdf	引用		
概況	診断結果レポート	xlsx	概況診断結果_5_2023_07_24.xlsx	引用		
・ <b>回答フ</b> : 回答ファイ	ア <b>イルから引用</b> ′ルを引用してファイル	を追加し	ます。			
拡張子		77	アイル名			
jpg	開発行為同意書.jpg					
pdf	設計説明書.pdf					
xlsx	概況詞	诊断結果_	4_2023_07_24.xlsx	引用		

図 4-163 回答ファイル選択画面のイメージ

ファイル追加			×

引用する申請ファイルの版を選択してください。

版	アップロード日時	ファイル名	
3	2023/10/24/ 13:00	設計説明書【第3版】.pdf	引用
2	2023/10/23/ 13:00	設計説明書【第2版】.pdf	引用
1	2023/10/22/ 13:00	設計説明書【第1版】.pdf	引用

図 4-164 申請ファイル引用時の版選択画面のイメージ

★           自動ズーム            (様式第4号)(第4条関係)
自動ズ−ム × (様式第4号) (第4条関係)
(様式第4号) (第4条関係)
開 発 行 為 同 意 書
年月日 (開発行為者) 住所 氏名 殿
権利者 住 所 氏 名 印
あなたが計画している の開発について、都市計画法の規定に基づく開発 行為の許可(変更許可)の申請に限して、私が権利を有している下記物件において、開発行為又は 開発行為に関する工事を行うことに同意します。 彩

図 4-165 PDF ビューワ画面のイメージ

- 9. 【SC210】回答ファイル赤入れ画面
- ● 画面の目的・概要
  - ▶ 行政担当者が画像ファイルに赤字・枠線・マーカーなどで添削・修正を行う
  - ▶ 【SC209】で選択した回答ファイル又は申請ファイルを対象に編集を行う
  - ■ボタン押下で枠線を入力、「ボタン押下でフリーハンドの線を入力、「ボタン押下で矢印を入力、」「ボタンでテキストボックスを入力、」「ボタン押下で円を入力、」「ボタン押下でマーカー入力、」「「ボタン押下で吹き出しを入力する」
  - ▶ ✔を押下すると、添削・修正内容を保存して【SC207】に戻り、添付ファイル一覧に追加する
  - ▶ ★を押下すると、添削・修正内容を削除して回答ファイル赤入れ画面を閉じる
- 画面イメージ

₽ □ <b>∽</b>	□ s' v' A ● 🖍 🗟	~ ×
	(儀式第4号)(第4条関係)	
	限务行 み 同 定 卓	
	(現象行為者)	
	<u>и</u> <i>м</i>	
	<u>к</u> <b>п</b>	
	编起系 住 所	
	K & #	
	高なたが計画している の語をについて、御山計画法の長定に基づく開発 であったまで、今日です」の生までに見、マージを用いたという「日本の時間」をいっ、日本のたちでは	
	11.84×114(東京に当つかかたたいに、本の後後で下しているとお供加において、米水(1.84×14) 同時行為に関する工艺を行うことに同立します。 記	
	物作の博知 物作の所存及び地路 地 目 西 花(m) 修利の博用 論 薬	
	(留社)1 11月の豊新編は、土地、湿和、工作物等の構成を記入すること。 2 単純の紙別編は、作可能、永小作権、地上権、保護権、関係、失敗特権等の別を記入するこ	
	全部改正(不成 5 午展開 25 号)	
l In Internet in I	n	

図 4-166 回答ファイル赤入れ画面のイメージ

- 10. 【SC211】回答登録完了画面
- 画面の目的・概要
  - ▶ 回答登録処理を実行し、回答登録完了画面を表示する
  - 回答登録完了画面の表示と同時に、開発許可・不動産調査などの相談・申請システム:【SC217】を ブラウザの別タブに表示する
- 画面イメージ



- 11. 【SC212】回答完了通知画面
- 画面の目的・概要
  - ▶ 行政担当者が【SC216】で選択した内容を事業者のメールアドレスに通知を行う
  - 【SC216】で事前協議を選択した場合、事業者へ通知すると共に、「同意書」と「協議書」が自動作 成する
  - 【SC216】で許可判定が選択した場合、事業者へ通知すると共に、「許可通知書」と「開発登録簿」 が自動作成する
- 画面イメージ



図 4-168 回答完了通知画面のイメージ

- 12. 【SC213】問合せ画面
- 画面の目的・概要
  - ▶ 行政担当者が事業者からの問合せに対し、チャット形式で回答を行う
  - 「事前相談」、「事前協議」、「許可判定」のメッセージを区切り表示する。事前相談は条項ごとに、メ ッセージを集約して表示する。事前協議又は許可判定は担当課ごとに、集約して表示する
  - ▶ 「申請詳細」ボタンを押下すると【SC205】へ遷移する
  - を押下すると【SC214】を表示する
  - ▶ 【SC214】で送信先を設定して、メッセージを入力後、 ◆を押下するとチャットにメッセージを送信する
  - > 「回答登録内容」ボタンを押下すると回答登録内容を表示する
  - ▶ 「回答履歴一覧」ボタンを押下すると回答履歴を一覧表示する
  - 「回答ファイル一覧」ボタンを押下すると回答ファイルを一覧表示し、「ダウンロード」ボタンを押下するとファイルをダウンロードする。画像ファイルと PDF ファイルについて「プレビュー」ボタンを押下すると別タブでプレビューを表示する
  - 「申請ファイル一覧」ボタンを押下すると申請ファイルを一覧表示し、「ダウンロード」ボタンを押下するとファイルをダウンロードする。画像ファイルと PDF ファイルについて「プレビュー」ボタンを押下すると別タブでプレビューを表示する
- 画面イメージ

PLATEAU		<ul> <li>Melp</li> <li>11歳ログアウト</li> </ul>
時い合わせ内容を確認し、回答を入力・送信してください。	(の) 1データセットが地図上で有効	
即い合わせチャット	ater and the	
表了 #ITLASIN 5页	1	(+) (+)
事前相談	∧ <b>→</b>	G-
XXXXXEDUT		30 20
FROM: 事業者 TO: 4F邮市計畫課		
2023/10/24/ 16:00		
回答内容のOOについて詳細をご教示いただけますでしょう か?	THE A	
	回答登録內容	回答履歴一覧
	対象:★事前相談必要 4F都市計画課(茅 転車県朝づくり条例)	
	3717月1歳(ジベジス(5))	2023/10/24/15:3 4F都市計畫課 n
	判定結果:景観に関する手続き	* 2 ul
	四合旗型一覧	2023/10/24/14:4 4F都市計画課 n
	回答ファイルー覧	4 ull
	申請ファイル一覧	2023/10/24/ 14:3 4F都市計畫課 n 5 ull
送信先:		2023/10/17/13:3 4F都市計畫課 n 2 ull
メッセージを入力してください	$\bigcirc$	2023/10/16/09-5 4F都市計画課 n

図 4-169 問合せ画面 (1/3)



図 4-170 問合せ画面 (2/3)



図 4-171 問合せ画面 (3/3)

- 13. 【SC214】宛先選択画面
- 画面の目的・概要
  - ▶ 行政担当者チャットでメッセージの送信先を設定する
  - ▶ 「事業者」ボタンを押下して設定した場合はメッセージを事業者に通知する
  - 「行政部署」ボタンを押下すると部署を一覧表示し、送信先のチェックボックスにチェックを入れる
  - ▶ 送信先に行政部署を設定した場合はメッセージを事業者に通知しない
- 画面イメージ

宛先選択		×
メッセージの送信先を選択してください。 事業者を選択すると通知されます。 他部署宛のメッセージは事業者に通知されません。		
● :事業者	🔵 :行政部署	

図 4-172 宛先選択画面のイメージ(事業者選択時)

宛先選択	×
メッセージの送信先を選択してください。 事業者を選択すると通知されます。 他部署宛のメッセージは事業者に通知されません。	
() :事業者	:行政部署
宛先	Â
2 F環境課	
諏訪地域振興局 環境課	
5F商工課	
尖石縄文考古館 内 文化財課	
4F建設課	✓

図 4-173 宛先選択画面のイメージ(行政部署選択時)

- 14. 【SC215】回答申請段階選択画面
- ● 画面の目的・概要
  - 回答登録対象の申請段階を選択する
  - ▶ 「回答登録」ボタンを押下すると【SC207】に遷移し選択した申請段階の回答フォームを表示する
- 画面イメージ



図 4-174 回答申請段階画面のイメージ(回答登録ボタンから遷移)

- 15. 【SC216】回答通知確認画面
- 画面の目的・概要
  - > 回答通知対象の申請段階を選択すると、回答内容一覧を申請段階によって、切替え表示する
  - ▶ 回答内容一覧から回答通知内容を選択して、「回答通知」ボタンを押下すると、回答通知を行う
- 画面イメージ

回答通	回答通知確認 ×							
回答通	回答通知する申請種類を選択してください。							
● 事前相談 ○ 事前協議 ○ 許可判定 回答通知内容を確認してください。								
	対象	回答課	判定結果	回答内容	添付 有無	再申請 要否	事前協議 要否	
	XXXXXについて	XXX課	XXXX:事前相談必要	XXXXについてXXXX を行う必要がありま す。		不要	必要	
✓	XXXXXについて	XXX課	XXXX:事前相談必要	XXXXについてXXXX を行う必要がありま す。	<b>V</b>	不要	必要	
<u> </u>	XXXXXについて	XXX課	XXXX:事前相談必要	XXXXについてXXXX を行う必要がありま す。		必要	必要	
	XXXXXについて	XXX課	XXXX:事前相談必要	XXXXについてXXXX を行う必要がありま す。		必要	必要	
	XXXXXについて	XXX課	XXXX:事前相談必要	XXXXについてXXXX を行う必要がありま す。		不要	不要	
回答通知								

図 4-175 回答通知確認画面(事前相談)

回答通知確認 ×								
回答通	回答通知する申請種別を選択してください。							
0	○ 事前相談 ● 事前協議 ○ 許可判定							
回答道	通知内容を確認し	てくださ	<u>さい。</u>					
	関連条項	32協議対	象/行政回答	事業者	合否内容	行政確	定登録日時	
<ul> <li>Image: A start of the start of</li></ul>	都市政策課							
	XXXXの条項につ いて		XXXXの開発はXXXと すること	合意	承知しました	合意	2024/5/20	
	XXXXの条項につ いて	32協議	XXXXの開発はXXXと すること	否決	XXXについて、XXX としてほしい	承諾 取下	2024/5/20	
<b>~</b>	XXXXの条項につ いて	32協議	XXXXの開発はXXXと すること	否決	XXXについて、XXX とさせていただき たい	却下	2024/5/20	
	企画課					合意	2024/5/20	
	XXXXの条項につ いて		XXXXの開発はXXXと すること	合意	承知しました	合意	2024/5/20	
	XXXXの条項につ いて		XXXXの開発はXXXと すること	否決	XXXについて、XXX とさせていただき たい	承諾	2024/5/20	
							答通知	

図 4-176 回答通知確認画面(事前協議)

回答通知確認 ×								
回答通知する申請種別を選択してください。								
0	○ 東前相談 ● 東前按議 ○ 許可判定							
回答道	手 B5 TE BX 通知内容を確認し			717				
					A 7 +	1		
	<b>関連条</b> 項 教士政策部	32協議刃	家/行政回答	爭美者	合否内容	行政储	定登録日時	
	都中 取 取 取 味 XXXXの 条 項 に つ		XXXXの開発はXXXと	合音	承知しました	合音	2024/5/20	
	いて		すること		555H 0 & 0 /C		2024/0/20	
	XXXXの条項につ いて	32協議	XXXXの開発はXXXと すること	否決	XXXについて、XXX としてほしい	承諾 取下	2024/5/20	
<b>~</b>	XXXXの条項につ いて	32協議	XXXXの開発はXXXと すること	否決	XXXについて、XXX とさせていただき たい	却下	2024/5/20	
	企画課					合意	2024/5/20	
	XXXXの条項につ いて		XXXXの開発はXXXと すること	合意	承知しました	合意	2024/5/20	
	XXXXの条項につ いて		XXXXの開発はXXXと すること	否決	XXXについて、XXX とさせていただき たい	承諾	2024/5/20	
						0	答通知	

図 4-177 回答通知確認画面(許可判定)

- 16. 【SC217】アンケート収集画面(行政)
- 画面の目的・概要
  - ▶ 行政向けのアンケート画面を表示する
  - ▶ アンケート画面は別タブで別サイトを開く
  - ▶ 遷移先のアンケート画面 URL はシステム設定で変更可能
- 画面イメージ

■ 開発許可・不動産調査等の相談・申請管理シス テム:利用アンケート(行政担当者向け)
* 必須
1. 所属を入力してください。 *
答えの選択
2. 従来の不動産調査等(開発許可等を含む)の茅野市への手続き・問い合わせと比較して、新シス テムはより便利なツールと感じられましたでしょうか*
◯ 大いに感じられた(とても満足)
○ 少し感じられた (やや満足)
○ どちらでもない
○ あまり感じられない(やや不満)
○ 全く感じられない(とても不満)

図 4-178 アンケート収集画面(行政)

# 4-7. 実証システムの利用手順

4-7-1. 実証システムの利用フロー

本実証システムの利用フローについて、事前相談を図 4-180、事前協議を図 4-181、許可申請を図 4-179 に 示す。




#### 図 4-180 実証システムの利用フロー(事前相談)







#### 図 4-181 実証システムの利用フロー(事前協議)





図 4-182 実証システムの利用フロー(許可判定)

4-7-2. 各画面操作方法

- 1) 基本操作
- ブラウザを立ち上げサイト URL にアクセスし初期画面を表示する
- アンケート項目を選択の上、「申請手続きを開始する」ボタンを押下してトップ画面を開く
- 行政担当者からの回答確認を行う場合、ID・パスワードを入力し「回答内容を確認する」ボタンを押下して回答内容確認画面を開く

S			REALIZING NO. 1995
(3) 17…タヒットが見たこれ第			
	木更津市開発許可申請システム	用中へ戻る	
	本システムの利用目的を選択してください。 利用目的を選択していただくと、申請手続きおよび回答確認が行えます。		
	<ul> <li>(● :開発許可 ○ :その他</li> </ul>		
	利用者規約		
	本システムは国土交通省都市局(Project PLATEAU)による実証実験システム 木更津市による正式運用ではない、期間限定の提供であることをご了承いただ 以下のご利用条件に同意の上、ご利用ください。	ムです。 ごき、	
	・ましたりとなり使する地図を特には、企業時代が発生的なす。 ・地図や基礎は、土地の時間または後の後の位置を正確に表示するものではありません。 ・ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー	.LE077467454822L49457454745475576	「中請手続きを開始する」 ポタンをクリック
_	回答確認		
	男白のババワートを入力してくたさい 整合の		
	/32-*		
		(1)))))))))))())))()))())()())()()())()())()(	≪行政担当者の回答唯記≫ D・パスワードを入力し 項目中のシケクロック

図 4-183 初期画面の操作方法

- 画面左パネルに各機能画面が表示される。タブを選択することで検索機能とレイヤー覧を切り替える
- 画面右上の「Help」ボタンを押下することでヘルプを別タブで表示できる
- 画面右側の「ガイド」ボタンで視点や縮尺を変更する
- 画面左下のパネルに ID・パスワードを入力し「回答内容を確認する」ボタンを押下して回答確認画面を 開く



回合唯記成肥 ID・パスワードを入力しログイン

図 4-184 トップ画面の操作方法

- 画面左上の「レイヤ」タブを押下することでレイヤー覧画面を表示できる。
- 各種 3D データ・開発許可判定データの表示・非表示をリスト右側のチェックボタンで切り替える
- ドラッグアンドドロップでレイヤやフォルダの表示順を入れ替える
- 「初期表示に戻す」ボタンを押下することでレイヤの表示状態を初期に戻すことができる



図 4-185 レイヤー覧画面の操作方法

- 2) 基本操作
- トップ画面左パネルの「検索」タブを選択する
- 「地図検索(地番)」ラジオボタンを選択すると、地番検索を有効化する
- 「地図選択」ラジオボタンを選択すると、地図上での範囲選択を有効化する



図 4-186 地図検索の操作方法 (1/2)

- 町丁名・地番を入力し、「検索」ボタンを押下して地番検索を実行する
- 「クリア」ボタンを押下することで入力内容を削除できる

N		B220141.77-118 💿 Haip
申請したい地番を検索し、検索結果の行をク	リックしてください。	
88	1-17	
: 地図検索 (地景)	: *0EBBR	
8番秋紫 町丁名 祇園	クリア	町丁名・地番を入力
<b>10년</b> 544	検索	検索ボタンで検索を実行
《朱統軍作員:2月		クリアボタンで入力内容を削除
0 1620	544-1 544-10	
0 KM	544-2	
0 KSA 0 898	544-3 544-4	
O KER	544-5	
0 458	544-7	
	544-8	
申請地番選択結果 #単からない単をチェックしてください		「記念之後」に「日本天人人、新日田田田」
<b>大7</b>	地路	
		The second s
	= 1	

図 4-187 地図検索の操作方法(2/2)

● 地番検索を実行すると結果が一覧表示される

- 一覧表のチェックボックスを選択・解除で申請地番を選択する
- 選択すると選択した地番の地図画面上に移動する
- 選択した地番は左パネル下部の申請地番選択結果一覧に表示される
- ● を押下することで選択地番を削除できる
- 「全て削除」ボタンを押下することで選択地番を全削除できる
- 申請地番選択後に「事前相談」ボタンを押下して申請区分選択に進む



図 4-188 申請地選択の操作方法

- 「地図選択」ラジオボタンを選択すると、地図上で申請地番を選択できる
- 地図上に表示される地番をクリックすることで、クリックした場所にある地番を申請地番選択結果一覧
   に追加する
- Alt+クリックで自由形選択を開始し、Alt+ドラッグで選択範囲を描画し、ドロップすることで描画した範 囲内の地番を申請地番選択結果一覧に追加する



図 4-189 申請地地図選択の操作方法(1/2)

- 地図選択を実行すると結果が一覧表示される。また、選択された地番は地図上で強調表示される
- 選択した地番は左パネル下部の申請地番選択結果一覧に表示される
- 地図上の地点をクリックすると、地番の選択・選択解除が切り替わる
- 「全て削除」ボタンを押下することで選択地番を全削除できる
- 申請地番選択後に「事前相談」ボタンを押下して申請区分選択に進む



図 4-190 申請地地図選択の操作方法(2/2)

- 地図検索、又は地図選択によって地番を選択し、「概況診断」ボタンを押下すると、申請区分選択に進む
- 「土地相談」ラジオボタンを選択すると項目を簡易選択、「開発許可関連」ラジオボタンを選択すると項目を全選択するモードに切り替わる

- 単体選択の項目は、ドロップダウンリストから選択して申請内容を入力する
- 複数選択の項目は、チェックボックスから選択して申請内容を入力する
- 画面右上に配置された地図フィットボタンを押下することで、選択した区域を適切な縮尺で表示できる
- 全ての項目を入力後、「概況診断」ボタンが有効化され、押下して概況診断を開始する



図 4-191 申請区分選択の操作方法(1/2)



図 4-192 申請区分選択の操作方法(2/2)

- 概況診断結果表示画面では、申請区分選択によって入力された回答を基に、事前相談の必要性の有無について診断結果が一覧表示される
- 診断結果の行をクリックすることで、診断に関係するレイヤが表示され、概要を表示する。もう一度クリックすることで非表示に切り替える
- 「出力」ボタンを押下することで、概況診断レポートを Excel ファイルで出力できる
- 「申請」ボタンを押下して、申請情報入力に進む



図 4-193 概況診断結果の操作方法

- 同じ項目の都市計画判定結果が複数重なっている場合は、それぞれの用途地域ごとに表示する
- クリックすると、判定に使われたレイヤがそれぞれ表示される



図 4-194 都市計画判定結果表示 (1/2)

- 道路判定では、選択区域に隣接した道路に対し判定を行う
- クリックされた項目に対応する道路の最大幅員・最小幅員などを表示し、必要な処理を右下に表示する



図 4-195 道路判定結果表示(2/2)

- 3) 事業者:申請作業
- 申請者情報を入力する。氏名・メールアドレスは入力が必須であり、メールアドレスは有効な形式で入力 する必要がある
- 「次へ」ボタンを押下して、申請対象ファイルのアップロードに進む



図 4-196 申請者情報の操作方法

- 申請フォームでは、判定結果に関連するファイル資料を登録する。設定によって必須登録にすることも可 能である
- 「登録」ボタンを押下してファイルを選択しアップロードする。更にファイルを選択する場合は「追加」
   ボタンを押下することでアップロードするファイルを追加できる。また、「削除」ボタンを押下すること
   で該当行に対応するファイルのアップロードを取り消すことができる

● 「次へ」ボタンを押下して、申請確認に進む



図 4-197 申請ファイルアップロードの操作方法

- 申請内容確認画面で、申請内容と添付されたファイルを確認する
- 表示内容に問題がなければ「申請」ボタンを押下する



図 4-198 申請確認画面の操作

- 申請時、申請ファイルをアップロードする
- バックグラウンドで概況診断実施時のレポートを生成、申請内容に関連付けして登録する

PLATEAU			
入力内容を確認してください。 問題がなければ、「申請」を選択してくださ	<u>م</u> ل،	<ul> <li>⑦ 2データセットが地図上で有効</li> </ul>	
申請確認			+
以下の内容で申請を行います。よろしいでしょうか?	e .		
■申請種類	開発許可		
■申請種別	事前相談		- this -
■申請者情報			
・氏名	111188		
・メールアドレス	a management of the state		A SER
・電話番号	Internation of the International State	申請ファイルをアッ	プロードする。
・住所		パックグラウンド処	To all the second
・相談内容		概況診断レポートを	生成する。
■連絡先情報			
・氏名	10788		CAR REAL
・メールアドレス	anapropage of the second		
・電話番号			Part
24 M ^e			
the later	度る		

図 4-199 申請時のファイルアップロードと概況診断レポート生成

- 申請が完了すると、申請完了画面に遷移する。また、事業者には申請者情報で登録したメールアドレスに
   申請受付完了の通知メールを送信する。行政担当者には開発許可申請の受付通知メールを送信する
- 画面と事業者側へのメールには、次回ログインに必要なログイン ID とパスワードが記載されている。行 政からの回答を確認するために必要なため、事業者が保存する必要がある
- 行政担当者からの回答日数目安を通知する。これは、条項ごとに設定した回答目安日数の最大値に、バッファとして一日を追加した日数が表示される
- 行政担当者には申請者情報と申請地番、条項ごとに設定した回答目安日数を通知する



図 4-200 申請完了画面

開発許可申請受付の通知】 notify@chino-development-permission-system.com
notify@chino-development-permission-system.com
90 <del>7</del>
野市 開発許可申請の受付
当の開発許可申請を新たに受け付けました。 付情報は以下になります。 請者氏名:茅野一郎 請者メールアドレス: <u>chino_1ro@chino-development-permission-system.com</u> 請地番:茅野市ちの 1000-1
下について9月5日より1開庁日後までに回答お願いいたします。 冬頂ごとに設定した回答日安日数が通知
象:農地転用等に関する手続きについて 定結果:★事前相談必要 5F 農業委員会事務局(農地法・農業振興地域整備計画)
請情報の確認と回答の入力は以下 URL より行ってください。 tps://chino-development-permission-system.com/v2/viewer/login/
野 当付 請請請 下 象定 調工

図 4-201 メール通知内容のイメージ

- 4) 行政担当者:申請情報検索・参照
- 各課のユーザーID とパスワードを入力し「ログイン」ボタンを押下してログインする

	木更津市行政ログイン	
	ユーザーDを入力 パスワードを入力 ● DDグイン	各課 ID・パスワードを入力
-	▲ 事業者の方はこちらから ● アンケートはこちらから ■同一ブラウザから行政と事業者の同時最佳は行文ないためご注意くだ	đu

図 4-202 行政担当者ログイン方法

- 左画面上のタブで、表示機能を地図選択・申請情報検索・レイヤに切り替えられる
- 申請された区域が地図上にハイライト表示される
- 左画面下では、問合せ・申請を通知する。件数がボタン右上に表示される



図 4-203 行政担当者地図画面の操作方法

- 地図上で区域をクリックすると、地番にひも付いた申請の ID 一覧を表示する
- 「申請情報詳細」ボタンを押下することで、申請の詳細な情報を表示できる



図 4-204 地図上での申請情報参照の方法

- 「申請情報検索」タブを選択して、検索画面に切り替わる
- 各種検索条件を設定する。申請情報を検索するか問い合わせを検索するか、プルダウンで選択する
- 申請者情報や申請区分に入力し、検索条件を設定することもできる
- 「検索」ボタンを押下して検索を実行する



図 4-205 申請情報検索の操作方法(1/2)

- 検索結果が一覧表示される
- 「検索結果を表示する」ボタンを押下することで、検索条件入力画面を表示できる
- 検索結果一覧表示の「詳細」ボタンを押下して、申請の詳細な情報を表示する



図 4-206 申請情報検索の操作方法(2/2)

- 申請情報詳細画面で、申請内容を詳細表示する
- 申請ファイルを一覧表示する。「ダウンロード」ボタンを押下すると、添付ファイルをダウンロードできる
- その申請に対する回答履歴と、回答ファイルの更新履歴が表示される
- 「回答登録」ボタンを押下して、ログインアカウントが回答を担当する項目に回答する

PLATEAU							③ Help 1 行政ログアウト
<ul> <li>「事前相談」「事前協議」</li> <li>「回答登録」より回答を入;</li> </ul>	「許可判定」から選択した申請区分の詳細情報を閲覧で。 力し「回答通知」より送信してください。	きます。			55	52 <b>0</b> 0	8740
申請情報詳細					回答登録	2	
<b>BAHER</b>	Pana Arina	Max	HSX	(ログインア	カウントに関	連する項目	のみ回答可能)
中间推动	间的地址中间					有無 豪商	80
PROPERTY AND A DESCRIPTION	都市政策課,市街地整備課,建築指導課,住宅課,下 水道推進室,管理用地課,土木課,文化課,教育総務	開発の申請及び技術基準に関し て	都市政策課	事前相談が必要都市政策課 (都市政策係/開発審査係)			
和自己的	課,地域共生推進課,環境政策課、資源循環推進課, 農林水産課,農業委員会事務局,消防本部醫防課	都市計画の整合について(土地 利用、都市計画施設及び市街地	1 3	事前相談が必要都市政策課			
ステータス	第1版事前相談:未回答	開発事業、地域地区、地区計	BP/D DCRLB	(都市政策係/開発審查係)			
申請者情報		)					
氏名	アジア航測	市街地開発事業との整合につい て	市街地整備課	事前相談が必要 市街地塾保課			
メールアドレス	an established and the part	建築確認申請に関する手続きに	1815 1818 18	重前相談が必要 建築板装課			
電話曲号	10000010100	2110					
住所		住宅政策に関して	住宅課	事前相談が必要 住宅課			
编用 5年 (2015年)		回答添付ファイルー間				18.1	
回答ファイル一覧			-			A COLORED TO A COL	and a second second
申請ファイル一覧		目谷ファイル	刘徽	歐備子	ファイル名		IN STAT
発行様式							
回答履歴一覧						SELA AL	- ANI - MA
		申請内容を	詳細表示	R.		SEF L	

図 4-207 申請情報詳細画面の操作方法(1/2)

N									) Help 1 8	服白グアウト
<ul> <li>「事前相談」「事前協議」</li> <li>「回答登録」より回答を入</li> </ul>	」「許可判定」から選択した申請区 力し「回答通知」より送信してく1	区分の詳細情報を閲覧でき ださい。	きます。			展る		8 <b>76 19 19</b>		1975-000
申請情報詳細										
(0.66 High			NR	回答课	判定結果	目落内容	派付 有書	800 88	中語協議	高い合わせ
■ 中消熱塗焼	開発肝可 都市政策課,市街地整備課, 水道推進空,管理用地課,土	建築指導課、住宅課、下 木課、文化課、教育総務	開発の申請及び技術基準に計 て	きし 都市政策課	事前相談が必要都市政策課 (都市政策係/開発審査係)					
製造品を回■	課,地域共生推進課,環境政 農林水産課,農業委員会事	2策課,資源循環推進課, 務局,消防本部醫防課	都市計画の整合について(こ 利用、都市計画施設及び市行	上地 后地 都市政策課	事前相談が必要都市政策課					
<ul> <li>■ ステータス</li> <li>■ 申請者債報</li> </ul>	第1啟事前相談:未回答		南元事業、尼加に広、地区 画) 市街地開発事業との整合に1	201						
・氏名 ・メールアドレス	^{アジア航潮} 回答	ファイル、		イル、発行 建築指導課	<b>「様式、回答</b>	履歴を	ŧ	=詰地:	を表示	
<ul> <li>電話番号</li> <li>・住所</li> </ul>	切り1 ファ・	音えて表示 イルはダウ	^{てついて} パンペロトードオ	ドタンでら	<b>ベウンロ</b> ード	可能	S	ボタ	ンで拡	大表示
同なファイルー教			申請添付ファイルー	- <u>9</u>						
申請ファイル一覧		,	中語ファイル	刘象	1638-7	ጋንተル8	-		and the second second	TANT!
発行様式			9920-F ±	地利用計畫回	pdf.tiff.tif.jpg.png. dxf.dwg	9_土地利用計畫回.pdf			ST THE	1 2
回答環歷一覧			<del>ダウンロード</del> 概	況診断結果レポート	xisx	概況診断結果_231_2025_02_07.xt	1			

図 4-208 申請情報詳細画面の操作方法(2/2)

- 5) 行政担当者:回答入力
- 回答入力画面を開くと、回答一覧が表示される。回答可能な項目のみテキストボックスが表示されるので、
   回答を記入する。回答は自由記述可能である

PLATEAU							() Help	1 行政ログアウト
・「回答登録」より回答を入力し	「回答通知」より送信してください。					回答キャンセル	00136 str.	
回答入力								
答を入力してください。 力中の申請種別: <b>事前相談</b>		对象	日答課	TEMR	目答內容	版付 有面	लगात इन्हे	ФМБД 86
□中請種類 ■回答担当課	開発許可 都市政策操作街地整備課建築指導單住主課下水 道推進至,管理用地課土木課,又化課,教育総務課地 域共生推進課,環境政策課,賣添務環推進課,農林水 產課,豐業委員会重務局,如防水市際新貨	都市計画の整合について(土地 利用、都市計画施設及び市街地 開発事業、地域地区、地区計 画)	都市政策課	事前相談が必要 都市政策課( 市政策低/開発審査係)	1980.27		<b></b>	~
ステータス	第1版事前相談:未回答	市街地開発事業との整合につい て	市街地整備課	事前相談が必要市街地整備課			v	v)
申請者情報 氏名	アジア航測	建築確認申請に関する手続きに ついて	建築指導課	事前相談が必要 建築指導課			~	~
メールアドレス	a mandale og	住宅政策に関して	住宅課	事前相談が必要住宅課		-	~	~
電話番号 住所 相談內容 演習生得税		条付ファイル一覧 選択中の対象: 区、地区計画)	都市計画の整合にて		は項目のみテ ↓ ■ (自由記述	<u>キスト</u> ; )	ボックス	<b>X表示</b>
^{1288日27:191} 校 氏名 メールアドレス 電話番号	For Mark	likisk∓	ファイル名					- A

図 4-209 回答入力の操作方法(1/2)

- 回答入力欄上部の「テンプレート」ボタンを押下することで、テキストボックス入力ダイアログが拡大表示される。申請情報とテンプレートから選択した定型文のカーソル位置への差し込みが可能である
- 「区分」列のセレクトボックスは、再申請が必要な場合「要再申請」、不要な場合「再申請不要」を選択 する

		回答入力			×						
PLATEAU		対象: <b>景観に関する手続き</b> 回答を入力してください。 テンプレートを選択で回答(	こ埋め込むこともできます	r.						Help	1 行政ログアウト
・「回答登録」より回答を入力し「回	答通知」より送信してくだ	テキスト入力で回答を入力 テンプレートを選択すると	できます。 、カーソルが当たってい	中語情報	î			() ()	6キャンセル	Diág	253
回答入力		る位置にテンプレートを差	し込むことができます。	中請地番							
回答を入力してください。 入力中の申請種別: <b>事前相談</b>				申請区分 申請者氏名		MЯ	Bî A	ië	派付 有無	两中語 東西	事前協議
■申請種類	開発許可			<del>テンプレート</del> xxxxxは●●です。			回答入力				
■回答担当課	都市政策課、市街地整備課 道推進至、管理用地課、土木 域共生推進課、環境政策課 産課、農業委員会事務局、消	1)-PLE/211/24.		xxxxxはxxxxxです。詳細はxxxxxよ りご確認ください。	ar .	都市政策課(都 査係)				×	7
■ステータス	第1版事前相談: 三重	答入力」て	(デキス)	トボックスを拡	大表	小地整備課				~	~
■申請者情報	申請	情報を差し	しみ可能	と 焼きに 建築指導課 日本	事前相談が必要	建築指導課					
・氏名 ・メールアドレス	アジア航測テン	プレートよ	り定型ス	文を差し込み可	能的	住宅課					,
· 電話番号	10000110.00		添付ファイル-	-81				要再申請		要事前的	3.譏
・住所			選択中	中の対象:都市計画の整合について	(十帅利用,	都市計画施設及75	市街地開発事業	再申請不	要	事前協調	小要
·相談内容			28.50 E. 1	也区計画)		「山畦	T	h≢.k	いまた		- <del>2210</del>
■連絡先情報			旅艇子	ファイル名	女 1	计中间	- #P	甲酮ハリ	い安い	物白い	进八
・氏名	11000				再月	1 請 个 要	一再	甲請が	个要な	場合に	選択
・メールアドレス	1-0403-020-02										
・電話番号	100000110100	-			要爭	軍前協議	事	前協議:	が必要	な場合	に選択
					事育	前協議不	要 事詞	前協議	が不要	な場合	に選択

図 4-210 回答入力の操作方法(2/2)

- 回答一覧の行を選択すると、選択項目に関するファイルの添付が可能になる
- 「追加」ボタンを押下することでファイル追加画面を表示できる

PLATEAU							⊘ Help	1 行政ログアウト
・「回答登録」より回答を入力し	「回答通知」より送信してください。					回答キャンセル	0)2102	
回答入力								
回答を入力してください。				10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 1		8641	10108	事前當這
しカ中の申請種別:事前相談		对象	回答課	特定結果		61 <b>8</b>	86	<b>新</b> 西
中請種類	開発許可	都市計画の整合について(土地		L	20月入2)			
■回答担当課	都市政策課,市街地整備課建築指導課,住宅課,下水 道提進室,管理用地課,土木課,文化課,教育秘務課,地 域共生推進課,現境政策課,賞添循環推進課,農林水 產課,農業委員会事務局,消防本部籌防課	利用、都市計画施設及び市街地 開発事業、地域地区、地区計 面)	都市政策課	事前相談が必要 都市政策課(都 市政策低/開発審査低)			~	
ステータス	第1版事前相談:未回答	市街地開発事業との整合について	市街地整備課	事前相談が必要 市街地整備課			~	~
申請者情報		^{建築機協} 「空」中1月日	1-関す	スファイルたき	行可能			
氏名	アジア航海	いて、世外内に		したもまませま	ALT THE			
メールアドレス	A-400-000-00	住宅政策追加より	ラア1)	ル追加画面を表	रेज	-	~	~
電話番号	10000170.00	添付ファイル一覧				51		1
住所						100		Line
相談內容		ath 選択中の対象: 区、地区計画)	都市計画の整合につ	いて(工地利用、都市計画地設及し	17日111日用光事美、 12以12	and the second of	and the second second	CHI CHI
連絡先情報		1647	ファイル名			No.		1 7
氏名	212788					1		4 B 2
メールアドレス	a manufacture a							
電話番号	100000702-000							1 A State

図 4-211 添付ファイル一覧の操作方法

- ファイル追加画面では、「ファイルを選択」ボタンを押下することで任意のファイルを追加できる
- 「申請ファイルから引用」「回答ファイルから引用」欄では、「引用」ボタンを押下することで申請ファイ ル・回答ファイルを引用できる

PLATEAU								() Hesp	100070F
・「回答登録」より回答を入力し	「回答通知」より送信してくた	lev.					回答キャンセル	ESTS	10
回答入力									
回答を入力してください。							16.01	的中语	91003236
入力中の申請種別: <b>事前相談</b>			25 M (		PECHAR		48		
■中請種類	開発許可	i.	都市計画の整合について(土地			leska			
■回答担当課	都市政策課,市街地整備課 道推進室,管理用地課,土才 城共生推進課,環境政策課	建築指導課,住宅課,下水 「課,又化課,教育総務課,地	利用、都市計画施設及び市街地 開発事業、地域地区、地区計	<b>新市設規</b> 構	事前相談が必要都市政策課(都 市政策係,開発審査係)	都市計画法第29条の許可を けること。	¥	西申請不要~	事前協議不要 ➤
	產課,農業委員会事務局。	ファイル追加					×		
■ステータス	9 八日 相談:未回答								
■申請者債報		・PCのファイルを追加							
·氏名	アジア航潮	PCのファイルを参照してii	自加します。		ファイ	ルを選択(	壬意のフ	アイル	を追加
・メールアドレス	yk.nakajima@ajiko.co.jp	ファイルを選択			引用		申請ファ	イルを	引用
·電話番号	0449676140	・由語ファイルから引用			317.13		1 413 - 2	1	
・住所		申請ファイルを引用してつ	ファイルを追加します。						
・相談内容	ſ		119	###.Z	ファイルタ			and the second s	
■連絡先情報		+ 10.2	191+#02	odf	0 十時利用計画図	ndf		Lines 8	
・氏名	アジア航測			vlev		03 07 viev	810		1-13 1004
・メールアドレス	yk.nakajima@ajiko.co.	(0L//La> E1:		ALDA	1M// UP/CIEG/#_231_2023_	02_071858	2000		
・電話曲号	0449676140	÷							

図 4-212 ファイル追加の操作方法

- 「引用」ボタンを押下して編集画面を開く。PDF ファイルの場合、編集ページ選択画面が開くので、編 集ページを選択する
- 「保存」ボタンを押下すると添付ファイルー覧に登録される。添付ファイルー覧からは「表示/編集」ボタンを押下して画面右に編集画面を表示する。「削除」ボタンを押下することで一覧から選択したファイルを削除できる



図 4-213 引用ファイルの編集方法

- 編集画面にはアイコンが表示されるので、アイコンを押下することで操作モードの切替えが可能となる
- 各アイコンの操作内容は下図のとおり

			4.H	_			
		980	□ ⊀ K A	• / 0	~ ×		
			(修式第4号) (第4条网络)				
			<b># # 0 % #</b>				
			(現代行為者) 在 所				
		2	5.6 R				
						1	
				6.6			
		i i	あなたが決重している の間角 約、10人の合理(原語中日)の中国に用して、私が権利を有い 日本の合理(原語中日)の中国に用して、私が権利を有い	について、都市計画法の規定に基 している予記物件において、開発	ジ<葉角 月高又は		
ß	選択モード		枠線(四角)を追加	A <del>7</del>	キストを追加	ē	吹き出しを追加
Û	削除	51	フリーハンドラインを追加	● 円	を追加	~	編集を保存
2	1つ前の操作に戻す	Ľ	矢印線を追加	<b>*</b>	ーカーを追加	×	編集画面を閉じる
۲	線の色を変更	■	線の幅を変更	盂 <b>線</b>	の種類を変更	↔	矢印の種類を変更
<b>è.</b>	面の色を変更	Ŷ	透過率を変更	A 文	字の色を変更	я _А	文字のフォントを変更
				+ 7 40 4	╮ᡰ╝ <i>╠╴┿╴</i> ┆┼		

図 4-214 ファイル赤入れの操作方法

- 回答入力と回答ファイルの添付が完了したら、「回答登録」ボタンを押下して回答を登録する
- 回答完了ダイアログが表示され、ステータスが「回答中(未回答課あり)」に変更となる

•												
A LULIDAN												
<ul> <li>「回答登録」より回答を入力し「</li> </ul>	「即答遇知」より送信してください。				図描手で、	101 E26-214		1				
<b>回答入力</b>												
回答を入力してください。					, (j. 1997)	141 Fich Fid						
入力中の中請種別:事請種談		91 <b>8</b>	6653	TOCALE	回答登録:	マンをクリック						
■中調種類	開発許可											
■回答把当韩	都市政策課,市街地整備課,建築后導現,住宅課,下水 通修建室,管理局地課,土木課,文化課,教育総務課,地 经共生地道課,環境政策課,資券搭載性證課,農林水 中地,要求用,中本部目的工作可能的問	解発の単構設の技術登集に開し て	都市政策課	単形相談が必要 鮮牛政策課(新 市政策低間発審査係)	は、脱毛がたのだらせ事項を 重守すること。	高中時不要 v 单约位进不要 v						
27-92	(1) 本31月25 · 本(3) 二	都市計画の整合について(土地						L				
<ul> <li>中請者/得報</li> </ul>	A REAL PROPERTY OF A REAL PROPER	10年、新市計画地図20市会市 開発事業、地域地区、地区計	87年25月1月	単数型成り必要単で成果課(単 市政策低/開発審査係)	17822.			•				
<ul> <li>氏名</li> </ul>	アジア抗敗	<b>a</b> )										
・メールアドレス	yk.nakajima⊜ajiko.co.jp	市田地間発事業との登合について	<b>冬日地整備課</b>	事務相談が必要 市田地型機調	・「四首登録」より回答を	入力し「回答通知」より送信してください。				営業キャンセル		
- 電話曲号	0449676140	添付ファイル一覧			回答入力							
- 住所		選択中の対象:下水道計画と	の整合及び下水道との	り接続について	<b>写答を入力してください。</b>					3541	R03 5853	1
- 相談内容		597	22186		入力中の中語種別:事前種加	1	На					
■連絡元情報					■中調種類	開発許可	i i		283.5	1		
· 1520	7-57-NUR					都市政策課,市街地整備課,建築信得課,住宅課,	·····································	医机能放大力器 数字计算机	(他)開発行為性利率時にあたって 勤務各課との打合せ事項を /すること。		「市時不要 - 単約位請不要 -	
<ul> <li>・ メールアドレス</li> <li>・ 気は前日</li> </ul>	yk.nakajmaglajko.co.jp 0449676140				<ul> <li>問答担当課</li> </ul>	进推通至管理用地課土不讓、文化課、教育部務 延共生推进課、環境政策課、資源碼環推進課、農利			×			
						產課、農業委員会事務局、消防本部醫防課			64.0			
					■ステータス 	第1版事前相談:未過苦		司关令了	1計画活第29条の許可を受 いこと。	1	「中純不豊く」 事約協議不豊く	
					• <b>17-24</b> (2) 14 12	THE PARTY AND A DECISION OF A DECISIONO OF A		987C J				
					A SHUPPLEZ	vicestairraffailte roin	回告内容に問題な0741 (現代、回答した旨は申	1は回告適知を行ってくたさい。 P請者へ通知されておりません。)				
					- 電話曲号	0449676140				ST HOUSESING		
					- @/fi							
					- 4525/1902		通択中の対象:下水道計画との整	合及び下水道との接続について			and the second s	-7
					<ul> <li>連絡先情報</li> </ul>		Ear I	「答完了ダイ」	アログ表示			6
					• 既名	アジア航期				and as all	-	and a
					・メールアドレス	yk.nakajima⊜ajiko.co.jp	_	→ステーダス7	יי	Par EAL		
					· 電話書号	0449676140	×	回答中(未	回答可あり)	)に変	更	a.

図 4-215 回答登録の操作方法

- 6) 行政担当者:通知作業
- 全部署の回答が完了すると、通知管理者にメール通知される



図 4-216 全部署回答完了通知

- 「申請情報検索」タブを選択し、各課が回答し、ステータスが「回答精査中」になっている案件を検索し、
   検索結果の申請の「詳細」ボタンを押下する
- ステータスは「回答精査中」でなくても通知可能である(「回答準備中」)



図 4-217 回答完了案件の検索方法

- 申請情報詳細画面が開くので、画面右上の「回答通知」 ボタンを押下して事業者に回答内容が通知される
- 回答通知完了ダイアログが表示される
- 回答通知の操作は権限付与された部署のログインアカウントのみ実行可能となる



図 4-218 回答通知の操作方法

- 7) 事業者:申請内容への回答確認作業
- サイトにアクセスし、初期画面下部の ID・パスワード入力部に申請受付時に通知された ID・パスワード を入力し、「回答内容を確認する」ボタンを押下してログインする

<b>Q</b> *1.473 <u>A</u> 9				g vide
() 17-9troldsteller		S Sharesen and Sel		-
	木更津市開発許可申請システム	市中へ戻る		0
	本システムの利用目的を選択してください。 利用目的を選択していただくと、申請手続きおよび回答確認が行えます。			- B +
	🦲 :開発許可 🚫 :その他			
	利用者規約			
	本システムは国土交通省都市局(Project PLATEAU)による実証実験システム 木更津市による正式運用ではない、期間限定の提供であることをご了承いたださ 以下のご利用条件に問意の上、ご利用ください。	ся. ^{±.}		
	・ホシステムで利用する出効素料には、仕型清朝のは美を含みます。 ・地図や香港は、土地の境界または連切等の位置を正確に表示するものではありません。 ・一般、実験ロシャホエム・ヘークレクション			
		-ROTHANDLANTERSTS.		
	回答確認			
	明合10/パスワードを入力してください			
	VIGRE			
	122-8	6		
		BEADSHESS.	申請時D/パスワード入	力
				SIUMAR

図 4-219 回答確認ログイン方法

- ログイン後画面左パネルから回答内容が確認できる
- 左パネル中央に回答内容が一覧表示される。「問い合わせ」列の[□]ボタンを押下することで、回答への問 合せが行える

								_	
「事前相談」「事前協議」「約 アイルー覧をご確認ください。	可判定」のいずれかを選択して、回答内容を確認してください。B 「問い合わせ」よりファイルの追加送信とチャット画面を開くこと	回答一覧の添付にチェックのある とができます。	回答は、添付ファイルカ	「ございますので、行をクリック	し添付フ		反為		高中語
回答內容確認		_				申	請フ	オーム	画面へ
(PHIER)	Relation	HB	882	PS:2.M.R	нхча	派付	Rifts	PARA	BUGDE
中請種類	開発許可			取約301015人以来 #155万分3年 (#15)	開発行為施司由語にあたってけ、 閉係				-
	都市政策課,市街地整備課,建築指導課,住宅課,下水道 推進客 管理用約課,十木課,文化課,教育総務課,約城林	発の申請及び技術基準に関して	都市政策課	政策係/醫発審查係)	各課との打合せ事項を遵守すること。		不要	不要	
「四番担当課	生推進課,環境政策課,資源循環推進課,農林水產課,農 業委員会事務局,消防本部置防課	市計画の整合について(土地利)、都市計画施設及び市街地開発	都市政策課	事前相談が必要都市政策課(都市 改第係(総会高音係)	都市計画法第29条の許可を受けるこ と。	0	不要	不要	
ステータス	第1版事前相談:未完(要再申請)	、地域地区、地区計画)		ACTION OF THE PERSON OF					
中請者情報		街地開発事業との整合について	市街地整備課	事前相談が必要市街地整備課					
氏名	アジア航測	采確認申請に関する手続きにつ で	建築指導課	事前相談が必要 建築指導課					
メールアドレス	an analysis and a second second	宅政策に関して	(4'8)	女市気 ■	t. = =				
電話番号	10000710.00	水道計画との整合及び下水道と	下水道描述第	合內谷一見	で衣小				
住所		接続について	門	合せ欄の吹	き出しをクリ	ック	で問合	せ画面	を表示
相談内容		HERICAL STREET, NO. C	R-R-R-GIR	AND BROOK AND					
連絡先情報		回答添付ファイル一覧				-	ATT IN	ZEIN	State of the second
回答ファイル一覧	市政回答レポートを出力	目答ファイル	HB	887	774 <b>168</b>	: 3	in the second se		
申請ファイルー智 発行様式	и на	都市1 <del> ダウンロード</del> 施設3 画)	目の整合について(土地料 20市街地開発事業、地域対	U用、都市計画 包区、地区計 prog	9 土地利用計画回 1.1.png				

図 4-220 回答確認の操作方法

- 回答内容一覧で「回答添付」列にチェックが入っている行をクリックすると、クリックした対象項目の添
   付ファイルが画面左下に一覧表示される
- 「ダウンロード」ボタンを押下することでファイルをダウンロードできる

7-170 962C1846 220%</th <th>「同い合わた」ようファイルの意味色をデアット集画を用くた</th> <th>C// C 2 &amp; 7 +</th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th>	「同い合わた」ようファイルの意味色をデアット集画を用くた	C// C 2 & 7 +							
回香內容確認					-				
<b>UNITED</b>	Print Print.	218			日古内容				
申請種類	開発許可			The second s		有器	265 2	黄色	
	都市政策課,市街地整備課、建築指導課,住宅課,下水道	開発の申請及び技術基準に関して	都市政策課	學術相談方:必要都市政策課(都市	開発行為許可申請にのたうては、関係		不要	不要	
回答担当課	推進並,管理用地課,工不課,又化課,取育総務課,把或共 生推進課,環境政策課,資源循環推進課,農林水産課,農 業委員会重務局,当防本部幣防課	都市計画の整合について(土地利	et ± 2-5218	事前相談が必要 都市政策課(都市	都市計画法第29条の許可を受けるこ		7.8	78	
コステータス	第1版事前相談:未完(要再申請)	事業、地域地区、地区計畫)	BAILINGER	政策低(開発審査係)	٤,		1.1	108	
申請者请報									
氏名	アジア航測	随業確認中期に関する手統さにう いて	建築指導課	- 単約相談が必要 建築出導課					
メールアドレス	al characteristic contract	住宅政策に関して	住宅課	事前相談が必要 住宅課					
電話番号	10000000000	下水道計画との整合及び下水道と の接続について	下水道推進室	事前相談が必要下水道推進室					
住所		開発区域内の道路に関して	管理用地理	事前相談が必要管理用地課	•				
相談内容		And 1012 (Made 11) 48, 10 (10) 241, 12 (10) 10 (10)		waters of the stremetors					
連絡先情報		回答添付ファイル一覧					-	No.	一江西教
回答ファイルー覧		目答ファイル	MA	164.7	724748	î 🎽	Partie -		-
申請ファイル一覧		都市計	画の整合について(土 バ市市の開発事業の	地利用、都市計画 161913、1913日 - 1914	9 +966(00)+0652 1 1 mm		1		ALEA
発行様式		画)		ander deset pro				-	Cart .
						· 1000	-		2

図 4-221 回答ファイル一覧の操作方法

● 「回答レポート出力」ボタンを押下することで、行政による回答内容が印字された概況診断結果が出力で きる



図 4-222 回答レポート出力の操作方法

- 8) 事業者:再申請作業
- 再申請を行う場合、回答内容確認画面上部の「再申請」ボタンを押下する



図 4-223 再申請の開始方法

- 申請区分が、前回設定内容で表示される。変更があれば修正する
- 概況診断が実施される。前回との差分が示される
- 申請フォームが表示される。対象項目ごとにファイルを追加する
- 要再申請と判定された項目に関連する資料のみが再提出対象として表示される



図 4-224 再申請の操作方法

- 「次へ」ボタンを押下して申請確認に進む
- 申請内容を確認し、問題なければ「申請」ボタンを押下する
- 申請を受け付けると申請完了通知ダイアログが表示される。ログイン ID・パスワードは最初の申請時と 同様である



図 4-225 再申請受付の操作方法

- 9) 行政担当者:再回答
- 事業者の再申請を受け付けると、行政担当者トップ画面に受け付けた申請一覧に表示される
- 「詳細」ボタンを押下して申請の詳細確認と回答登録を行う
- 以降の操作は「5)行政担当者:回答入力」と同様



図 4-226 再回答の操作方法

10) 事業者:問い合わせ作業

● 回答内容一覧の□ボタンを押下することで、選択項目に関連する課へ問い合わせできる

「事前相談」「事前協議」「許 ァイルー覧をご確認ください。	可判定』のいずれかを選択して、回答内容を確認してください。 「問い合わせ」よりファイルの追加送信とチャット画面を開くこ	回答一覧の添付にチェックのある とができます。	回答は、添付ファイル)	がございますので、行をクリック	し添付フ		反西		用中國
回答内容確認									
<b>Printege</b>	Inter Infer	Hite	Fish	PERSONAL	BSAS	3511 418	10000	9610.0	聞い合わせ
申請種類	開発許可 都市政策課,市街地整備課,建築指導課,住宅課,下水道 W/#支 領導用地球,十支課,立人課,執票総約課,他試社	開発の申請及び技術基準に関して	都市政策課	事前相談が必要都市政策課(都市 政策係/開発審査係)	開発行為許可申請にあたっては、関係 各課との打合せ事項を選守すること。		不要	不要	
回答担当課	推進至著理州也將上小床、人儿來,到前的所求,也以外 生推進課環境及策課,資源循環推進課農林水產課,量 業委員会事務局,消防本部層防課	都市計画の整合について(土地利 用、都市計画施設及び市街地開発	都市政策課	事前相談が必要都市政策課(都市 政策係/開発審査係)	都市計画法第29条の許可を受けるこ と。	0	不要	不要	
テータス 明者情報	第1版事前相談:未完《要再申請》	事業、初端相応、相応計量) 市街地開発事業との整合について 建築確認由語に関する手持きにつ	市街地設備課	事前相談が必要 市街地設備課					
无名	アジア航測	w ^z	建築指導課	事前相談が必要 建築指導課	吹き	出し	ボタン	ィをクリ	ック
ールアドレス	an annan annan an	住宅政策に関して	住宅課	事前相談が必要住宅課	~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~	日面	に関う	車する理	100
送番号 55	10000000	下水道計画との整合及び下水道と の接続について	下水道推進至	事前相談が必要下水道推進室	問合	けが	可能	± 7 °0/µ/	
		開発区域内の道路に関して	管理用地課	事前相談が必要 管理用地課	1.01		3 100		
8款內容		公共財産土木工事施行許可及び占 回答添付ファイル一覧		SPALINE LT UN BREITIGEN		Sil.			
回答ファイル一覧	>	目若ファイル	対象	<b>松田子</b>	ファイル名	11-	-		
調ファイル一覧		都市1 (2020年18) 施設3	+面の整合について(土地 2び市街地開発事業。地域	利用、都市計画 海区、海区計 prog	9. 土地利用計画网 1 1.prg	1.00	FI		NE
电行模式		重)				2	-		Carlos .

図 4-227 問合せ開始の操作方法

- 問い合わせ画面では、画面左パネルにチャットメッセージが表示される
- 左パネル中央に過去のチャットメッセージが時系列順に表示される

- 左パネル下部で新規メッセージの入力と送信が可能となる。テキストボックスにメッセージを入力し、矢印マークを押下することで行政担当者宛にメッセージを送信できる。クリップボタンからファイルを添付できる
- 右パネル下部の各タブを選択することで行政担当者から通知された回答登録内容・履歴及び回答・申請ファイルを表示させることができる



メッセージ入力欄 矢印マークをクリックで送信 クリップボタンよりファイルを添付

図 4-228 問合せ画面の操作方法

- 11) 行政担当者:問い合わせ確認・回答作業
- 行政担当者アカウントでログイン後、初期画面の左パネル下部に担当者の所属部署宛の問合せが一覧表示される
- 問合せの「詳細」ボタンを押下して、問い合わせの詳細内容を確認する



図 4-229 問合せ一覧表示の操作方法

- 問い合わせ詳細を開くと、画面左パネルに問合せチャットが表示される
- 左パネル中央に事業者や行政担当者が登録した過去のチャットメッセージが時系列順に表示される
- 左パネル下部で新規メッセージの入力と送信が可能となる。テキストボックスにメッセージを入力し、
   「@」ボタンから宛先を選択後、矢印マークを押下することでメッセージを送信できる
- 右パネル下部の各タブを選択することで回答登録内容・履歴及び回答・申請ファイルを表示できる

N PLATEAU			<ul> <li>मन्द्र सिक्कार्य अपने ।</li> </ul>
・問い合わせ内容を確認し、回答を入力・送信してください。	(例) 3データセットが地図上で有効		
問い合わせチャット			a -
展る ⁽¹⁾ 33336			June Charlest
事前相談			
NTESELSでなるALCON VZ (土地がHIL) 家店は145500705日は特別な FROM 事業者 10.98853(株 20255020972265 添付いただいた資料の2000(こついてお輝ねします。	チャット 画面 回答登録内	容・履歴及び回答・申請	ファイルを表示可能
	<b>河洋海绵肉</b> 体		and the the second second
	STATES - ST	回古城是一見	
		2 N& B25EM	日答者 日答内容
	回合ファイルー発 申請ファイルー発	都市計画の整合について(土地利 用、都市計画施設及び市街地開発 2025/02/07 13:27	市政策課 都市政策課担 部市計画法第29条の許可を5 i1
		<ul> <li>事業、形現地区、地区計画/</li> <li>(</li> </ul>	
送信先:           メッセージを入力してください			
メッセージ入力欄			

矢印マークをクリックで送信

図 4-230 問合せ詳細の操作方法

- 送信先ボタン(@)を押下することで宛先選択画面が開き、チャットの送信先を選択できる
- ラジオボタンで「事業者」と「行政部署」のいずれかを選択する。行政部署宛のメッセージは事業者には 通知されない
- 行政部署を選択した場合、一覧から部署名をチェックボックスで選択することで指定した部署宛にメッセージを送信できる。複数選択することも可能である

PLATEAU					
<ul> <li> 韩い合わせ内容を確認し、回答を入力・送信してください </li> </ul>	宛先選択		×	0	
願い合わせチャット	いいた ごみ送屋たち登位( テノポナ	π.	宛先	選択	×
	メッピージの送信元を通れてしてくたさい 事業者を選択すると通知されます。 他部署宛のメッセージは事業者に通知:	されません。	メッ 事業 他部	セージの送信先を選択してください。 潜を選択すると通知されます。 増売のメッセージは事業者に通知されませ	h.,
2023/09/28/14-48 こちらXXXXとご回答いただいたのですが、、、	(● :事業者	🚫 : 行政部署		〇:草葉者	(6):行政部署
				現先	i
				2F環境課	0
				<b>脂肪地域振興局</b> 環境課	
				5F商工課	
送信先ホダンをクリック				尖石縄文考古館 内 文化財課	
				4F建設課	0.
(1) 送信先:					
メッセーシを入力してください		チャットの送信先 ・行政担当者間の	を選択 連絡は事業者	皆には通知されない	

図 4-231 宛先選択の操作方法

● 宛先選択後、メッセージを入力し、矢印ボタンを押下することでメッセージを送信することができる


図 4-232 メッセージ送信の操作方法

# 5. システムの非機能要件

## 5-1. 社会実装に向けた非機能要件

カテゴリ	ID	項目	詳細	3
可用性	NR001	システムの連続稼働	•	24 時間無停止(事前通告による停止可能)
		時間		
	NR002	システム復旧時間・復	•	開庁日 24 時間以内の復旧
		旧時点	•	障害発生前日の受付・入力分までを復旧
	NR003	データの保管期間	•	添付書類について5年、そのほかは無期限とする
			•	利用状況により、拡張可能とする
性能・拡張性	NR004	アカウント数	•	20 アカウント程度設定可能とする
			•	利用状況により、拡張可能とする
	NR005	申請件数	•	年間 500 件の事前相談、100 件の 29 条申請
	NR006	事業者アクセス数	•	事前相談件数×5(2500件)
	NR007	システムの処理実行	•	通常の閲覧操作においては、アクセスの 90%が応答
		速度		時間 5 秒以内であることを目標とする
			•	帳票作成は条件に寄るが、1 分以内を目標とする
			•	応答時間のモニタリングにより、拡張可能とする
運用・保守性	NR008	セキュリティ	•	UI の入力項目は、全て適切な文字列のみ入力が許容
				されるよう無害化する
	NR009	認証	•	利用ユーザーを特定するためにユーザー名、メール
				アドレス、英数字を組み合わせた 8 桁以上のパスワ
				ードを設定したアカウントを発行する

表 5-1 非機能要件一覧

- 1) 【NR001】システムの連続稼働時間
- 本非機能要件を適用するシステム
  - ▶ 開発許可申請管理システム
- 目標値
  - ▶ 24 時間稼働
- 設定理由
  - 地方公共団体職員向け機能は開庁時間内の利用であるが、事業者によっては開庁時間外、また定休日が異なることから、24時間稼働を基本とする
  - ▶ データ更新などのメンテナンスのため、事前通告による停止日は月1日程度を設定可能とする
- 評価方法
  - ▶ 連続1週間の稼働とモニタリングを行い、システムダウンしないこと、またサーバリソースが減少

するなどの異常な挙動がないことを確認する

- 2) 【NR002】システム復旧時間・復旧時点
- 本非機能要件を適用するシステム
  - > 開発許可申請管理システム
- 目標値
  - > 開庁日 24 時間以内の復旧
  - 障害発生前の受付・入力分までを復旧
- 設定理由
  - > 窓口対応も引き続き行うため、万一の場合は切替えによる対応も想定できる
  - ▶ 回答に数日を要する手続きである
  - > 受け付けた情報は保持が必要
- 評価方法
  - プログラム部分だけでなく、各種冗長化、バックアップ・スナップショットを考慮したストレージの 設計により実現する部分となる
  - ▶ データ復旧含めて、実証実験では日次バックアップによる復旧を前提に準備する
- 3) 【NR003】データの保管期間
- 本非機能要件を適用するシステム
  - > 開発許可申請管理システム
- 目標値
  - ▶ 添付書類について5年、そのほかは無期限とする
  - ▶ 利用状況により、拡張可能とする
- 設定理由
  - ▶ 基本的には無期限での保管を期待される
- 評価方法
  - > ストレージに依存するため、導入時に管理対象を協議の上で設計する
- 4) 【NR004】アカウント数
- 本非機能要件を適用するシステム
  - > 開発許可申請管理システム
- 目標値
  - ▶ 20 アカウント程度設定可能とする(2D モード)
  - ▶ 利用状況により、拡張可能とする
- 設定理由
  - ▶ 実証における参加関係課数が16である
- 評価方法
  - ▶ 地方公共団体職員向け機能に対して、20端末から同時操作を行う

- 5) 【NR005】申請件数
- 本非機能要件を適用するシステム
  - 開発許可申請管理システム
- 目標値
  - ▶ 年間 500 件の事前相談、100 件の 29 条申請
- 設定理由
  - ▶ 実証における目標値
- 評価方法
  - ▶ 事前相談件数から、事業者アクセス数の目標値【NR006】を定める
- 6) 【NR006】事業者アクセス数
- 本非機能要件を適用するシステム
  - > 開発許可申請管理システム
- 目標値
  - ▶ 事前相談件数×5(2500件)
- 設定理由
  - ▶ 事前相談件数に対して、安定運用できるよう5倍のアクセス数を想定する
  - 市役所の開庁日数を年間 250 日とした場合、コンスタントに日 10 件の利用が見込まれ、安定運用のため 10 事業者の同時アクセスを想定する
- 評価方法
  - ▶ 事業者向け機能に対して、10端末から同時操作を行う
- 7) 【NR007】システムの処理実行速度
- 本非機能要件を適用するシステム
  - > 開発許可申請管理システム
- 目標値
  - ▶ 通常の閲覧操作においては、アクセスの 90%が応答時間 5 秒以内であることを目標とする
  - ▶ 帳票作成は条件に寄るが、1分以内を目標とする
  - ▶ 応答時間のモニタリングにより、拡張可能とする
- 設定理由
  - ▶ wの一般的な発注仕様の例による
- 評価方法
  - 【NR004】【NR006】の合否判断基準とする
  - ▶ ただし、庁内のネットワーク環境に起因する応答遅延は対象外とする
- 8) 【NR008】セキュリティ
- 本非機能要件を適用するシステム

- ▶ 開発許可申請管理システム
- 目標値
  - ▶ UIの入力項目は、全て適切な文字列のみ入力が許容されるよう無害化する
- 設定理由
  - ▶ SQL インジェクション攻撃に対してデータベースを保護する
- 評価方法
  - ▶ 単体テストにおいてコードレビュー
- 9) 【NR009】認証
- 本非機能要件を適用するシステム
  - ▶ 開発許可申請管理システム
- 目標値
  - 利用ユーザーを特定するためにユーザー名、メールアドレス、英数字を組み合わせた 8 桁以上のパ スワードを設定したアカウントを発行する
- 設定理由
  - ▶ 一般的なパスワード保護設定
- 評価方法
  - > SE 設定時のパスワードを 8 桁以上で設定する

### 5-2. 実証観点での非機能要件

カテゴリ	ID	項目	詳細	
可用性	NR001	システムの連続稼働	•	24 時間無停止(事前通告による停止可能)
		時間		
	NR002	システム復旧時間・復	•	開庁日 24 時間以内の復旧
		旧時点	•	障害発生前日の受付・入力分までを復旧
	NR003	データの保管期間	•	添付書類について5年、そのほかは無期限とする
			•	利用状況により、拡張可能とする
性能・拡張性	NR004	アカウント数	•	20 アカウント程度設定可能とする
			•	利用状況により、拡張可能とする
	NR005	申請件数	•	年間 500 件の事前相談、100 件の 29 条申請
	NR006	事業者アクセス数	•	事前相談件数×5(2500件)
	NR007	システムの処理実行	•	通常の閲覧操作においては、アクセスの 90%が応
		速度		答時間5秒以内であることを目標とする
			•	帳票作成は条件に寄るが、1 分以内を目標とする
			•	応答時間のモニタリングにより、拡張可能とする
運用・保守性	NR008	セキュリティ	•	UI の入力項目は、全て適切な文字列のみ入力が許容
				されるよう無害化する
	NR009	認証	•	利用ユーザーを特定するためにユーザー名、メール
				アドレス、英数字を組み合わせた8桁以上のパスワ
				ードを設定したアカウントを発行する

表 5-2 非機能要件一覧

- 1) 【NR101】システムの連続稼働時間
- 本非機能要件を適用するシステム
  - 開発許可申請管理システム
- 目標値
  - > 24 時間無停止(事前通告による停止可能)
- 設定理由
  - 地方公共団体職員向け機能は開庁時間内の利用であるが、事業者によっては開庁時間外、また定休日が異なることから、24時間稼働を基本とする
  - ▶ データ更新などのメンテナンスのため、事前通告による停止日は月1日程度を設定可能とする
- 評価方法
  - 24 時間のシステム連続稼働を行い、システムダウンや、EC2(Web サーバ)の CPU 使用率、EC2 (Web サーバ)のネットワーク I/O、RDS(DB サーバ)の CPU 使用率の急上昇が無いことを確認 する

- 2) 【NR002】システム復旧時間・復旧時点
- 本非機能要件を適用するシステム
  - > 開発許可申請管理システム
- 目標値
  - > 開庁日 24 時間以内の復旧
- 設定理由
  - > 窓口対応を継続する必要があるため、万一の場合は切替えによる対応も想定できる
  - > 受け付けた情報は確実な保持が必要
- 評価方法
  - ▶ Web サーバ、DB サーバを故意に停止して、24 時間以内に復旧できることを確認する
  - ▶ Web サーバ、DB サーバを故意に停止する直前の受付・入力分までが復旧できることを確認する
- 3) 【NR003】データの保管期間
- 本非機能要件を適用するシステム
  - ▶ 開発許可申請管理システム
- 目標値
  - ▶ 添付書類について5年、そのほかは無期限とする
  - ▶ 利用状況により、拡張可能とする
- 設定理由
  - ▶ 申請に関するデータであるため、基本的には無期限での保管を期待される
  - ▶ ただし、ランニングコストも踏まえ、上記目標値とした
- 評価方法
  - > 実証項目から削除することなったため、評価は行わない
- 4) 【NR004】アカウント数
- 本非機能要件を適用するシステム
  - ▶ 開発許可申請管理システム
- 目標値
  - ▶ 20 アカウント程度設定可能とする(2D モード)
  - ▶ 利用状況により、拡張可能とする
- 設定理由
  - ▶ 実証における参加関係課数が16である
- 評価方法
  - ▶ 20 アカウント程度設定できることを確認する
  - 実証検証で複数部署が使用した際にも、システムダウンなど発生せず運用可能であることを確認する
- 5) 【NR005】申請件数

- 本非機能要件を適用するシステム
  - 開発許可申請管理システム
- 目標値
  - ▶ 年間 500 件の事前相談、100 件の 29 条申請
- 設定理由
  - ▶ 実証における目標値。
- 評価方法
  - ▶ 実証検証で事前相談された際にも、システムダウンなど発生せず運用可能であることを確認する
- 6) 【NR006】事業者アクセス数
- 本非機能要件を適用するシステム
  - ▶ 開発許可申請管理システム
- 目標値
  - ▶ 事前相談件数 x5(2500 件)
- 設定理由
  - ▶ 事前相談件数に対して、安定運用できるよう5倍のアクセス数を想定する
  - 市役所の開庁日数を年間 250 日とした場合、コンスタントに1日当たり10件程度の利用が見込まれ、安定運用のため10事業者の同時アクセスを想定する
- 評価方法
  - 実証検証で複数事業者に同時アクセスされた際にも、システムダウンなど発生せず運用可能である ことを確認する
- 7) 【NR007】システムの処理実行速度
- 本非機能要件を適用するシステム
  - ▶ 開発許可申請管理システム
- 目標値
  - ▶ 通常の閲覧操作において、アクセスの 90%が応答時間 5 秒以内であること
  - ▶ 帳票作成は条件によるが、1分以内を目標とする
- 設定理由
  - ▶ Web システムの一般的な発注仕様の例による
- 評価方法
  - ▶ ブラウザの開発者ツールを使用し、アクセスの応答時間を確認する
- 8) 【NR008】 セキュリティ
- 本非機能要件を適用するシステム
  - ▶ 開発許可申請管理システム
- 目標値
  - ▶ UIの入力項目に適切な文字列のみ入力が許可されるように無害化する

- 設定理由
  - ▶ SQL インジェクション攻撃に対してデータベースを保護する
- 評価方法
  - > 入力フォームへ不適切な文字列を入力し、無害化されることを確認する
- 9) 【NR009】認証
- 本非機能要件を適用するシステム
  - ▶ 開発許可申請管理システム
- 目標値
  - 利用ユーザーを特定するためにユーザー名、メールアドレス、英数字を組み合わせた 8 桁以上のパ スワードを設定したアカウントを発行する
- 設定理由
  - ▶ 一般的なパスワード保護設定
- 評価方法
  - ▶ SE 設定時のパスワードを 8 桁以上で設定する

# 6. 品質

# 6-1. 機能要件の品質担保

対象プロセス/	品質評価項目	目標値	期間の単位	アクティビティ
サブシステム				
3Dビュー・	UI、レスポンス	● 入出力の一致	2024/6~10 月	● 単体テスト
2D ビュー		● ユーザーヒアリング(満		● 実証団体の評価
		足度)		
事前協議/32	UI	● レビューの承認	2024/7~9 月	● プロトタイプ検証
条協議申請機		● 入出力の一致		● シナリオテスト
能				
許可申請	UI	● レビューの承認	2024/7~9 月	● プロトタイプ検証
		● 入出力の一致		● シナリオテスト
各種帳票出力	出力ファイル	● 入出力の一致	2024/8 月	● 単体テスト
リマインド通	メール送信	● 入出力の一致	2024/8 月	● 単体テスト
知				

表 6-1 機能要件の品質担保方針

# 6-2. 非機能要件の品質担保

対象項目	品質評価項目	目標値	期間の単位	アクティビティ
開発許可申請	システムの連続	● 24 時間無停止	2024/9 月	● 運用テストによる検証
管理システム	稼働時間			(1週間)
	システム復旧時	● 24 時間以内	2024/9 月	● 運用テストによる検証
	間・復旧時点	● 前日時点		
	データの保管期	● 5年間	2024/9~12 月	● 運用テストによる検証
	間			● 実証期間のモニタリン
				グ
	アカウント数	• 20	2024/9 月	● 運用テストによる検証
	申請件数	• 500	2024/9~12 月	● 運用テストによる検証
				● 実証期間のモニタリン
				グ
	事業者アクセス	• 2,500	2024/9~12 月	● 運用テストによる検証
	数			● 実証期間のモニタリン
				グ
	システムの処理	● 5秒以内(90%)	2024/9 月	● 負荷テスト
	実行速度	● 帳票1分以内		
	セキュリティ	● 入力項目は、全て適切な	2024/8 月	● 単体テスト
		文字列のみ入力が許容		
	認証	<ul> <li>● 英数字を組み合わせた 8</li> </ul>	2024/9 月	● 運用テストによる検証
		桁以上のパスワード		

表 6-2 非機能要件の品質担保方針

# 7. 実証技術の非機能要件の検証

# 7-1. 検証目的

- 実証実験を実施するために必要な時間、安定してシステムが稼働することを検証する
- 実証実験を安全に実施するために必要なセキュリティが担保されることを検証する
- ユーザーが使いやすいシステムであることを検証する

## 7-2. KPI

カテゴリ	ID	項目	詳細	1
可用性	NR001	システムの連続稼働	•	24 時間無停止(事前通告による停止可能)
		時間		
	NR002	システム復旧時間・	•	開庁日 24 時間以内の復旧
		復旧時点	•	障害発生前の前日分まで復旧
	NR003	データの保管期間	•	実証項目から削除することなったため、評価は行わない
性能・拡	NR004	アカウント数	•	20 アカウント程度設定可能とする
張性			•	利用状況により、拡張可能とする
	NR005	申請件数	•	年間 500 件の事前相談、100 件の 29 条申請
	NR006	事業者アクセス数	•	事前相談件数 x5(2,500 件)
	NR007	システムの処理実行	•	地方公共団体職員が使用する環境である 2D ビューで、閲覧操
		速度		作においては、アクセスの 90%が応答時間 5 秒以内であるこ
				とを目標とする
			•	帳票作成は条件によるが、1 分以内を目標とする
			•	応答時間のモニタリングにより、拡張可能とする
運用・保	NR008	セキュリティ	•	UI の入力項目は、全て適切な文字列のみ入力が許容されるよ
守性				う無害化する
	NR009	認証	•	利用ユーザーを特定するためにユーザー名、メールアドレス、
				英数字を組み合わせた 8 桁以上のパスワードを設定したアカ
				ウントを発行する

表 7-1 非機能要件の KPI 一覧

# 7-3. 検証方法と検証シナリオ

対象項目	品質評価項目	目標値	期間の単位	アクティビティ
開発許可申請管	システムの連続稼	● 24 時間	2024/9 月	● 運用テストによる検証
理システム	働時間			(Amazon Cloud Watch
	システム復旧時	● 24 時間以内	2024/9 月	を利用した以下のリソー
	間・復旧時点	● 前日時点		ス監視)
	アカウント数	• 20	2024/10~11 月	● EC2(Web サーバ): CPU
	申請件数	• 500	2024/9~12 月	使用率、ネットワーク I/O
	事業者アクセス数	• 2,500	2024/9~12 月	● RDS (DB サーバ) : CPU
	システムの処理実	● 5秒以内(90%)	2024/9 月	使用率
	行速度	● 帳票1分以内		
	セキュリティ	● 入力項目は、全て	2024/8 月	● テストによる以下の検証
		適切な文字列の		● SQLインジェクション:不
		み入力が許容		正なテキストを入力しエ
				スケープされることを確
				認する
				● クロスサイトスクリプテ
				ィング:不正なテキスト
				を入力し、入力したテキ
				スト内容を出力する箇所
				でエスケープされること
				を確認する
				● クロスサイトリクエスト
				フォージェリ:各インタ
				フェースアクセス時に
				JWT トークンを用いて認
				証制御されていることを
				確認する
	認証	<ul> <li>● 英数字を組み合</li> </ul>	2024/9 月	● 認証不正:正しいパスワー
		わせた 8 桁以上		ドを入力することで指定
		のパスワード		したユーザーでログイン
				が出来ることを確認す
				る。
				● 英数字の組み合わせ設定
				が可能であることを確認
				する

表 7-2 非機能要件の検証方法

# 7-4. 検証結果

実証実験を実施するに当たり、必要となる稼働時間、表示までの時間については目標値を達成できたが、帳票 出力時間については未達であった。バックグラウンド処理で生成を行うことができ、システムを継続して操作 可能であるため、実証の実施は可能であった。

表	7-3	検証結果サマリー	
---	-----	----------	--

赤セル:達成

青セル:未達

検証内容	評価指標・KPI	目標値	結果	示唆
システム稼働	稼働時間	24 時間	24 時間	● 安定して目標値の時間稼働した
時間				
システムの処	表示までの時	5秒	5 秒以内	● 十分高速にデータを読み込むことができた
理実行速度	間			● 低スペック PC の場合、地図表示の部分につ
				いては、5 秒以上かかった
	帳票出力時間	1分	3分	● 目標に達しなかったが、バックグラウンド処
				理で実施するため、ユーザビリティを毀損せ
				ずにシステムを継続利用可能であった
認証	動作の確認	適切にユー	0	● 英数字を組み合わせた 8 桁以上のパスワー
		ザー認証可		ドを設定し、登録ユーザーのみログイン可能
		能なこと		であることを確認できた

## 8. 業務効率化検証

## 8-1. 検証目的

実証仮説に基づき、以下の検証目的を設定する。

 事前相談において入力された計画内容、適地診断の結果及び判定根拠となる GIS データについて、シス テム上で公共施設管理者との事前協議(都市計画法第 32条)並びに開発許可申請(都市計画法第 29条) の各段階に自動的に引き継ぎ、必要書類の作成を支援する機能を実装することにより、事前相談から開発 許可申請に至るまでの一連の手続について、ワンストップかつオンラインでの実施を可能とし、事業者に おける来庁及び書類提出の負担軽減並びに行政職員における窓口対応及び確認作業の効率化を図る

主に以下の2点について、業務効率化検証を行った。

①審査時間の短縮

事前協議~開発許可までの審査に要する期間を、過去の同規模の申請を対比して確認する
 ②窓口応対件数の推移、削減可能時間の推計

 窓口来訪者数をカウントし、システム導入による変化、また来庁者においてシステムによる対応で可能で あった割合(将来効率化の期待値)を確認する。件数から時間を推定し、業務削減量の期待値を確認する

#### 8-2. KPI

No	評価指標・KPI	目標値	検証対象	目標	慓値の設定理由	検証	E方法サマリー
1	地方公共団体:	20%	木更津市	•	削減効果として、従来	•	事前協議から許可申請までに要
	審査期間の短縮				4 カ月を要した審査手		する期間について、従来の類似
					続きを3ヵ月に近づけ		申請に要した期間との比較
					ることを目標とする。		
2	地方公共団体:	30%	茅野市	•	自動化により来庁不	•	各担当課において、窓口対応件
	窓口応対件数の		木更津市		要と判断した件数を		数をカウントする
	推移、削減可能				削減に含め、30%の業	•	対応した手続き段階(事前相談、
	時間の推計				務削減を目標とする。		事前協議など)別にカウントす
							るほか、システムを用いれば来
							庁不要な内容もカウントする
						•	各課窓口対応の平均時間を確認
							し、件数から凡そ要している対
							応時間に換算し、窓口業務量を
							考察する

表 8-1 KPI 一覧

#### 8-3. 検証方法と検証シナリオ

検証方法としては、本システムによる申請手続き期間と従来の実績を比較し、審査時間の短縮効果を確認する ほか、地方公共団体関係各課において窓口相談件数及びシステムによる自動回答可能な内容の相談数をカウン トすることにより、オンライン化による効果の期待値を検証した。なお、審査時間の短縮は、特定行政庁であ る木更津市で実施し、窓口相談件数による効果確認は木更津市・茅野市で実施した。

審査時間の短縮

本システムで事前協議及び開発許可の申請を行った事業者の手続きについて、申請から通知までに要した日数 を開庁日ベースでカウントする。この手続きに類似する過去の申請を 3~5 件程度抽出し、同様に日数をカウ ントする。類似の判断は、区域区分、開発の目的及び面積が同程度であり、可能であれば同じ事業者(書類の 正確性が同程度)の申請とする。

手続きの削減率は、本システムを用いた場合と従来手続きによる場合の差分と、従来手続き日数の比率とする。

手続き日数削減率(%) = 
$$\frac{D_m - D_d}{D_m} imes 100$$

- *D_d* :本システムを用いて手続きを行った際に要した日数(開庁日)
- D_m :類似する内容の手続きを行った際に要した日数の平均値(開庁日)

なお、手続き日数の削減は、下記についてそれぞれ評価する。

- 事前協議(申請~通知日)
- 開発許可(申請~通知日)
- 事前協議(申請~通知日)+開発許可(申請~通知日)

②窓口応対件数の推移、削減可能時間の推計

各課で事前相談(各種土地の相談)、事前協議の窓口対応を実施した件数を記録する。その際に、システムに よる自動回答が可能な対応内容については、職員の判断で別途カウントする。

地方公共団体で相談対応する各窓口において、土地に関する相談件数を記録し、月単位・課単位で集計する。 記録において、相談内容が地図活用のシステムにより自動化できる可能性がある内容と感じた場合、その記録 も行い、将来的に業務削減を期待できる幅を調査する。

地方公共団体	対象課	記録期間	備考
茅野市	都市計画課 環境課	2024 年 8 月 1 日 ~2024 年 12 月 27 日	<ul> <li>システム公開期間と同様</li> <li>相談件数</li> <li>システムによる自動化可能性 がある相談件数</li> </ul>
木更津市	都 企 市 課 市 面 街 築 空 常 生 水 理 木 化 育 域 共 選 準 進 里 木 化 育 域 共 選 準 批 課 巻 二 文 教 地 堤 定 、 で 里 木 れ に 育 域 共 変 に 、 で 理 木 れ 訳 、 で て 、 で 理 木 れ に 常 、 で で て 、 で 理 木 れ に 常 、 で で て 、 で 理 木 れ に 常 、 、 で で で で で 、 で で で で で で で で で で で で で	2024年9月1日 ~2024年12月27日	<ul> <li>システム公開は 10 月 15 日</li> <li>相談件数</li> <li>システムによる自動化可能性 がある相談件数</li> </ul>

表 8-2 窓口集計調査対象

削減率は、各課の平均的な対応時間を、事前相談・事前協議ごとに原単位を用意し、件数に乗ずることで時間 に換算したうえで、システムによる自動回答可能な時間と、総対応時間の比率とする。

> 窓口対応時間削減可能率(%) =  $\frac{T_s}{T_a} \times 100$ 窓口対応総時間(分)  $T_a = \sum (N_{aij} \times U_{ij})$ システム化可能時間(分)  $T_s = \sum (N_{sij} \times U_{ij})$

- *N_{aij}*:各課の窓口対応件数(月間総数)
- *N_{sij}* : *N_{aij}*のうち、システムで自動回答可能な対応件数(月間)
- U_{ii} :各課の1回あたり窓口対応時間(分) *i*:課 *j*:相談段階(事前相談、事前協議)

窓口対応時間削減可能率を、茅野市・木更津市の実証期間中、月ごとに算出する。

#### 8-4. 検証結果

事前相談において入力された計画内容、適地診断の結果及び判定根拠となる GIS データについて、システム上 で公共施設管理者との事前協議(都市計画法第 32 条)並びに開発許可申請(都市計画法第 29 条)の各段階に 自動的に引き継ぎ、必要書類の作成を支援する機能を実装することにより、申請書類の正確性と効率性が向上 する効果を確認した。木更津市では、審査に関わる 16 課が参加し、実案件による事業者の申請に対応する実 証を行ったが、作業のリマインド機能による作業漏れ防止は効果が見られ、書類管理の効率化と合わせ、審査 期間の短縮効果を確認した。実際の申請において、過年度の同規模の審査では 80 日の審査(4 件の平均)に 対して、今回手続きは 70 日であり、10%程度期間を削減することが出来た。

システム導入によって、窓口訪問者数の変化は、実証3年目の茅野市では変化が見られなかったが、初年度の 木更津市では減少傾向であった。市外から手続きに来庁する事象者からは、地図コンテンツの充実による判定 内容の拡大、地図の精度・最新性など、信頼性の確保を期待する声があり、地図情報の信頼が定着することに より、利用が進むと考えられる。

システムのユーザビリティとして、事業者からは概ね良好な評価を得た。地方公共団体職員からは、事前協議 段階で、事業者や複数課が関わる複雑な協議において、課題が明らかになった。また、手数料納付や原本の手 渡しが必要となる手続きについては、現行制度では窓口対応が必須となる。開発許可申請全体の電子化につい ては、協議・手数料・原本の論点が残るが、システム化により実現が必要な効果の範囲について留意しつつ、 電子化の実現範囲を引き続き検討する必要がある。

①事前相談から開発許可に至る期間を短縮できたか

今回実証で申請手続きした開発と同規模の程度の過去事例を選定し、許可証発行までの手続き期間を比較した 結果、全体で12.5%の期間短縮効果が得られた。事前協議については、過去事例の平均63.5日に対して49日、 22.8%の改善がみられた。一方、開発許可については過去事例の平均16.5日に対して21日と4.5日長くなっ たが、これは開発許可業務が事前協議と異なり多部署の関与がなく都市政策課のみで進行することが要因と考 えられる。そのため、開発許可申請の電子化は、許可完了するまでの期間短縮よりも、事業者の訪問時間や郵 送時間の削減に効果的といえる。また、ヒアリングを通じて、システム化による在宅対応の実現と属人化の是 正が、審査時間の短縮に効果的であることがわかった。



図 8-5 地方公共団体職員(木更津市)の事前協議・開発許可手続き日数の削減効果

山圭	事前協議			開発許可	△計□粉			
中胡	申請日	通知日	開庁日数	申請日	通知日	開庁日数		
今回申請	2024/11/11	2025/01/23	49 日	2025/02/06	2025/03/10	21 日	70 日	
事例 A	2023/07/25	2023/10/19	60 日	2023/10/19	2023/10/26	6日	66 日	
事例 B	2023/09/13	2023/11/29	52 日	2023/12/06	2024/01/21	28 日	80 日	
事例 C	2023/11/07	2024/03/05	78 日	2024/03/05	2024/03/25	14 日	92 日	
事例 D	2023/11/28	2024/03/05	64 日	2024/03/05	2024/03/29	18 日	82 日	
事例平均(X)			63.5 日			16.5 日	80 日	
今回申請との差分(Y)			14.5 日			-4.5 日	10 日	
削減率(Y÷	- X)		22.8%			-27.3%	12.5%	

表 8-3 事前協議・開発許可手続き日数(開庁日)

対象者	カテゴリ	内容	対応策	(案)
地方公共団体	肯定的評価	● 担当 2 名が登庁できない時期があ	• -	
		り、5 日ほどロスした。PC の入れ		
		替え時期のため在宅対応ができな		
		かったが、本来であれば在宅で対		
		応することで、より短縮できた。こ		
		の点も利点と言える		
		● 実証の手続きでは、開発許可段階	• -	
		で 4 回の書類修正が発生してい		
		る。比較的少ない例であり、この書		
		類修正が多い場合、システムによ		
		る手続きの効果が大きくなる		
	改善提案	● 今回は擁壁の構造計算の確認に一	● 手	法の標準化により、将来
		番時間を要した。この計算方法は	的	にはシステム機能として
		担当により個々に方法(ツールな	対	応の可能性がある
		ど) で対応していることも、属人化		
		して時間がかかる要因。例えば方		
		法が標準化されると効率化できる		
		と考えられる		

表 8-4 審査時間への意見

②窓口応対件数の推移、削減可能時間の推計

【地方公共団体】

茅野市及び木更津市において、実証開始後の月ごとに、土地の相談で窓口対応した件数をカウントした。木更 津市では、対応件数の減少傾向が見られたが、茅野市においては明瞭な変化が見られなかった。茅野市では、 2年目以降システム導入後の窓口対応件数が横ばい傾向を示している。これは、事業者が事前相談をシステム で実行できることを認知しているものの、従来の対面での相談方法をより使いやすいと受け止め、直接的なコ ミュニケーションの価値を依然として高く評価している可能性がある。ただし、この推測を裏付けるためには、 利用者の行動パターンや選好に関するより詳細な調査が必要である。

※木更津市は9月より窓口相談対応数をカウント、システムによる自動化可能数は10月よりカウント



図 8-1 茅野市・木更津市における月別の窓口相談対応件数

窓口件数を記録する際に、相談内容がシステムにより自動化できる可能性があるかを対応した職員の判断で合わせて記録した。この記録は職員がシステムを理解したと考えられるシステム実証期間において実施した。茅野市の都市計画課及び環境課では、ほとんどの問合せについてシステムによる省力化の可能性がある。木更津市では30%程度の省力化可能性があり、目標とした30%の削減効果を確認した。茅野市は事前相談段階のみを受け持つため、GISによる情報提供との親和性が高く、システム導入による業務効率化の可能性が高かったと考えられる。一方、木更津市は事前相談だけでなく事前協議段階までを受け持つため、より詳細な説明や個別案件に応じた口頭でのコミュニケーションが必要となる場面が多い。このような対面での協議や調整が必要な業務はオンラインシステムのみでは完結できない性質があり、システム導入後も窓口対応が必要な割合が相対的に高くなったと考えられる。

また、対応件数の削減により期待される時間の削減効果を検討した。茅野市及び木更津市の担当課ごとに、事 前相談及び事前協議の各段階で、1件あたりの平均的な対応時間をヒアリングにより確認した。結果、茅野市 は2課の月平均業務量は1,269分であり、うち1,230分(約20.5時間)の削減を期待できる。木更津市は、9 月・10月に対して減少傾向が見られることから、9月・10月の平均値を通常月と仮定し、各課の10月~12 月におけるシステム化による期待割合の平均値を基に、期待される窓口対応時間の削減量を推定した。結果、 月業務量は 4,853 分であり、うち 1,522 分(約 25.4 時間)の削減を期待できると推定した。



図 8-2 茅野市における窓口相談の対応時間とシステムによる自動化可能時間



図 8-3 木更津市における窓口相談の対応時間とシステムによる自動化可能時間

団体	時期	窓口対応数	時間換算(分)	システム化可能数	割合(月別)	削減期待時間(分)
茅野市	8月	41	1,267	38	93%	1,171
	9月	41	1,237	41	100%	1,237
	10 月	51	1,467	49	96%	1,418
	11 月	47	1,369	47	100%	1,369
	12 月	37	1,004	34	92%	953
	平均	43.4	1,182	41.8	96%	1,146

表 8-5 窓口対応件数におけるシステム化可能な相談数と割合

木更津市	9月	391	4,539			
	10 月	436	5,166	147	34%	1,483
	11 月	248	3,318	61	25%	730
	12 月	229	2,881	75	33%	863
	平均	326	3,976	94	31%	1,025

表 8-6 茅野市における課別の想定対応時間(分)

	都市計画課	環境課
事前相談	15 分	17 分

表 8-7 木更津市の手続き段階における課別の想定対応時間(分)

	都市政策課	企画課	市街地整備課	建築指導課	住宅課	下水道推進室
事前相談	20 分		20 分	10 分	3分	10 分
事前協議	20 分		10 分	10 分	3分	30 分
	管理用地課	土木課	文化課	教育総務課	地域共生推進課	環境政策課
事前相談		30 分	2 分	3 分	5分	10 分
事前協議		45 分	5分	3分	5分	10 分
	資源循環推進課	農林水産課	農業委員会事務局	消防本部警防課		
事前相談	20 分	30 分	10 分	10 分		
事前協議	20 分	30 分	10 分	10 分		

ヒアリング及びアンケートの自由記述を通して、窓口対応については以下の意見があった。事業所から相談に 市役所を訪問する、また窓口の各担当課を訪問する点が負担となっていることを確認した。

対象者	カテゴリ	内容		対応	策(案)
事業者	改善提案	•	遠方から確認に来たので精緻な	•	統合型 GIS など、データ連携に
			情報であればとてもありがたい		より最新化する仕組みの検討
					(合わせてデータ仕様の標準
					化)
		•	ほとんどの課に相談訪問する必	•	-
			要があるため、相談窓口の集約		
			をお願いしたい		

表 8-8 窓口対応件数への意見

## 9. 公共政策面での有用性検証

### 9-1. 検証目的

実証仮説に基づき、以下の検証目的を設定する。

利用者が 2D 表示を選択可能になることにより、職員端末やネットワーク条件に制限がある地方公共団体における開発許可申請管理システムの導入・運用が容易になる

主に以下の4点について、開発許可手続きオンライン化の有用性検証を行った。 ①地方公共団体の PC 環境におけるレスポンス速度

- 地方公共団体庁内 PC 環境において、本システムを実用的に表示できるかを確認する
   ②事前相談から開発許可に至る庁内事務の一貫性
- 電子化による書類の抜け漏れ、書類の先祖返りなどの不備(正確性の不足)による手続きの遅滞を削減で きたかを確認する

③システム導入による業務効率化

- 本システムは事業者・地方公共団体ともに業務効率化に寄与するかを確認する
- ④システムのユーザビリティ
- 今年度開発した本システムにおける UI/UX のわかりやすさ・使いやすさを確認する

#### 9-2. 検証方法

検証方法としては、被験者に対してデモンストレーション含むヒアリング・アンケートを実施するほか、地方 公共団体関係各課において窓口相談件数をカウントすることにより、オンライン化による効果を検証した。な お、相談件数と合わせて、対応した内容がシステム自動回答で可能であったものも件数をカウントし、システ ム普及による期待値とした。

被験者は茅野市と木更津市であり、茅野市は、2022 年度より本ユースケース開発に協力している地方公共団 体であり、庁内における運用で動作速度に課題を感じている。開発許可申請手続きは長野県の管轄であること から、事前協議過程における過年度の課題の解消について確認する。木更津市は、特定行政庁であり年間 50 件程度の開発許可を行っているため、事前協議及び開発許可にかかる機能確認を含めて検証する。

①地方公共団体職員によるレスポンス速度(茅野市・木更津市)

実証期間中に開発許可申請管理システムを使用した地方公共団体職員に対して、オンライン形式でのアンケート(Microsoft Forms)に回答いただき、地図表示で使用したモード(3D、2D)及び動作速度を確認する。

②事前相談から開発許可に至る庁内事務の一貫性(木更津市)

実証期間中に開発許可申請管理システムを使用した地方公共団体職員に対して、オンライン形式でのアンケート(Microsoft Forms)に回答いただき、システムを用いることにより、必要な書類が不足せず提出できているか、事前相談時の確認結果が正しく反映されて事前協議に提出されており、システムの利点を実感できたかを確認する。

③システム導入による業務効率化(茅野市・木更津市) ④システムのユーザビリティ検証(茅野市・木更津市)

【アンケート調査】

システムを利用する被験者全員に対して、オンライン形式でのアンケート(Microsoft Forms)に回答いただ き、本システムの操作性に問題がないかを検証する。

【ヒアリング調査】

新たに開発した機能である公共施設管理者との事前協議(都市計画法第 32 条)及び開発許可申請(都市計画 法第 29 条)について、実際にオンライン申請による手続きを体験いただいている事業者を交えたヒアリング を実施する。

- 会場:木更津市役所 朝日庁舎 会議室 E (Teams 併用)
- 日程:2024年11月21日(木)15時~16時30分
- 機材:システムの機能デモと意見交換時にシステムを操作するために、開発事業者であるアジア航測が以下の PC を1台用意し、参加者で動作を確認する環境を準備

- ▶ 端末性能
  - ・ CPU:インテル®Core™ i5 1.6GHz
  - ・ GPU:オンボード
  - ・ メモリ:16GB
  - · OS: Windows 10
  - ・ 通信環境:iPhone(ドコモ回線)によるテザリング

## 9-3. 被験者

本ユースケースでは、開発許可申請を行う不動産事業者、デベロッパー(開発事業者)、そして申請を受け付 け相談・協議に対応する地方公共団体側主管課及び関係課の担当者をターゲットとしている。

本実証実験では、これらのユーザー該当する以下の方々にヒアリング・アンケートを行い、本システムの価値 を検証する。なお、ヒアリングは事業者1社及び地方公共団体は主管課とする。

分類	具体名称	部署	役職	担当業務	人数
地方公	茅野市役所	都市計画課	一般職員	● 庁内とりまとめ	7
共団体				● 用途区分・立地適正化計画・過去の開	
職員				発許可などの案内	
		環境課	一般職員	● 自然保護・騒音影響のある建造物・浄	3
				化槽設置・井戸掘削が発生する開発の	
				案内	
	木更津市役	都市政策課	一般職員	● 庁内とりまとめ	2
	所			<ul> <li>● 開発の申請及び技術基準に関する案内</li> </ul>	
				● 都市計画の整合について(土地利用、	
				都市計画施設及び市街地開発事業、地	
				域地区、地区計画)	
				● 景観に関する案内	
		企画課	一般職員	● 土地利用計画との整合について	2
				● 基本構想、総合計画などの整合につい	
				て	
		市街地整備課	一般職員	● 土地区画整理事業との整合について	2
				(事業中の区域及び計画中の区域)	
				● 市街地開発事業との整合について	
				● 駐車場法に関する案内(500 m ³ 以上の	
				駐車スペース、駐車場整備地区内の駐	
				車施設の附置)	
				● 公園、児童遊園、緑地などの計画及び	
				生産緑地に関する案内	
		建築指導課	一般職員	● 建築基準法に関すること(接続道路、	2
				建物用途の整合など)	
		住宅課	一般職員	● 住宅政策に関する案内	1

表 9-1 被験者リスト

		下水道推進室	一般職員	•	下水道計画との整合及び下水道との接	2
					続について	
		管理用地課	一般職員	•	開発区域内の道路に関する案内	1
				•	公共財産土木工事施行許可及び占使用	
					に関する案内	
				•	市道の工事及び占用に関する案内	
		土木課	一般職員	•	道路計画との整合について	2
				•	排水(下水道施設を除く)に関する案	
					内	
				•	広域幹線道路計画との整合について	
		文化課	一般職員	•	埋蔵文化財に関する案内	1
		教育総務課	一般職員	•	教育施設に関する案内	2
		地域共生推進課	一般職員	•	防犯灯に関する案内	2
				•	交通安全に関する案内	
		環境政策課	一般職員	•	施設計画で大気汚染、水質汚濁、騒	2
					音、振動、悪臭が懸念されるもの及び	
					地下水の汲みあげに関する案内	
				•	工事で騒音、振動が懸念されるもの	
				•	墓園開発に関する案内(生活衛生課)	
		資源循環推進課	一般職員	•	ごみ処理に関すること	2
				•	浄化槽の設置に関すること	
				•	土砂の埋立てなどに関すること	
		農林水産課	一般職員	•	農業振興整備計画との整合について	2
					(農地、土地改良など)	
				•	林地開発、保安林、林道、農道に関す	
					る案内	
				•	農林畜産施設に係る開発に関する案内	
				•	漁港整備との整合、水産施設に関する	
					案内	
		農業委員会事務局	一般職員	•	農地転用に関すること	1
		消防本部警防課	一般職員	•	中高層計画における消防活動用空地に	2
					関すること	
				•	消防水利などに関すること	
事業者	たくみ設計		代表	•	システムを用いた開発許可申請	1
	工房					

# 9-4. ヒアリング・アンケートの詳細

# 9-4-1. アジェンダ・タイムテーブル

#### 表 9-2 アジェンダ・タイムテーブル

No	アジェンダ	所要時間
1	開会、出席者紹介、挨拶	10 分
2	事業概要、システム概要説明	15 分
3	事前協議以降の追加機能デモンストレーション	25 分
4	開発許可のオンライン化について意見交換	30 分
5	総括、閉会	10 分

#### 9-4-2. アジェンダの詳細

No	アジェンダ(再掲)	内容
1	開会、出席者紹介、挨拶	<ul> <li>開会</li> <li>出席者紹介</li> <li>挨拶(木更津市都市政策課長)</li> </ul>
2	事業概要、システム概要説明	<ul> <li>ユースケースのこれまでの経緯</li> <li>本年度事業概要</li> <li>ユースケースの仮説</li> <li>R6の拡張機能</li> <li>木更津市における窓口対応件数</li> <li>自動判定の仕組み</li> <li>申請区分と GIS による判定</li> <li>設定とシステム動作</li> </ul>
3	事前協議以降の追加機能デモ ンストレーション	<ul> <li>事前相談の完了から事前協議の申請</li> <li>事前協議申請の受付</li> <li>協議と条件の合意</li> <li>事前協議の完了と 32 条協議書、事前協議合意書の出力</li> </ul>
4	開発許可のオンライン化につ いて意見交換	<ul> <li>オンライン事前相談の使用感</li> <li>事前協議申請への引継ぎ</li> <li>資料添付</li> <li>管理の視点</li> <li>協議の電子化</li> </ul>
5	総括、閉会	<ul> <li>総括(国土交通省都市局)</li> <li>閉会</li> </ul>

表 9-3 アジェンダの詳細

# 9-4-3. 検証項目と評価方法

検証観点	No	検証項目	検証対象	定量	是評価	定性評価
①地方公共団体の	1	地方公共団体:	茅野市	•	アンケートに地図の動作速度の	● アンケート
PC 環境におけるレ		反応速度・レス	木更津市		体感を回答する設問	の自由記入
スポンス速度		ポンスは十分		•	選択肢は「とても満足」「やや満	欄を確認
		か			足」「普通」「やや不満」「とて	● ヒアリング
					も不満」の5つで設定	による聞き
				•	「普通」以上が 80%であること	取り
					を目標とする。	
②事前相談から開	2	地方公共団体:	木更津市	•	オンライン申請に対応した職員	
発許可に至る庁内		事業者が提出			向けアンケートに、システムの	
事務の一貫性		する書類の正			利点として「必要な書類、記載事	
		確性確保			項の抜け漏れが減少する」「各段	
					階の書類が正確に管理・引き継	
					がれている」ことを選択可能と	
					する。	
				•	申請書類を受付する主管部門で	
					ある都市政策課のアンケート及	
					びヒアリングで、80%以上の改	
					善実感を目標とする。	
③システム導入に	3	事業者:負担軽	茅野市	•	選択肢は「とても満足」「やや満	
よる業務効率化		減・効率化の実	木更津市		足」「普通」「やや不満」「とて	
		感できるか			も不満」の5つで設定	
	4	地方公共団体:	茅野市	•	回答を集計し、各選択肢の選択	
		負担軽減·効率	木更津市		率から評価 (各設問で、過半数の	
		化を実感でき			「やや満足」以上の回答を目標	
		るか			とする)	
④システムのユー	5	事業者:システ	茅野市			
ザビリティ		ム操作性に問	木更津市			
		題がないか				
	6	地方公共団体:	茅野市	1		
		システム操作	木更津市			
		性に問題がな				
		いか				

表 9-4 検証項目と評価方法

#### 9-4-4.実証実験の様子



開発許可の相談及び協議に関わる 16 課への実証事業説明会の様子(木更津市役所内)

図 9-1 関係課向け実証事業説明会(5月21日)

開発許可の相談に関わる2課へのシステム説明会の様子(茅野市役所内)



図 9-2 関係課向け実証事業説明会(8月1日)

開発許可の相談及び協議に関わる16課への実証開始前、操作説明会の様子(木更津市役所内)



図 9-3 関係課向けシステム説明会(10月1日)

木更津市都市政策課、たくみ設計工房へのヒアリングを実施。申請を運用した経験に基づく意見を、システム 操作しながら確認



図 9-4 木更津市役所・申請事業者へのヒアリング(11月21日)

事前協議の合意記録の画面(地方公共団体職員画面)

「回答登録」より回答を入	」 「ministruc」から選択した単語医力の詳細情報を開 、力し「回答通知」より送信してください。	196 C C F Y .				戻る	四答	96		回答通知
申請情報詳細										
	争前位选择的制定		0 <u>2</u>	i¥#						
請種類	開発許可	創連条項		協議対象/行政回	ä		事業者合意登録		行政確定	·99
答担当課	都市政策課,企画課,市街地整備課,建築指導課, 住宅課,下水道推進室管理用地課,土木課,文化 課,教育%教課,地域共生業,推進,定後,3%等場, 8%	🚺 管理用地課 🥑						合意		2024/12/19
テータス	床. 教育秘密床. 也吸兴主 在连床, 爆吸以來床,員 源循環推進課,農林水產課, 消防本部醫防課 第1版許可判定:完了	開発区域内の道路に関して	市道 Pの	2314号線の排水接続に 接続部は、コンクリート巻 道路法第32条の許可を考	ついて、例溝とV き厚10cmで補強 🕑	合意	2024/12/19	合意	0	2024/12/19
請者情報		市道の工事及び占用に関して	北側	水路の側溝布設等について	は、法定外公共物	合意	2024/12/19	合意	0	2024/12/19
8	申請太郎	-	I#	施行許可を受けること。					-	
ールアドレス	yk.nakajima@ajiko.co.jp							合意		2024/12/19
活番号	0449676140	道路計画との整合について	出入 コン と、	り口部の地先境界ブロック クリートを設置し、沈下院	については、基礎 加力策をするこ 🛛 📿	合意	2024/12/19	合意	0	2024/12/19
谈内容 絡先情報		▼ 排水(下水道施設を除く)に	宅内 関して つい	排水の側溝への接続位置に い位置で接続すること。 育 て、既存舗装との継ぎ目れ	ついて、可能な限 前面市道舗装復旧に 近等に水溜りが出	合意	2024/12/19	合意	0	2024/12/19
答ファイル一覧		*	来な	いよう、表面勾配に注意す	ること。					10.00
請ファイル一覧		発行様式								
行様式		> ファイル	第6行様式	通知						
答履歷一覧		y ダウンロード 同意 ダウンロード 32条	AA AA AA AA AA AA AA AA AA AA AA AA AA		アップロード		MAST			

図 9-5 事前協議の合意記録画面

#### 事前協議終了後に出力される宅地開発事業事前協議同意通知書のサンプル

合和	6年12月	19日	けけで事	向協議	6申請のあった宅は	也開発事業については、
ト記の条件	を付して	同意した	ので通知	しまう	F.	
木都	政同第		导			
令和	6年12	月 19	E			
					木更津市長 []]	305
条	件	別紙の	とおり			
	住	所				
申請者	氏	名	申請	太郎		
宅地	開発事業	きの目的	該当	なし	(2棟 50戸)	
開 3	ê 区 城 (	の所在	木更	津市	富士見一丁目1818	
区	城	名				
開 3	爸区城	の面積	(実	(測)		(公簿)
予言	定 建 設 途 及 ひ	物の概要	(用 (建 (研	途) 築面和 床面和	該当なし 憤) (遠)	(構造)
土地の	区面形質	の変更の	有	Pi- Int I		
自己用	又は非自	己用の	BU			
			〔住	所]		
I	事 施	行者	[氏	名]	00ハウス	
			(電	話〕		
			〔住	所]		
20	24	*	〔氏	名]	××設計事務所	
	11	н	(電	話)		
			[担]	当者)		

(別紙) 宅地開発事前協議同意条件 都市政策課 1. 都市計画法第29条の許可を受けること。 1900日周辺加との本のがつを入りってこ。
 1900日高辺加との本のがつを入りってし、関係各種との打合せ事項を遵守すること。
 2. 排水施設は、自然流下により下水を排出できるよう設けること。
 3. 放流先の排水能力その他の状況を勘索し、開発区域及び周辺の土地に溢水等による被 害を起こさないような計画であることを設計者が確認していること。 建築指導課 4. 建築物を計画の際には、建築基準法他関係法令及び千葉県建築基準法施行条例に従い 、建築物を計画し、確認申請等の手続きをすること。 延べ面積が500㎡以上であるため、着工10日前までに建設工事に係る資材の再資 源化等に関する法律による届出を行うこと。 管理用地課 市道2314号線の排水接続について、側溝とVPの接続部は、コンクリート巻き厚 10 cmで補強し、道路法第32条の許可を受けること。 6. 北側水路の側溝布設等については、法定外公共物工事施行許可を受けること。 土木課 7. 出入り口部の地先境界プロックについては、基礎コンクリートを設置し、沈下防止対 策をすること。 8. 宅内排水の側溝への接続位置について、可能な限り高い位置で接続すること。 前面市道舗装復旧について、既存舗装との継ぎ目付近等に水溜りが出来ないよう、表 而勾配に注意すること。 文化課 9. 工事中に遺構・遺物が発見された場合は、文化財保護法第96条に基づく届出が必要 となるので、直ちに工事を中止して当教育委員会へ連絡の上協議すること。 教育総務課 10. 本件宅地開発にあたっては、市内小中学校の児童・生徒の通学中の安全の確保につい て、十分留意すること。とりわけ、登下校時間帯(午前7時から午前9時及び午後3 時から午後5時まで)については、可能な限り工事用車両の通行を避け、通行される 場合であっても、細心の注意を払うこと。 地域共生推進課 令和6年12月16日の事前相談の内容を遵守すること。

図 9-6 出力される宅地開発事業事前協議同意通知書サンプル

#### 9-5. 検証結果

①地方公共団体の PC 環境におけるレスポンス速度の観点では、地方公共団体のネットワーク及び PC 利用環 境において、動作速度のアンケートでは全て普通以上の回答を得られ、運用上支障がないレベルであることを 確認した。動作速度面での課題を解消したが、インターネットサービスへのアクセスそのものへの手間を指摘 する意見も見られた。この点は、自治体のセキュリティ対策として実施されている三層分離によるが、昨今は 分離による利便性低下への対策として見直しを進みつつあるため、今後はインターネットサービス面も改善さ れていくことが期待される。

②事前相談から開発許可に至る庁内事務の一貫性については、事業者が提出する書類の正確性確保を評価項目 とした。申請の受付及び書類の確認を行う都市政策課では、特に利便性として評価していることがわかった。 事業者が提出する書類の正確性確保についてはシステム化により、過誤による書類不足・古い図面の添付を防 ぎ、正確性を高めることができるという意見が寄せられ、庁内事務の一貫性における改善が確認された。

③システム導入による開発許可申請までのプロセスにおける効率化については、事業者から、土地の調査段階、 事前相談段階で高い評価を得られた。また、地図コンテンツの充実が期待されていることを、改めて確認した。 事前協議段階では、対面調整を要する場面が増え、分野によりオンライン化に課題があることが確認された。 地方公共団体職員から、オンライン化について、手数料支払い、原本渡しの場面で、現状は窓口対応が必要と なる。電子による受付、協議は一部対面、手数料と原本書類の授受は窓口という運用が必要であった。電子申 請の対象範囲拡大は引き続き課題として取り組む必要がある。

④システムのユーザビリティについては、事業者に提供する機能は、十分な操作性を確保できていると考えられる一方、地方公共団体に提供する機能では一部操作性に改善要望があった。事前協議段階では、システムへの習熟期間確保、添付資料の一括ダウンロード機能など実運用時の更なる効率化といった改善提案を得た。
①地方公共団体の PC 環境におけるレスポンス速度

前年度の実証から地方公共団体職員の使用環境では、3D ビューに対応していない PC 環境が想定されるため、 2D ビューにおけるレスポンス速度の調査を実施した。茅野市・木更津市の地方公共団体職員の 55%が動作速 度について「とても満足」「やや満足」の回答をしている。また、残りの 45%も「普通」と回答している。こ れらには、負荷が高い地図表示をさせた職員も含まれている。

以上から、普通以上の評価が 100%であり、地方公共団体庁内のパソコン利用環境において、2D ビューを実 装したことによって通常の事務システムと同様のレベルで利用可能となったことを確認した。

なお、自由記述で、庁内からインターネット環境へアクセスすること自体に手間を要する指摘があった点は課 題となる。



図 9-7 地方公共団体職員(茅野市・木更津市)における体感システム動作速度

対象者	内容		対応	5策(案)
事業者	•	情報の出力が遅い。地図の図画スピー	•	3D で動作速度に難がある場合、2D ビュ
		ドが遅い		ーヘナビゲートする仕掛けを検討
	•	帳票出力が遅いので改善してほしい	•	バックグラウンド処理を行うサーバのス
				ペックアップ、又はバックグラウンド処
				理を従来のクライアント側処理に戻す。
地方公共団体	•	ときどき庁内からのアクセスに起因	•	情報システム部門との調整、根本的には
		する通信遮断が発生した		インターネット利用に考慮した地方公共
				団体の利用環境への移行

表 9-5 システム動作速度への意見

#### ②事前相談から開発許可に至る庁内事務の一貫性

庁内事務の一貫性の改善については、事業者が提出する書類の正確性確保を評価項目として評価した。システ ム化による利点として、「各段階の情報が正確に管理・引き継がれる」「必要な書類、記載事項の抜け漏れが減 少する」の項目について、地方公共団体職員(木更津市)の12名中3名がシステム化の利点として回答した。 ただし、申請の受付及び書類の確認を行う都市政策課では、今回の実証を担当した2名とも利便性として評価 している。後述のヒアリングにおいても有効性を確認しており、本システムが手続きの正確性を担保し、審査 期間の短縮に貢献しうると判断できる。ヒアリングを通じて、事業者が提出する書類の正確性確保については システム化により、過誤による書類不足・古い図面の添付を防ぎ、正確性を高めることができるという意見が 寄せられ、庁内事務の一貫性における改善が確認された。



図 9-8 地方公共団体職員(木更津市)が実感したシステムの利点(複数回答)

対象者	カテゴリ	内容		対応	策(案)
地方公共団体	肯定的評価	•	事業者から提出される書類の抜け漏れ	•	導入時、必須書類と任意書
			防止は、システム化によりかなり防げ		類を整理してシステムに設
			ると感じられる		定する。
		•	事前相談から事前協議へ手続きが進む	•	-
			際に書類が引き継がれる、また過去の		
			手続き内容を画面内で確認できること		
			から、相談時に修正した内容が元に戻		
			るなどのミスを削減できる		

表 9-6 事業者が提出する書類の正確性確保への意見

③本システムは事業者・地方公共団体ともに業務効率化に寄与するか

#### 【事業者】

システムを利用した事業者の移動にかかる負担軽減を確認するため、来庁に要した移動時間をアンケートにより確認した。移動時間は 96%が 30 分以内であり、平均は 24.5 分であった。オンライン化により、往復の移動時間 50 分と庁内で各窓口を訪問し、相談時間を省力化できる。



図 9-9 事業者の来庁移動時間(片道)

定性調査として、システムを利用する地方公共団体・事業者を対象に、負担軽減・効率化を確認するアンケートを実施した。地方公共団体の55%、事業者の84%が「とても満足」「やや満足」のポジティブ評価であった 一方、地方公共団体の35%、事業者の8%が「やや不満」「不満」であった。ヒアリング及びアンケートの自 由記述を通して、負担軽減・効率化の実感については以下の意見があった。事業者から、土地の調査段階、事 前相談段階で高い評価を得られた。また、地図コンテンツの充実への期待が改めて確認された。事前協議段階 では、対面調整を要する場面が増え、分野によりオンライン化に課題があることが確認された。地方公共団体 職員から、オンライン化について、手数料支払い、原本渡しの場面で、現状は窓口対応が必要となる。電子に よる受付、協議は一部対面、手数料と原本書類の授受は窓口という運用が必要であった。電子申請の対象範囲 拡大は、引き続き取り組むべき課題である。



図 9-10 システムによる負担軽減・効率化が実感できるかに関する定性評価

対象者	カテゴリ	内容	2	対応	策(案)
事業者	肯定的評価	•	よいサービスなので、ぜひ実装してほ	•	-
			しい		
		•	先進的な取り組みで素晴らしい。さら	•	-
			に情報がオープンになり、利便性が向		
			上してほしい		
		•	すごく便利、会社に帰って使いたい	•	-
		•	顧客からの問合せに、迅速に対応でき	•	-
			t		
	改善提案	•	高齢のため、これまで通りの電話や窓	•	システムにより解決できる
			口で相談する方がよい		相談を省力化し、必要な対
					面相談の時間を確保する導
					入方法をコンサルティング
					する
		•	相談先の課によっては紙資料がわたさ	•	地方公共団体側でも、窓口
			れるため、紙を不要とする必要がある		対応内容を整理し、指導方
					法の見直しが必要
		•	内容により、3 課くらいは対面で協議が	•	対面協議を省略できる点を
			必要になりそう。同じ内容なら省略で		システムに委ねることで、
			きる可能性があるので、この点は省力		必要な対面時間を確保しや
			化できそう		すくする考え方で、窓口対
					応内容を整理する必要があ

表 9-7 負担軽減・効率化の実感への意見

					る。
		•	常に最新の情報であれば使いたい	•	統合型 GIS との連携
		•	情報が不足し、きさなび(公開型 GIS)	•	データ搭載の拡大で対応
			との併用となった		
		•	過去の開発許可の状況なども出力して	•	データ搭載の拡大で対応
			ほしい		
		•	道路台帳も同時に閲覧できるとかなり	•	道路台帳要素の電子化が必
			良いシステムとなる		要。このデータは標準化が
					されていないため、整備形
					式は注意が必要
		•	オンラインで証明書を発行してほしい	•	証明書により、原本不要、押
					印省略、又は電子印影で対
					応できる範囲は、検討可能
地方公共団	改善提案	•	相談内容、地域を集計している。集計情	•	ダッシュボード機能、BI ツ
体			報が週次などで把握できると、今後の		ール連携などを検討
			業務量を予測できてよい		
		•	AI が道路構造令に則り、意見を選別で	•	研究課題
			きるようなならないか		
		•	組織改正において、システム管理者で	•	管理機能の拡充
			アカウント管理を行いたい		
		•	基本的に事前相談から始まるが、事前	•	土地と申請区分の指定によ
			協議対象外の規模が2割ほどある		り、事前相談不要と判断し
					て事前協議の申請へ進む判
					定、状態遷移を検討
		•	書類に注意書きを記載することができ	•	回答、チャットでは、受け付
			ない		けた書類に画面上で書き込
					みが可能
				•	事前協議の受付時に、主管
					部門で受付書類に書き込み
					して差し戻しする点は、機
					能拡張が必要
		•	手数料の支払いは窓口が必須である	•	技術調査を要する(電子支
					払い)
		•	押印書類の発行は窓口が必須である	•	技術調査を要する(原本管
					理方法)
		•	定型文(テンプレート)による入力で済	•	-
			むことも半分程度ある		

<ul> <li>外面で息志次走が必要なものは協議の</li> <li>要求、協議としてチャット機能の なしている</li> <li>要求、協議としてチャット機能の み活載している。対面に準 じたリアルタイムの協議機 能はなく、こうした協議ま で電子申請に含めるかは、 校討が必要である</li> <li>下水道法や下水道条例で必要な手続き</li> <li>「水道法や下水道条例で必要な手続き がある。開発行為許可だけが全ででは ないため、一部だけシステム化しても 効率化につながらない</li> <li>事業者とのコミュニケーションが取り にくく、課内でも共有しにくい。難し い、複雑な案系になると、従来の方法よ り時間がかかる可能性がある</li> <li>必要により印刷すると、時間とカラー</li> <li>印刷コストが生じる</li> <li>通去の開発行為との関連を調べられる</li> <li>データ搭載の拡大で対応 とよい</li> <li>用途図や都市計画基本図も公開できる</li> <li>データ搭載の拡大で対応 とよい</li> <li>用途図や都市計画基本図も公開できる</li> <li>データ搭載の拡大で対応</li> <li>シ家口販売の手間を省ける</li> <li>「市内の電子化が必要</li> <li>の拡大で対応</li> <li>ションの効率化は限定的</li> <li>データ搭載の拡大で対応</li> <li>シャインの成本</li> <li>の数要な条件に見合う適地候補を検索・ 提示する機能があるとよい</li> <li>電子化によるペーパーレスは、書類の などもの、</li> <li>本格的な運用におけるストレージ量は、ケーススタデ くを聞かたる。</li> <li>「本格的な運用におけるストレージ量は、ケーススタデ くを聞やす必要がある</li> <li>「川・洪水・高潮の想定浸水深を3Dで 可況にきると、一発で影響を確認で きるため業務負荷を下げられるが、市 で、</li> </ul>					田业の洋については年時
<ul> <li>上で、結果をシステムに登録する連用 をしている</li> <li>参している</li> <li>参している</li> <li>参構載している。対面に準 じたリアルタイムの協議機 能はなく、こうした協議ま で置子申請に含めるかは、 校討が必要である</li> <li>下水道法や下水道条例で必要な手続き がある。開発行為許可だけが全てでは ないため、一部だけシステム化しても 効率化につながらない</li> <li>事業者とのコミュニケーションが取り にくく、課内でも共有しにくい。難し い・複雑な案系になると、従来の方法よ り時間がかかる可能性がある</li> <li>必要により印刷すると、時間とカラー</li> <li>6</li> <li>必要により印刷すると、読用間とカラー</li> <li>6</li> <li>データ搭載の拡大で対応 とよい</li> <li>用途図や都市計画基本図も公開できる と、窓口販売の手間を当ける</li> <li>データ搭載の拡大で対応</li> <li>実成な財材のGIS データは県のオーブ</li> <li>データ搭載の拡大で対応</li> <li>2</li> <li>2</li> <li>2</li> <li>2</li> <li>5</li> <li>2</li> <li>2</li> <li>5</li> <li>4</li> <li>5</li> <li5< <="" th=""><th></th><th>•</th><th>対面で息忠決定が必要なものは協議の</th><th></th><th>現状、協議については補助</th></li5<></ul>		•	対面で息忠決定が必要なものは協議の		現状、協議については補助
<ul> <li>をしている</li> <li>み搭載している。対面に準 じたりアルタイムの協議機 能はなく、こうした協議表</li> <li>下水道法や下水道条例で必要な手続き</li> <li>「水道法や下水道条例で必要な手続き</li> <li>がある。開発行為許可だけが全てでは ないため、一部だけシステム化しても 効率化につながらない</li> <li>事業者とのコミュニケーションが取り にくく、課内でも共有しにくい、難し い、複雑な案系になると、従来の方法より時間がかかる可能性がある</li> <li>必要により印刷すると、時間とカラー 印刷コストが生じる</li> <li>「庁内の電子化が必要</li> <li>「戸内の電子化が必要</li> <li>「戸内の電子化が必要</li> <li>「戸へ好慧載の拡大で対応 とよい</li> <li>用途図や都市計画基本図も公開できる と、窓口販売の手間を省ける</li> <li>「定の利用できない</li> <li>必要な条件に見合う適地候補を検索・ 提示する機能があるとよい</li> <li>「電子化によるペーパーレスは、書類の</li> <li>本格的な運用におけるストレージ量は、ケーススタディを増やす必要がある</li> <li>「河川・洪水・高潮の想定浸水深を3Dで 可得化できると、一発で影響を確認で きるため業務負荷を下げられるが、市</li> </ul>			上で、結果をシステムに登録する運用		機能としてチャット機能の
<ul> <li>レたリアルタイムの協議機能はなく、こうした協議まで電子申請に含めるかは、検討が必要である</li> <li>下水道法や下水道条例で必要な手続きがある。開発行為許可だけが全てではないため、一部だけシステム化しても効率化につながらない</li> <li>事業者とのコミュニケーションが取りにくく、課内でも共有しにくい。難しい、複雑な案系になると、従来の方法より時間がかかる可能性がある</li> <li>必要により印刷すると、時間とカラー</li> <li>の時間がかかる可能性がある</li> <li>必要により印刷すると、時間とカラー</li> <li>の周コストが生じる</li> <li>通去の開発行為との関連を調べられるをよい</li> <li>用途回や都市計画基本回も公開できると、常くないの気法で対応をよい。</li> <li>データ搭載の拡大で対応をよい。</li> <li>データ搭載の拡大で対応をよい。</li> <li>データ搭載の拡大で対応をよい。</li> <li>データ搭載の拡大で対応をない</li> <li>の要な条件に見合う適地候補を検索・ 提示する機能があるとよい。</li> <li>電子化によるペーパーレスは、書類の 保管、また協議・審査中の書類の差替え、対応のための来庁を省力化でき、事業者・地方公共団体ともに利点がある</li> <li>河川・洪水・高潮の想定浸水深を3Dで可視化できると、一発で影響を確認できるため業務負荷を下げられるが、市</li> </ul>			をしている		み搭載している。対面に準
<ul> <li>能はなく、こうした協議ま で電子申請に含めるかは、 検討が必要である</li> <li>下水道法や下水道条例で必要な手続き がある。開発行為許可だけが全てでは ないため、一部だけシステム化しても</li> <li>事業者とのコミュニケーションが取り にくく、課内でも共有しにくい。難し い、複雑な案系になると、従来の方法よ り時間がかかる可能性がある</li> <li>必要により印刷すると、時間とカラー</li> <li>印刷コストが生じる</li> <li>過去の開発行為との関連を調べられる</li> <li>データ搭載の拡大で対応 とよい</li> <li>用途回や都市計画基本回も公開できる と、窓口販売の手間を省ける</li> <li>データ搭載の拡大で対応</li> <li>ショ販売の手間を省ける</li> <li>データ搭載の拡大で対応</li> <li>シマデータがあるものの、精度が悪く、判 定に利用できない</li> <li>必要な条件に見合う適地候補を検索・ 提示する機能があるとよい</li> <li>電子化によるペーパーレスは、書類の</li> <li>本格的な運用におけるストレージ量は、ケーススタディを増やす必要がある</li> <li>河川・洪水・高潮の想定浸水深を3Dで 可視化できると、一発で影響を確認で きるため美務負荷を下げられるが、市</li> </ul>					じたリアルタイムの協議機
<ul> <li>で電子申請に含めるかは、 検討が必要である</li> <li>下水道法や下水道条例で必要な手続き がある。開発行為許可だけが全てでは ないため、一部だけシステム化しても 効率化につながらない</li> <li>事業者とのコミュニケーションが取り にくくく、課内でも共有しにくい。難し い・複雑な案系になると、従来の方法よ り時間がかかる可能性がある</li> <li>必要により印刷すると、時間とカラー</li> <li>印刷コストが生じる</li> <li>通去の開発行為との関連を調べられる とよい</li> <li>用途図や都市計画基本図も公開できる と、窓口販売の手間を省ける</li> <li>「データ搭載の拡大で対応 とよい</li> <li>用途図や都市計画基本図も公開できる と、窓口販売の手間を省ける</li> <li>データ搭載の拡大で対応</li> <li>ションの効率化は限定的</li> <li>データ搭載の拡大で対応</li> <li>ションの効率化は限定的</li> <li>・データ搭載の拡大で対応</li> <li>ションの効率化は限定的</li> <li>・データ搭載の拡大で対応</li> <li>・データ搭載の拡大で対応</li> <li>・データ搭載の拡大で対応</li> <li>・データ搭載の拡大で対応</li> <li>・データ搭載の拡大で対応</li> <li>・データ搭載の拡大で対応</li> <li>・ボータ搭載の拡大で対応</li> <li>・ボータ構成の拡大で対応</li> <li>・ボータ構成の拡大で対応</li> <li>・ボータ構成の拡大で対応</li> <li>・ボータ構成の拡大で対応</li> <li>・ボータ構成の拡大で対応</li> <li>・ボータ構成の拡大で対応</li> <li>・ボータ構成の</li> <li>・ボータ構成の</li> <li>・ボーク</li> <li>・ボーク</li> <li>・ボーク</li> <li>・ボーク</li> <li>・ボーク</li> <li>・ボーク</li> <li>・ボーム</li> <li< th=""><th></th><th></th><th></th><th></th><th>能はなく、こうした協議ま</th></li<></ul>					能はなく、こうした協議ま
<ul> <li>検討が必要である</li> <li>下水道法や下水道条例で必要な手続き がある。開発行為許可だけが全てでは ないため、一部だけシステム化しても 効率化につながらない</li> <li>事業者とのコミュニケーションが取り にくく、課内でも共有しにくい。難し い・複雑な案系になると、従来の方法よ り時間がかかる可能性がある</li> <li>必要により印刷すると、時間とカラー 印刷コストが生じる</li> <li>過去の開発行為との関連を調べられる とよい</li> <li>用途図や都市計画基本図も公開できる と、窓口販売の手間を省ける</li> <li>「データ搭載の拡大で対応 とよい</li> <li>用途図や都市計画基本図も公開できる と、窓口販売の手間を省ける</li> <li>データ搭載の拡大で対応</li> <li>シッテクがあるものの、精度が悪く、判 定に利用できない</li> <li>必要な条件に見合う適地候補を検索・ 提示する機能があるとよい</li> <li>電子化によるペーパーレスは、書類の 保管、また協議・審査中の書類の差替え 対応のための来庁を省力化でき、事業 者・地方公共団体ともに利点がある</li> <li>「河川・洪水・高潮の想定浸水深を3Dで 可視化できると、一発で影響を確認で きるため業務負荷を下げられるが、市 の一部ですって、</li> </ul>					で電子申請に含めるかは、
<ul> <li>下水道法や下水道条例で必要な手続き がある。開発行為許可だけが全てでは ないため、一部だけシステム化しても 効率化につながらない</li> <li>事業者とのコミュニケーションが取り にくく、課内でも共有しにくい。難し い・複雑な案系になると、従来の方法よ り時間がかかる可能性がある</li> <li>必要により印刷すると、時間とカラー 印刷コストが生じる</li> <li>過去の開発行為との関連を調べられる とよい</li> <li>用途図や都市計画基本図も公開できる と、窓口販売の手間を省ける</li> <li>データ搭載の拡大で対応 とよい</li> <li>用途図や都市計画基本図も公開できる と、窓口販売の手間を省ける</li> <li>データ搭載の拡大で対応</li> <li>ジデータがあるものの、精度が悪く、判 定に利用できない</li> <li>必要な条件に見合う適地候補を検索・ 提示する機能があるとよい</li> <li>電子化によるペーパーレスは、書類の 保管、また協議・審査中の書類の差替え、 対応のための来庁を省力化でき、事業 者・地方公共団体ともに利点がある</li> <li>河川・洪水・高潮の想定浸水深を3Dで のオーズ・ターネット利用環境の改善 であため業務負荷を下げられるが、市</li> </ul>					検討が必要である
<ul> <li>がある。開発行為許可だけが全てではないため、一部だけシステム化しても効率化につながらない</li> <li>事業者とのコミュニケーションが取りにくく、課内でも共有しにくい。難しい、複雑な案系になると、従来の方法より時間がかかる可能性がある</li> <li>必要により印刷すると、時間とカラー・庁内の電子化が必要印刷コストが生じる</li> <li>必要により印刷すると、時間とカラー・庁内の電子化が必要印刷コストが生じる</li> <li>通去の開発行為との関連を調べられる。データ搭載の拡大で対応とよい</li> <li>用途図や都市計画基本図も公開できる。データ搭載の拡大で対応とない</li> <li>用途図や都市計画基本図も公開できる。データ搭載の拡大で対応とない</li> <li>東京な化財のGISデータは県のオーブ・ファータがあるものの、精度が悪く、判定に利用できない</li> <li>必要な条件に見合う適地候補を検索・提示する機能があるとよい、</li> <li>電子化によるペーパーレスは、書類の保管、また協議・審査中の書類の差替え対応のための来庁を省力化でき、事業者・地方公共団体ともに利点がある</li> <li>河川・洪水・高潮の想定浸水深を3Dです。地方公共団体におけるインターネット利用環境の改善さるため業務負荷を下げられるが、市のま二本グリアークまこ本グリアークまこ本の</li> </ul>		•	下水道法や下水道条例で必要な手続き	•	-
ないため、一部だけシステム化しても 効率化につながらない            ・事業者とのコミュニケーションが取り にくく、課内でも共有しにくい。難し い、複雑な案系になると、従来の方法よ り時間がかかる可能性がある          対面協議が必要な担当分野 では、現状ではコミュニケ ーションの効率化は限定的           ・必要により印刷すると、時間とカラー 印刷コストが生じる           アトタ搭載の拡大で対応           ・通去の開発行為との関連を調べられる とよい         データ搭載の拡大で対応           ・加速度や都市計画基本図も公開できる と、窓口販売の手間を省ける         データ搭載の拡大で対応           ・加速度や都市計画基本図も公開できる と、窓口販売の手間を省ける         データ搭載の拡大で対応           ・加速度や都市計画基本図も公開できる と、窓口販売の手間を省ける         データ搭載の拡大で対応           ・加速度や都市計画基本図も公開できる と、窓口販売の手間を省ける         データ搭載の拡大で対応           ・運該文化財の GIS データは県のオープ ンデータがあるものの、精度が悪く、判 定に利用できない         ・           ・必要な条件に見合う適地候補を検索・ 提示する機能があるとよい         ・           ・ 必要な条件に見合う適地候補を検索・ 提示する機能があるとよい         ・           ・ 電子化によるペーパーレスは、書類の 保管、また協議・審査中の書類の差替え 対応のための来庁を省力化でき、事業 者・地方公共団体ともに利点がある         ・           ・ 河川・洪水・高潮の想定浸水深を3Dで 可視化できると、一発で影響を確認で さるため業務負荷を下げられるが、市 って調査でがいの、本部のもののを言ながのまったり         ・			がある。開発行為許可だけが全てでは		
効率化につながらない       対面協議が必要な担当分野 にくく、課内でも共有しにくい。難し い・複雑な案系になると、従来の方法よ り時間がかかる可能性がある       対面協議が必要な担当分野 では、現状ではコミュニケ ーションの効率化は限定的         ・必要により印刷すると、時間とカラー 印刷コストが生じる       庁内の電子化が必要         ・週去の開発行為との関連を調べられる とよい       データ搭載の拡大で対応         ・週金の開発行為との関連を調べられる とよい       データ搭載の拡大で対応         ・週金の開発行為との関連を調べられる とよい       データ搭載の拡大で対応         ・週金の報声が市計画基本図も公開できる と、窓口販売の手間を省ける       データ搭載の拡大で対応         ・埋蔵文化財の GIS データは県のオープ ンデータがあるものの、精度が悪く、判 定に利用できない       -         ・必要な条件に見合う適地候補を検索・ 提示する機能があるとよい       研究課題         ・酸要な条件に見合う適地候補を検索・ 提示する機能があるとよい       本格的な運用におけるスト レージ量は、ケーススタデ ィを増やす必要がある         ・ブームスタデ イを増やす必要がある       ・一部方公共団体におけるイン ターネット利用環境の改善			ないため、一部だけシステム化しても		
<ul> <li>事業者とのコミュニケーションが取り にくく、課内でも共有しにくい。難し い・複雑な案系になると、従来の方法よ り時間がかかる可能性がある</li> <li>必要により印刷すると、時間とカラー 印刷コストが生じる</li> <li>過去の開発行為との関連を調べられる とよい</li> <li>用途図や都市計画基本図も公開できる と、窓口販売の手間を省ける</li> <li>データ搭載の拡大で対応</li> <li>実蔵文化財の GIS データは県のオーブ ンデータがあるものの、精度が悪く、判 定に利用できない</li> <li>必要な条件に見合う適地候補を検索・ 提示する機能があるとよい</li> <li>電子化によるペーパーレスは、書類の 保管、また協議・審査中の書類の差替え 対応のための来庁を省力化でき、事業 者・地方公共団体ともに利点がある</li> <li>本格的な運用におけるスト レージ量は、ケーススタデ ィを増やす必要がある</li> <li>地方公共団体におけるイン ターネット利用環境の改善</li> </ul>			効率化につながらない		
<ul> <li>にくく、課内でも共有しにくい。難し い・複雑な案系になると、従来の方法よ り時間がかかる可能性がある</li> <li>必要により印刷すると、時間とカラー 印刷コストが生じる</li> <li>過去の開発行為との関連を調べられる とよい</li> <li>用途図や都市計画基本図も公開できる と、窓口販売の手間を省ける</li> <li>「データ搭載の拡大で対応 とよい</li> <li>用途図や都市計画基本図も公開できる と、窓口販売の手間を省ける</li> <li>「データ搭載の拡大で対応 とよい</li> <li>日渡文化財の GIS データは県のオーブ ンデータがあるものの、精度が悪く、判 定に利用できない</li> <li>必要な条件に見合う適地候補を検索・ 提示する機能があるとよい</li> <li>電子化によるペーパーレスは、書類の 保管、また協議・審査中の書類の差替え 対応のための来庁を省力化でき、事業 者・地方公共団体ともに利点がある</li> <li>河川・洪水・高潮の想定浸水深を3Dで 可視化できると、一発で影響を確認で きるため業務負荷を下げられるが、市 の階位ではのたってが町であい</li> </ul>		•	事業者とのコミュニケーションが取り	•	対面協議が必要な担当分野
<ul> <li>い・複雑な案系になると、従来の方法よ り時間がかかる可能性がある</li> <li>シ要により印刷すると、時間とカラー 印刷コストが生じる</li> <li>通去の開発行為との関連を調べられる とよい</li> <li>データ搭載の拡大で対応 とよい</li> <li>用途図や都市計画基本図も公開できる と、窓口販売の手間を省ける</li> <li>データ搭載の拡大で対応</li> <li>ジデータがあるものの、精度が悪く、判 定に利用できない</li> <li>必要な条件に見合う適地候補を検索・ 提示する機能があるとよい</li> <li>電子化によるペーパーレスは、書類の 保管、また協議・審査中の書類の差替え、 対応のための来庁を省力化でき、事業 者・地方公共団体ともに利点がある</li> <li>河川・洪水・高潮の想定浸水深を3Dで 可視化できると、一発で影響を確認で さるため業務負荷を下げられるが、市</li> </ul>			にくく、課内でも共有しにくい。難し		では、現状ではコミュニケ
<ul> <li>り時間がかかる可能性がある</li> <li>・ 必要により印刷すると、時間とカラー 印刷コストが生じる</li> <li>・ 過去の開発行為との関連を調べられる とよい</li> <li>・ 用途図や都市計画基本図も公開できる と、窓口販売の手間を省ける</li> <li>・ データ搭載の拡大で対応</li> <li>・ 変ロ販売の手間を省ける</li> <li>・ データ搭載の拡大で対応</li> <li>・ 変ロ販売の手間を省ける</li> <li>・ データ搭載の拡大で対応</li> <li>・ ジェータがあるものの、精度が悪く、判 定に利用できない</li> <li>・ 必要な条件に見合う適地候補を検索・ 提示する機能があるとよい</li> <li>・ 敬要な条件に見合う適地候補を検索・ 提示する機能があるとよい</li> <li>・ 電子化によるペーパーレスは、書類の 保管、また協議・審査中の書類の差替え 対応のための来庁を省力化でき、事業 者・地方公共団体ともに利点がある</li> <li>・ 本格的な運用におけるスト レージ量は、ケーススタデ ィを増やす必要がある</li> <li>・ 河川・洪水・高潮の想定浸水深を3Dで 可視化できると、一発で影響を確認で さるため業務負荷を下げられるが、市</li> </ul>			い・複雑な案系になると、従来の方法よ		ーションの効率化は限定的
<ul> <li>必要により印刷すると、時間とカラー 印刷コストが生じる</li> <li>過去の開発行為との関連を調べられる とよい</li> <li>用途図や都市計画基本図も公開できる と、窓口販売の手間を省ける</li> <li>埋蔵文化財の GIS データは県のオープ ンデータがあるものの、精度が悪く、判 定に利用できない</li> <li>必要な条件に見合う適地候補を検索・ 提示する機能があるとよい</li> <li>電子化によるペーパーレスは、書類の 保管、また協議・審査中の書類の差替え 対応のための来庁を省力化でき、事業 者・地方公共団体ともに利点がある</li> <li>河川・洪水・高潮の想定浸水深を 3D で 可視化できると、一発で影響を確認で さるため業務負荷を下げられるが、市 の環境では 20 まこちげられるが、市</li> </ul>			り時間がかかる可能性がある		
印刷コストが生じる         ● 過去の開発行為との関連を調べられるとよい         ● 用途図や都市計画基本図も公開できると、窓口販売の手間を省ける         ● 用途文化財のGISデータは県のオーブンデータがあるものの、精度が悪く、判定に利用できない         ● 必要な条件に見合う適地候補を検索・提示する機能があるとよい         ● 電子化によるペーパーレスは、書類の保管、また協議・審査中の書類の差替え対応のための来庁を省力化でき、事業者・地方公共団体ともに利点がある         ● 河川・洪水・高潮の想定浸水深を3Dで可視化できると、一発で影響を確認でするため業務負荷を下げられるが、市の環境ではつりまったが行られるが、市の変化のもったがのたりのまったが行られるが、市のの場合にない。		•	必要により印刷すると、時間とカラー	•	庁内の電子化が必要
<ul> <li>過去の開発行為との関連を調べられる とよい</li> <li>用途図や都市計画基本図も公開できる と、窓口販売の手間を省ける</li> <li>埋蔵文化財の GIS データは県のオープ ンデータがあるものの、精度が悪く、判 定に利用できない</li> <li>必要な条件に見合う適地候補を検索・ 提示する機能があるとよい</li> <li>電子化によるペーパーレスは、書類の 保管、また協議・審査中の書類の差替え 対応のための来庁を省力化でき、事業 者・地方公共団体ともに利点がある</li> <li>河川・洪水・高潮の想定浸水深を 3D で 可視化できると、一発で影響を確認で さるため業務負荷を下げられるが、市</li> <li>一次指用環境の改善</li> </ul>			印刷コストが生じる		
<ul> <li>とよい</li> <li>用途図や都市計画基本図も公開できる と、窓口販売の手間を省ける</li> <li>埋蔵文化財の GIS データは県のオープ ンデータがあるものの、精度が悪く、判 定に利用できない</li> <li>必要な条件に見合う適地候補を検索・ 提示する機能があるとよい</li> <li>電子化によるペーパーレスは、書類の 保管、また協議・審査中の書類の差替え、 対応のための来庁を省力化でき、事業 者・地方公共団体ともに利点がある</li> <li>河川・洪水・高潮の想定浸水深を 3Dで 可視化できると、一発で影響を確認で きるため業務負荷を下げられるが、市</li> </ul>		•	過去の開発行為との関連を調べられる	•	データ搭載の拡大で対応
<ul> <li>用途図や都市計画基本図も公開できる と、窓口販売の手間を省ける</li> <li>埋蔵文化財の GIS データは県のオープ ンデータがあるものの、精度が悪く、判 定に利用できない</li> <li>必要な条件に見合う適地候補を検索・ 提示する機能があるとよい</li> <li>電子化によるペーパーレスは、書類の 保管、また協議・審査中の書類の差替え 対応のための来庁を省力化でき、事業 者・地方公共団体ともに利点がある</li> <li>河川・洪水・高潮の想定浸水深を 3D で 可視化できると、一発で影響を確認で きるため業務負荷を下げられるが、市</li> <li>地方公共団体におけるイン</li> <li>ターネット利用環境の改善</li> </ul>			とよい		
<ul> <li>と、窓口販売の手間を省ける</li> <li>埋蔵文化財の GIS データは県のオープ         <ul> <li>ジデータがあるものの、精度が悪く、判</li></ul></li></ul>		•	用途図や都市計画基本図も公開できる	•	データ搭載の拡大で対応
<ul> <li>埋蔵文化財の GIS データは県のオープ         <ul> <li>ジデータがあるものの、精度が悪く、判</li></ul></li></ul>			と、窓口販売の手間を省ける		
<ul> <li>ンデータがあるものの、精度が悪く、判定に利用できない</li> <li>必要な条件に見合う適地候補を検索・提示する機能があるとよい</li> <li>電子化によるペーパーレスは、書類の保管、また協議・審査中の書類の差替え対応のための来庁を省力化でき、事業者・地方公共団体ともに利点がある</li> <li>河川・洪水・高潮の想定浸水深を3Dで可視化できると、一発で影響を確認できるため業務負荷を下げられるが、市の環境では300 キニをも知知ですかい</li> </ul>		•	埋蔵文化財の GIS データは県のオープ	•	-
定に利用できない         ・ 必要な条件に見合う適地候補を検索・提示する機能があるとよい       ・ 研究課題         ・ 電子化によるペーパーレスは、書類の保管、また協議・審査中の書類の差替え、以下・ジ量は、ケーススタディを増やす必要がある者・地方公共団体ともに利点がある       ・ 本格的な運用におけるストレージ量は、ケーススタディを増やす必要がある         ・ 河川・洪水・高潮の想定浸水深を3Dで可視化できると、一発で影響を確認です。       ・ 地方公共団体におけるインターネット利用環境の改善			ンデータがあるものの、精度が悪く、判		
<ul> <li>必要な条件に見合う適地候補を検索・ 提示する機能があるとよい</li> <li>電子化によるペーパーレスは、書類の 保管、また協議・審査中の書類の差替え 対応のための来庁を省力化でき、事業 者・地方公共団体ともに利点がある</li> <li>河川・洪水・高潮の想定浸水深を 3D で 可視化できると、一発で影響を確認で きるため業務負荷を下げられるが、市</li> </ul>			定に利用できない		
<ul> <li>提示する機能があるとよい</li> <li>電子化によるペーパーレスは、書類の 保管、また協議・審査中の書類の差替え 対応のための来庁を省力化でき、事業 者・地方公共団体ともに利点がある</li> <li>河川・洪水・高潮の想定浸水深を 3D で 可視化できると、一発で影響を確認で きるため業務負荷を下げられるが、市</li> </ul>		•	必要な条件に見合う適地候補を検索・	•	研究課題
<ul> <li>電子化によるペーパーレスは、書類の 保管、また協議・審査中の書類の差替え 対応のための来庁を省力化でき、事業 者・地方公共団体ともに利点がある</li> <li>河川・洪水・高潮の想定浸水深を 3D で 可視化できると、一発で影響を確認で きるため業務負荷を下げられるが、市</li> </ul>			提示する機能があるとよい		
<ul> <li>保管、また協議・審査中の書類の差替え 対応のための来庁を省力化でき、事業 者・地方公共団体ともに利点がある</li> <li>河川・洪水・高潮の想定浸水深を 3D で 可視化できると、一発で影響を確認で きるため業務負荷を下げられるが、市</li> </ul>		•	電子化によるペーパーレスは、書類の	•	本格的な運用におけるスト
<ul> <li>対応のための来庁を省力化でき、事業 オ・地方公共団体ともに利点がある</li> <li>○ 河川・洪水・高潮の想定浸水深を 3D で 可視化できると、一発で影響を確認で きるため業務負荷を下げられるが、市</li> </ul>			保管、また協議・審査中の書類の差替え		レージ量は、ケーススタデ
者・地方公共団体ともに利点がある         ● 河川・洪水・高潮の想定浸水深を 3D で       ● 地方公共団体におけるイン         可視化できると、一発で影響を確認で       ターネット利用環境の改善         きるため業務負荷を下げられるが、市       の			対応のための来庁を省力化でき、事業		ィを増やす必要がある
<ul> <li>河川・洪水・高潮の想定浸水深を 3D で</li> <li>地方公共団体におけるイン</li> <li>可視化できると、一発で影響を確認で</li> <li>ターネット利用環境の改善</li> <li>きるため業務負荷を下げられるが、市</li> </ul>			者・地方公共団体ともに利点がある		
可視化できると、一発で影響を確認で ターネット利用環境の改善 きるため業務負荷を下げられるが、市		•	河川・洪水・高潮の想定浸水深を 3D で	•	地方公共団体におけるイン
きるため業務負荷を下げられるが、市			可視化できると、一発で影響を確認で		ターネット利用環境の改善
○ 四時 マル 2D キニナ 利田 マナカル			きるため業務負荷を下げられるが、市		
の境境では 3D 表示を利用できない			の環境では 3D 表示を利用できない		

	•	各種申請も扱えると省力化できる	•	診断と申請は、複数ケース
				を SE により設定すること
				が可能である。通知権限や、
				通知メールのひな形など、
				全体で共通としなければな
				らない部分はある
	•	本運用には統合型 GIS で最新管理して	•	統合型 GIS との連携は、LG-
		いるデータ (埋蔵文化財) と連携させる		WAN システムとインター
		必要がある		ネットシステムの連携で、
				無害化などの対応が必要と
				なる

④システムのユーザビリティ

地方公共団体の 64%、事業者の 95%が、「とても満足」「やや満足」と回答した。業者に提供する機能は、十 分な操作性を確保できていると考えられる一方、地方公共団体に提供する機能では一部操作性に改善要望があ った。「不満」と回答した方から申請後の全体的な手続きの流れ、所要時間など、サービス全体像についてわ からなかったとのコメントがあり、システムそのものの操作性ではなく、サービスとしての説明を含めた操作 性を確保する視点が必要と言える。ヒアリング及びアンケートの自由記述を通して、システムの操作性につい ては以下の意見があった。事業者から画面遷移や表示情報など、運用の中で改善すると望ましい点について示 唆を得た。地方公共団体職員から、庁内からインターネットサービスの利用環境自体への課題に言及されてお り、この点は社会的な変化を待つ必要がある。事前協議段階では、システムへの習熟期間確保、一部機能の改 善や拡張が必要との知見を得た。



図 9-11 地方公共団体・事業者によるシステムの操作性評価

対象者	カテゴリ	内容	対応	策(案)
事業者	肯定的評価	● 地図から調査場所を指定できてよい	•	-
		● 航空写真と地番図が重なって見られるの	•	-
		は便利		
		● 地図から複数の土地を選択でき、事前調査	•	-
		に役立つ		
	改善提案	● 相談内容を手直ししたい場面がある。提出	•	差替えにより、影響する担
		書類に対して、事業者側から差替え提出で		当課へ通知する仕組み、合
		きるとよい		意などのステータスの調整
				を整理する
		● 通知された回答を表示した際に、今回新規	•	通知の際に、対象とした条
		分をわかる仕組みがほしい		項を事業者ログイン時に強
				調表示する仕組みを検討す
				3
		● 概況診断をしたあとに元の画面に戻そう	•	画面遷移の変更を検討する
		とするとトップページまで戻ってしまう、		
		戻るではなく閉じるような動きにしてほ		
		しい		
		● 帳票出力において、福祉のまちづくり条例	•	判定条件を調整する
		などの項目が重複して出力されるため、改		
		善が必要		
地方公共団	改善提案	● 添付資料の一括ダウンロード機能がある	•	一括ダウンロード機能の追
体		と時短になり使いやすくなる		加
		● 資料を並べて見比べることが難しい	•	紙の図面を並べて確認する
				動作をそのまま PC 画面で
				行うと、画面の広さの制限
				により難しさがある。目的
				を分析して、PC ならではの
				確認方法も含めて検討
		● 回答画面で、回答入力部分を広くしたい	•	再申請要否、事前協議要否、
				合意などの情報を小さく、
				またはタブか折りたたむ UI
				を検討
		● インターネットサービスは、庁内のネット	•	総務省が提示する「自治体
		ワークからアクセスするのに時間を要す		ネットワークモデル(三層

表 9-8 システムの操作性への事業者意見

	る		対策)に関するβモデル(β
			'モデル)」を推進していくこ
			とで、セキュリティを確保
			しつつ、開発許可申請管理
			システムをインターネット
			環境で管理・運用ができる
	● システム上で書き込みできる機能を有効	•	-
	に使うには、ペンタブレットなどの入力デ		
	バイスが必要		
	● システム操作が複雑である	•	UI の改善
		•	研修・試用期間を十分に確
			保

【その他ヒアリング項目】

開発許可申請手続き関連における 3D 都市モデルの利用可能性

申請する事業者は、ホテルやマンションなどの建築を目的として、土地の開発を行う。したがって、行政手続 きの周辺で 3D 都市モデルのニーズがあり、手続き以外の他の業務シーンでもシステムを利用できる可能性が ある。本業務目的外ではあるが、日常利用が結果として事業者への普及につながる可能性を考え、アンケート で 3D 都市モデルへの周辺ニーズを確認した。

結果として、スマートフォンへの対応、日照・日影シミュレーション、より詳細度の高い建築物モデル、そし て眺望シミュレーションへのニーズを確認した。スマートフォンへの対応は、現地調査において本システムへ アクセスすることにより、すぐに開発に要する手続きを確認できるものである。その他、シミュレーションは それぞれ独立したユースケースとしても取り組まれているものであり、実装において、導入事業者で複合した サービスを提案する余地がある。

主な意見	件数
スマートフォンへの対応	9
仮想建築物を配置して日照・日影シミュレーション	5
建築物モデルの精緻化	5
建築物指定フロアからの眺望シミュレーション	2

表 9-9 事業者による 3D 都市モデル関連ニーズ

#### 申請におけるデータ量

本実証で、事前相談から開発許可まで、一連の手続きを実施した結果、サーバに管理した書類のデータ量を整 理した。事前協議では2回の再申請が行われており、開発許可に至るまで、全体で1,382MBのデータを保管 している。提出書類数が多いが、図面はCADからPDFを出力していることから、本件ではデータ量は抑えら れている。図面をスキャナで電子化する場合は、図面サイズにより大幅に大きくなる可能性がある。概況診断 結果・行政回答レポートは、地図画像のキャプチャを多数添付する関係で、1ファイル 60MB 程度と大きくな っている。事前相談でファイル数が多いのは、各課から通知を行う運用としたためであり、通知ごとに行政回 答レポートを生成していることによる。

申請段階	版	概況診断結果・行政	女回答レポート	申請ファイル	/	出力様式		
		ファイル数	データ量	ファイル数	データ量	ファイル数	データ量	
事前相談	1	18	1,081 MB	4	21 MB	0	0 MB	
事前協議	1	2	120 MB	31	22 MB	0	0 MB	
	2	0	0 MB	43	25 MB	0	0 MB	
	3	0	0 MB	18	10 MB	2	1 MB	

表 9-10 開発許可申請手続きにおけるデータ量(木更津市)

開発許可	1	1	67 MB	24	21 MB	0	0 MB
	2	0	0 MB	17	5 MB	0	0 MB
	3	0	0 MB	16	6 MB	0	0 MB
	4	0	0 MB	1	1 MB	3	5 MB
合計		21	1,268 MB	154	108 MB	5	6 MB

● 大阪府堺市において実施された横展開実証事業から得られたフィードバック

本年度、大阪府堺市において開発許可申請支援システム(V2)を導入する横展開実証事業が実施された。この 事業から以下のフィードバックがあった。

対象者	カテゴリ	内容		対応	策(案)
地方公共団体	改善提案	•	申請地番を元に、開発対	•	申請時の地番、申請書類と
			象範囲を作図する機能が		参照しながらポリゴン編集
			欲しい		可能とする機能を追加する
		•	担当者の引継ぎや対面受	•	申請案件・担当課ごとのメ
			付分との連番管理のた		モ情報を管理するデータベ
			め、課ごとのメモ入力と		ースを追加する
			メモの検索機能が欲しい		
		•	概況診断の判定条件の強	•	複数の GIS データによる
			化をして欲しい		AND 条件など、複雑な判定
					への機能拡張をする
		•	行政回答で、概況診断内	•	回答入力機能を強化する
			容をデフォルトで入力す		
			る機能が欲しい		
		•	行政回答の入力中に、	•	GIS 機能を強化する
			GIS 画面でレイヤ表示変		
			更する機能が欲しい		
		•	回答入力時点(事業者へ	•	通知までの間、回答内容を
			の通知前)で、行政回答レ		変更できるため、決済中は
			ポートを庁内でダウンロ		変更不可にする仕組みが必
			ード、庁内決裁後に通知		要である
			したい	•	通知権限を管理者として、
					通知=決済とするようにル
					ール変更が理想である

表 9-11 堺市横展開実証により得られたフィードバック

		•	詳細表示では、回答を担	•	全体の情報が必要となる場
			当する条項のみを表示し		面もあるため、表示を切り
			てほしい		替え可能とする機能を追加
					する
		●	テンプレート入力後、改	●	改行しない差し込み情報も
			行してほしい		あるため、テンプレートに
					より明示的に改行する機能
					を追加する
		•	チャットに対して、未回	•	現状は、返信するまで未回
			答メッセージ(バッジ表		答メッセージ数としてバッ
			示)とならないようにク		ジ表示する。表示のみで数
			ローズする機能が欲しい		を減らさない方がよいが、
					御礼のみのメッセージもあ
					るため、対応不要を指定す
					る機能を追加する
		•	2D ビューの最大拡大率	•	GIS 機能を強化する
			を上げる機能が欲しい		
		•	概況診断結果で、土地が	•	概況診断表示画面で、凡例
			複数の用途地域にかかる		表示機能を追加する
			場合、色と用途の対応が		
			わからない		
		•	建築確認における調査報	•	申請種別ごとに設定可能と
			告書の発行と一体で運用		する。ただし、申請段階とし
			する必要がある		て開発許可の協議へつなが
		•	申請種別により、申請者		らない使い方も想定される
			情報、概況診断レポート		ことに留意する。
			などの帳票テンプレー		
			ト、メール通知テンプレ		
			ートを設定したい		
 事業者	肯定的評価	•	開庁時間外でも、土地の	•	-
			調査や申請手続きを行え		
			3		
	改善提案	•	盛土確認のため、土地の	•	縦横断図作成機能を追加す
			起伏を確認したい		3
		•	ファイルを提出操作する	•	ドラッグ&ドロップ機能を
			際に、ドラッグ&ドロッ		追加する
			プできるとよい		

	•	隣接する建物の階数・高	•	3D ビュー・2D ビューで建
		さ情報		物の属性を参照できるよう
				にするか、概況診断に隣地
				情報を表示する機能を追加
				する
	•	隣地の窓の位置がわかる	•	LOD3 以上の建築物モデル
		とよい		に対応する

## 10. 成果と課題

## 10-1. 本実証で得られた成果

## 10-1-1.3D 都市モデルの技術面での優位性

大項目	小項目	3D :	都市モデルの技術面での優位性
システム・機能	視認性の向上	•	従来の2次元GIS では周辺環境の立体的把握が困難だった
			が、3D 都市モデル (建築物モデル、交通モデル等) により、
			開発行為の適地診断にかかわる空間情報データの重なり度
			合を 3D 地図として視覚化でき、より直感的かつ包括的な
			周辺環境の理解が可能になる
		•	従来の窓口対応では申請者と担当者の解釈の相違により道
			路判定に齟齬が生じることがあったが、3D 都市モデル (道
			路データ LOD2)を用いることで、申請地番に隣接する前
			面道路の自動選択と道路幅員の最大値・最小値の自動案内
			が実現し、客観的かつ統一された道路判定が可能になる
システム・機能	申請地番に隣接する	•	3D 都市モデル(道路データ LOD2)を用いることで、申請
	前面道路概況の自動		地番に隣接する前面道路の自動選択、道路種別の自動案内、
	案内		前面道路の道路幅員の最大値・最小値の自動案内を実現し
			<i>t</i> c
システム・機能	2D ビューによるシス	•	MVT 形式のデータは CityGML を変換して生成でき、タイ
	テム軽量化		ル状にデータを分割してユーザーが見ている部分だけを扱
			うため処理を高速化できる
		•	このデータを 2D ビューで利用することにより、クライア
			ント側のリソース制限が厳しいシンクライアント環境で運
			用する地方公共団体でも本システムを利用可能となる
アルゴリズム	3D 都市モデル(道路	•	標準仕様の道路データでは道路構造(橋梁、トンネル等)
	データ LOD2)の属		によって地物が分割されていたが、道路データ LOD2 の標
	性:路線番号の追加		準製品仕様書を拡張し「路線番号」 属性を追加することで、
			開発許可システムにおいて複数地物を1つの路線として統
			合認識できるようになり、従前の窓口対応と一致した道路
			幅員判定の自動案内が実現できる

表 10-1 3D 都市モデルの技術面での優位性

### 10-1-2.3D都市モデルのビジネス面での優位性

大項目	小項目	3D 都	『市モデルのビジネス面での優位性
市場展開の優位性	スケーラブルな事業	• t	標準化された 3D 都市モデルのデータを活用することで、
	展開		基本機能の再利用が可能となり、個別カスタマイズの工数
		7	を最小限に抑えることが可能。これにより、新規の地方公
		ļ	共団体への導入時のシステム開発効率が向上し、横展開が
		5 1	容易になる
	顧客基盤の獲得	• í	従来の独自開発システムでは導入コストが高く採用障壁が
		ŗ	高かったが、国主導で整備が進められている 3D 都市モデ
		)	ルを活用することで、地方公共団体での採用がスムーズと
		7	なり、地方公共団体が採用することで不動産事業者の利用
		:	も促進される。これにより、地方公共団体と不動産事業者
			という二つの市場への展開が可能となり、大きな市場規模
		7	を見込むことができる
		• 7	不動産分野では、行政手続き以外においても 3D 都市モデ
		J	ルを用いたシミュレーションなどのニーズが想定される。
		F	Project PLATEAU のサイトポリシーに基づく OSS である
		7	ため、不動産分野における行政手続き以外のシミュレーシ
		:	ョンなどの競争領域として付加価値を付けたサービス提供
		:	も可能になる
サービス開発期間・	判定データメンテナ	● í	従来のシステムではデータの更新作業に多大なコストがか
コストの削減	ンスコストの削減	7	かっていたが、3D 都市モデルのデータの標準化とオープン
		1	化により、システムのデータを最新化しやすくなり、サー
		I	ビスの信頼性向上のみならず、維持コストの低減にもつな
		7	がる

表 10-2 3D 都市モデルのビジネス面での優位性

### 10-1-3.3D都市モデルの公共政策面での優位性

大項目	小項目	3D i	都市モデルの公共政策面での優位性
地方公共団体業務自	開発行為の管理の高	•	申請地に隣接する地域の過去の開発履歴を把握できるた
体の価値/品質向上	度化		め、まちづくり施策に整合した指導を行うことができる
		•	各手続き段階の資料は、資料の修正履歴(版)も含めて一
			元管理され、書類の先祖返りや手戻りといったミスを防ぐ
			ことにより、開発許可に至るまでの手続き期間の短縮に寄
			与する
地方公共団体業務の	回答入力の効率化	•	申請の条項ごとにテンプレート文を選択できるようにし、
効率化			地方公共団体職員は定型的な回答を最小限の編集により効
			率的に行うことが可能
		•	回答の粒度、記載方法の属人化を解消
	開発許可証などの様	•	事前協議及び開発許可申請の手続き中に、地方公共団体か
	式作成の効率化		ら事業者へ発行する、協議内容の同意通知書、都市計画法
			第 32 条の協議書、そして開発許可通知書などの様式を、シ
			ステムに入力されている申請者情報、協議内容に基づいて
			自動作成することによる効率化を実現
		•	地方公共団体ごとに異なる指定様式に対応し、手続き完了
			時に関連資料を一括ダウンロードできる機能により、申請
			資料の管理が容易となり、行政実務が効率化する
		•	手続きを定型化・電子化する整理により、ノウハウの共有、
			行政サービスとしての回答内容の均一化が図られ、効率化
			とともに質を向上する
		•	提出資料と開発登録簿頭紙の一括ダウンロードにより、書
			類管理の手間が削減される
	リマインド機能によ	•	担当課ごとに分担している回答事項の中で、未完了の作業
	る管理の効率化		がある場合、案件ごとの期限までの残り日数などを指定時
			刻に課ごとにメール通知することにより、多数の担当課の
			状況を管理する負担を軽減し、全体として手続きの遅延を
			防止し、開発許可手続き期間の短縮を実現することに寄与
			する

表 10-3 3D 都市モデルの公共政策面での優位性

# 10-2. 実証実験で得られた課題と対応策

大項目	小項目	実証実験で得られた課題	課題に対する対応策
システム	帳票出力速	● サーバ側での帳票作成による速度	● サーバ側のスペックを向上する、又
(機能)	度の高速化	低下のため、職員の待ち時間が増加	は従来のクライアント処理による
		し業務効率が悪化した	方式に戻すことお検討する
			<ul> <li>メリデメがあるため、出力ロジック</li> </ul>
			による改善も含めて、検討する
	申請状況を	● 区分・地域ごとの集計が容易でな	● 本システムにビルドインする開発
	管理するダ	く、全体把握による業務改善が困難	を行うか、別途 BI ツールによる分
	ッシュボー	● 定期的な集計データ取得が容易で	析を可能とする対応を検討する
	ド機能	ない	
	事前相談の	<ul> <li>申請条件による異なるフロー(事前)</li> </ul>	● 概況診断の結果として、手続きを事
	スキップ	相談を経ずに事前協議へ遷移など)	前協議へ切り替える機能を追加す
		に対応できていない	3
	事前協議受	<ul> <li>● 事前協議を主管部門で受け付けた</li> </ul>	● 回答及びチャットで実現している
	付時の書類	際に、添付書類への指摘事項を書き	機能を、事前協議の受付時に利用す
	チェック	込む機能が無く、別途作業が必要	る UI などの変更を行う
	申請地番を	<ul> <li>今回の実証では、申請から開発許可</li> </ul>	● 申請地番を結合したポリゴンをシ
	基にした開	証の発行までを実現したが、GIS 上	ステムで管理しており、申請書類と
	発範囲の作	で実際の開発範囲を入力、管理する	基にポリゴン編集、又は新規図図形
	図機能	機能のニーズがあった	の入力を可能とする
	担当課ごと	● 担当課間での引継ぎ情報やメモの	● ログインアカウントの所属する課
	のメモ機能	共有機能がなく、連携が困難	ごと案件ごとに一意のメモ機能と
		● 複数課が協働して事業者対応する	メモの検索機能を追加する
		際の情報共有手段が不足	
	関連する行	● 建築確認(調査報告書)と一体で運	● 本システムを、建築確認と開発許可
	政手続きと	用するため、申請種別により、申請	の設定で、それぞれ構築する
	の一体運用	者情報、概況診断レポートなどの帳	● 判定種類ごとにテンプレートをわ
		票テンプレート、メール通知テンプ	けられるよう、機能拡張する
		レートを設定したい	
	事業者へ通	<ul> <li>● 回答の起案者と確認・通知の権限分</li> </ul>	● 権限ごと(回答起案、通知)に有効
	知する前の	けができず、ワークフローが非効率	な機能を細分化する
	決裁機能	● 印刷物で決裁する運用が残ってお	● 行政回答レポートを通知前段階で
		り、電子システムとの二重作業が発	出力する
		生	

表 10-4 実証実験で得られた課題

システム	協議、コミ	•	複雑な協議が必要な分野では、現状	•	コミュニケーションを対面前提と
(UI · UX)	ュニケーシ		システムでは対応時間が増加する		するものと電子化可能なものに分
	ョン機能の		恐れがある		類することを検討する
	改善	•	申請書類を複数比較しながら協議		
			する際に、電子ファイルのみでは作		
			業が困難		
		•	担当回答入力欄が十分に広く表示		
			されず、入力作業が非効率		
	行政回答入	•	概況診断結果を行政回答として直	•	回答テンプレートを強化する
	力支援の改		接利用できず、二重入力が必要	•	デフォルト回答機能を追加する
	善・強化	•	入力作業中に GIS レイヤを参照で	•	3D ビュー・2D ビュー上で、レイヤ
			きず、効率的な判断ができない		切替え可能とする
	チャットコ	•	メッセージの新着バッジを手動で	•	クローズによりバッジを表示しな
	ミュニケー		クローズできず、重要でないメッセ		い機能を追加する
	ションのク		ージも常に表示される		
	ローズ操作				
	事業者と複	•	複数課が協働して事業者対応する	•	条項とアカウントにより、決まった
	数課による		際の情報共有手段が不足		連携先を初期設定可能とする
	チャット				
	事業者が回	•	事業者への通知後、ログイン時に通	•	回答通知の際にチェックした条項
	答確認時の		知対象条項が分かりにくく、コミュ		を、事業者がログインした際に強調
	対象項目を		ニケーションに支障をきたす		する改善が考えられる
	強調				
	ファイル操	•	ファイル選択ダイアログが毎回必	•	ドラッグ&ドロップによるファイ
	作の改善		要で操作手順が煩雑		ルの登録できる機能を追加する
		•	一括ダウンロード機能がなく個別	•	登録されている書類をZIP圧縮して
			処理に時間がかかる		一括ダウンロードできる機能を追
					加する
アルゴリズ	より複雑な	•	複数の GIS データから判断が必要	•	複数の GIS データから、AND/OR な
Д	概況診断へ		となる概況診断の設定が必要なケ		どの論理演算により判断するロジ
	の対応		ースがあり、現状では複数の GIS デ		ックを検討する
			ータを加工せずに直接活用できな	•	複雑化する演算は、概況診断の処理
			い		時間に影響するため、データ加工に
					よる対応とするか、導入時のコンサ
					ルティングが必要である

	AI の活用	•	道路構造令に則った意見選別・回答	•	AI による付加価値機能は、将来的に
			作成の自動化ができていない		大学も交えて検討テーマにする
		•	土地条件から該当地域を自動提示		
			する機能がなく、企業誘致などの業		
			務効率が上がらない		
サービス運	地方公共団	•	庁内からのインターネットアクセ	•	総務省が提示する「自治体ネットワ
用	体庁内にお		スが容易でなく、システム活用の障		ークモデル (三層対策) に関する β
	けるインタ		壁となっている		モデル(β'モデル)」を推進してい
	ーネット利				くことで、セキュリティを確保しつ
	用環境				つ、システムをインターネット環境
					で管理・運用ができる
その他	窓口対応	•	押印書類などの原本授受や手数料	•	手続きの電子化範囲について、技術
			支払いは窓口対応が必須で、完全電		動向・社会動向を踏まえて検討する
			子化の妨げになっている		

### 10-3. 今後の展望

今回のプロジェクトでは、事前相談を対象としてきた本システムに事前相談の情報の引継ぎと開発行為の事前 協議手続き、公共施設管理者との都市計画法 32 条協議、そして 29 条に基づく開発許可までの手続きをワン ストップで実現するための機能拡張を行うとともに、開発事業を申請する事業者にも実際に電子申請を行う際 に協力をいただき、より実運用に近い形での実証を行い多くの示唆を得た。2D ビューの追加により日常的な 事務での利用が可能となり、土地調査や申請情報の管理が効率化される効果を確認できた。また、実際の申請 事務での運用経験により、今後の本格実装に向けた具体的な展開の見通しを得られた。

一方で、茅野市においては開発許可申請が長野県の管轄となるため、茅野市の関係部署と長野県の関係部署と 連携する仕組みを検討する必要がある。また、事前協議及び開発許可申請について、本システムにおいて手続 きフローが完全に網羅されていないという課題がある。手続きが複雑であるだけでなく、地方公共団体によっ ては条例で定められた手続きが必要な場合があり、特に「協議」に関わる部分はシステム化が難しく、担当部 署によりシステムの利便性については評価が分かれる結果となった。

課題を踏まえ、地方公共団体ごとに条例で定める手続きが異なるため、他都市への横展開においては全業務の うちどの範囲をシステムで対応するのかについて十分なコミュニケーションを取りながら実装を行う必要が ある。また、手続きの完全な電子化に向けては、原本管理や手数料納付について外部サービスとの連携を視野 に入れた検討が必要である。

あらゆる地方公共団体において開発許可申請を一気通貫かつ網羅的に管理できるシステムへと発展させることにより、事業者と行政双方の負担に軽減につながる業務のデジタルトランスフォーメーションを加速させつつ、円滑な都市開発を実現する社会を目指す。

# 11. 用語集

#### A) アルファベット順

No.	用語	説明
1	Apache HTTP Server	静的ファイルの配信を行う無償利用可能な OSS の WEB サーバ
2	Apache POI	Microsoft Office 形式のファイルを読み書きできるオープンソース Java ラ
		イブラリ
3	Apache Tomcat	Java アプリケーションの実行を行う Web アプリケーションサーバ
4	API	クライアントとサーバサイドでやり取りを行う際のインタフェース (REST
		API)
5	Cesium JS	3D マッピング用のオープンソース JavaScript ライブラリ
6	DTO (Data Transfer	データのやり取りで使用するオブジェクト
	Object)	
7	GeoServer	地理情報の共有及び編集を行う無償利用可能な OSS のサーバプリケーシ
		эγ
8	GIS (Geographic	空間情報と地理的な位置に関連する多様なデータを統合的に扱うために構
	Information System)	成されている情報システム全般
9	НМАС	認証と改竄検知が可能なメッセージ認証符号(MAC)の一種
10	JWT (JSON Web	属性情報を JSON 形式で表現したトークンの仕様
	Token)	
11	Leaflet	2D マッピング用のオープンソース JavaScript ライブラリ
12	Node.js	サーバサイド JavaScript の実行環境及びクライアントサイド JavaScript の
		開発環境
13	PostGIS	Postgres SQL データベースで地理情報を扱うための拡張機能
14	Postgres SQL	オープンソースのリレーショナルデータベース管理システム(RDBMS)
15	SMTP サーバ	SMTP(電子メールの送信・転送するために用いるプロトコル)に対応する
		メールサーバ
16	Spring Boot	Java フレームワークの一種
17	SQL	データベース操作言語の一種。データの参照や登録・更新・削除などの操作
		を行う
18	Terria JS	Cesium JS をベースとしたオープンソースの JavaScript フレームワーク
19	ViewState	画面の状態を保持しておくための仕組み
20	WFS	インターネット上でデータ操作とマップ表示を標準化するインタフェース
		の仕様

表 11-1 用語集(アルファベット順)

21	WMS (Web Map	ジオリファレンスが行われた地図画像をインターネット上で提供するため
	Service)	の標準プロトコル
22	Workbench	Terria で使用する操作・機能関連セット

### B) 五十音順

表 11-2 用語集(五十音順)

No.	用語	説明
1	イベント座標	クリックなどのイベント発生時の WEB ブラウザ画面上における XY 座標
2	インスタンスタイプ	CPU、メモリ、ストレージなどの組み合わせによる種別
3	カラム	リレーショナルデータベースにおける属性情報(列)
4	クエリ	データの問い合わせで使用する形式に従った文字表現
5	シーケンス	連続した一連の手順
6	ジオメトリ	空間情報を保持するオブジェクト
7	スケーラブル	拡張性を持つことや、性能を向上できること
8	ステータスコード	HTTP レスポンスに含まれる Web サーバの処理結果を表す 3 桁の数字
9	ダイアログメッセージ	通知や許可を必要とした際に表示される一時的な UI 要素
10	データベース	構造化した情報、又はデータの組織的な集合。ここでは、表形式で扱えるリ
		レーショナルデータベースを指す。DBと略して記載されることが多い
11	バックエンド	WEB サーバで動くアプリケーション及びデータベースなど
12	フィーチャ	地図上の地物(点、線、多角形で表現される)
13	フロントエンド	WEB ブラウザ側で実行されているアプリケーション
14	モジュール	システム上での特定の機能を持つひとまとまりの構成要素
15	リクエスト	クライアントから WEB サーバへ送信する GET 又は POST などによるデー
		タ送信要求(HTTP リクエストと同義語)
16	レイヤ	一定の意味を持つ地物の集合体。「層」として地図上に重ねることで表現・
		分析を行う
17	レスポンス	WEB サーバからクライアントへ送信する応答メッセージ(HTTP レスポン
		スと同義語)
18	レンダリング	指定したリソースを WEB ブラウザ画面に表示すること
19	外部エンティティ	データの入力先、又は出力先の外部要素

以上

## 開発許可の DX v3.0 技術検証レポート

発行:2025年3月委託者:国土交通省 都市局受託者:アジア航測株式会社